

芦屋市
教育振興に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和2年8月

芦屋市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	一般	3
	(1) あなた自身のことについておうかがいします。	3
	(2) 教育や学習に関する取組についておうかがいします。	7
	(3) 地域や家庭で行う学習活動などについておうかがいします。	44
	(4) 新型コロナウイルス感染症が与える子どもたちの教育への影響についておうかがいします。	55
2	小学生・中学生	56
	(1) あなた自身のことについて聞かせてください。	56
	(2) 学校生活について聞かせてください。	58
	(3) 家庭や地域での生活について聞かせてください。	87
3	小学生保護者・中学生保護者	119
	(1) あなた自身のことについておうかがいします。	119
	(2) 教育や学習に関する取組についておうかがいします。	122
	(3) 地域や家庭で行う学習活動などについておうかがいします。	156
	(4) 新型コロナウイルス感染症が与える子どもたちの教育への影響についておうかがいします。	166
4	小学校教諭・中学校教諭	167
	(1) あなた自身のことについておうかがいします。	167
	(2) 職場環境についておうかがいします。	170
	(3) 教育や学習に関する取組についておうかがいします。	182
	(4) 新型コロナウイルス感染症が与える子どもたちの教育への影響についておうかがいします。	212

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第3期芦屋市教育振興基本計画」を策定するにあたり、芦屋市の教育施策全般にわたる満足度や計画の柱となる学校教育、家庭教育、社会教育のそれぞれの活動に対する意識を把握するとともに、施策の方向性の検討に向け、市民が望む施策（重点をおくべき施策）の把握を目的に市民意識調査（アンケート調査）として調査を実施したものです。

2 調査対象

- ①一般市民：芦屋市在住の18歳以上の2,000件を無作為抽出
- ②児童生徒：小学校5年生と中学校2年生の1,270件
- ③保護者：小学校5年生と中学校2年生の保護者1,270件
- ④小中学校の教職員：327件

3 調査期間

- ①一般市民：令和2年7月28日から令和2年8月11日
- ②児童生徒：令和2年7月22日から令和2年7月30日
- ③保護者：令和2年7月22日から令和2年7月30日
- ④小中学校の教職員：令和2年7月22日から令和2年7月30日

4 調査方法

- ①一般市民：郵送による配布・回収
- ②児童生徒：学校を通じて直接配布・回収
- ③保護者：学校を通じて直接配布・回収
- ④小中学校の教職員：学校を通じて直接配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回収数	有効回収率
一般市民	2,000通	807通	40.4%
児童生徒	1,270通	1,047通	82.4%
保護者	1,270通	949通	74.7%
小中学校の教職員	327通	240通	73.4%

6 調査結果の表示方法

- 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果

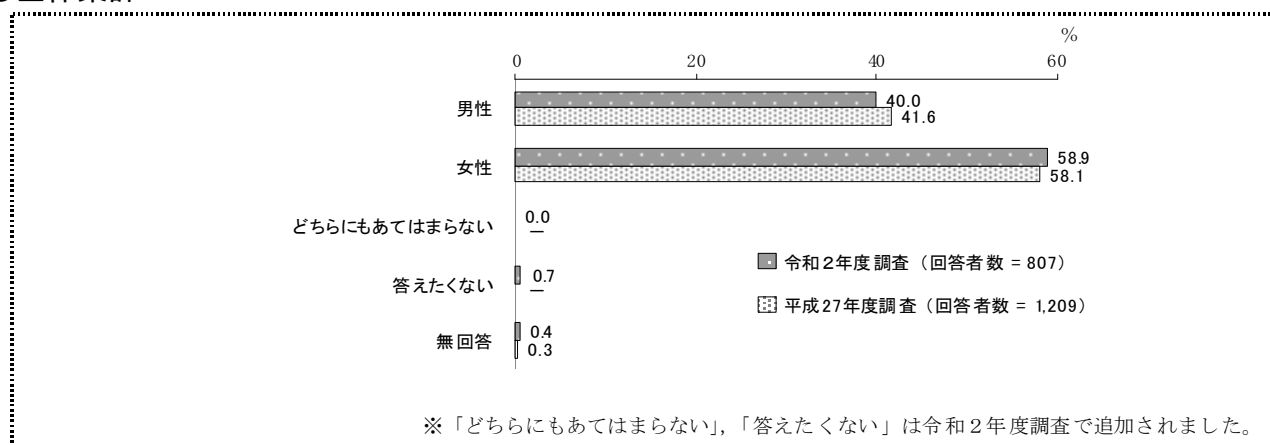
1 一般

(1) あなた自身のことについておうかがいします。

問1 あなたの性別を教えてください。(ひとつだけに○)

「女性」の割合が58.9%と最も高く、次いで「男性」の割合が40.0%となっています。
平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計

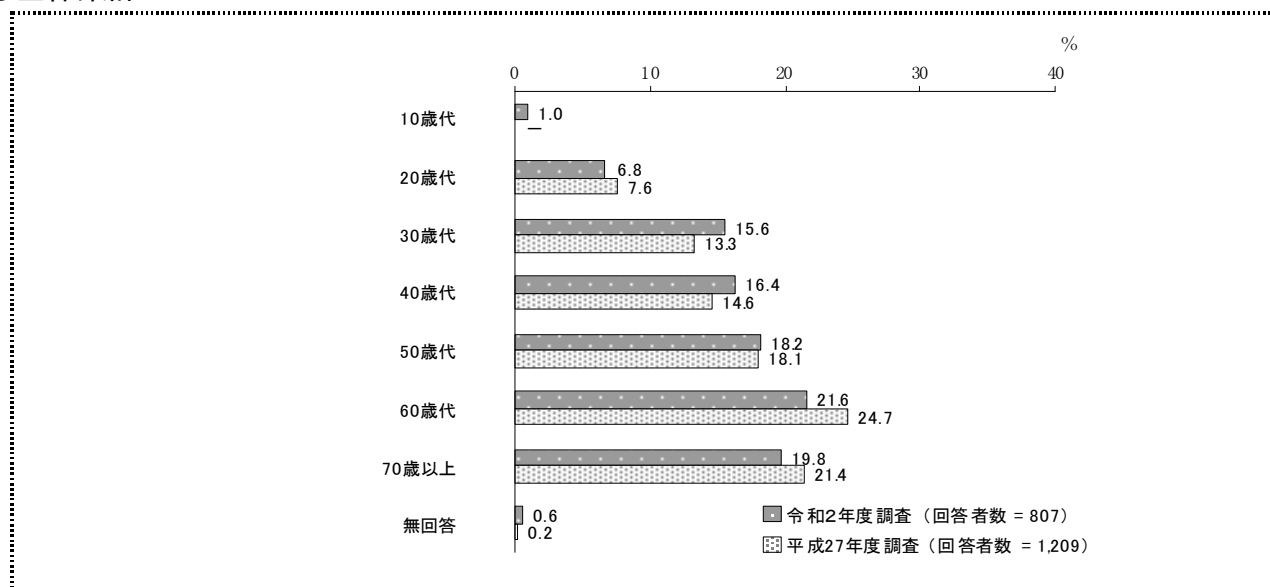


問2 あなたの年齢を教えてください。(令和2年4月1日現在) (ひとつだけに○)

「60歳代」の割合が21.6%と最も高く、次いで「70歳以上」の割合が19.8%、「50歳代」の割合が18.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計

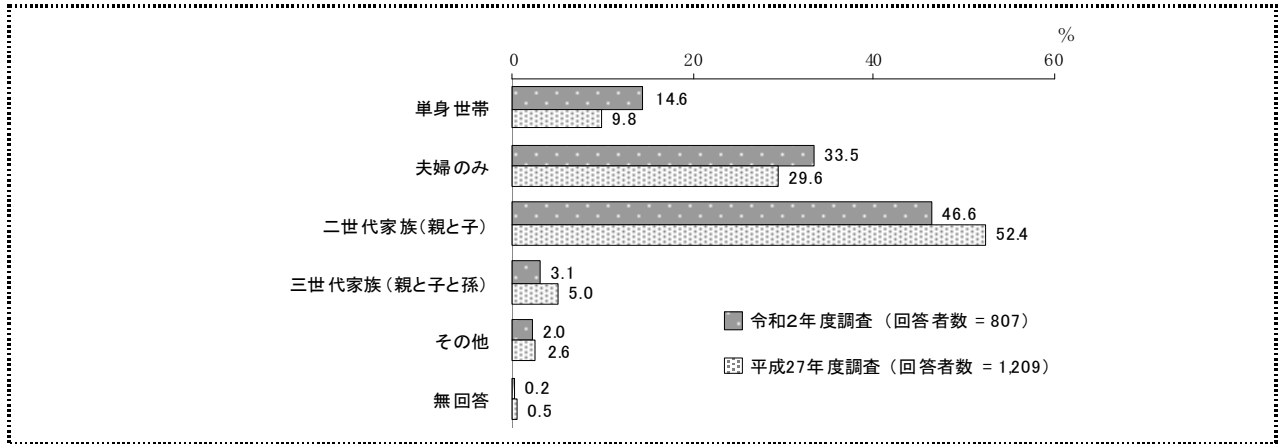


問3 あなたと一緒に暮らしている家族構成は次のうちどれですか。(ひとつだけに○)

「二世世代家族（親と子）」の割合が46.6%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が33.5%、「単身世帯」の割合が14.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「二世世代家族（親と子）」の割合が減少しています。

○全体集計



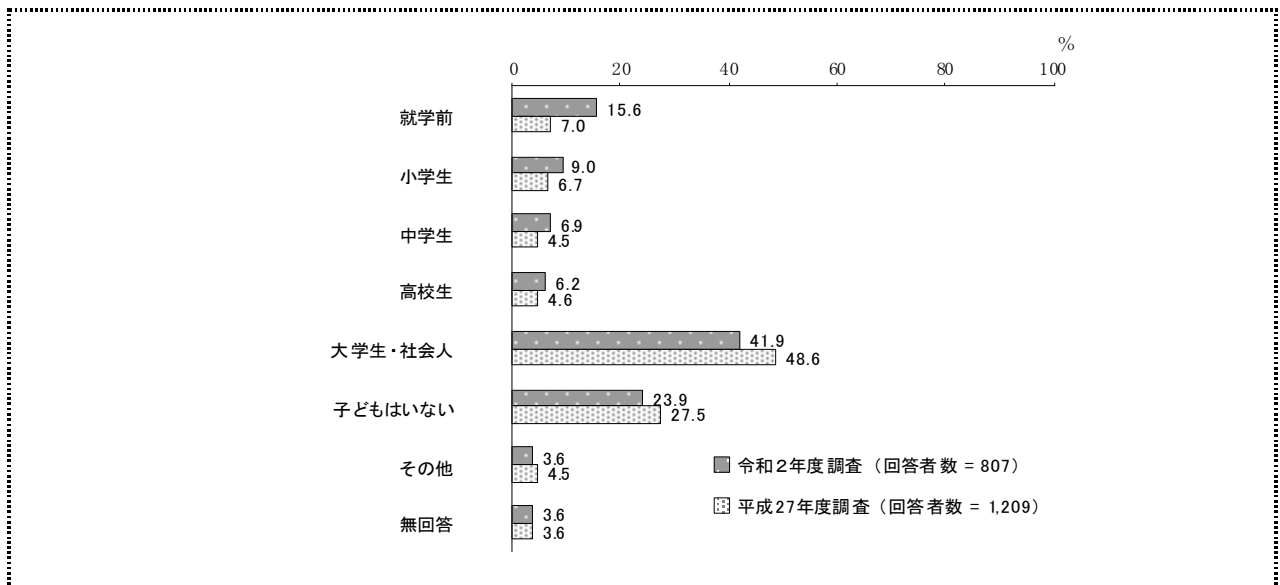
問4 あなたにお子様はいらっしゃいますか。(あてはまるすべてに○)

高校生までのお子様がいいらっしゃる場合は、お子様の年齢（令和2年4月1日現在）を教えてください。（お子様が複数名いらっしゃる場合は、最年少のお子様の年齢を教えてください。）

「大学生・社会人」の割合が41.9%と最も高く、次いで「子どもはいない」の割合が23.9%、「就学前」の割合が15.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「就学前」の割合が増加し、「大学生・社会人」の割合が減少しています。

○全体集計

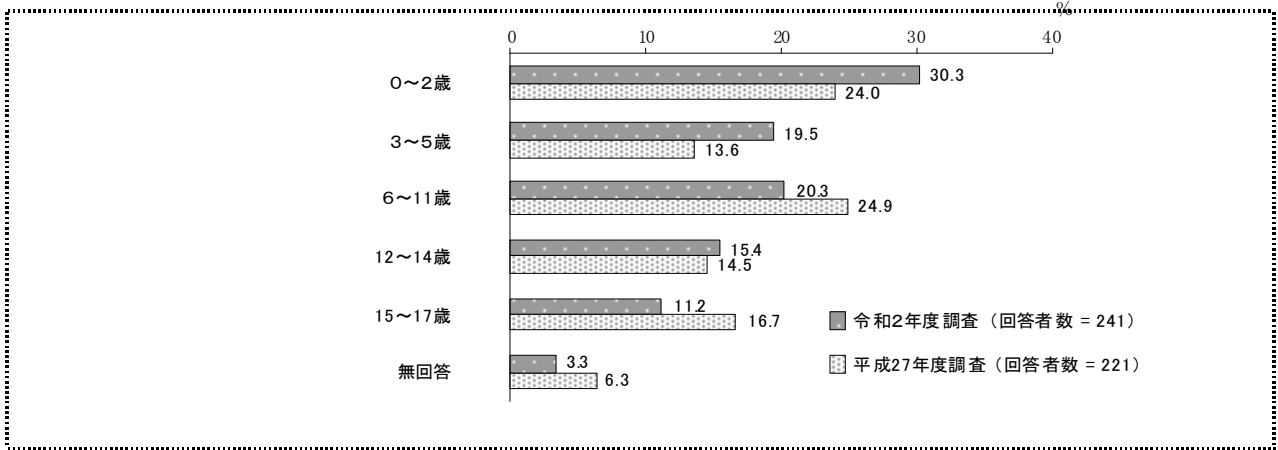


① 最年少のお子さんの年齢

「0～2歳」の割合が30.3%と最も高く、次いで「6～11歳」の割合が20.3%、「3～5歳」の割合が19.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「0～2歳」、「3～5歳」の割合が増加し、「15～17歳」の割合が減少しています。

○全体集計

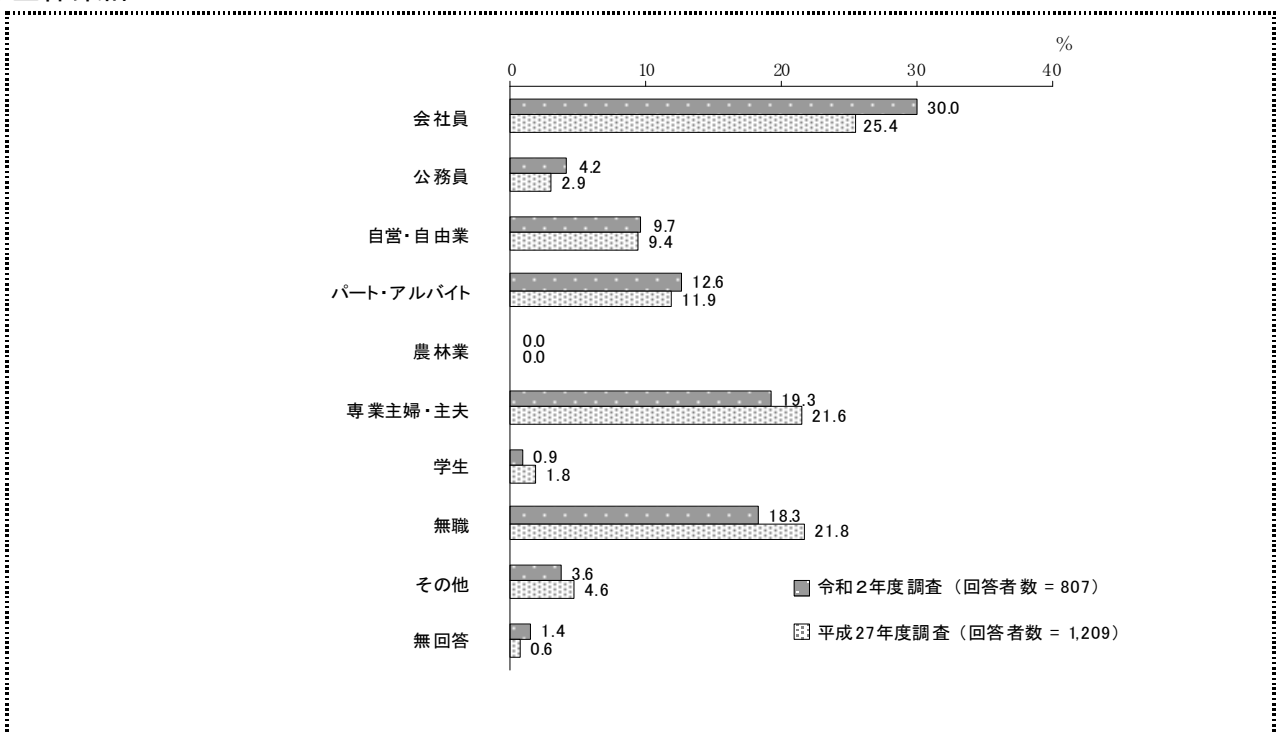


問5 あなたの現在の職業は何ですか。(ひとつだけに○)

「会社員」の割合が30.0%と最も高く、次いで「専業主婦・主夫」の割合が19.3%、「無職」の割合が18.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計

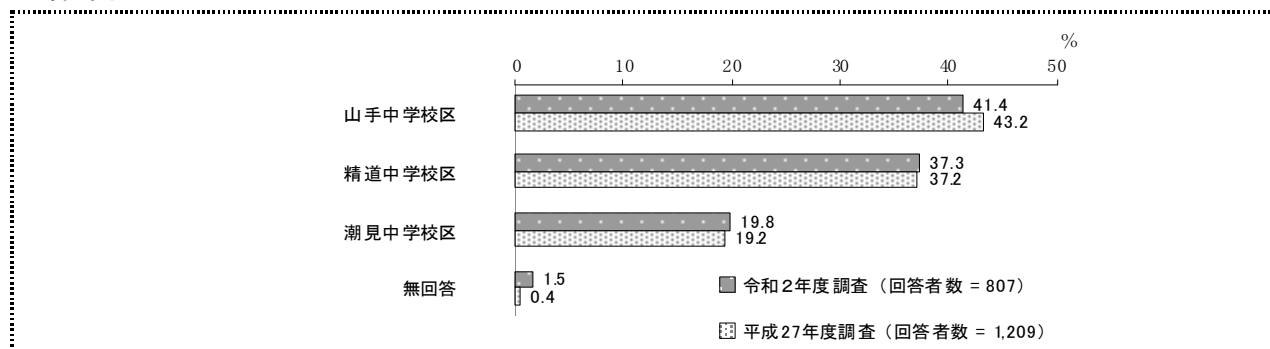


問6 あなたのお住まいの地域（公立中学校区）はどこですか。（ひとつだけに○）

「山手中学校区」の割合が41.4%と最も高く、次いで「精道中学校区」の割合が37.3%、「潮見中学校区」の割合が19.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



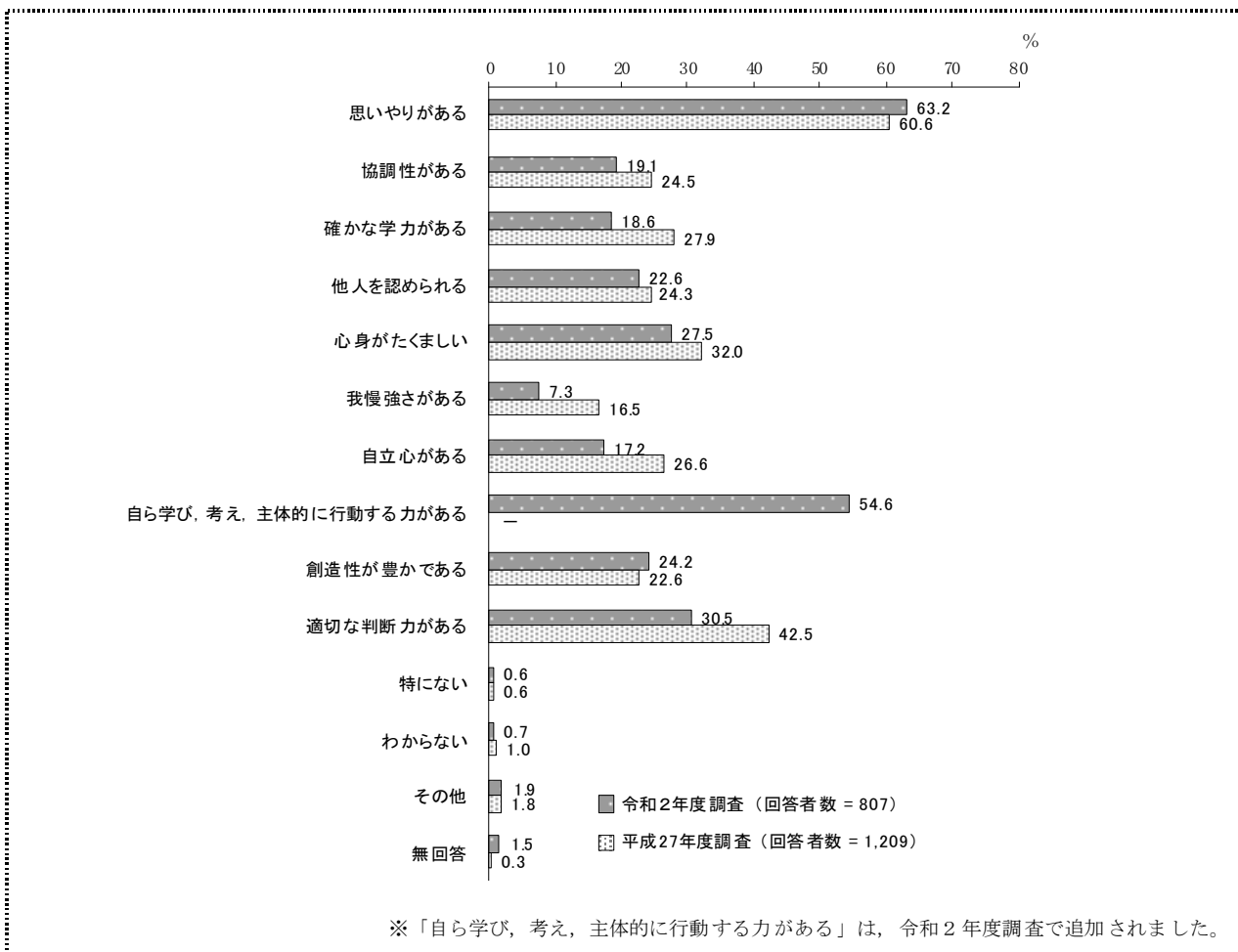
(2) 教育や学習に関する取組についておうかがいします。

問7 あなたは、芦屋市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか。(主なもの3つに○)

「思いやりがある」の割合が63.2%と最も高く、次いで「自ら学び、考え、主体的に行動する力がある」の割合が54.6%、「適切な判断力がある」の割合が30.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「協調性がある」、「確かな学力がある」、「我慢強さがある」、「自立心がある」、「適切な判断力がある」の割合が減少しています。

○全体集計



○子どもの年代別

子どもの年代別でみると、他に比べ、就学前、高校生で「自ら学び、考え、主体的に行動する力がある」の割合が高くなっています。また、小学生、高校生で「心身がたくましい」の割合が高くなっています。

単位：％

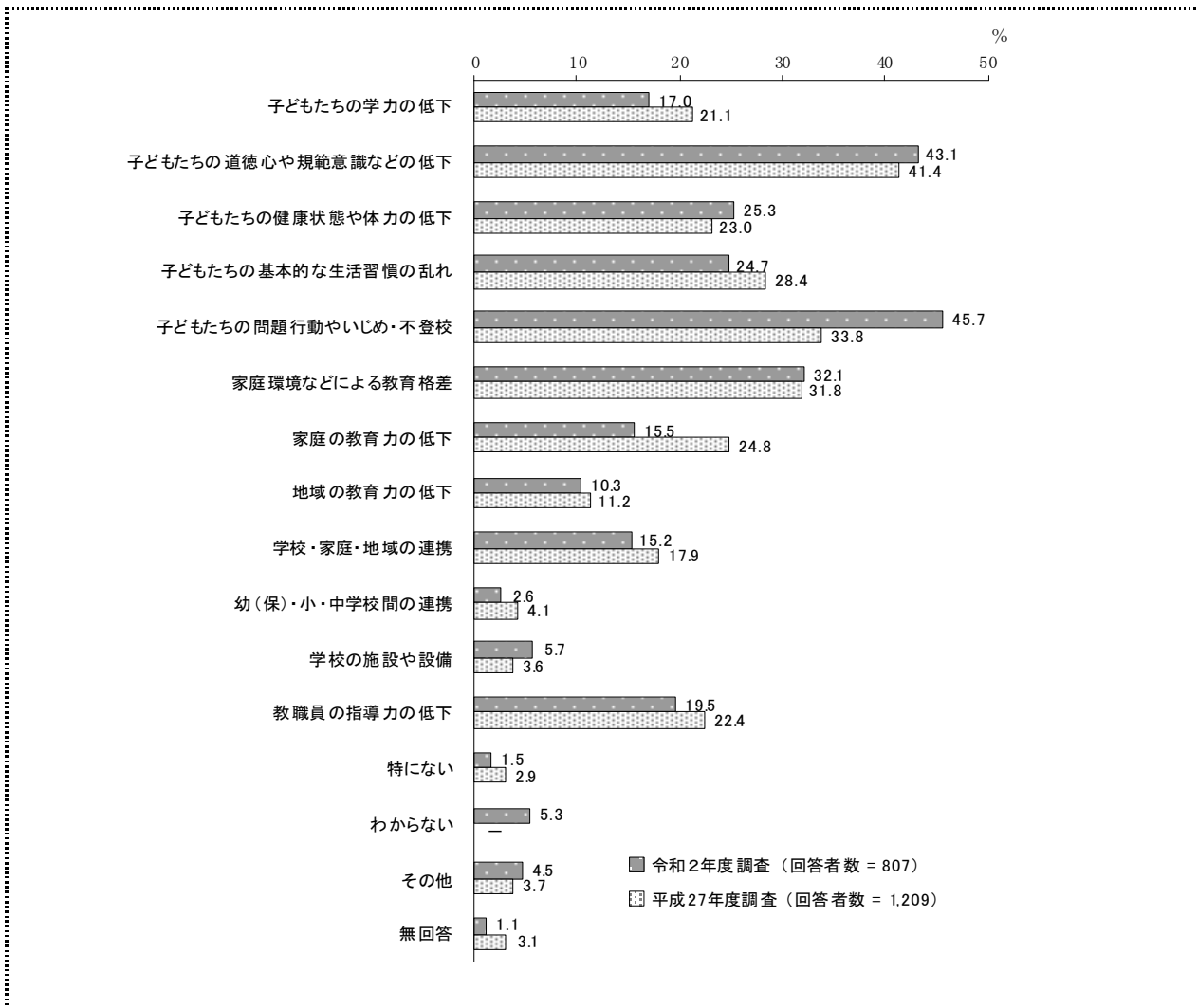
区分	回答者数(件)	思いやりがある	協調性がある	確かな学力がある	他人を認められる	心身がたくましい	我慢強さがある	自立心がある	自ら学び、考え、主体的に行動する力がある	創造性が豊かである	適切な判断力がある	特にない	わからない	その他	無回答
就学前	126	59.5	15.1	17.5	23.0	31.0	1.6	16.7	69.8	29.4	25.4	—	0.8	0.8	2.4
小学生	73	65.8	23.3	23.3	12.3	39.7	4.1	13.7	61.6	19.2	21.9	—	—	1.4	2.7
中学生	56	71.4	19.6	17.9	23.2	28.6	5.4	19.6	51.8	16.1	33.9	—	—	—	3.6
高校生	50	66.0	14.0	18.0	30.0	36.0	6.0	20.0	68.0	14.0	28.0	—	—	—	—
大学生・社会人	338	66.0	16.9	19.5	19.5	28.4	10.1	19.5	59.2	22.8	28.7	0.9	—	1.5	0.6
子どもはいない	193	58.5	23.3	16.6	29.0	19.7	6.2	14.5	40.4	26.9	38.9	0.5	2.1	4.7	2.1
その他	29	62.1	20.7	20.7	13.8	44.8	6.9	20.7	44.8	17.2	34.5	—	3.4	—	—

問8 あなたが子どもたちや教育について課題と感じていることは何ですか。 (主なものを3つに〇)

「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が45.7%と最も高く、次いで「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」の割合が43.1%、「家庭環境などによる教育格差」の割合が32.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が増加し、「家庭の教育力の低下」の割合が減少しています。

○全体集計



○子どもの年代別

子どもの年代別でみると、他と比べ、就学前で「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が高くなっています。また、小学生から高校生で「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子どもたちの学力の低下	子どもたちの道徳心や規範意識などの低下	体力の低下	子どもたちの健康状態や習慣の乱れ	子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ	いじめ・不登校	子どもたちの問題行動や教育格差	家庭環境などによる	家庭の教育力の低下	地域の教育力の低下	学校・家庭・地域の連携	幼(保)・小・中学校間の連携	学校の施設や設備	教職員の指導力の低下	特になし	わからない	その他	無回答
就学前	126	19.0	34.1	26.2	21.4	57.9	23.8	9.5	16.7	10.3	6.3	8.7	23.0	0.8	4.8	5.6	0.8		
小学生	73	16.4	38.4	41.1	34.2	38.4	26.0	16.4	12.3	11.0	6.8	8.2	21.9	1.4	1.4	8.2	1.4		
中学生	56	19.6	23.2	35.7	37.5	48.2	33.9	12.5	12.5	14.3	1.8	8.9	17.9	3.6	3.6	5.4	—		
高校生	50	22.0	36.0	32.0	32.0	44.0	34.0	12.0	14.0	22.0	2.0	4.0	14.0	2.0	2.0	10.0	—		
大学生・社会人	338	18.0	42.3	26.3	24.9	43.2	35.5	17.5	9.5	16.9	1.5	4.4	20.1	2.1	4.1	3.6	1.8		
子どもはいない	193	15.0	51.3	19.2	22.3	48.2	31.1	18.7	8.3	14.0	1.0	3.6	15.5	1.0	7.8	3.1	0.5		
その他	29	6.9	51.7	17.2	17.2	37.9	34.5	10.3	6.9	20.7	6.9	3.4	20.7	—	13.8	3.4	—		

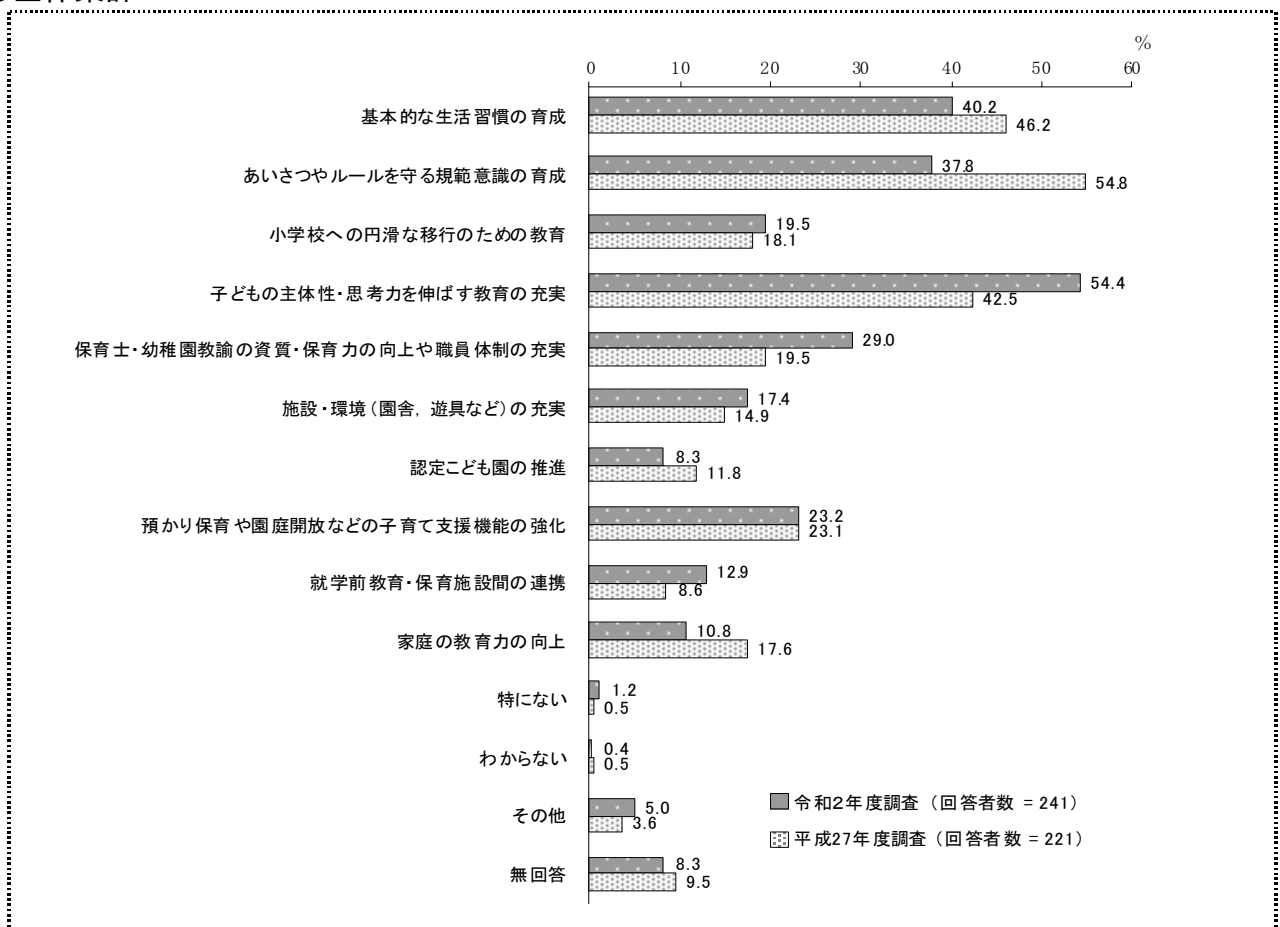
[問9～問17については、高校生までのお子様がいらっしゃるかたのみ回答してください。
それ以外のかたは、問18以降を回答してください。]

問9 あなたは、芦屋市の就学前教育の充実のためにどのような取組が必要だと思いますか。(主なものを3つに○)

「子どもの主体性・思考力を伸ばす教育の充実」の割合が54.4%と最も高く、次いで「基本的な生活習慣の育成」の割合が40.2%、「あいさつやルールを守る規範意識の育成」の割合が37.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「子どもの主体性・思考力を伸ばす教育の充実」、「保育士・幼稚園教諭の資質・保育力の向上や職員体制の充実」の割合が増加し、「基本的な生活習慣の育成」、「あいさつやルールを守る規範意識の育成」、「家庭の教育力の向上」の割合が減少しています。

○全体集計

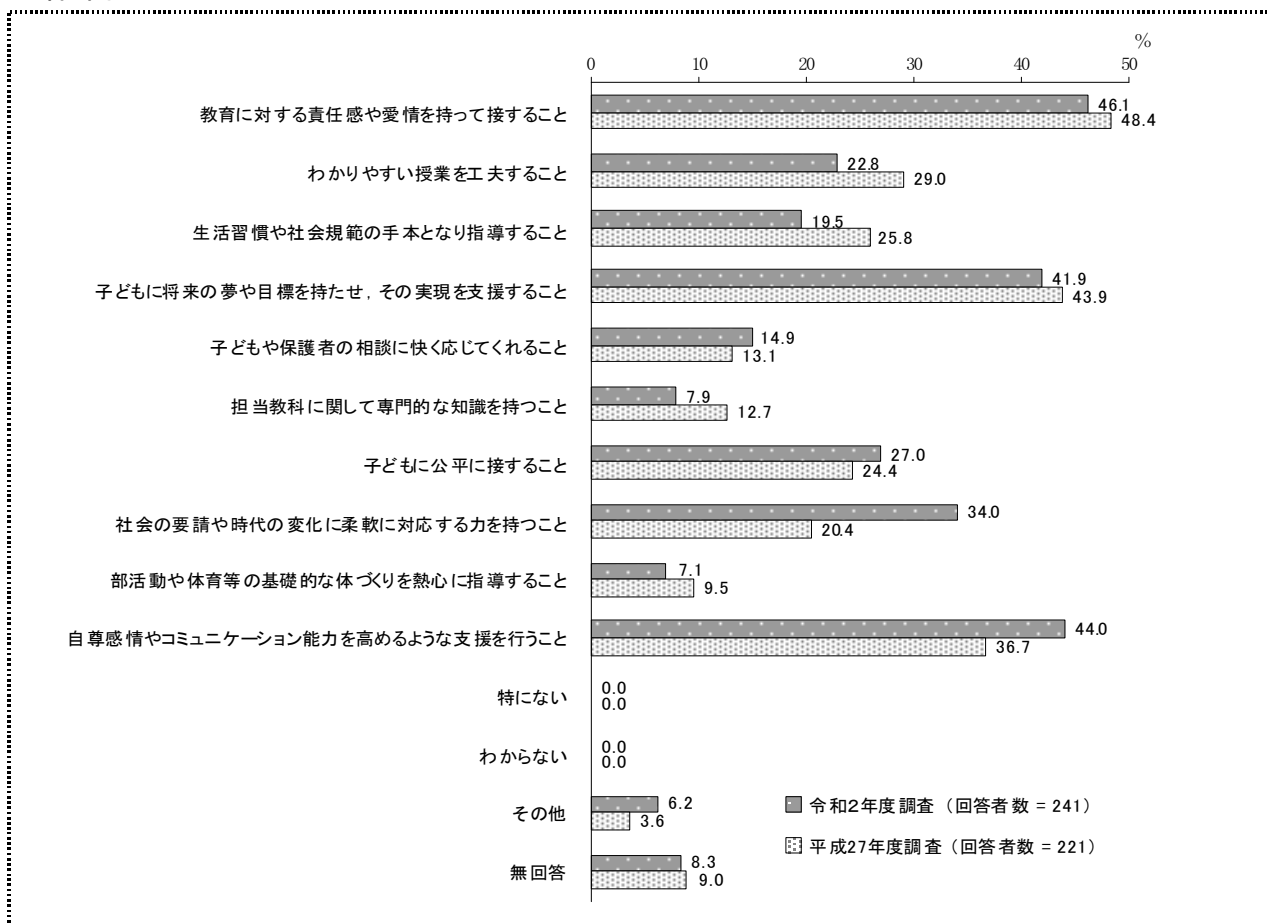


問10 あなたは小・中学校に対してどのようなことを望みますか。
(主なものを3つに○)

「教育に対する責任感や愛情を持って接すること」の割合が46.1%と最も高く、次いで「自尊心感情やコミュニケーション能力を高めるような支援を行うこと」の割合が44.0%、「子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること」の割合が41.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「社会の要請や時代の変化に柔軟に対応する力を持つこと」、「自尊心感情やコミュニケーション能力を高めるような支援を行うこと」の割合が増加し、「わかりやすい授業を工夫すること」、「生活習慣や社会規範の手本となり指導すること」の割合が減少しています。

○全体集計

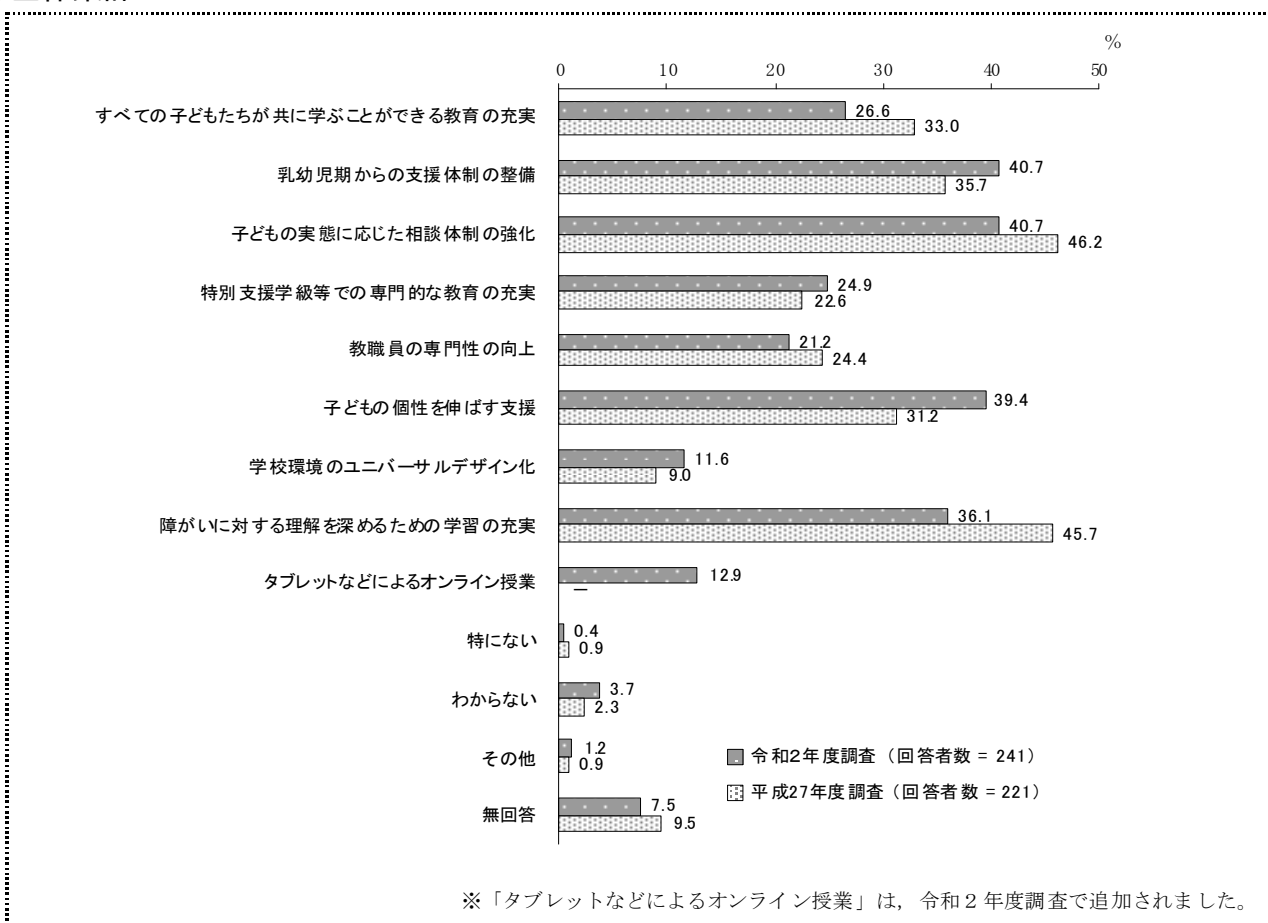


問 11 あなたは、特別支援教育の充実のためにどのような取組が必要だと思いますか。
(主なものを3つに○)

「乳幼児期からの支援体制の整備」、「子どもの実態に応じた相談体制の強化」の割合が40.7%と最も高く、次いで、「子どもの個性を伸ばす支援」の割合が39.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「乳幼児期からの支援体制の整備」、「子どもの個性を伸ばす支援」の割合が増加し、「すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の充実」、「子どもの実態に応じた相談体制の強化」、「障がいに対する理解を深めるための学習の充実」の割合が減少しています。

○全体集計

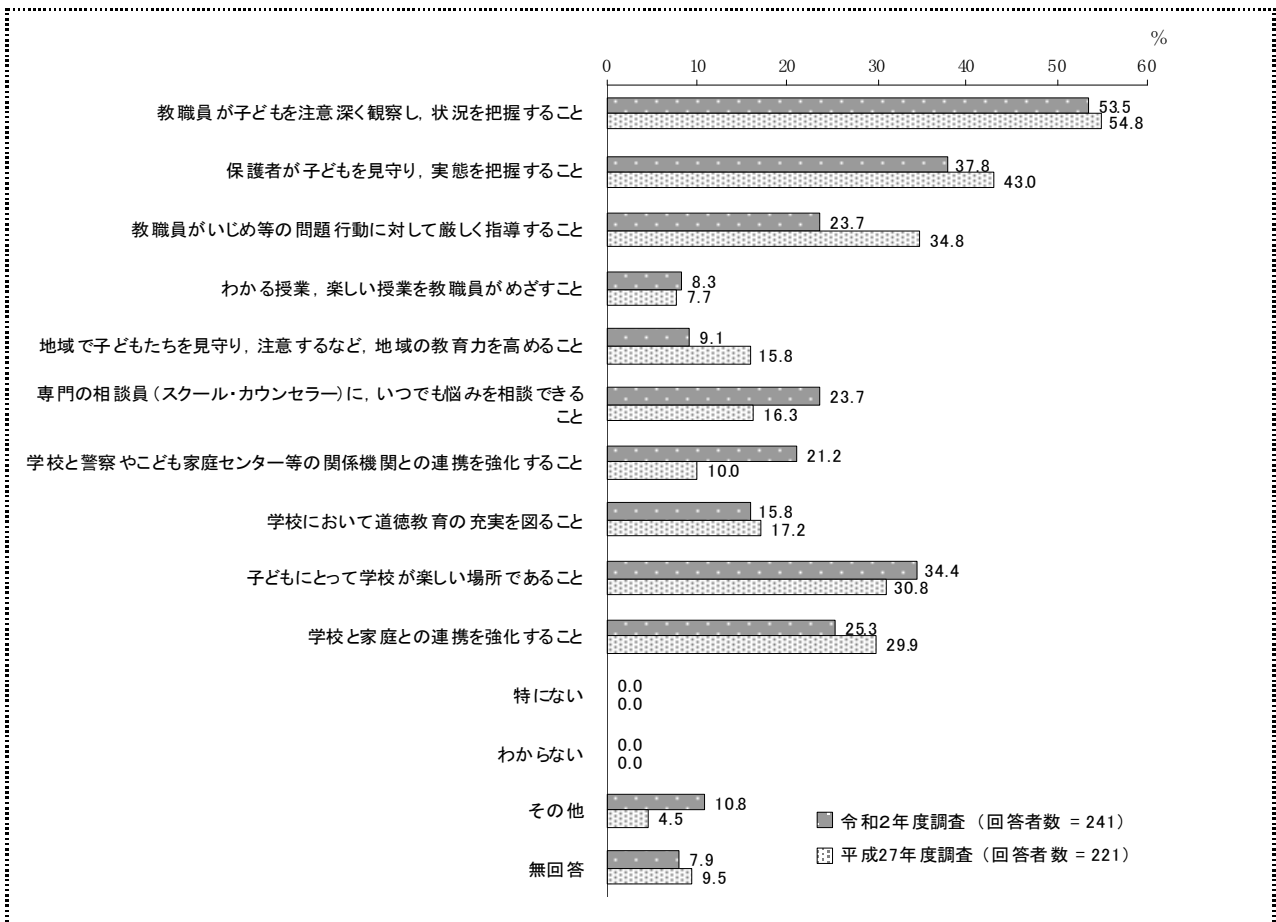


問12 あなたは、いじめや不登校などを防ぐためにはどのようなことが必要だと思いますか。(主なものを3つに○)

「教職員が子どもを注意深く観察し、状況を把握すること」の割合が53.5%と最も高く、次いで「保護者が子どもを見守り、実態を把握すること」の割合が37.8%、「子どもにとって学校が楽しい場所であること」の割合が34.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「専門の相談員(スクール・カウンセラー)に、いつでも悩みを相談できること」、「学校と警察やこども家庭センター等の関係機関との連携を強化すること」の割合が増加し、「保護者が子どもを見守り、実態を把握すること」、「教職員がいじめ等の問題行動に対して厳しく指導すること」、「地域で子どもたちを見守り、注意するなど、地域の教育力を高めること」の割合が減少しています。

○全体集計

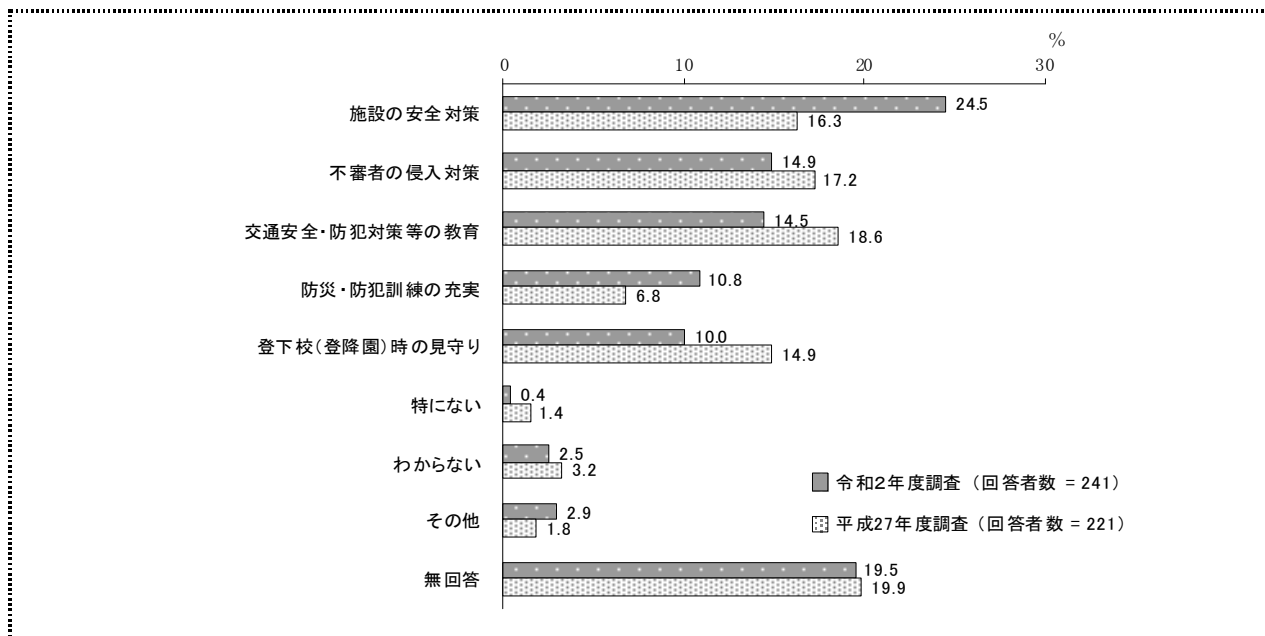


問 13 あなたは、安全・安心な学校や幼稚園・保育所（園）・認定こども園生活のために今後特に力を入れていくべきものは何だと思えますか。（ひとつだけに○）

「施設の安全対策」の割合が24.5%と最も高く、次いで「不審者の侵入対策」の割合が14.9%、「交通安全・防犯対策等の教育」の割合が14.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「施設の安全対策」の割合が増加しています。

○全体集計

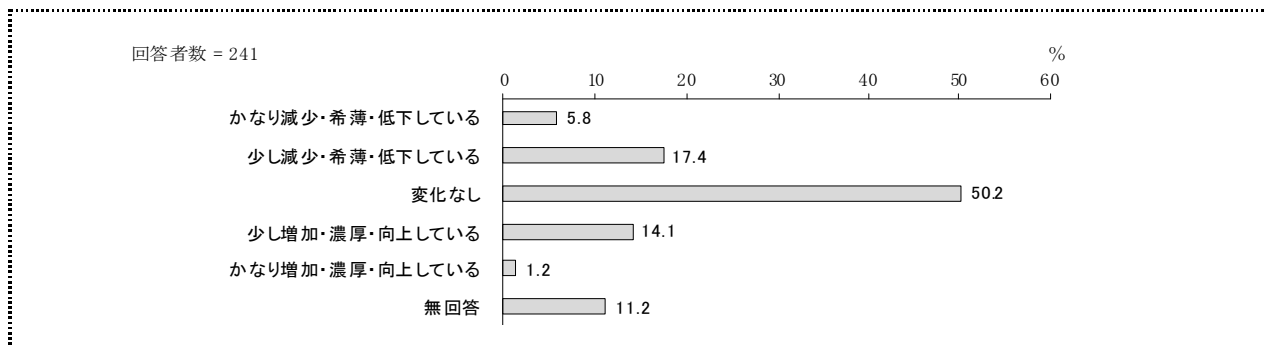


問 14 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思えますか。（ひとつだけに○）

① 学校における児童・生徒一人一人に応じたきめ細かな学習指導

「かなり減少・希薄・低下している」と「少し減少・希薄・低下している」をあわせた“減少・希薄・低下している”の割合が23.2%、「変化なし」の割合が50.2%、「少し増加・濃厚・向上している」と「かなり増加・濃厚・向上している」をあわせた“増加・濃厚・向上している”の割合が15.3%となっています。

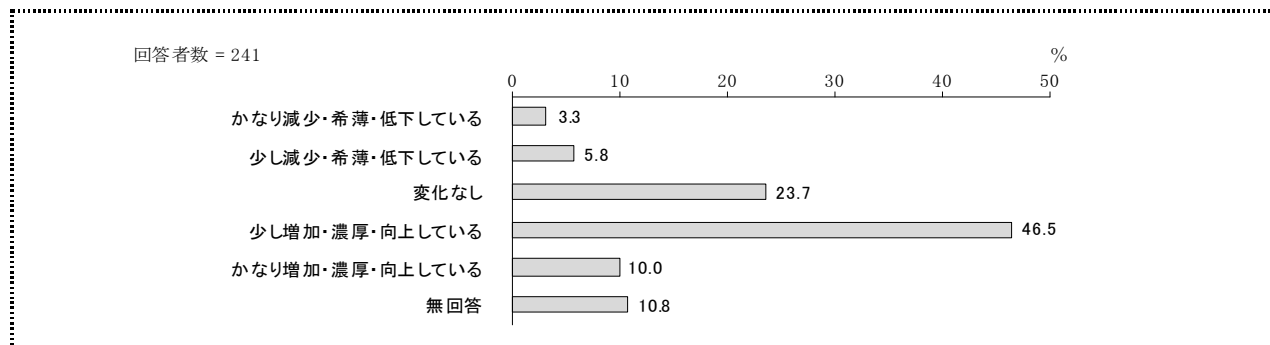
○全体集計



② 学校における情報機器を活用した授業

“減少・希薄・低下している”の割合が9.1%、「変化なし」の割合が23.7%，“増加・濃厚・向上している”の割合が56.5%となっています。

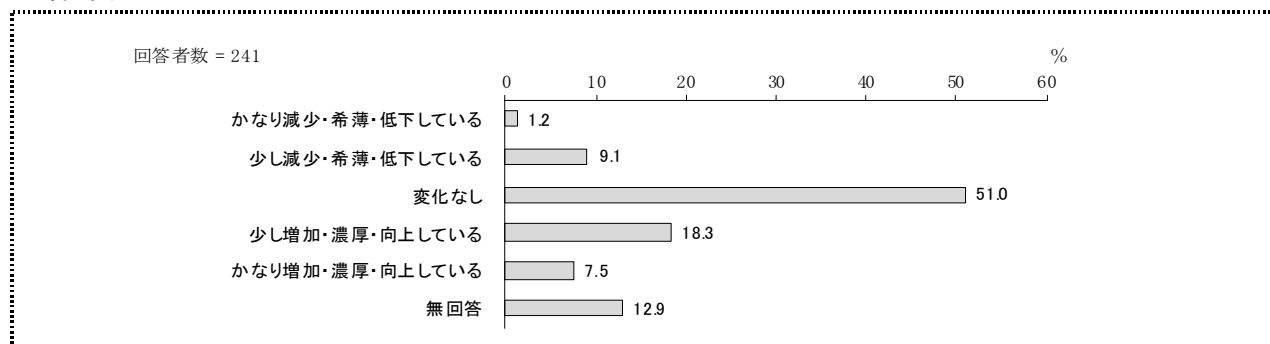
○全体集計



③ いじめや暴力行為

“減少・希薄・低下している”の割合が10.3%、「変化なし」の割合が51.0%，“増加・濃厚・向上している”の割合が25.8%となっています。

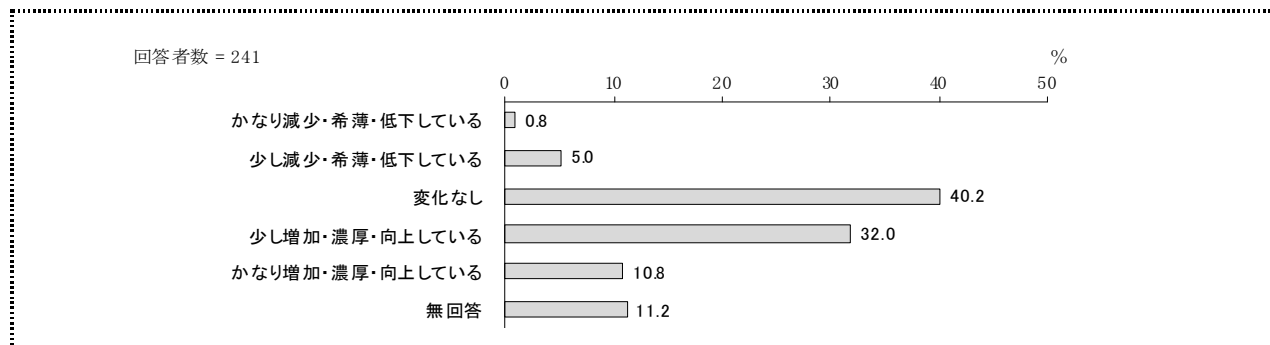
○全体集計



④ 不登校の児童・生徒

“減少・希薄・低下している”の割合が5.8%、「変化なし」の割合が40.2%，“増加・濃厚・向上している”の割合が42.8%となっています。

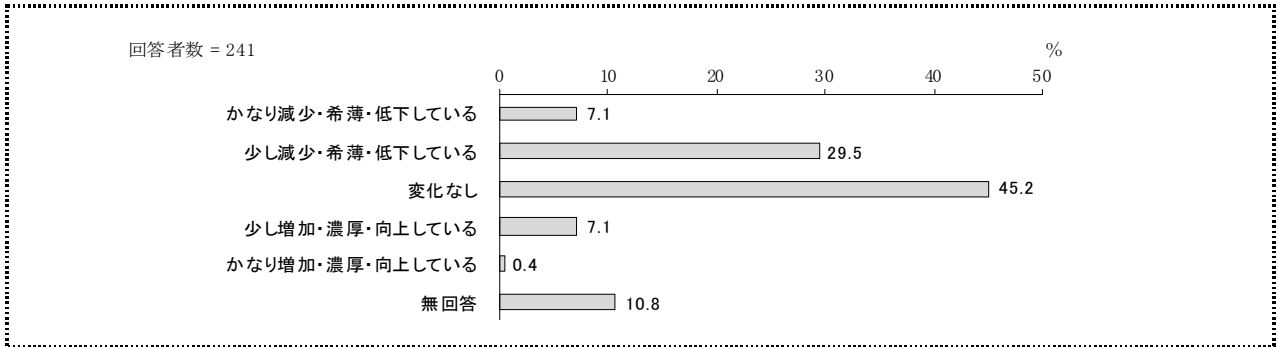
○全体集計



⑤ 家庭での生活体験の機会（家庭でのしつけやお手伝いなど）

“減少・希薄・低下している”の割合が36.6%、「変化なし」の割合が45.2%，“増加・濃厚・向上している”の割合が7.5%となっています。

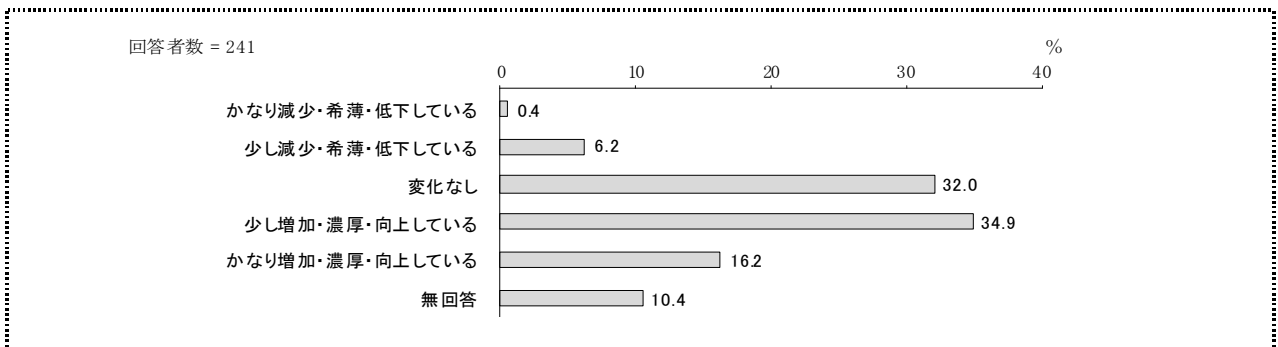
○全体集計



⑥ 家庭環境の多様化（核家族，単身赴任，親の深夜労働等）

“減少・希薄・低下している”の割合が6.6%、「変化なし」の割合が32.0%，“増加・濃厚・向上している”の割合が51.1%となっています。

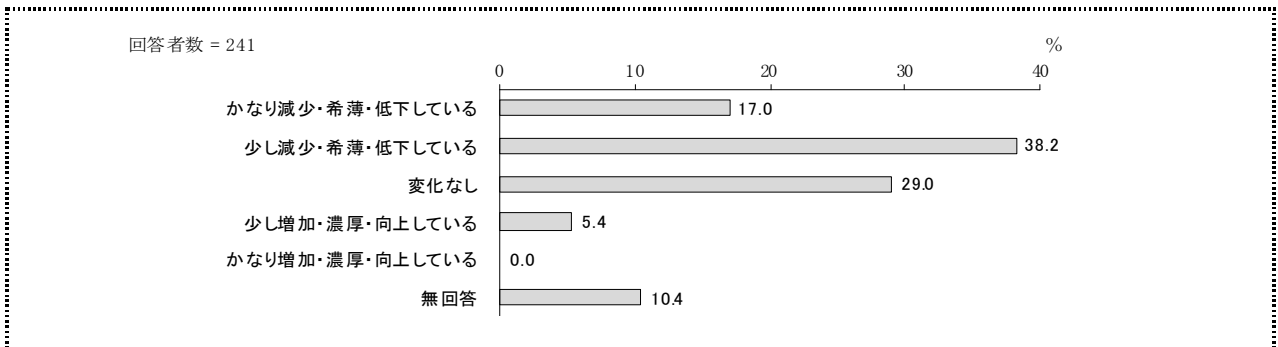
○全体集計



⑦ 家庭と地域の結びつき

“減少・希薄・低下している”の割合が55.2%、「変化なし」の割合が29.0%，“増加・濃厚・向上している”の割合が5.4%となっています。

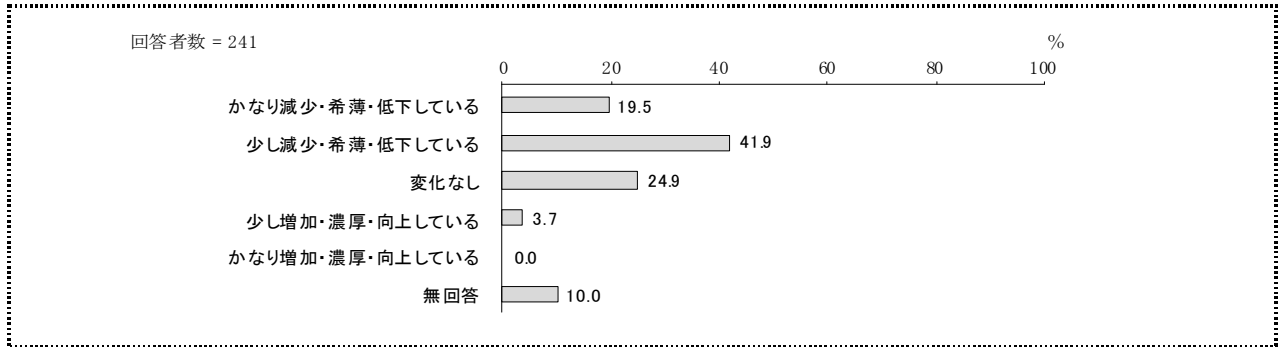
○全体集計



⑧ 子どもと高齢者がふれ合う機会

“減少・希薄・低下している”の割合が61.4%、「変化なし」の割合が24.9%，“増加・濃厚・向上している”の割合が3.7%となっています。

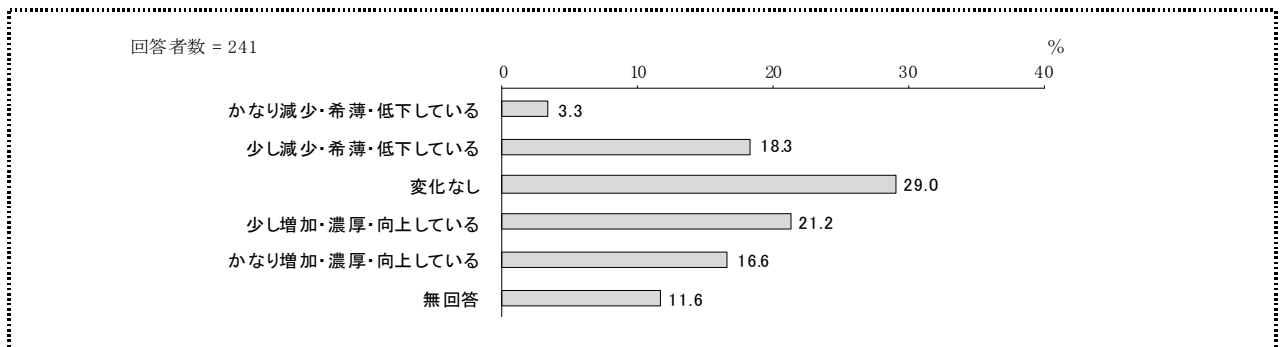
○全体集計



⑨ コミュニケーション能力の必要性

“減少・希薄・低下している”の割合が21.6%、「変化なし」の割合が29.0%，“増加・濃厚・向上している”の割合が37.8%となっています。

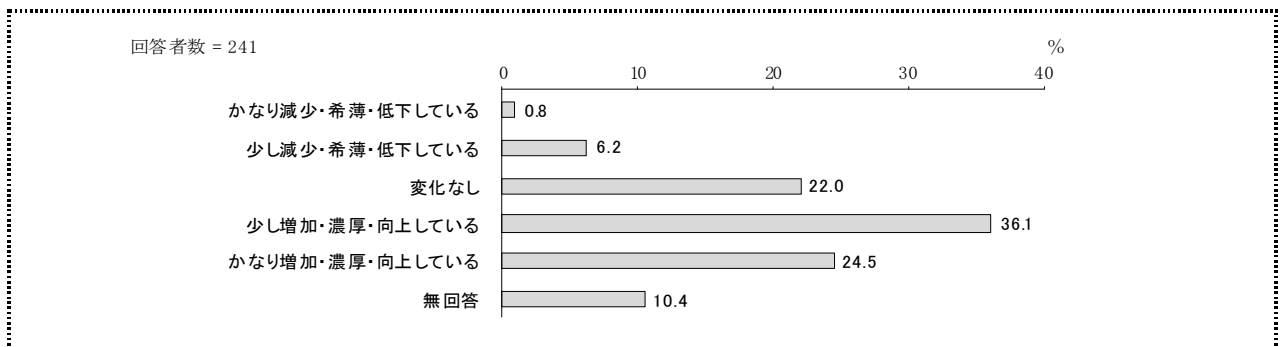
○全体集計



⑩ 語学力の必要性

“減少・希薄・低下している”の割合が7.0%、「変化なし」の割合が22.0%，“増加・濃厚・向上している”の割合が60.6%となっています。

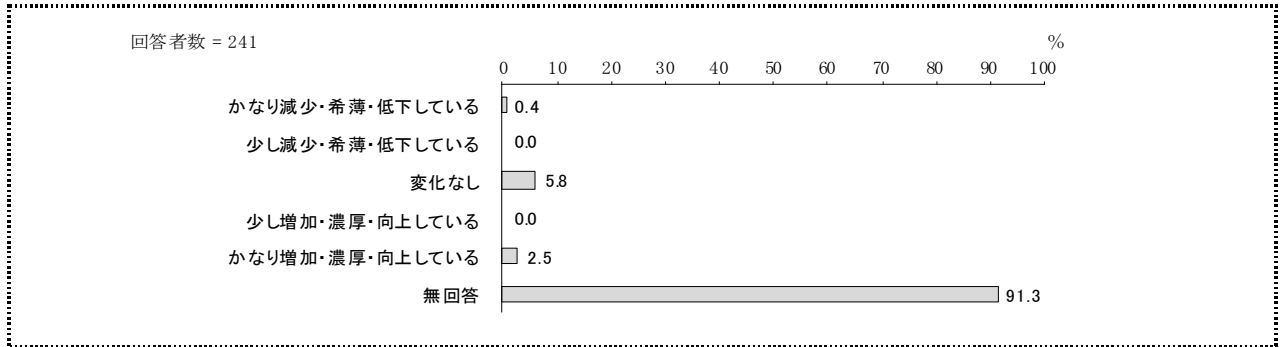
○全体集計



⑪ その他

“減少・希薄・低下している”の割合が0.4%、「変化なし」の割合が5.8%，“増加・濃厚・向上している”の割合が2.5%となっています。

○全体集計



問 15 次の教育施策や教育事業について、あなたは、今後芦屋市で力を入れて行う必要があると思いますか。

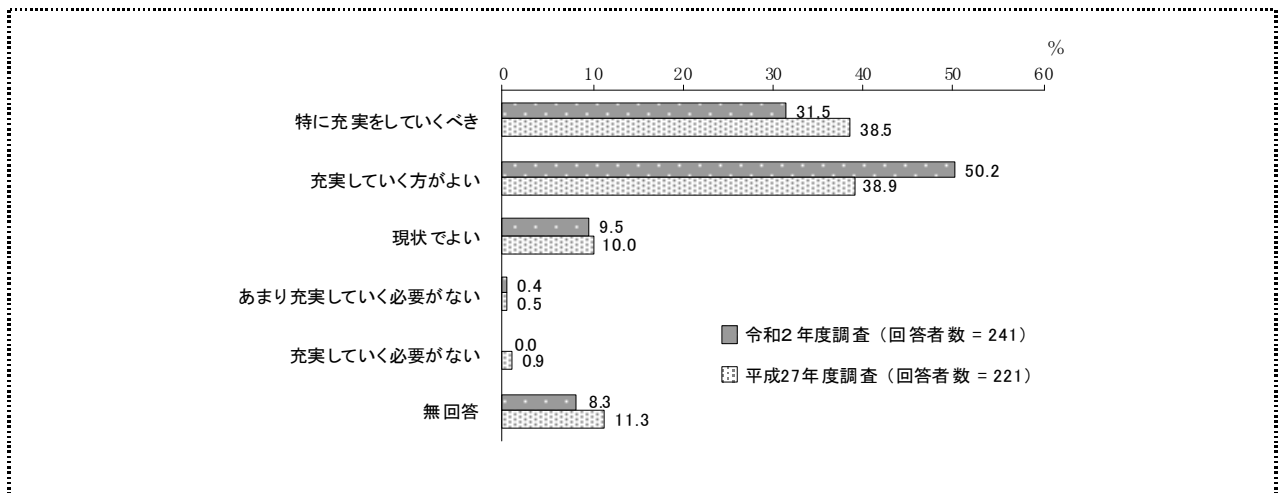
(①～⑳の各項目について、あてはまるものに、それぞれひとつだけに○)

① 子どもたちが、「わかる」と実感できる授業の実施

「特に充実をしていくべき」と「充実していく方がよい」をあわせた“充実をしていくべき”の割合が81.7%、「現状でよい」の割合が9.5%、「あまり充実していく必要がない」と「充実していく必要がない」をあわせた“充実していく必要がない”の割合が0.4%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計

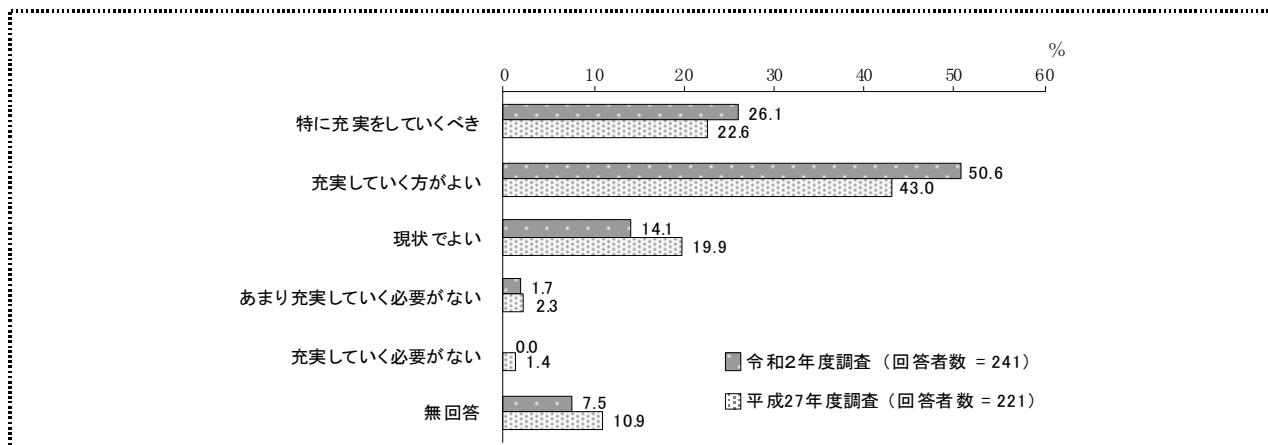


② 少人数・習熟度別学習など、多様な形態での学習の実施

“充実をしていくべき”の割合が76.7%、「現状でよい」の割合が14.1%，“充実していく必要がない”の割合が1.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が増加し、「現状でよい」の割合が減少しています。

○全体集計

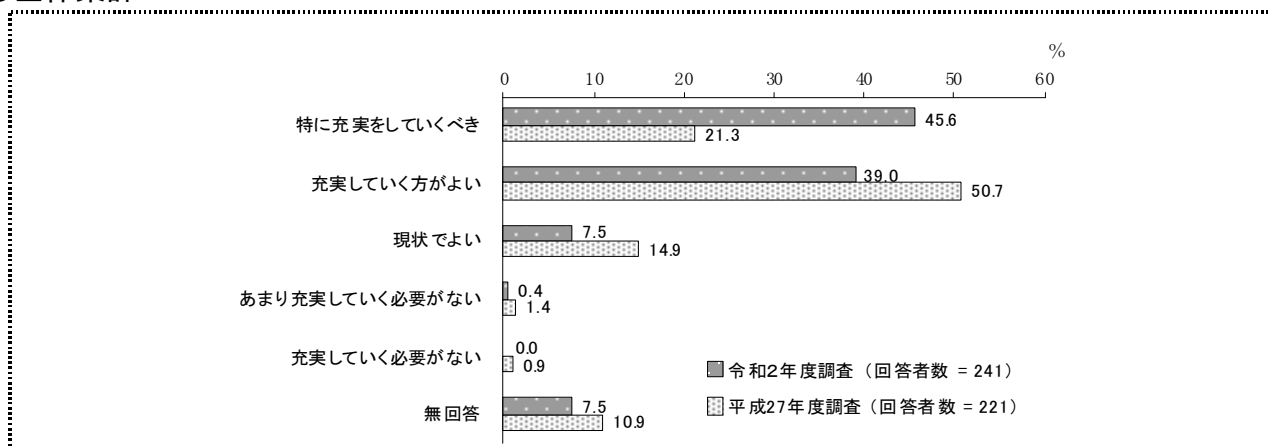


③ コンピュータなどのICT機器を活用した授業の推進

“充実をしていくべき”の割合が84.6%、「現状でよい」の割合が7.5%，“充実していく必要がない”の割合が0.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が増加し、「現状でよい」の割合が減少しています。

○全体集計

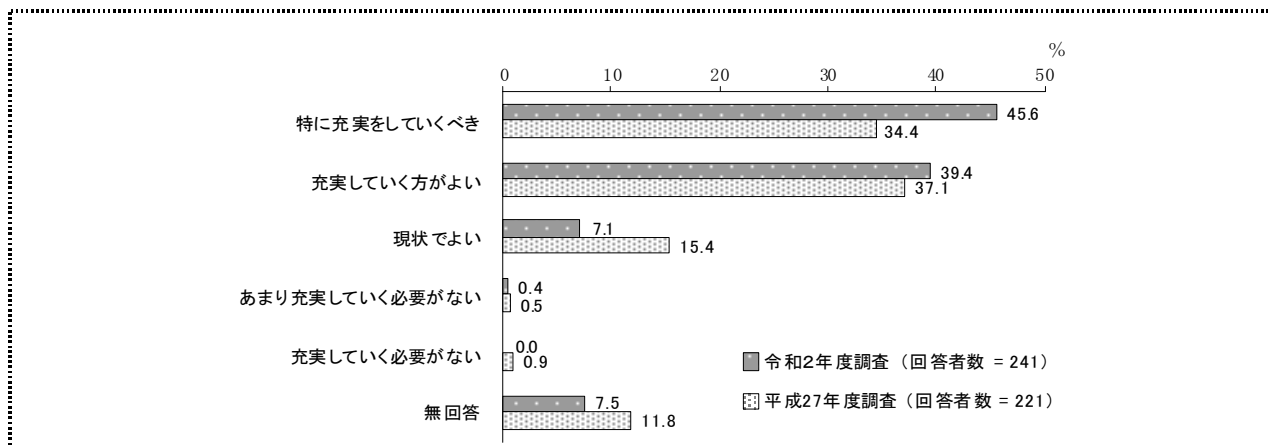


④ 情報モラル教育の推進（携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方）

“充実をしていくべき”の割合が85.0%、「現状でよい」の割合が7.1%，“充実していく必要がない”の割合が0.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が増加し、「現状でよい」の割合が減少しています。

○全体集計

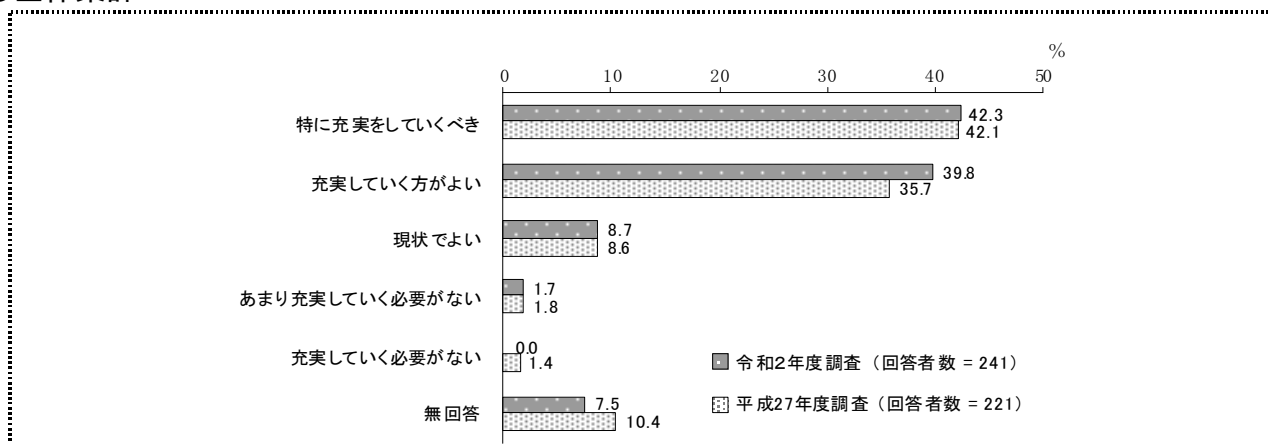


⑤ 外国語教育の充実

“充実をしていくべき”の割合が82.1%、「現状でよい」の割合が8.7%，“充実していく必要がない”の割合が1.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計

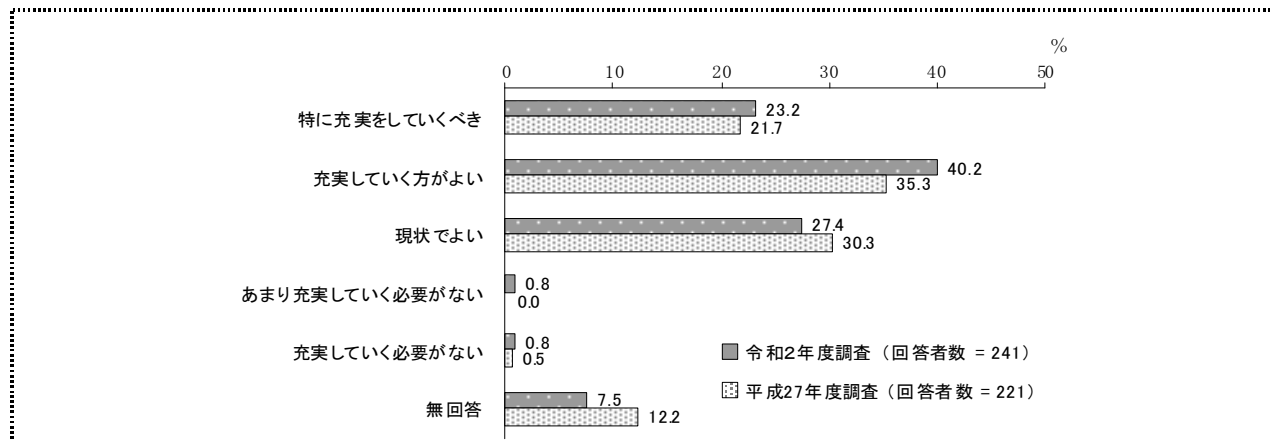


⑥ 学校園における読書の取組の推進

“充実をしていくべき”の割合が63.4%、「現状でよい」の割合が27.4%，“充実していく必要がない”の割合が1.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が増加しています。

○全体集計

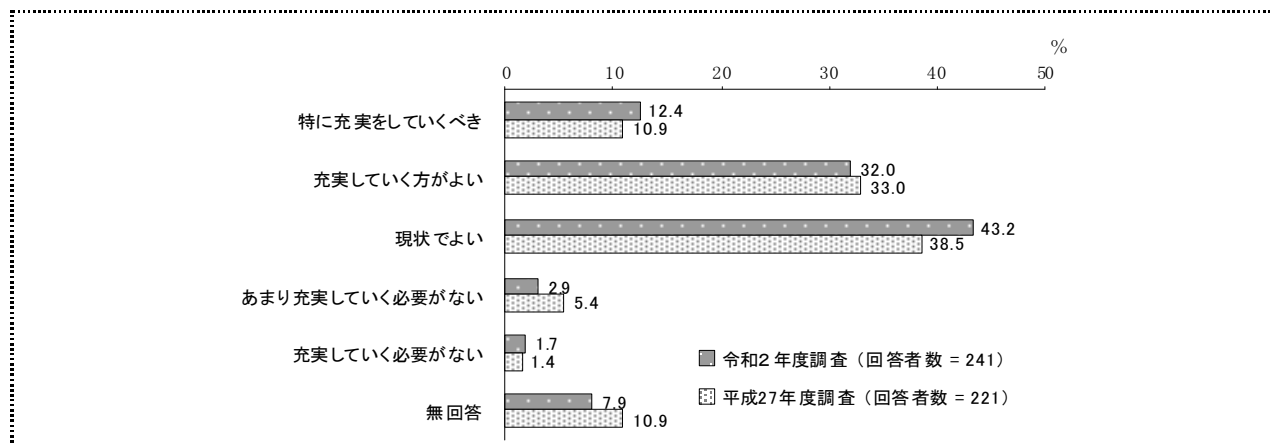


⑦ 家庭・地域と一体となった「読書のまちづくり」の推進

“充実をしていくべき”の割合が44.4%、「現状でよい」の割合が43.2%，“充実していく必要がない”の割合が4.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計

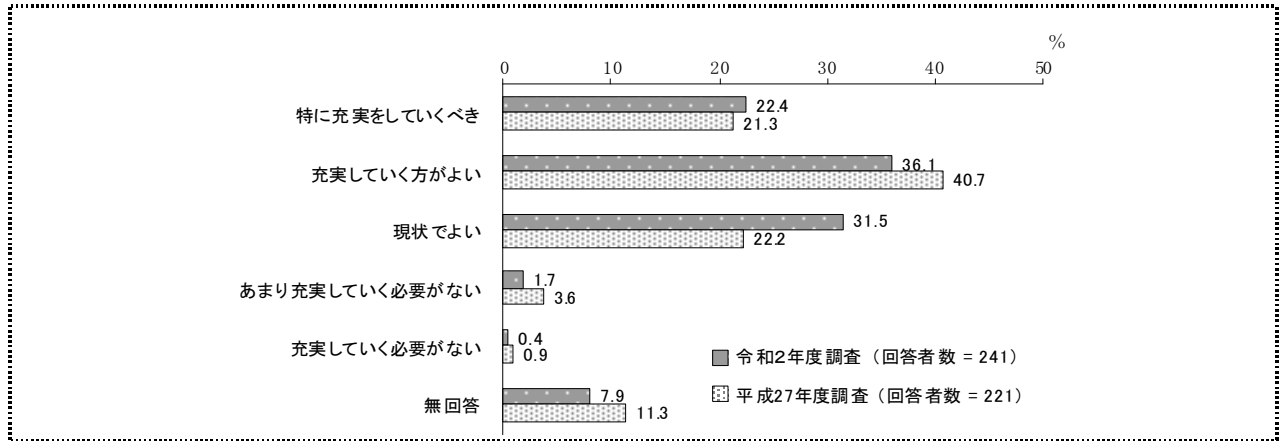


⑧ 豊かな心をはぐくむ道德教育の推進

“充実をしていくべき”の割合が58.5%、「現状でよい」の割合が31.5%，“充実していく必要がない”の割合が2.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。

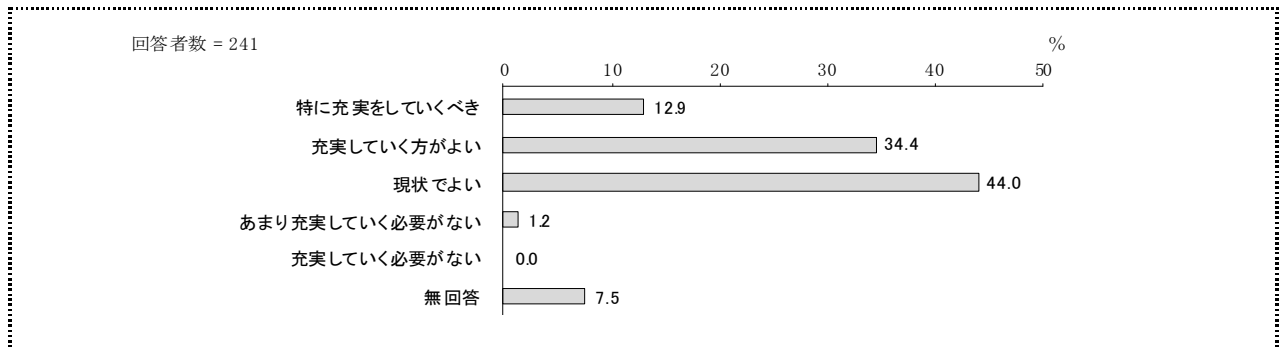
○全体集計



⑨ 阪神・淡路大震災を風化させないなど、防災教育の実施

“充実をしていくべき”の割合が47.3%、「現状でよい」の割合が44.0%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

○全体集計

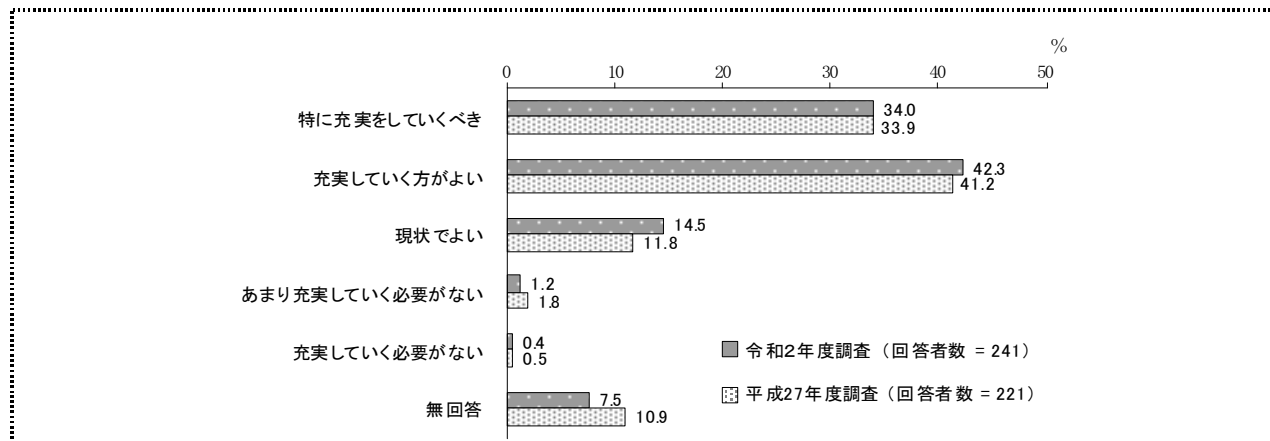


⑩ いじめや暴力行為などの解消を図る取組の推進

“充実をしていくべき”の割合が76.3%、「現状でよい」の割合が14.5%，“充実していく必要がない”の割合が1.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計

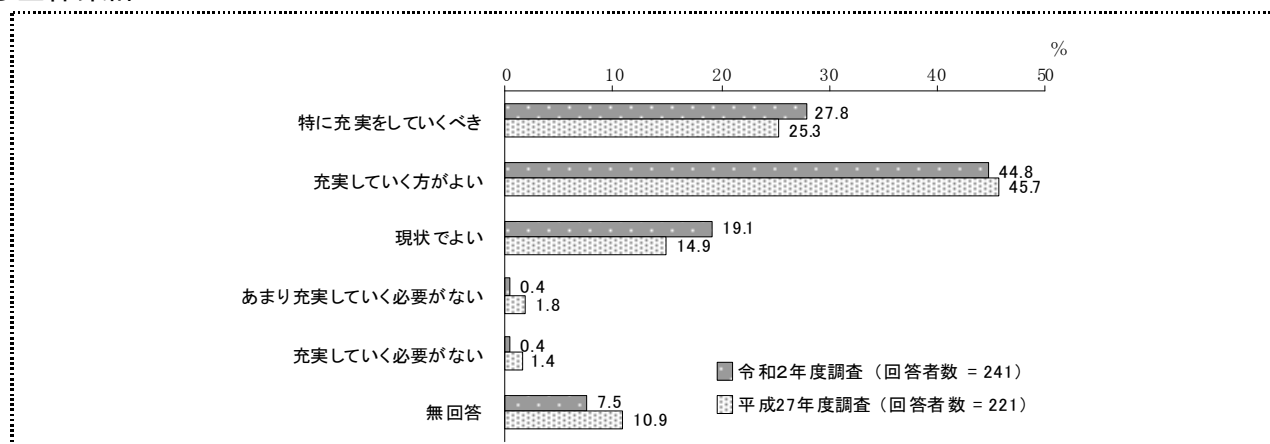


⑪ 不登校児童生徒へのケアや支援の充実

“充実をしていくべき”の割合が72.6%、「現状でよい」の割合が19.1%，“充実していく必要がない”の割合が0.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計

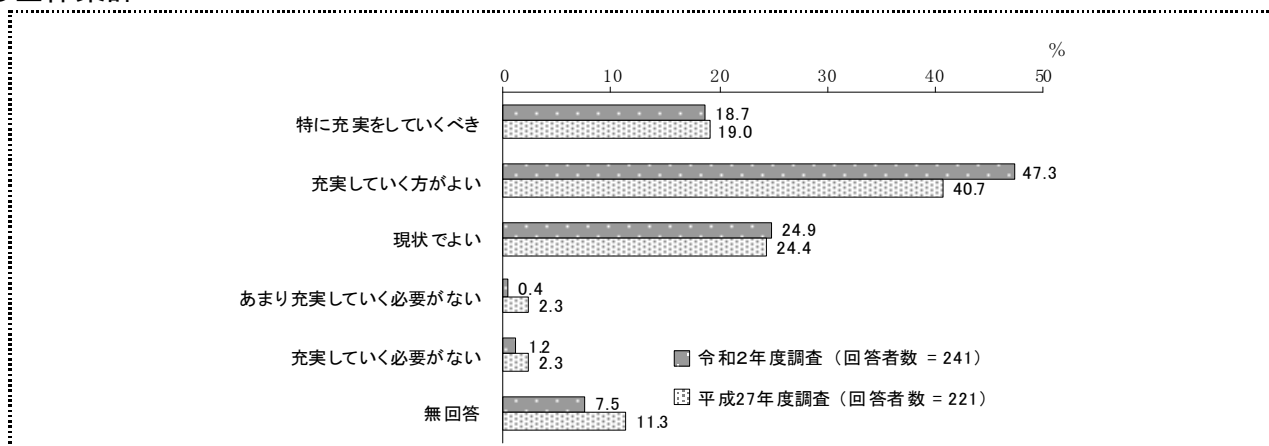


⑫ 障がいの有無に関わらず子どもたちが共に学ぶことができる仕組みづくり

“充実をしていくべき”の割合が66.0%、「現状でよい」の割合が24.9%，“充実していく必要がない”の割合が1.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が増加しています。

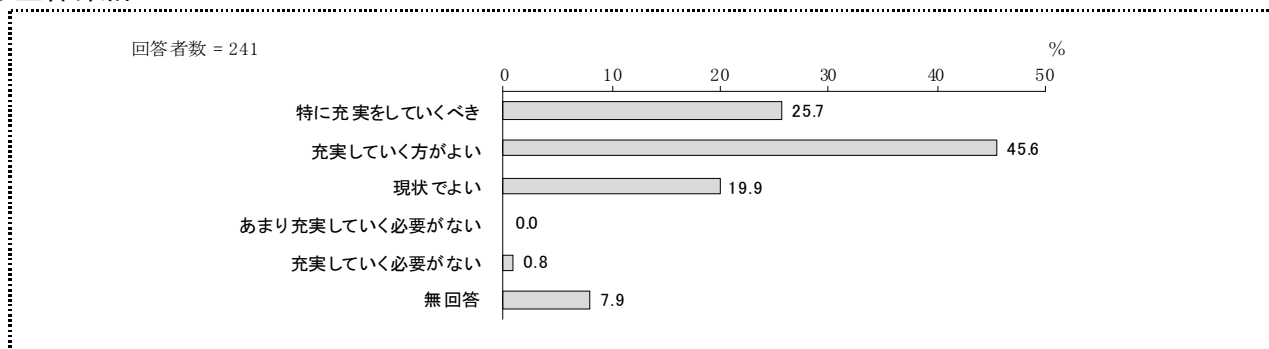
○全体集計



⑬ すべての子どもが公平で質の高い教育を受けられる支援の充実

“充実をしていくべき”の割合が71.3%、「現状でよい」の割合が19.9%，“充実していく必要がない”の割合が0.8%となっています。

○全体集計

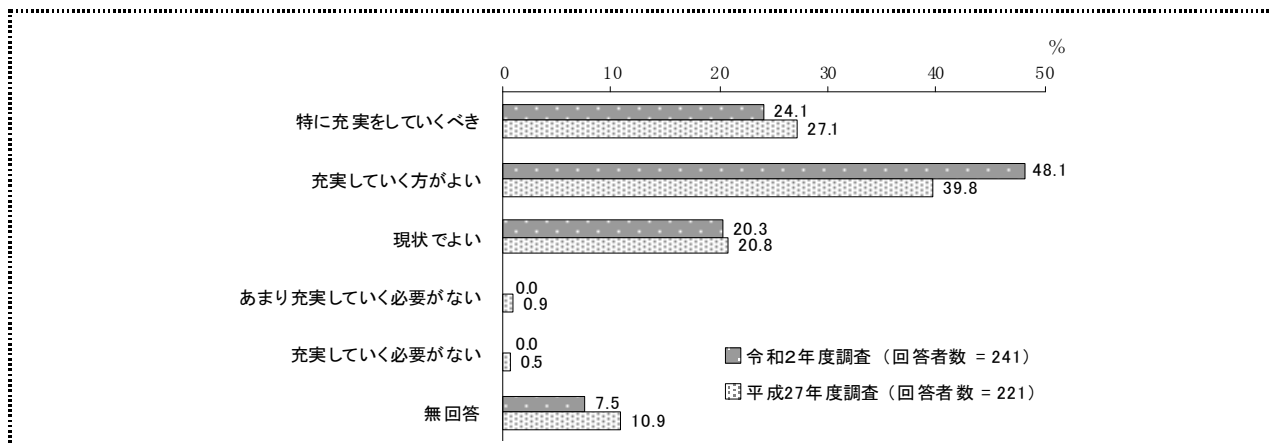


⑭ 子どもの体力向上の取組の充実

“充実をしていくべき”の割合が72.2%、「現状でよい」の割合が20.3%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が増加しています。

○全体集計

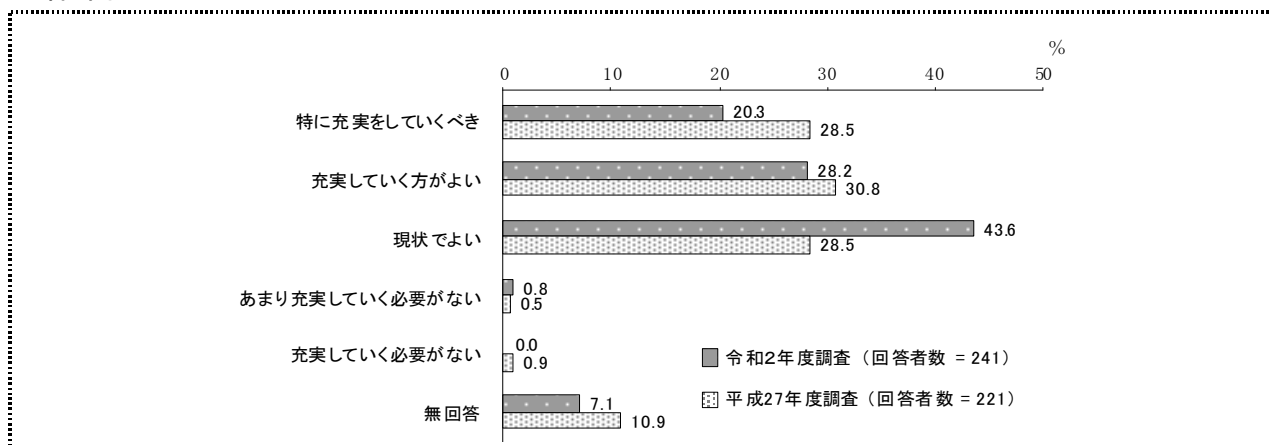


⑮ 学校給食の充実（食育を含む）

“充実をしていくべき”の割合が48.5%、「現状でよい」の割合が43.6%，“充実していく必要がない”の割合が0.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加し，“充実をしていくべき”の割合が減少しています。

○全体集計

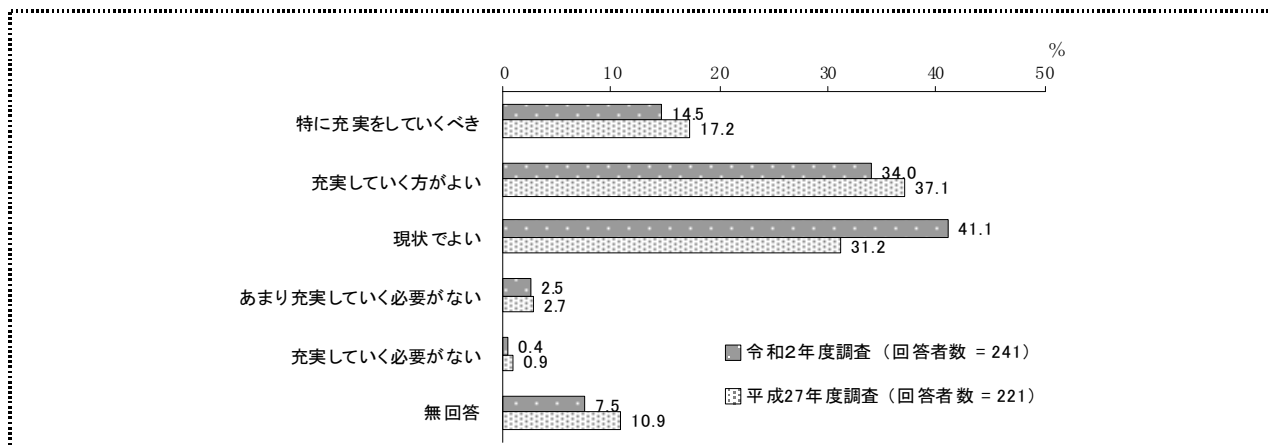


⑯ 小学校と中学校との連携の推進

“充実をしていくべき”の割合が48.5%、「現状でよい」の割合が41.1%，“充実していく必要がない”の割合が2.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加し，“充実をしていくべき”の割合が減少しています。

○全体集計

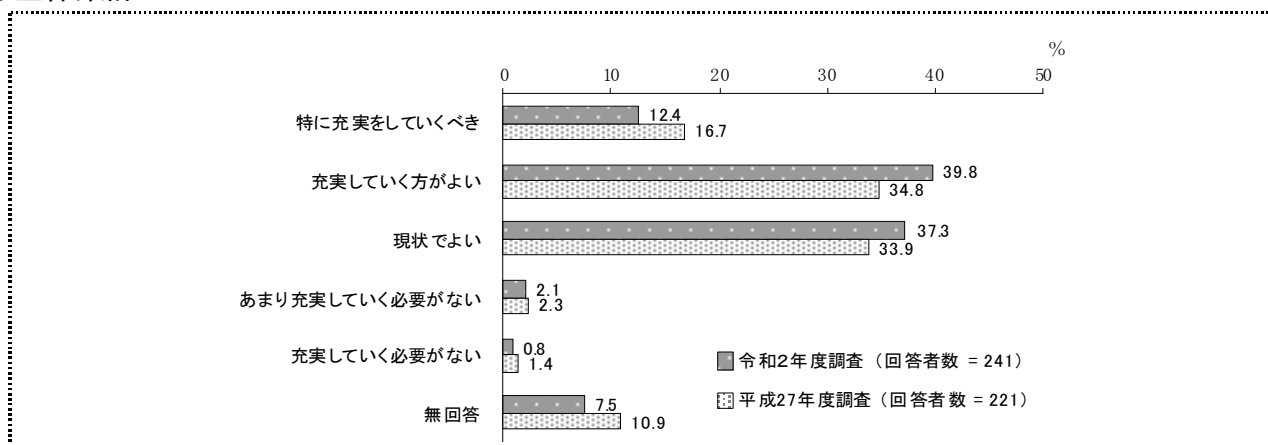


⑰ 幼稚園、保育所（園）、認定こども園と小学校との連携の推進

“充実をしていくべき”の割合が52.2%、「現状でよい」の割合が37.3%，“充実していく必要がない”の割合が2.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計

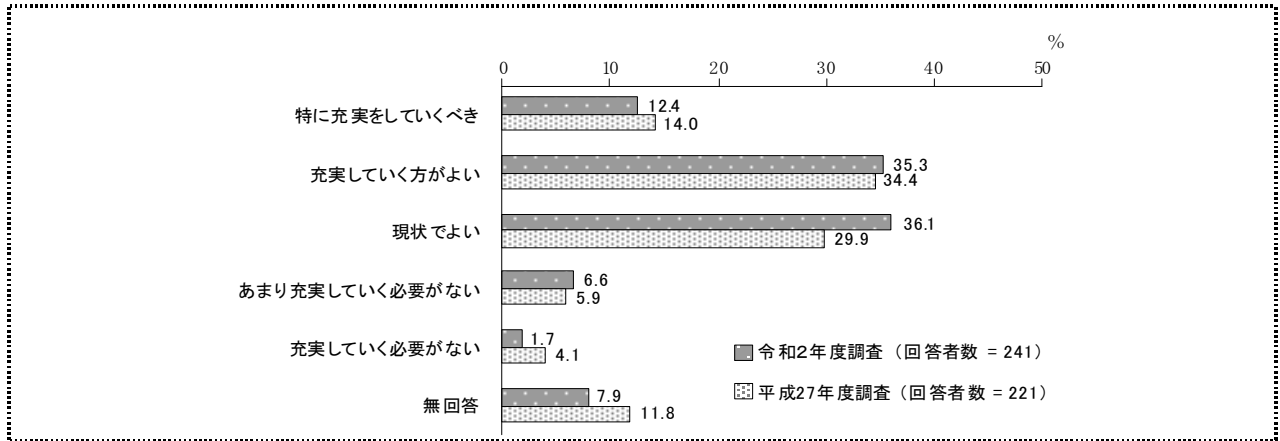


⑱ 認定こども園の推進

“充実をしていくべき”の割合が47.7%、「現状でよい」の割合が36.1%，“充実していく必要がない”の割合が8.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計

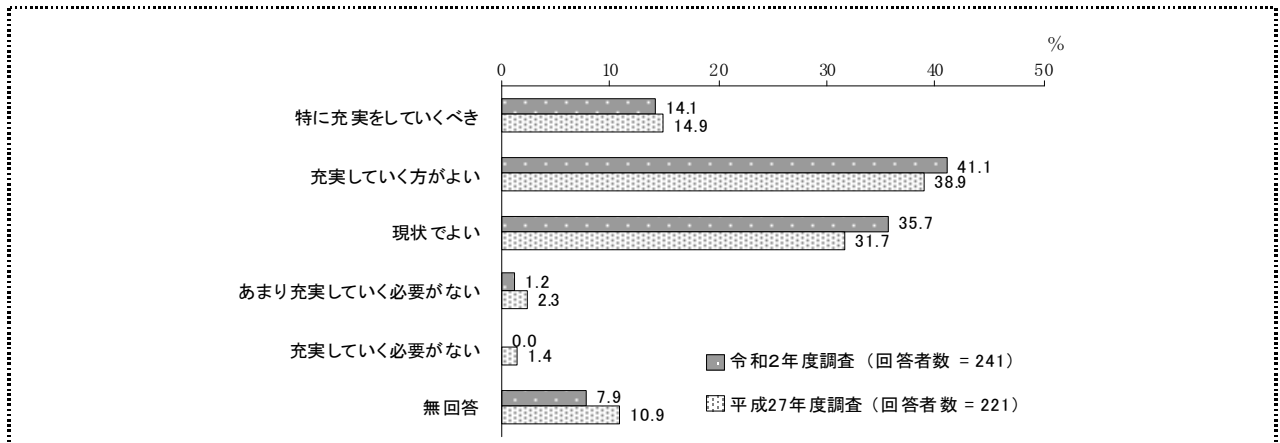


⑲ 発達や学びの連続性をふまえた幼児教育の推進

“充実をしていくべき”の割合が55.2%、「現状でよい」の割合が35.7%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計

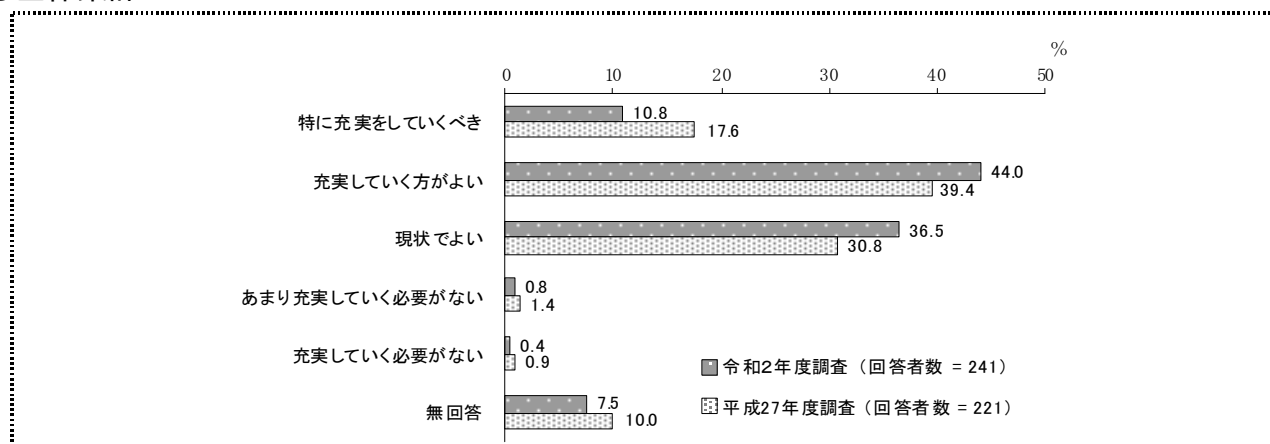


⑳ 学校園・家庭・地域が連携して子育てをしていくための取組の充実

“充実をしていくべき”の割合が54.8%、「現状でよい」の割合が36.5%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計

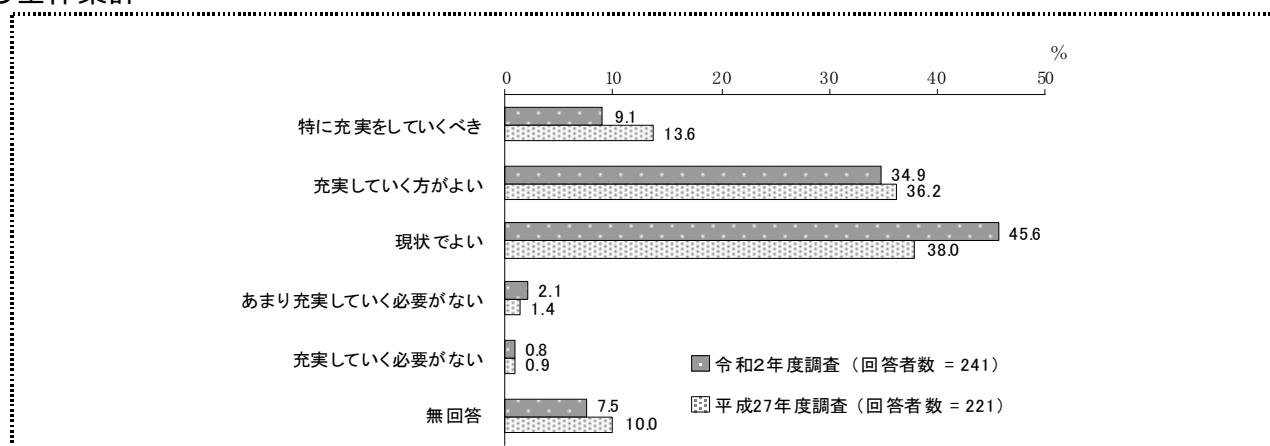


㉑ 地域や児童生徒の実態や課題に応じた人権教育の推進

“充実をしていくべき”の割合が44.0%、「現状でよい」の割合が45.6%，“充実していく必要がない”の割合が2.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加し，“充実をしていくべき”の割合が減少しています。

○全体集計

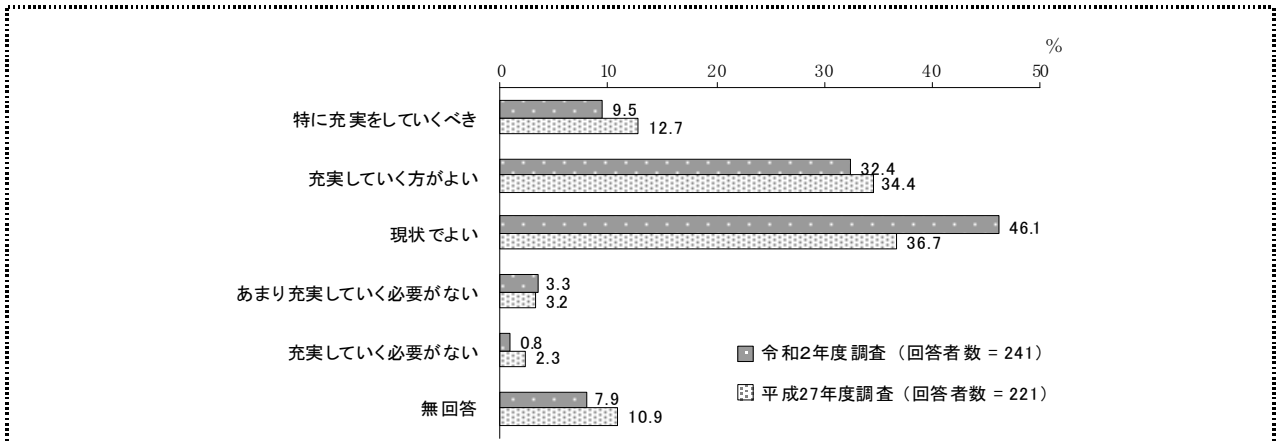


㉒ 地域の指導者等を活用した授業の実施

“充実をしていくべき”の割合が41.9%、「現状でよい」の割合が46.1%，“充実していく必要がない”の割合が4.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加し，“充実をしていくべき”の割合が減少しています。

○全体集計

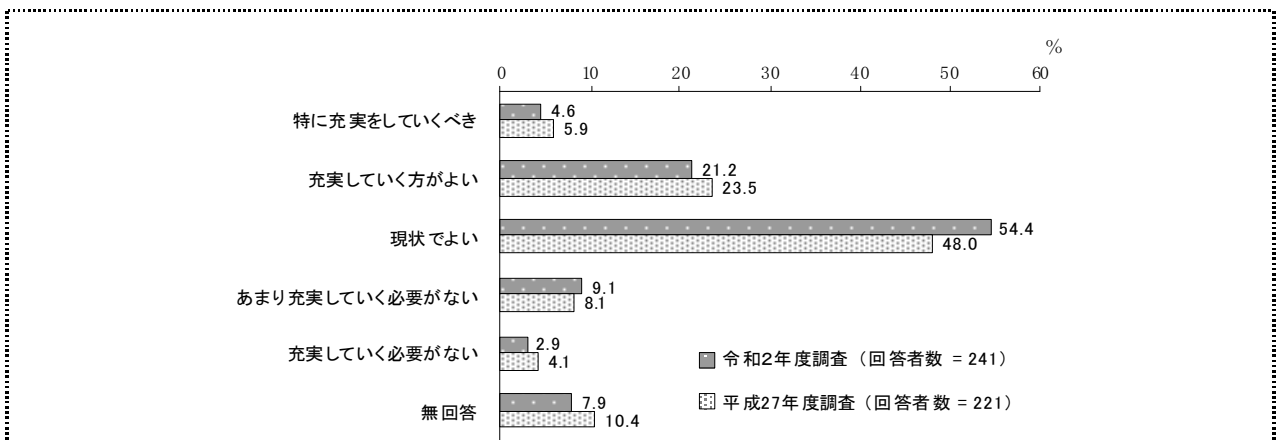


㉓ 家庭・地域の教育力向上を図るための講演会、講座、フォーラムの充実

“充実をしていくべき”の割合が25.8%、「現状でよい」の割合が54.4%，“充実していく必要がない”の割合が12.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計

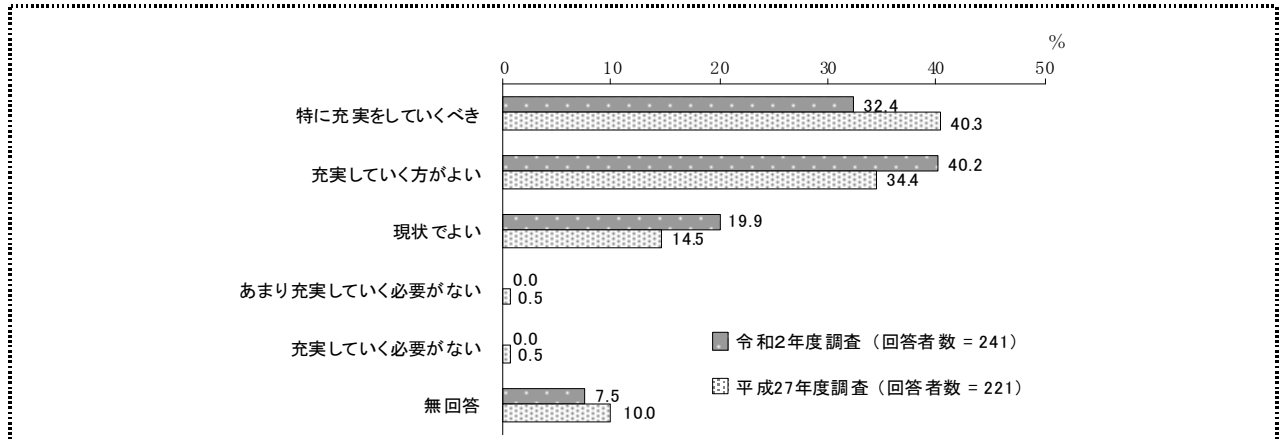


㉔ 教職員の資質や指導力の向上

“充実をしていくべき”の割合が72.6%、「現状でよい」の割合が19.9%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計

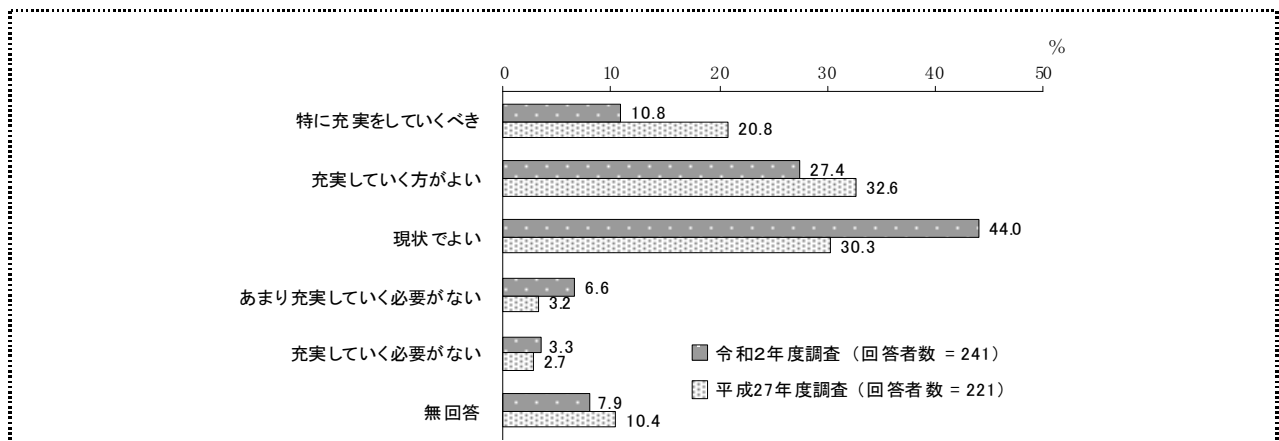


㉕ 放課後や土曜日などを活用した教育活動の実施

“充実をしていくべき”の割合が38.2%、「現状でよい」の割合が44.0%，“充実していく必要がない”の割合が9.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加し，“充実をしていくべき”の割合が減少しています。

○全体集計

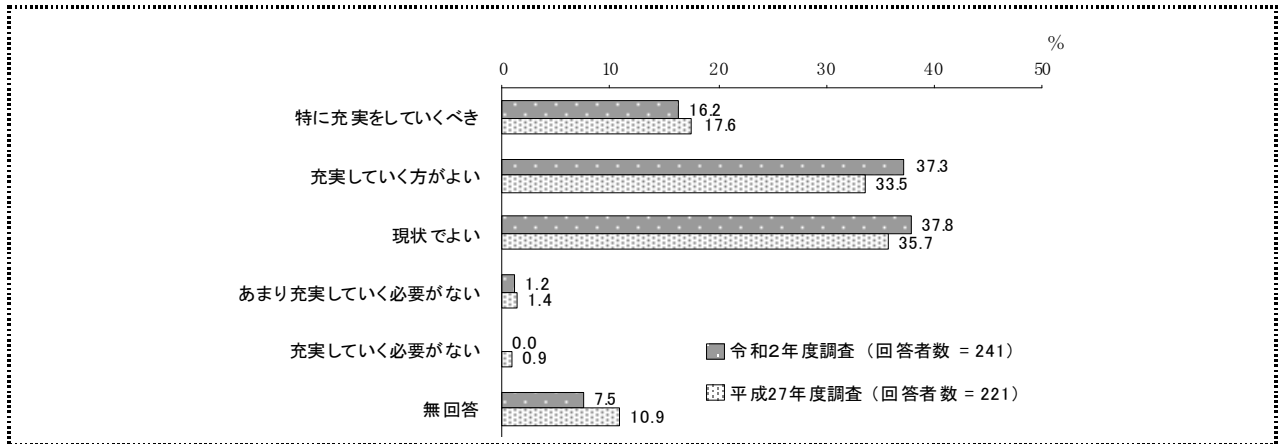


㉔ 学校園の適正規模や適正配置についての検討

“充実をしていくべき”の割合が53.5%、「現状でよい」の割合が37.8%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計

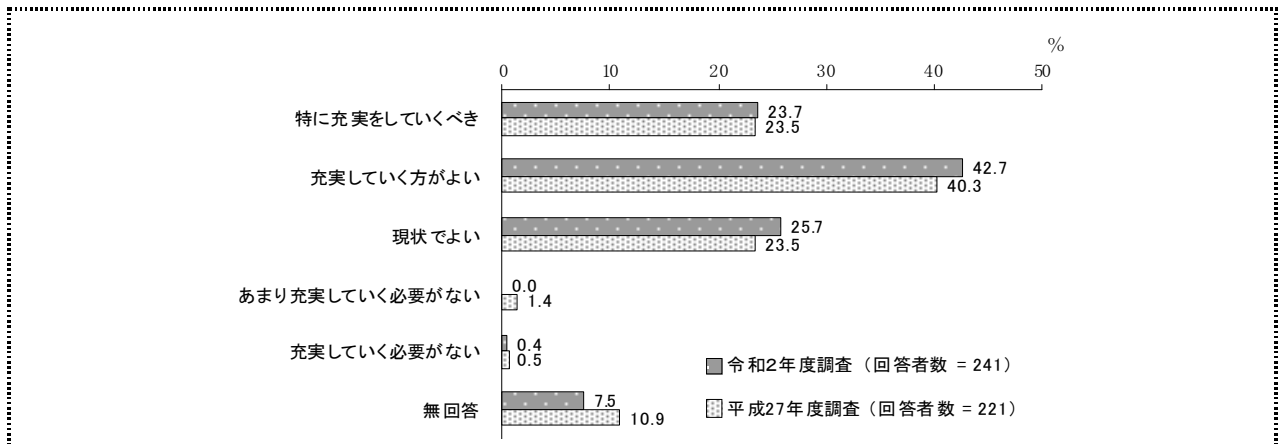


㉕ 学校校舎・施設の老朽化対策の実施

“充実をしていくべき”の割合が66.4%、「現状でよい」の割合が25.7%，“充実していく必要がない”の割合が0.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計

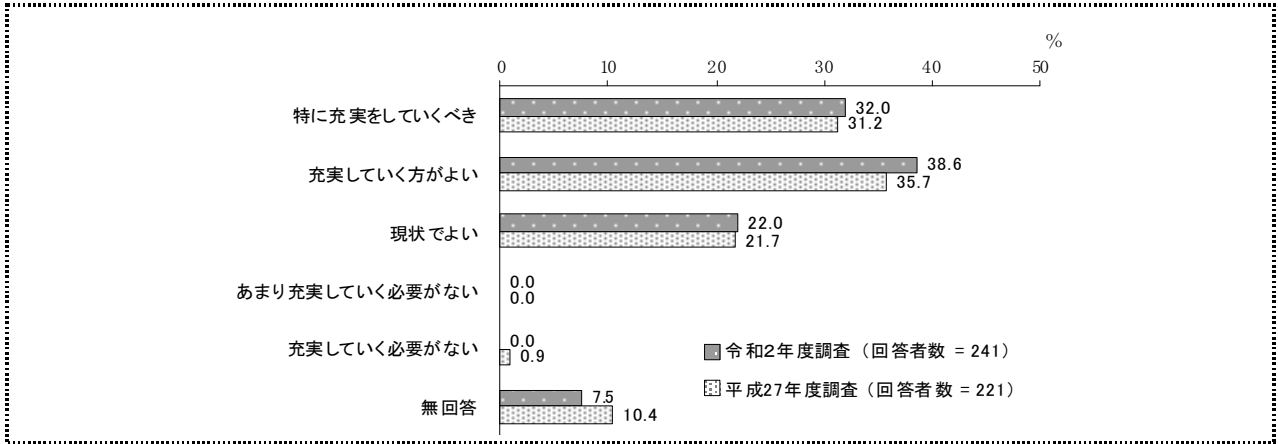


㊦ 子どもの通学路の安全確保に係る取組の実施

“充実をしていくべき”の割合が70.6%、「現状でよい」の割合が22.0%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計

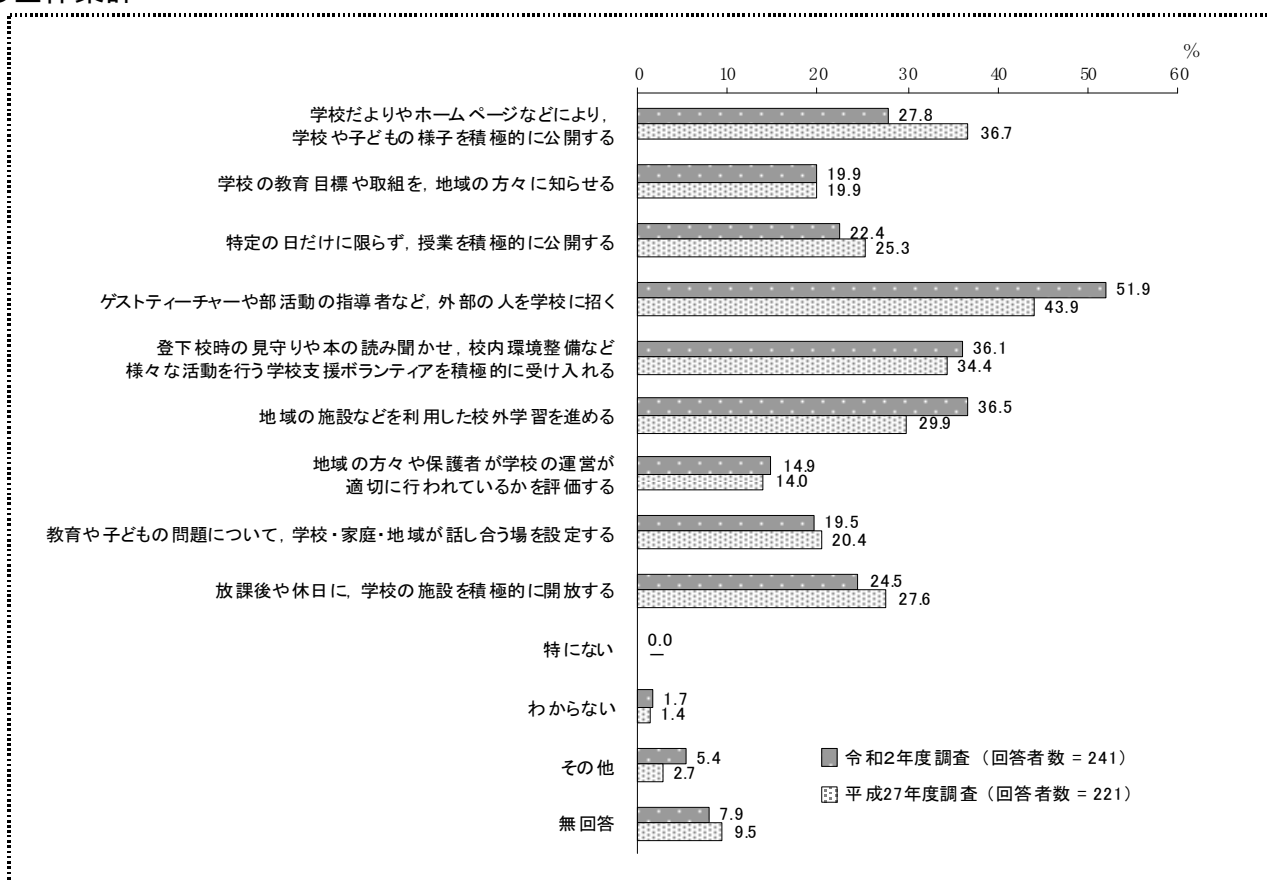


問 16 地域に開かれた学校にするために、あなたは何が大切だと思いますか。 (主なもの3つに○)

「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「地域の施設などを利用した校外学習を進める」の割合が 36.5%、「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」の割合が 36.1%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」、「地域の施設などを利用した校外学習を進める」の割合が増加し、「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」の割合が減少しています。

○全体集計

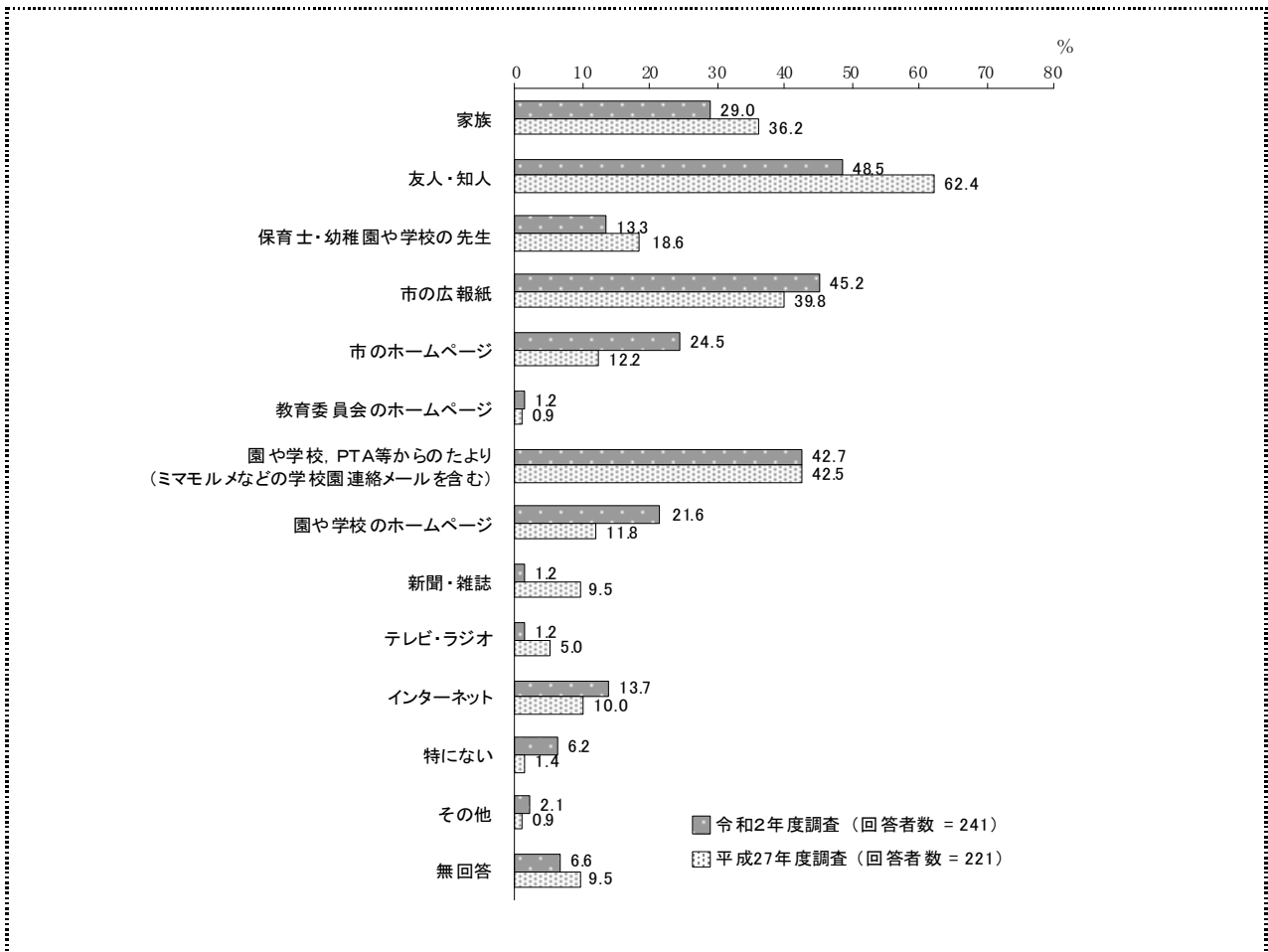


問 17 あなたは、芦屋市の教育や子育てに関する情報をどこで得ていますか。
 (あてはまるすべてに○)

「友人・知人」の割合が48.5%と最も高く、次いで「市の広報紙」の割合が45.2%、「園や学校、PTA等からのたより（ミマモルメなどの学校園連絡メールを含む）」の割合が42.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「市の広報紙」、「市のホームページ」、「園や学校のホームページ」の割合が増加し、「家族」、「友人・知人」、「保育士・幼稚園や学校の先生」、「新聞・雑誌」の割合が減少しています。

○全体集計



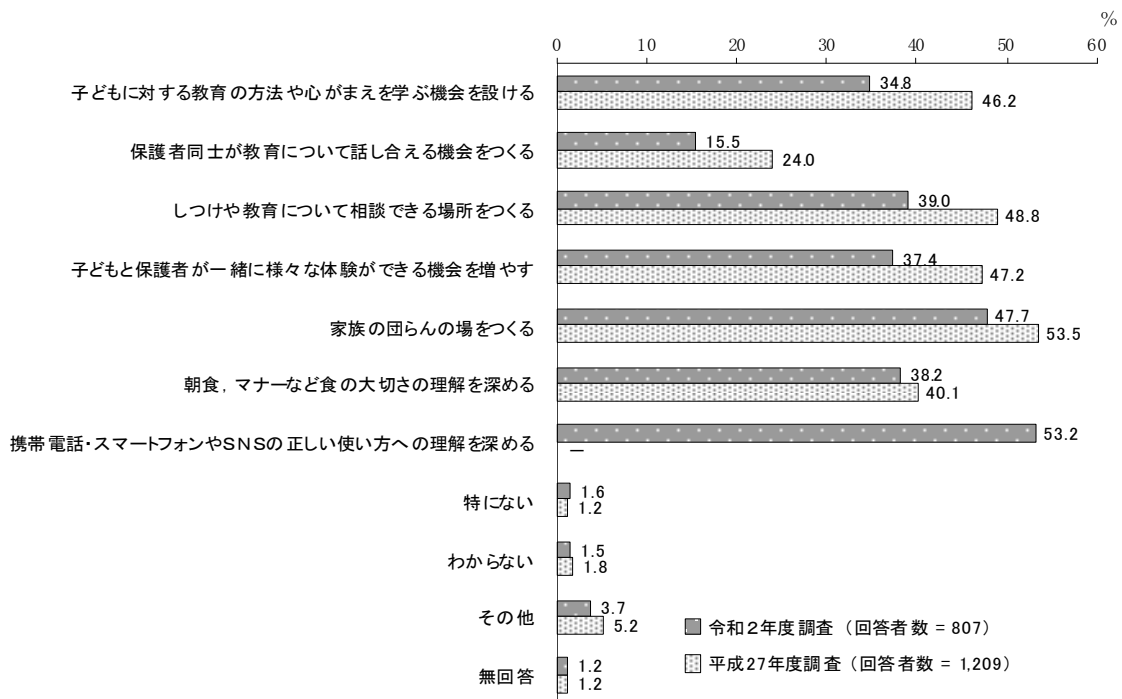
[ここからはすべての方が回答してください]

問 18 あなたは、家庭教育にとってどのような取組が必要だと思いますか。
(主なものを3つに○)

「携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方への理解を深める」の割合が53.2%と最も高く、次いで「家族の団らんの場をつくる」の割合が47.7%、「しつけや教育について相談できる場所をつくる」の割合が39.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ機会を設ける」、「保護者同士が教育について話し合える機会をつくる」、「しつけや教育について相談できる場所をつくる」、「子どもと保護者が一緒に様々な体験ができる機会を増やす」、「家族の団らんの場をつくる」の割合が減少しています。

○全体集計



※「携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方への理解を深める」は、令和2年度調査で追加されました。

○年代別

年代別でみると、他と比べ、20歳代で「家族の団らんの場をつくる」の割合が、30歳代で「子どもと保護者が一緒に様々な体験ができる機会を増やす」の割合が高くなっています。また、50歳代以上で「しつけや教育について相談できる場所をつくる」の割合が高くなっています。

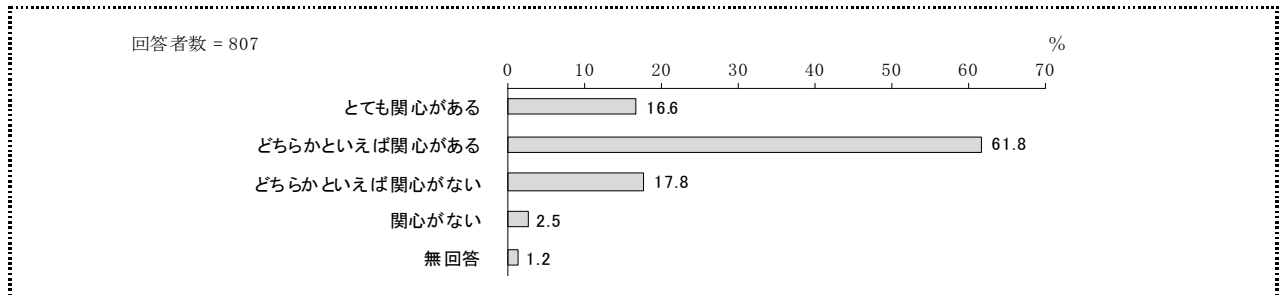
単位：％

区分	回答者数(件)	子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ機会を設ける	保護者同士が教育について話し合える機会をつくる	しつけや教育について相談できる場所をつくる	子どもと保護者が一緒に様々な体験ができる機会を増やす	家族の団らんの場をつくる	朝食、マナーなど食の大切さの理解を深める	携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方への理解を深める	特にない	わからない	その他	無回答
10歳代	8	50.0	37.5	—	25.0	62.5	25.0	75.0	—	—	—	—
20歳代	55	36.4	14.5	36.4	41.8	70.9	25.5	49.1	1.8	1.8	1.8	1.8
30歳代	126	36.5	11.9	31.7	47.6	57.1	28.6	54.8	0.8	1.6	4.8	0.8
40歳代	132	30.3	16.7	31.8	39.4	59.1	37.9	53.0	1.5	—	3.8	—
50歳代	147	41.5	15.6	45.6	32.7	40.8	38.1	55.1	0.7	2.7	2.0	2.0
60歳代	174	32.2	13.8	43.7	36.8	39.7	42.0	48.9	3.4	1.1	6.3	0.6
70歳以上	160	31.9	18.1	42.5	33.1	36.9	47.5	55.6	1.3	1.9	2.5	2.5

問 19 あなたは地域に関心がありますか。(ひとつだけに○)

「とても関心がある」と「どちらかといえば関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が78.4%、「どちらかといえば関心がない」と「関心がない」をあわせた“関心がない”の割合が20.3%となっています。

○全体集計

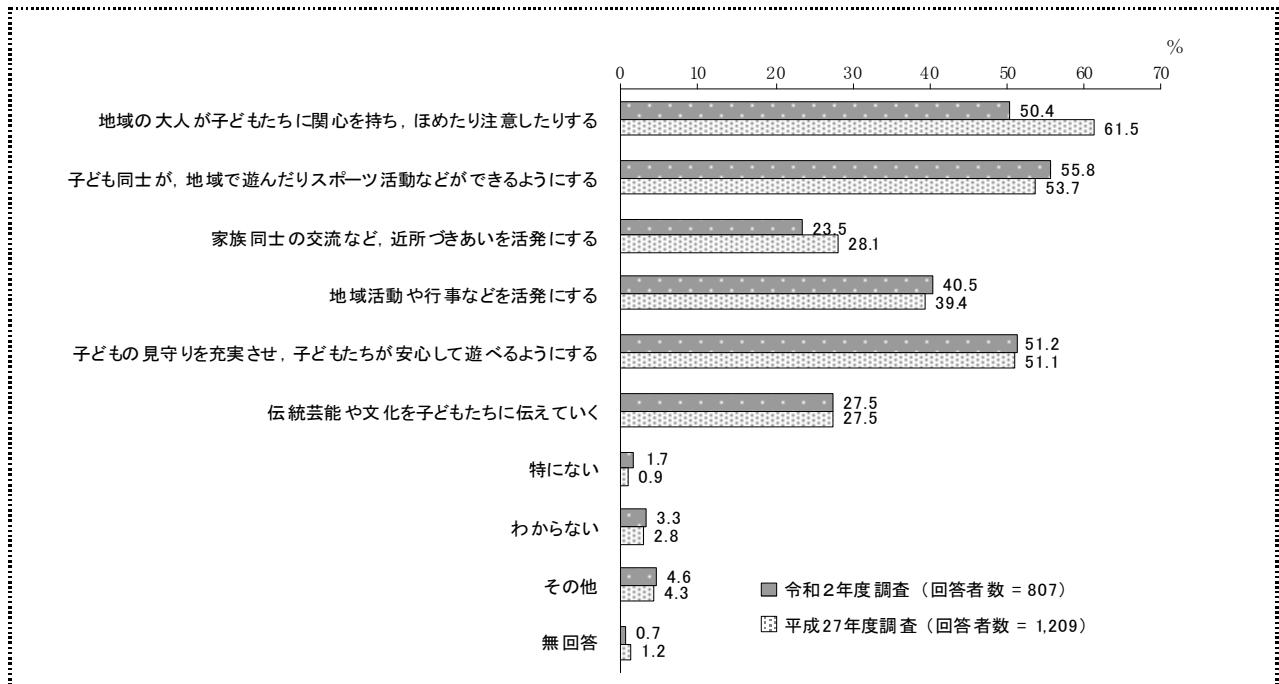


問 20 あなたは、「地域の教育力」を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。(主なものを3つに○)

「子ども同士が、地域で遊んだりスポーツ活動などができるようにする」の割合が55.8%と最も高く、次いで「子どもの見守りを充実させ、子どもたちが安心して遊べるようにする」の割合が51.2%、「地域の大人が子どもたちに関心を持ち、ほめたり注意したりする」の割合が50.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「地域の大人が子どもたちに関心を持ち、ほめたり注意したりする」の割合が減少しています。

○全体集計



○年代別

年代別でみると、他と比べ、20歳代で「子ども同士が、地域で遊んだりスポーツ活動などができるようにする」、「子どもの見守りを充実させ、子どもたちが安心して遊べるようにする」の割合が高くなっています。また、50歳代で「地域の大人が子どもたちに関心を持ち、ほめたり注意したりする」、「伝統芸能や文化を子どもたちに伝えていく」の割合が高くなっています。

単位：％

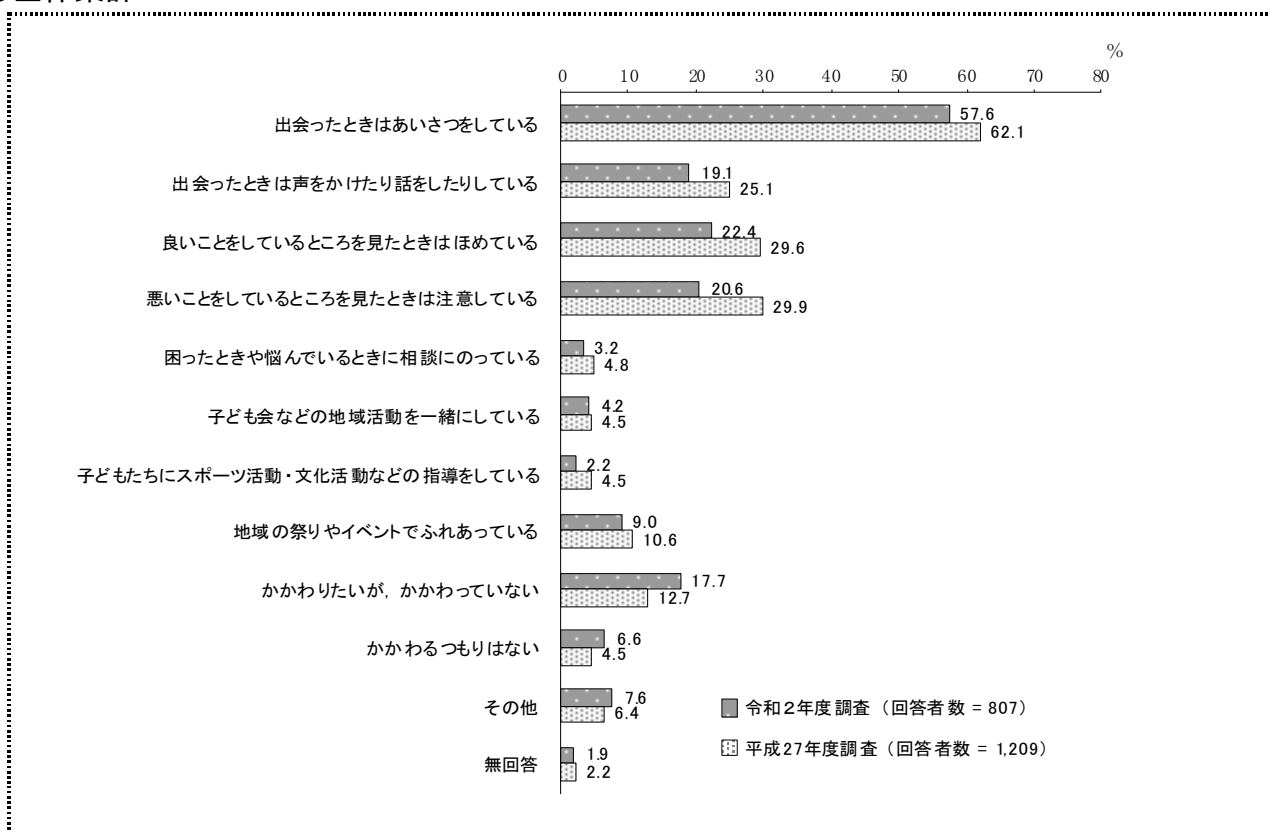
区分	回答者数(件)	地域の大人が子どもたちに関心を持ち、ほめたり注意したりする	子ども同士が、地域で遊んだりスポーツ活動などができるようにする	家族同士の交流など、近所つきあいを活発にする	地域活動や行事などを活発にする	子どもの見守りを充実させ、子どもたちが安心して遊べるようにする	伝統芸能や文化を子どもたちに伝えていく	特にない	わからない	その他	無回答
10歳代	8	62.5	37.5	50.0	25.0	37.5	25.0	—	12.5	—	—
20歳代	55	34.5	70.9	30.9	45.5	61.8	16.4	1.8	5.5	3.6	—
30歳代	126	46.8	61.9	21.4	38.9	56.3	29.4	0.8	4.0	4.0	—
40歳代	132	43.2	62.1	24.2	40.2	50.8	28.0	0.8	2.3	5.3	0.8
50歳代	147	56.5	57.1	15.6	44.2	40.1	36.7	2.0	3.4	3.4	0.7
60歳代	174	49.4	47.1	24.7	41.4	54.6	24.1	1.1	4.0	7.5	0.6
70歳以上	160	60.0	50.0	27.5	36.9	51.9	25.0	3.8	1.9	2.5	1.3

問 21 普段、あなたは地域の子どもとどのように接していますか。
(あてはまるすべてに○)

「出会ったときはあいさつをしている」の割合が57.6%と最も高く、次いで「良いことをしているところを見たときはほめている」の割合が22.4%、「悪いことをしているところを見たときは注意している」の割合が20.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「かかわりたいが、かかわっていない」の割合が増加し、「出会ったときは声をかけたり話をしたりしている」、「良いことをしているところを見たときはほめている」、「悪いことをしているところを見たときは注意している」の割合が減少しています。

○全体集計



○年代別

年代別でみると、年代が上がるにつれ「出会ったときは声をかけたり話をしたりしている」、「良いことをしているところを見たときはほめている」、「悪いことをしているところを見たときは注意している」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、20歳代で「かかわりたいが、かかわっていない」の割合が高くなっています。

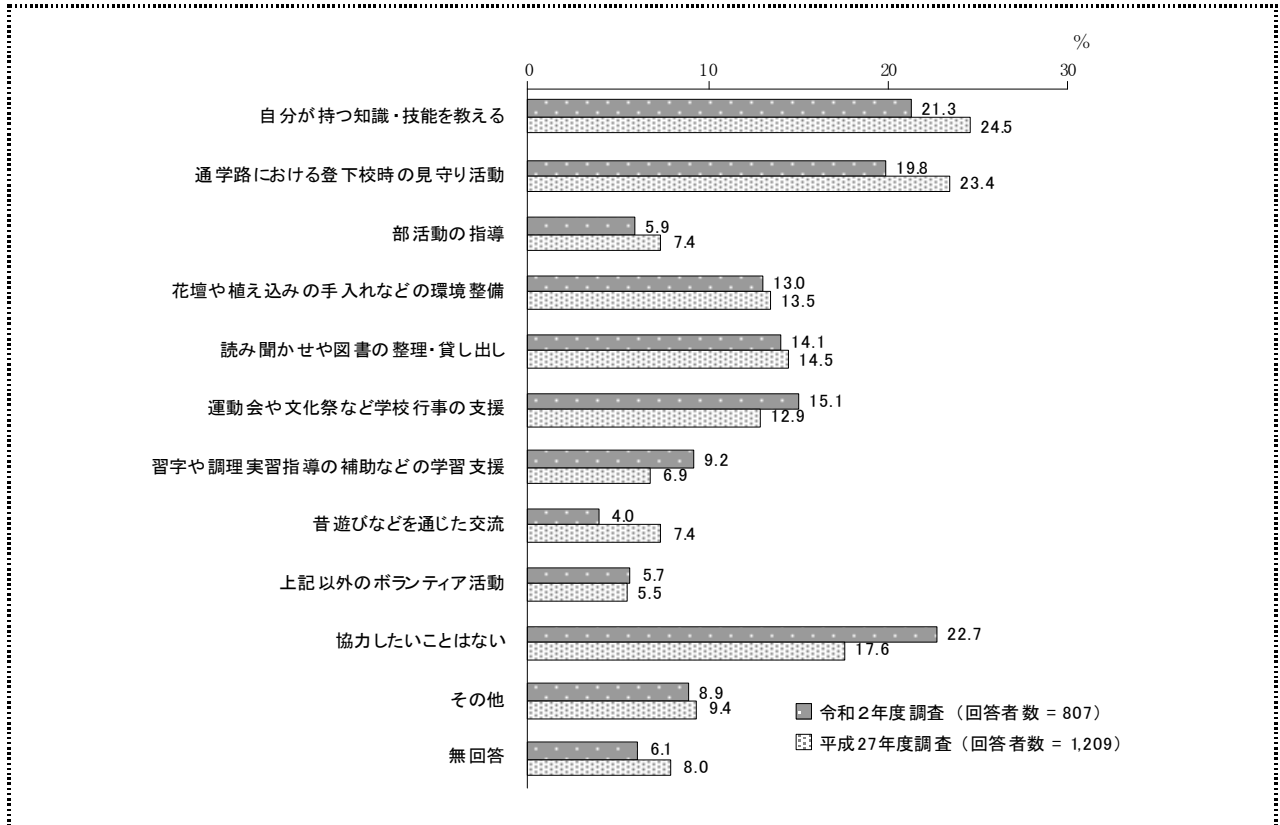
単位：%

区分	回答者数(件)	出会ったときはあいさつをしている	出会ったときは声をかけたり話をしたりしている	出会ったときはほめている	良いことをしているところを見たときはほめている	悪いことをしているところを見たときは注意している	困ったときや悩んでいるときに相談にのっている	一緒にしている	子ども会などの地域活動を文化活動などの指導をしている	子どもたちにスポーツ活動・ふれあっている	地域の祭りやイベントで	かかわりたいが、かかわっていない	かかわるつもりはない	その他	無回答
10歳代	8	37.5	—	12.5	—	12.5	—	—	—	—	—	25.0	25.0	—	—
20歳代	55	29.1	3.6	3.6	5.5	1.8	5.5	1.8	3.6	50.9	9.1	5.5	1.8	—	—
30歳代	126	50.0	13.5	15.1	7.1	4.8	6.3	1.6	8.7	20.6	11.1	7.1	2.4	—	—
40歳代	132	63.6	22.7	19.7	20.5	4.5	8.3	3.0	16.7	15.9	3.8	6.8	0.8	—	—
50歳代	147	64.6	18.4	25.2	21.1	3.4	3.4	2.7	10.9	15.0	4.1	10.2	0.7	—	—
60歳代	174	61.5	18.4	20.1	27.0	2.3	0.6	3.4	6.9	13.2	6.9	6.3	2.3	—	—
70歳以上	160	59.4	27.5	37.5	30.0	1.9	3.8	0.6	5.6	12.5	5.0	8.1	3.1	—	—

問 22 あなたは、今後、地域の学校に対して協力してみたいと思うことは何ですか。
 (あてはまるすべてに○)

「協力したいことはない」の割合が22.7%と最も高く、次いで「自分が持つ知識・技能を教える」の割合が21.3%、「通学路における登下校時の見守り活動」の割合が19.8%となっています。
 平成27年度調査と比較すると、「協力したいことはない」の割合が増加しています。

○全体集計



○年代別

年代別でみると、年齢が下がるにつれ「運動会や文化祭など学校行事の支援」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、40歳代で「通学路における登下校時の見守り活動」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自分が持つ知識・技能を教える	通学路における登下校時の見守り活動	部活動の指導	花壇や植え込みの手入れなどの環境整備	読み聞かせや図書の整理・貸し出し	運動会や文化祭など学校行事の支援	学習支援	習字や調理実習指導の補助などの学習支援	昔遊びなどを通じた交流	上記以外のボランティア活動	協力したいことはない	その他	無回答
10歳代	8	25.0	37.5	—	—	—	25.0	—	—	—	—	37.5	—	—
20歳代	55	20.0	9.1	9.1	9.1	10.9	25.5	9.1	1.8	1.8	30.9	7.3	1.8	
30歳代	126	20.6	23.0	7.1	7.9	14.3	20.6	11.9	6.3	2.4	22.2	4.8	5.6	
40歳代	132	18.9	30.3	9.8	16.7	18.9	19.7	12.1	4.5	7.6	18.2	6.8	—	
50歳代	147	24.5	15.6	6.8	13.6	19.0	15.6	8.8	3.4	7.5	21.8	8.8	4.1	
60歳代	174	24.7	18.4	4.6	16.1	13.2	10.9	7.5	2.9	5.7	27.6	4.0	6.9	
70歳以上	160	17.5	16.9	1.9	11.9	6.9	7.5	6.9	4.4	6.3	18.8	20.6	13.8	

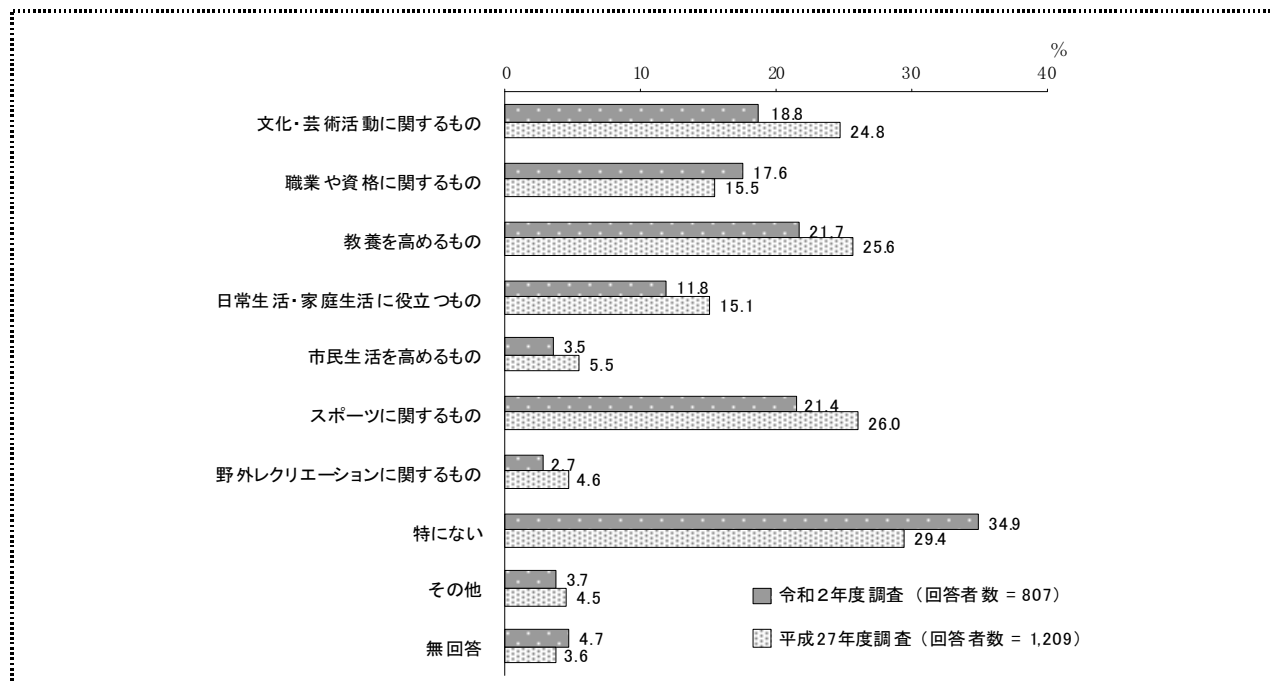
(3) 地域や家庭で行う学習活動などについておうかがいします。

問 23 あなたは現在、仕事や家事、学業のほかに、学んだり活動していること（以下、「学習活動」という。）がありますか。（あてはまるすべてに○）

「特にない」の割合が34.9%と最も高く、次いで「教養を高めるもの」の割合が21.7%、「スポーツに関するもの」の割合が21.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「特にない」の割合が増加し、「文化・芸術活動に関するもの」の割合が減少しています。

○全体集計



○年代別にみた継続的に行っている学習活動

年代別でみると、年齢が上がるにつれ「文化・芸術活動に関するもの」の割合が、年齢が下がるにつれ「職業や資格に関するもの」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、60歳代以上で「教養を高めるもの」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	文化・芸術活動に関するもの	職業や資格に関するもの	教養を高めるもの	日常生活・家庭生活に役立つもの	市民生活を高めるもの	スポーツに関するもの	野外レクリエーションに関するもの	特にない	その他	無回答
10歳代	8	—	—	—	—	—	—	—	87.5	—	12.5
20歳代	55	14.5	38.2	18.2	10.9	1.8	12.7	1.8	32.7	1.8	1.8
30歳代	126	15.1	29.4	16.7	16.7	3.2	15.9	1.6	40.5	0.8	3.2
40歳代	132	12.1	25.8	16.7	7.6	1.5	28.8	3.0	37.1	3.8	0.8
50歳代	147	16.3	21.1	17.0	10.9	2.7	22.4	2.7	36.1	3.4	2.0
60歳代	174	28.7	6.9	29.9	13.8	3.4	26.4	3.4	32.8	4.0	4.6
70歳以上	160	20.6	2.5	25.6	10.0	6.9	18.1	3.1	29.4	6.9	12.5

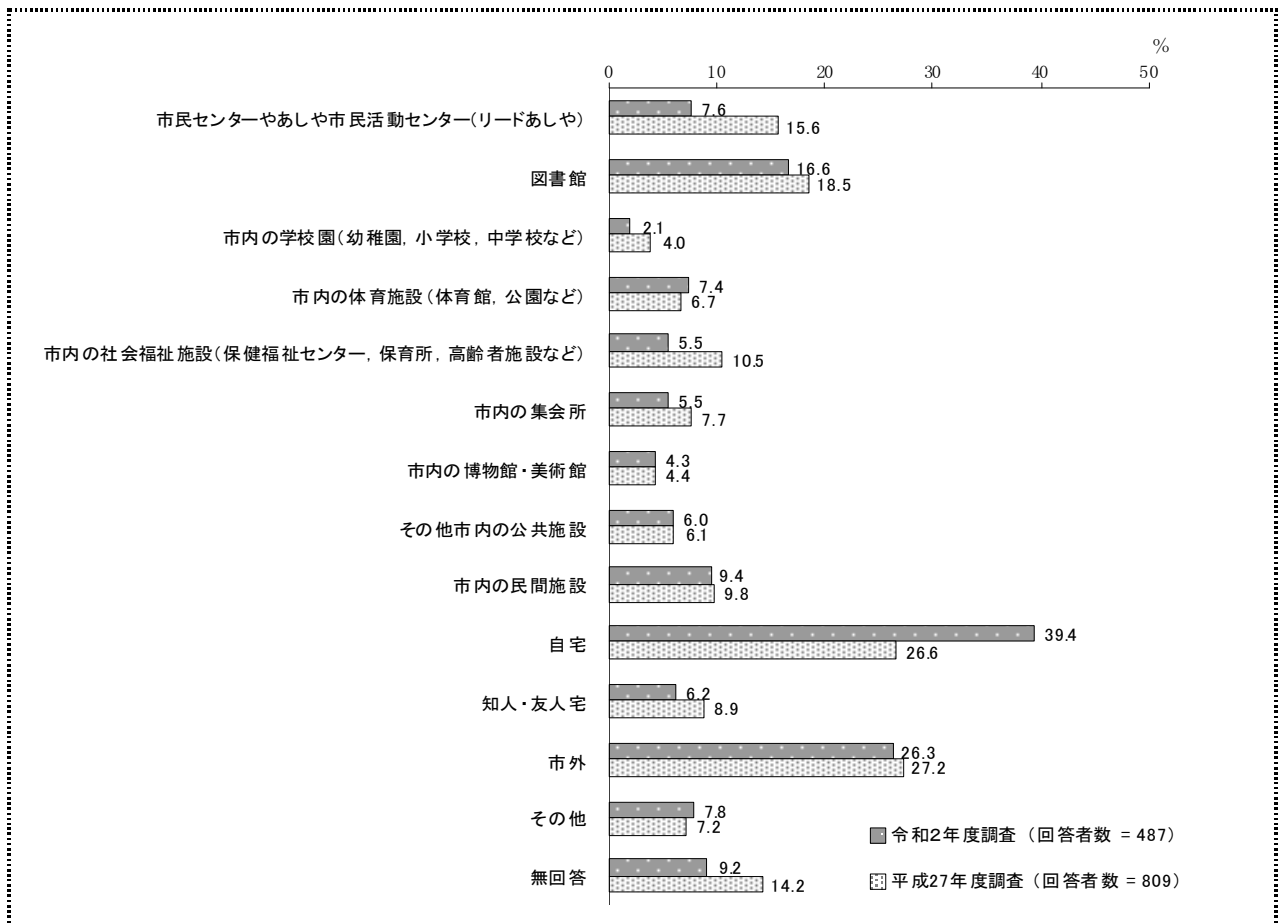
[学習活動を行っている人のみにおうかがいします。]

問 23-1 あなたは、どのような場所で学習や活動をされていますか。
(あてはまるすべてに○)

「自宅」の割合が39.4%と最も高く、次いで「市外」の割合が26.3%、「図書館」の割合が16.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「自宅」の割合が増加し、「市民センターやあしや市民活動センター(リードあしや)」、「市内の社会福祉施設(保健福祉センター, 保育所, 高齢者施設など)」の割合が減少しています。

○全体集計



○年代別にみた学習活動をしている場所

年代別でみると、他と比べ、20歳代と30歳代で「自宅」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「市民センターやあしや市民活動センター（リードあしや）」、「市内の集会所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	市民センターやあしや市民活動センター（リードあしや）	図書館	市内の学校園（幼稚園、小学校、中学校など）	市内の体育施設（体育館、公園など）	市内の社会福祉施設（保健福祉センター、保育所、高齢者施設など）	市内の集会所	市内の博物館・美術館	その他の市内の公共施設	市内の民間施設	自宅	知人・友人宅	市外	その他	無回答
10歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	36	—	11.1	—	—	2.8	—	5.6	11.1	5.6	72.2	—	25.0	2.8	5.6
30歳代	71	1.4	18.3	1.4	4.2	4.2	1.4	1.4	2.8	7.0	73.2	8.5	23.9	4.2	4.2
40歳代	82	1.2	17.1	2.4	6.1	1.2	1.2	2.4	3.7	11.0	42.7	8.5	30.5	11.0	3.7
50歳代	91	2.2	13.2	4.4	7.7	5.5	2.2	4.4	4.4	9.9	33.0	4.4	27.5	12.1	13.2
60歳代	109	8.3	16.5	0.9	11.9	5.5	4.6	4.6	9.2	11.0	27.5	7.3	33.9	6.4	8.3
70歳以上	93	25.8	18.3	2.2	8.6	11.8	19.4	7.5	6.5	8.6	17.2	5.4	15.1	7.5	17.2

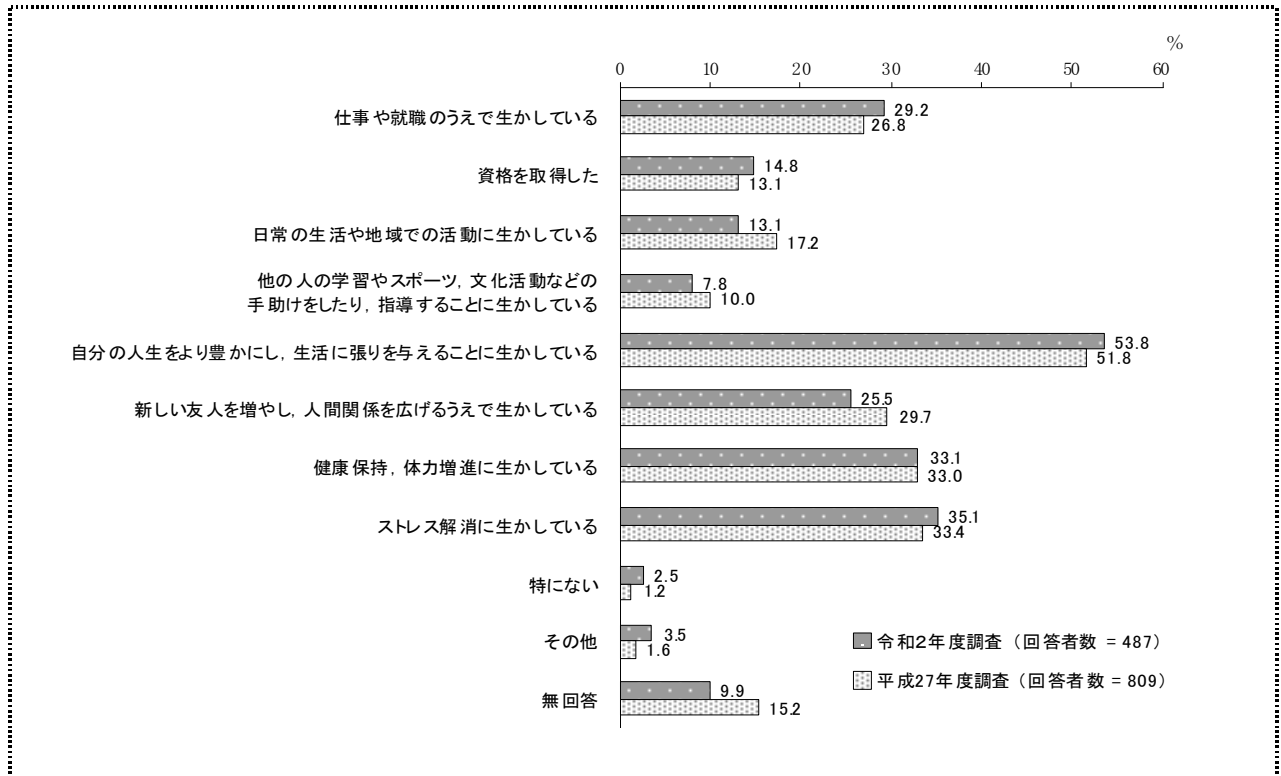
[学習活動を行っている人のおうかがいします]

問 23-2 あなたは、学習や活動を通じて身につけた知識や技能、経験をどのように生かしていますか。(あてはまるすべてに○)

「自分の人生をより豊かにし、生活に張りを与えることに生かしている」の割合が53.8%と最も高く、次いで「ストレス解消に生かしている」の割合が35.1%、「健康保持、体力増進に生かしている」の割合が33.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



○年代別にみた学んだと事の地域還元の状況

年代別でみると、年齢が下がるにつれ「仕事や就職のうでで生かしている」、「資格を取得した」、「日常の生活や地域での活動に生かしている」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、60歳代で「自分の人生をより豊かにし、生活に張りを与えることに生かしている」、「新しい友人を増やし、人間関係を広げるうでで生かしている」の割合が、70歳以上で「健康保持、体力増進に生かしている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	仕事や就職のうでで生かしている	資格を取得した	日常の生活や地域での活動に生かしている	他の人の学習やスポーツ、文化活動などの手助けをしたり、指導することに生かしている	自分の人生をより豊かにし、生活に張りを与えることに生かしている	新しい友人を増やし、人間関係を広げるうでで生かしている	健康保持、体力増進に生かしている	ストレス解消に生かしている	特にない	その他	無回答
10歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	36	61.1	30.6	19.4	5.6	38.9	8.3	16.7	36.1	2.8	5.6	8.3
30歳代	71	46.5	22.5	21.1	7.0	45.1	15.5	25.4	35.2	4.2	—	4.2
40歳代	82	43.9	18.3	13.4	11.0	50.0	23.2	37.8	31.7	2.4	3.7	3.7
50歳代	91	28.6	8.8	9.9	9.9	52.7	30.8	29.7	38.5	1.1	4.4	13.2
60歳代	109	15.6	13.8	11.9	7.3	67.0	35.8	35.8	39.4	0.9	5.5	9.2
70歳以上	93	5.4	5.4	8.6	5.4	53.8	24.7	43.0	28.0	4.3	2.2	18.3

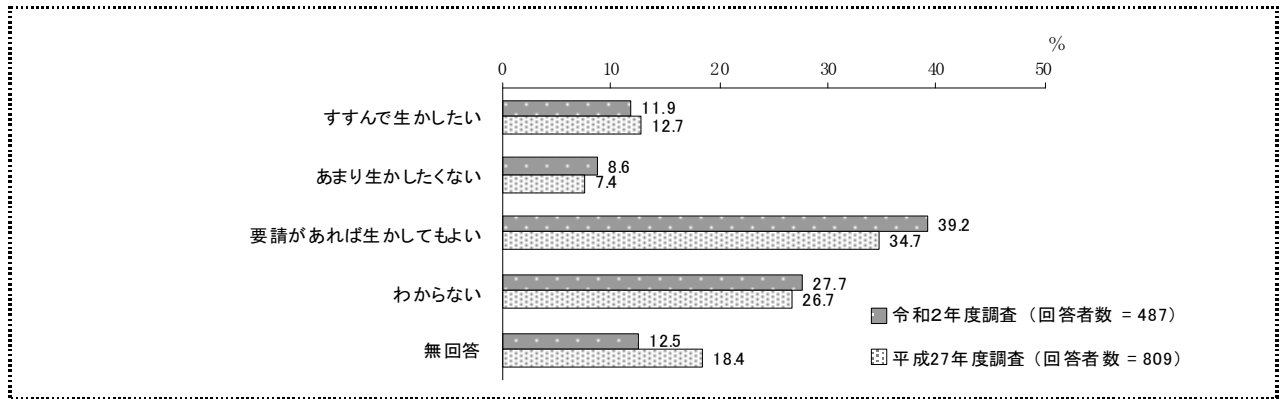
〔学習活動を行っている人のおうかがいします〕

問 23-3 学習成果をボランティアとして生かすことについてどのように考えますか。
(ひとつだけに○)

「要請があれば生かしてもよい」の割合が39.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が27.7%、「すすんで生かしたい」の割合が11.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



○年代別にみた学んだことをボランティアとして生かすこと

年代別で見ると、他に比べ、60歳代で「要請があれば生かしてもよい」の割合が高くなっています。また、20歳代で「すすんで生かしたい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	すすんで生かしたい	あまり生かしたくない	要請があれば生かしてもよい	わからない	無回答
10歳代	—	—	—	—	—	—
20歳代	36	33.3	8.3	25.0	25.0	8.3
30歳代	71	14.1	9.9	42.3	28.2	5.6
40歳代	82	13.4	12.2	37.8	32.9	3.7
50歳代	91	9.9	5.5	44.0	25.3	15.4
60歳代	109	5.5	5.5	50.5	30.3	8.3
70歳以上	93	10.8	10.8	25.8	23.7	29.0

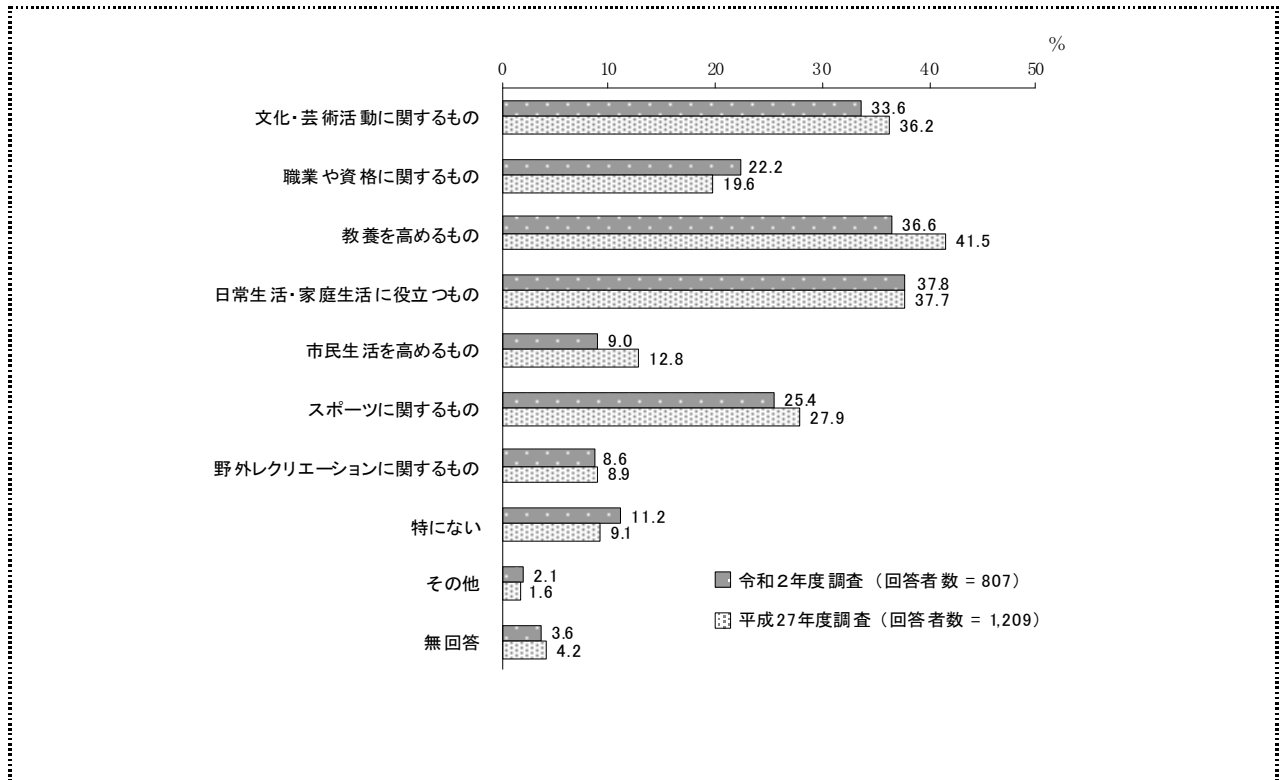
[ここからはすべての方が回答してください]

問 24 あなたが今後、仕事や家事、学業のほかに、学んだり活動したいと思うものはどのようなことですか。(あてはまるすべてに○)

「日常生活・家庭生活に役立つもの」の割合が37.8%と最も高く、次いで「教養を高めるもの」の割合が36.6%、「文化・芸術活動に関するもの」の割合が33.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

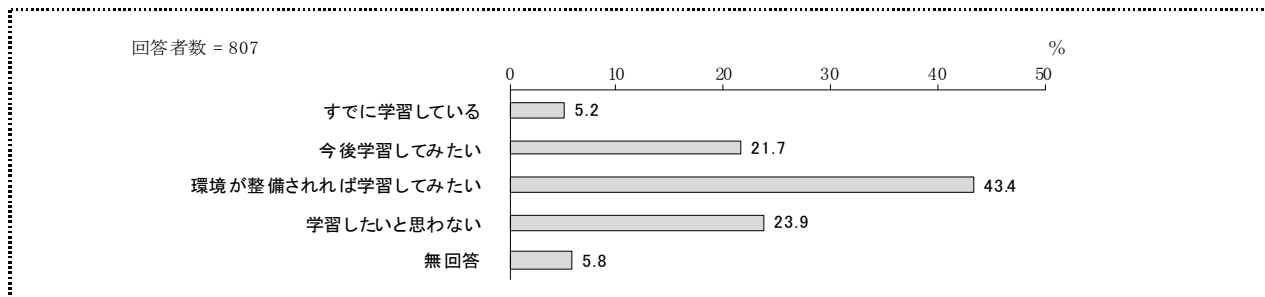
○全体集計



問 25 リカレント教育や社会人の学び直しが注目されていますが、あなたは今後、教育機関等で学習したいと思いますか。(ひとつだけに○)

「環境が整備されれば学習してみたい」の割合が43.4%と最も高く、次いで「学習したいと思わない」の割合が23.9%、「今後学習してみたい」の割合が21.7%となっています。

○全体集計

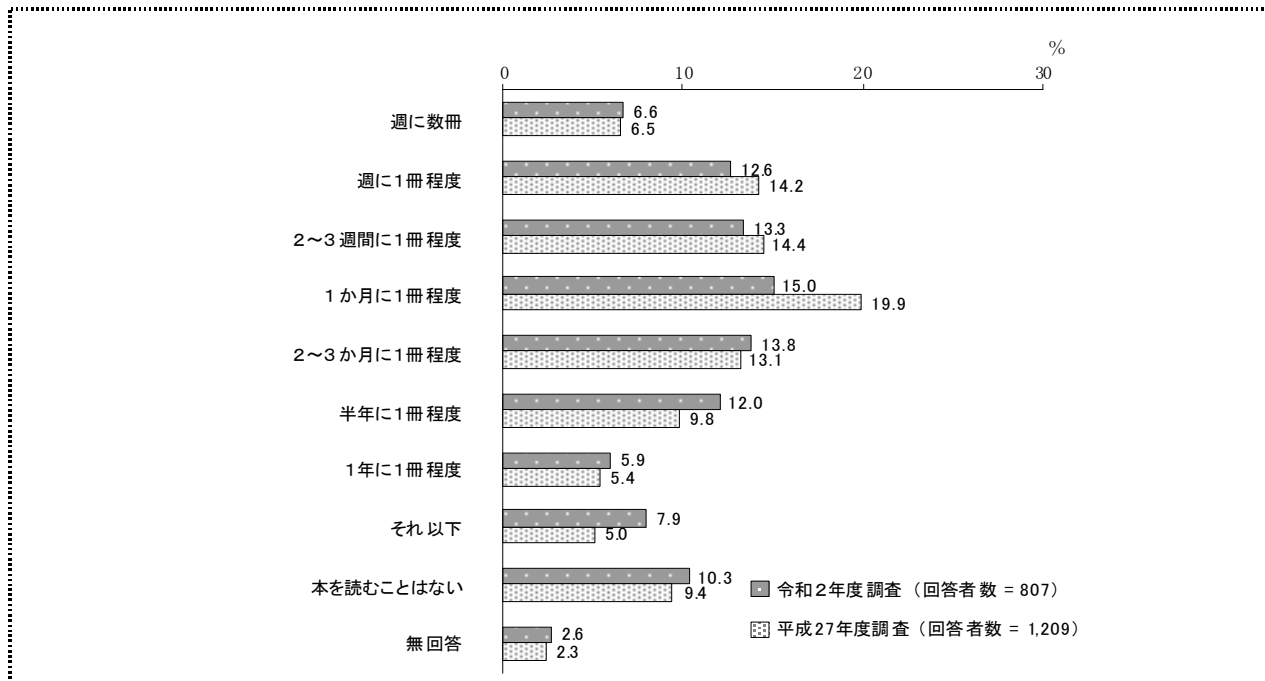


問 26 普段、平均してどれくらい本を読みますか。(電子書籍を含む)(雑誌、漫画は除く)(ひとつだけに○)

「1か月に1冊程度」の割合が15.0%と最も高く、次いで「2～3か月に1冊程度」の割合が13.8%、「2～3週間に1冊程度」の割合が13.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計

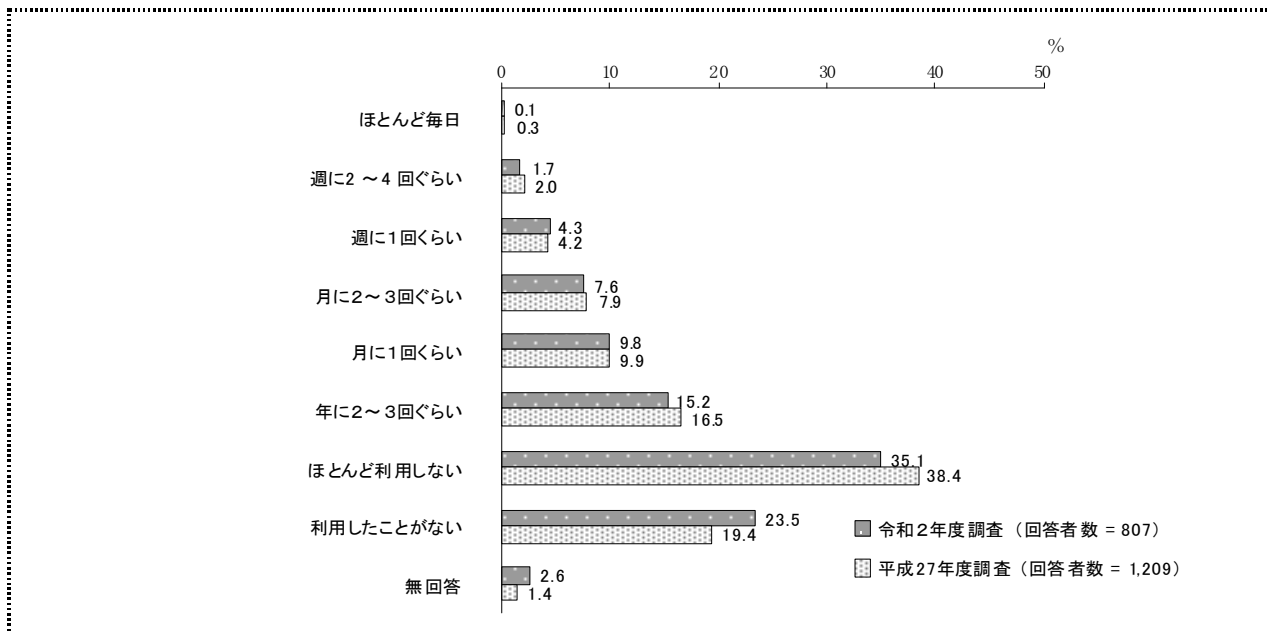


問 27 芦屋市内の図書館をどのくらい利用しますか。(ひとつだけに○)

「ほとんど利用しない」の割合が35.1%と最も高く、次いで「利用したことがない」の割合が23.5%、「年に2～3回ぐらい」の割合が15.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計

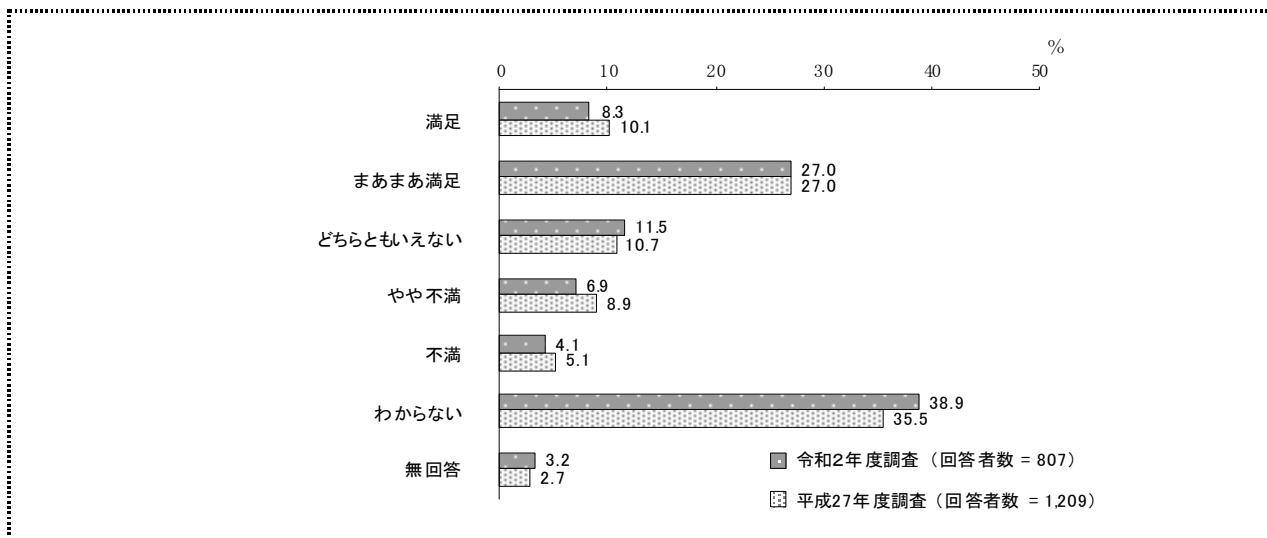


問 28 芦屋市内の図書館の満足度を教えてください。(ひとつだけに○)

「満足」と「まあまあ満足」をあわせた“満足”の割合が35.3%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が11.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計

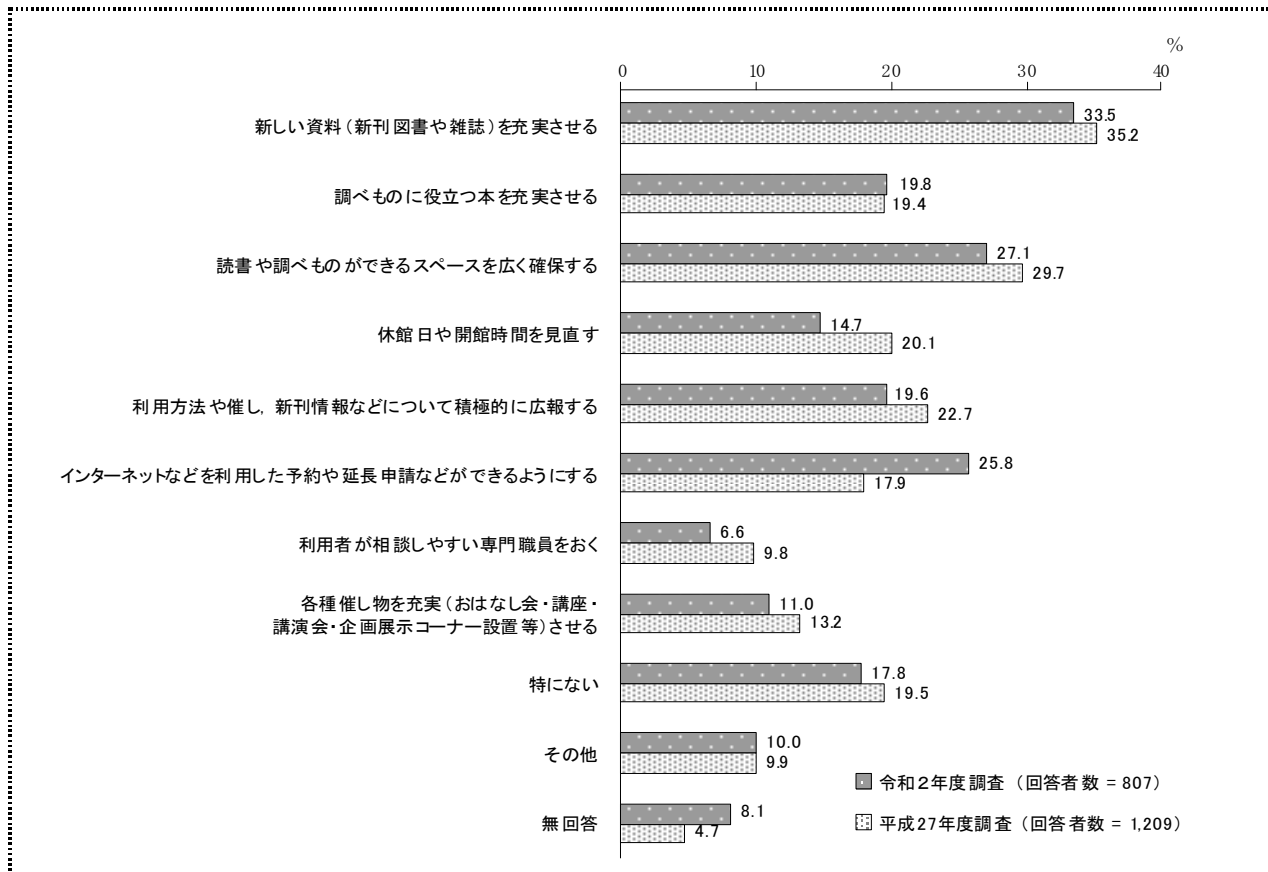


問 29 芦屋市立図書館を利用しやすくするために必要だと思うことは何ですか。
(主なものを3つに○)

「新しい資料（新刊図書や雑誌）を充実させる」の割合が33.5%と最も高く、次いで「読書や調べものができるスペースを広く確保する」の割合が27.1%、「インターネットなどを利用した予約や延長申請などができるようにする」の割合が25.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「インターネットなどを利用した予約や延長申請などができるようにする」の割合が増加し、「休館日や開館時間を見直す」の割合が減少しています。

○全体集計

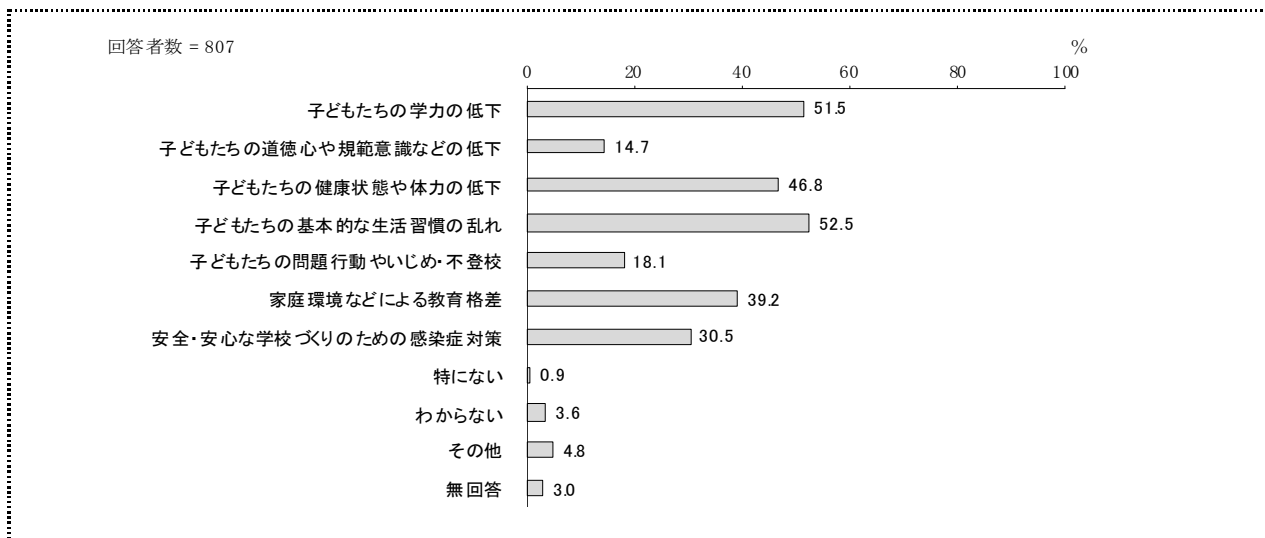


(4) 新型コロナウイルス感染症が与える子どもたちの教育への影響についておうかがいします。

問 30 社会問題となっている新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。
現在の状況下における芦屋市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。(主なものを3つに○)

「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「子どもたちの学力の低下」の割合が 51.5%、「子どもたちの健康状態や体力の低下」の割合が 46.8%となっています。

○全体集計



2 小学生・中学生

(1) あなた自身のことについて聞かせてください。

問2 あなたの性別を教えてください。(ひとつだけに○)

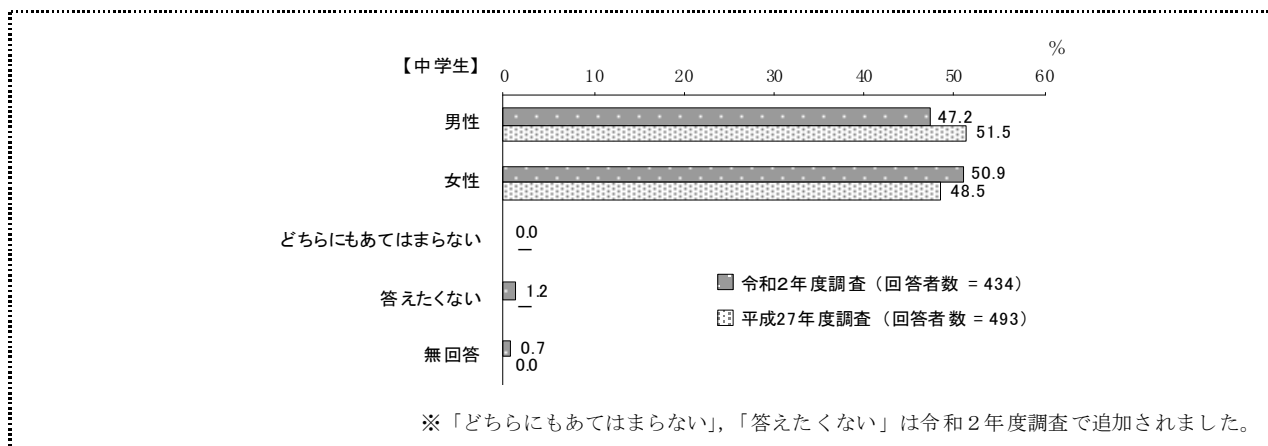
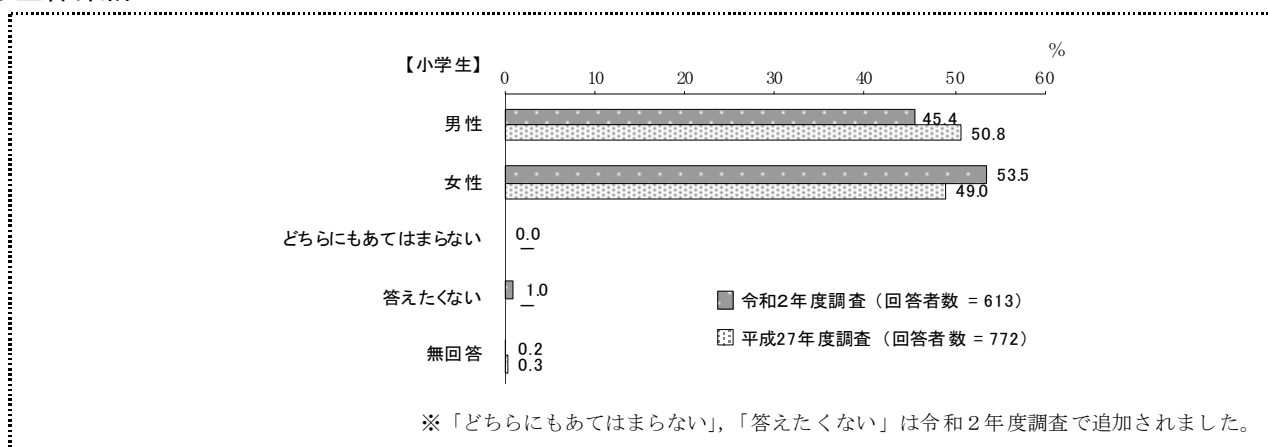
小学生調査では、「女性」の割合が53.5%と最も高く、次いで「男性」の割合が45.4%となっています

平成27年度調査と比較すると、「男性」の割合が減少しています。

中学生調査では、「女性」の割合が50.9%と最も高く、次いで「男性」の割合が47.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



問3 あなたの通っている学校の地域はどこですか。(ひとつだけに○)

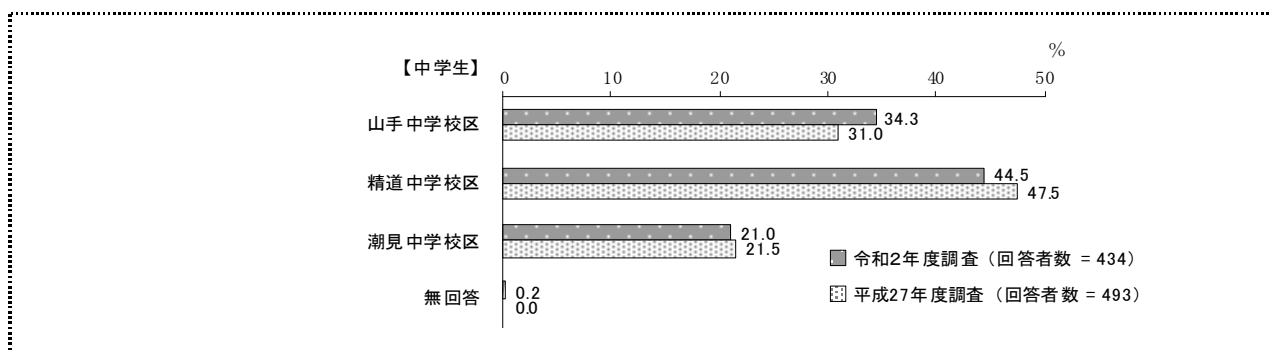
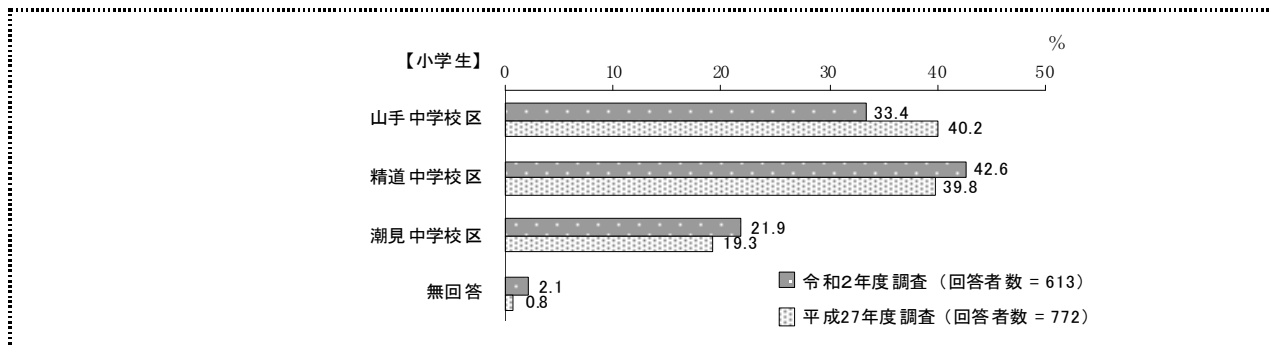
小学生調査では、「精道中学校区」の割合が42.6%と最も高く、次いで「山手中学校区」の割合が33.4%、「潮見中学校区」の割合が21.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「山手中学校区」の割合が減少しています。

中学生調査では、「精道中学校区」の割合が44.5%と最も高く、次いで「山手中学校区」の割合が34.3%、「潮見中学校区」の割合が21.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



(2) 学校生活について聞かせてください。

問4 あなたは、学校に通うのが楽しいですか。(ひとつだけに○)

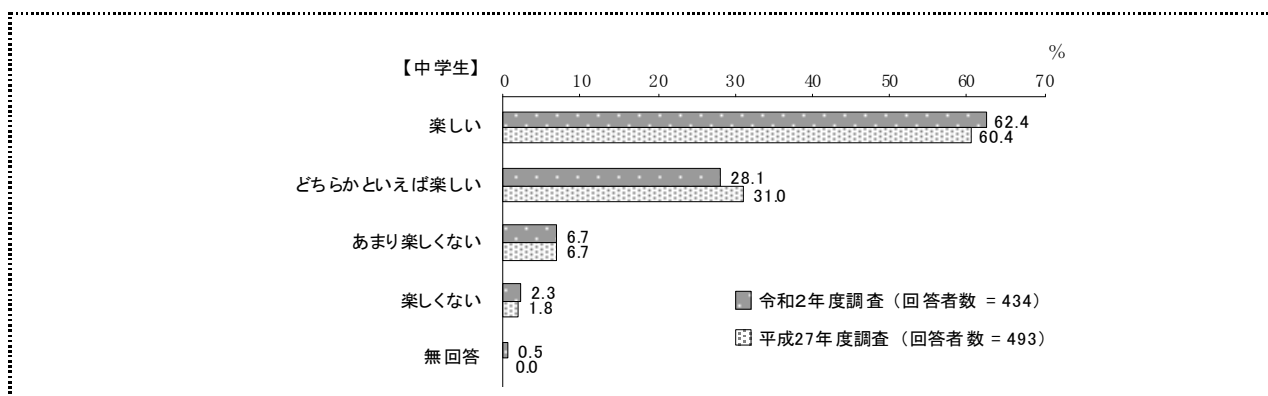
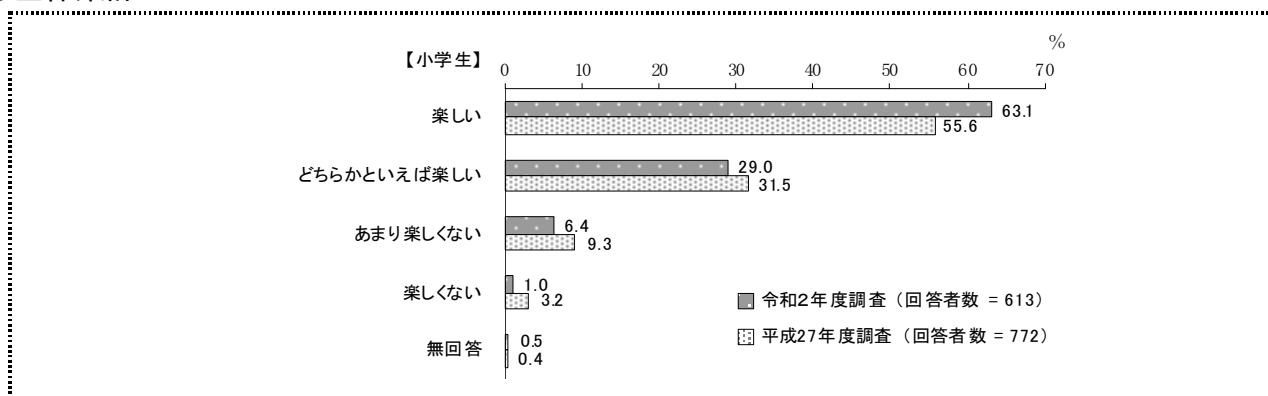
小学生調査では、「楽しい」と「どちらかといえば楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が92.1%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合が7.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“楽しい”の割合が増加しています。

中学生調査では、“楽しい”の割合が90.5%，“楽しくない”の割合が9.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



〔問4-1は、問4で「楽しい」「どちらかといえば楽しい」に○をつけた人だけにたずねます。〕

問4-1 学校が楽しいと思ったのはどんな時ですか。(あてはまるすべてに○)

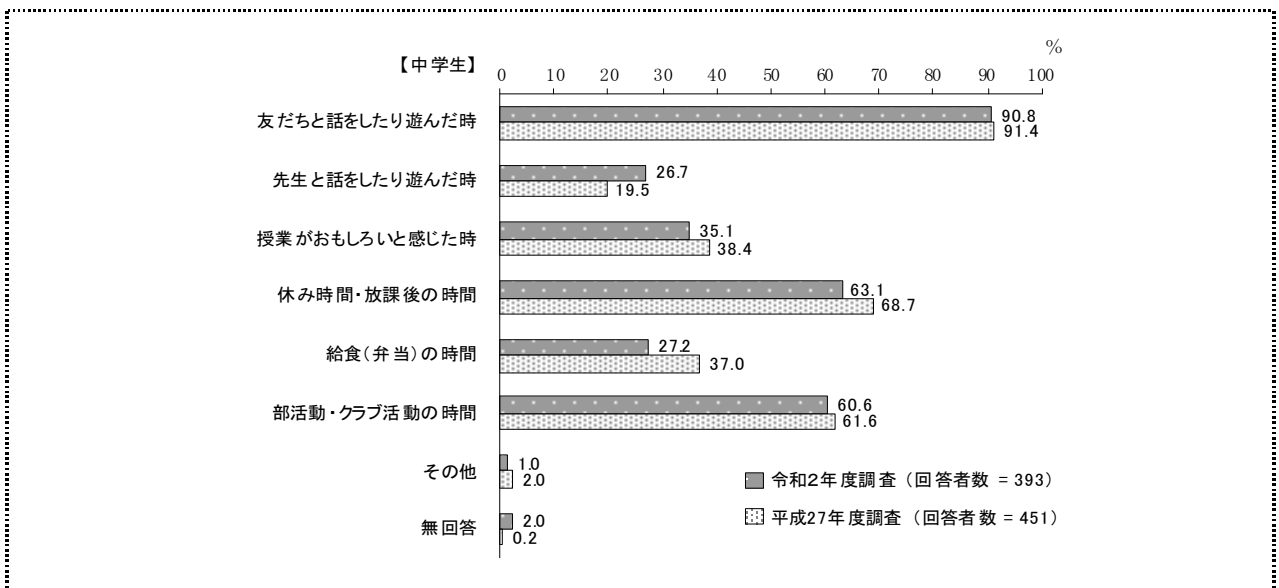
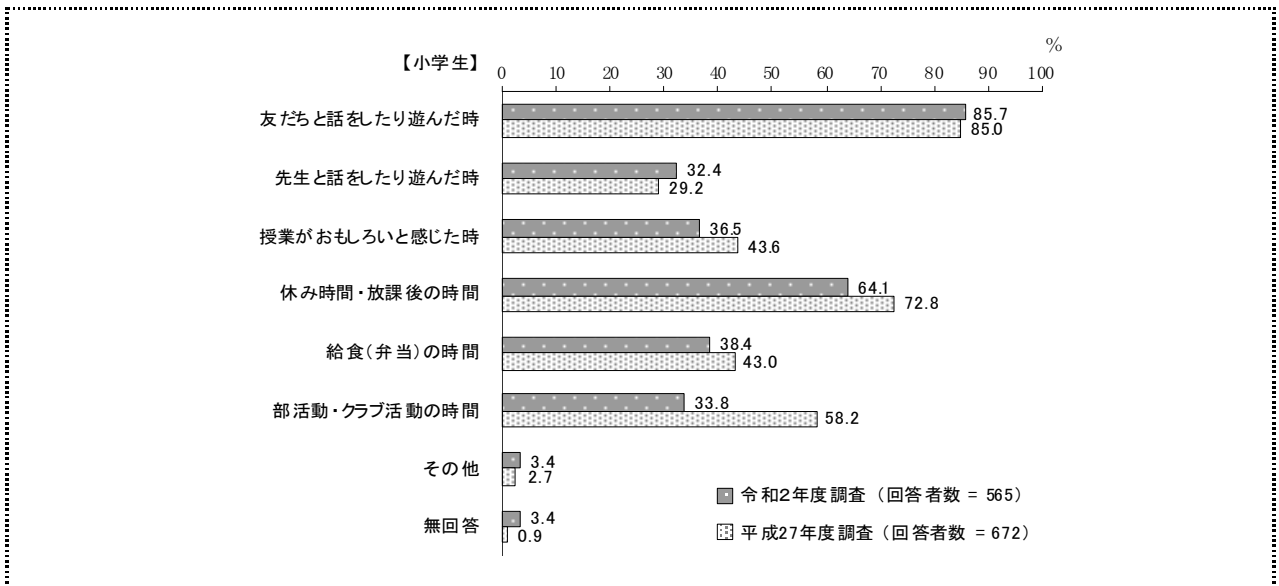
小学生調査では、「友だちと話をしたり遊んだ時」の割合が85.7%と最も高く、次いで「休み時間・放課後の時間」の割合が64.1%、「給食(弁当)の時間」の割合が38.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「授業がおもしろいと感じた時」「休み時間・放課後の時間」「部活動・クラブ活動の時間」の割合が減少しています。

中学生調査では、「友だちと話をしたり遊んだ時」の割合が90.8%と最も高く、次いで「休み時間・放課後の時間」の割合が63.1%、「部活動・クラブ活動の時間」の割合が60.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「先生と話をしたり遊んだ時」の割合が増加し、「休み時間・放課後の時間」「給食(弁当)の時間」の割合が減少しています。

○全体集計



〔問4-2は、問4で「あまり楽しくない」「楽しくない」に○をつけた人だけにたずねます。〕

問4-2 学校が楽しくないと思ったのはどんな時ですか。(あてはまるすべてに○)

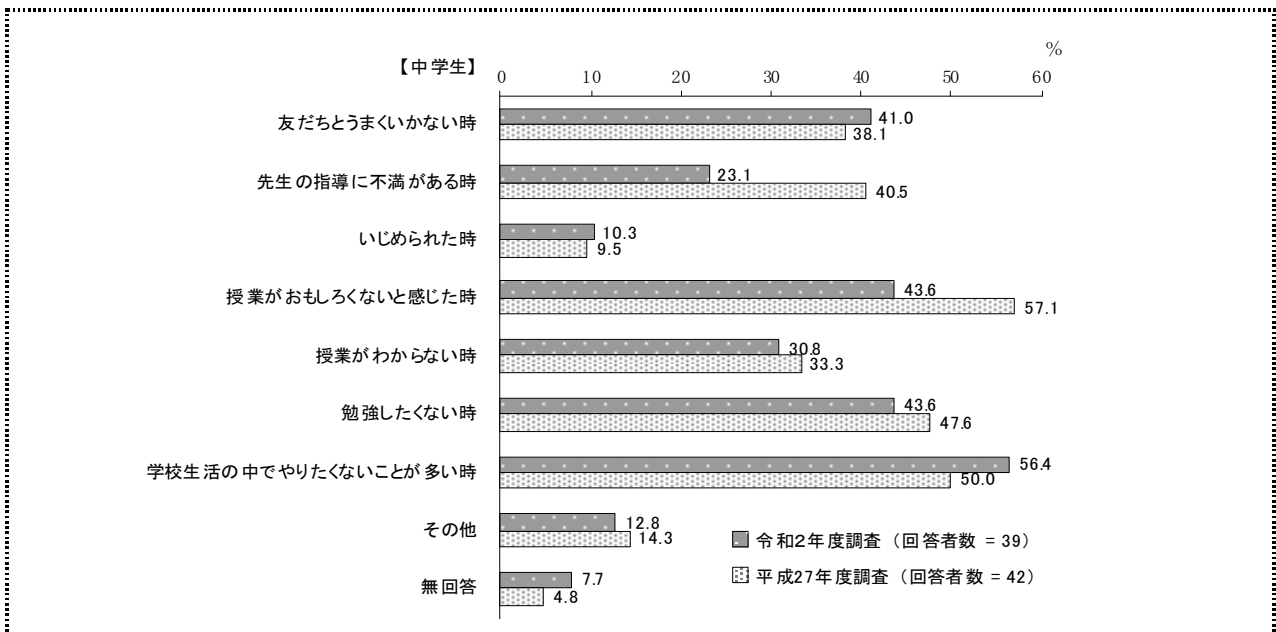
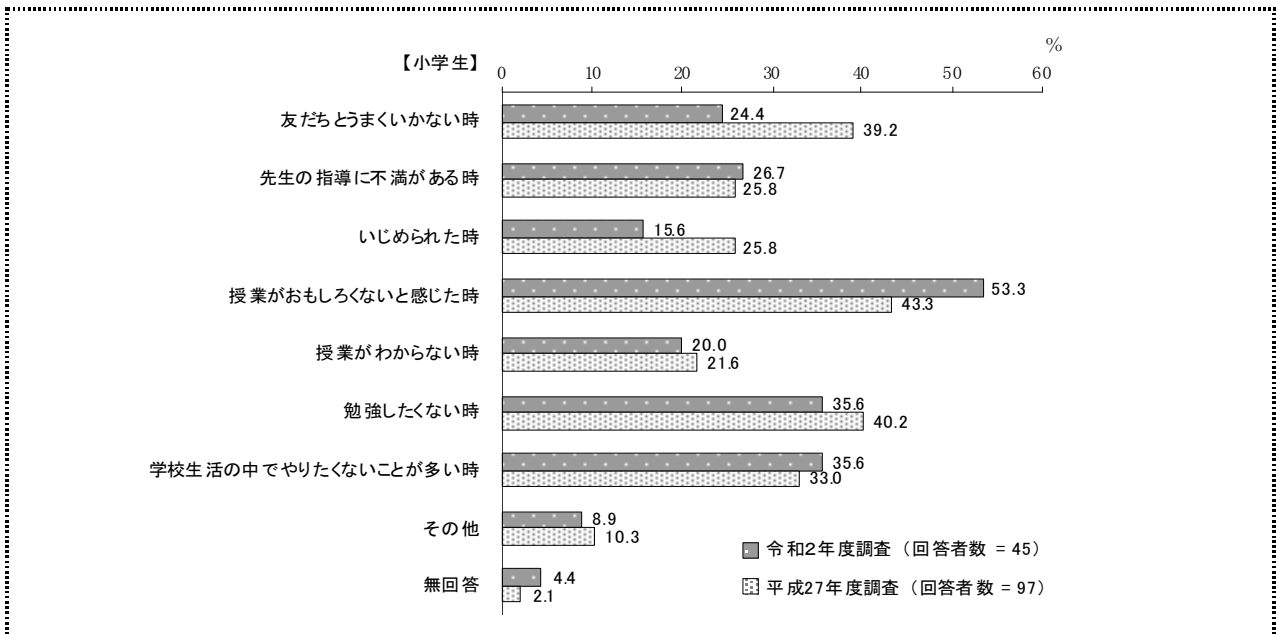
小学生調査では、「授業がおもしろくないと感じた時」の割合が53.3%と最も高く、次いで「勉強したくない時」、「学校生活の中でやりたくないことが多い時」の割合が35.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「授業がおもしろくないと感じた時」の割合が増加し、「友だちとうまくいかない時」、「いじめられた時」の割合が減少しています。

中学生調査では、「学校生活の中でやりたくないことが多い時」の割合が56.4%と最も高く、次いで「授業がおもしろくないと感じた時」、「勉強したくない時」の割合が43.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「学校生活の中でやりたくないことが多い時」の割合が増加し、「先生の指導に不満がある時」、「授業がおもしろくないと感じた時」の割合が減少しています。

○全体集計



問5 あなたは、勉強が好きですか。(ひとつだけに○)

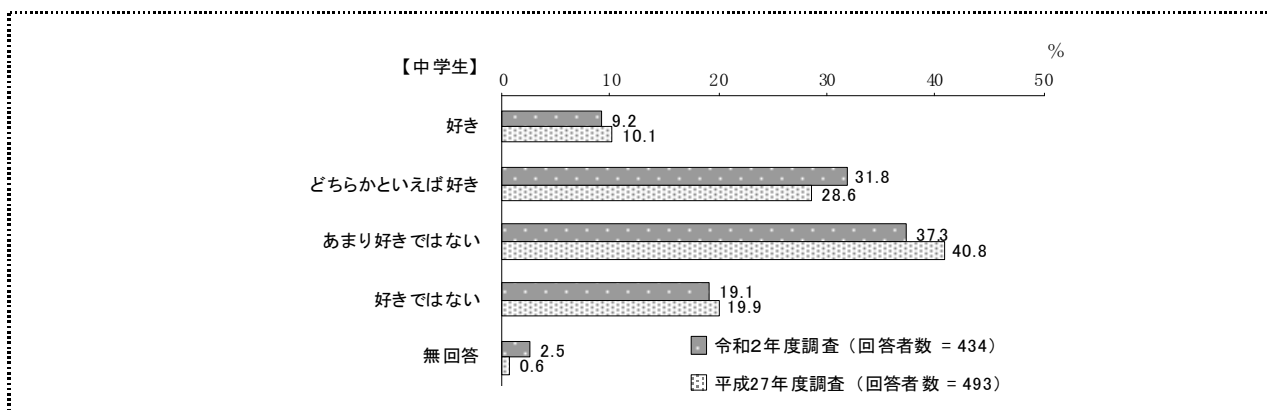
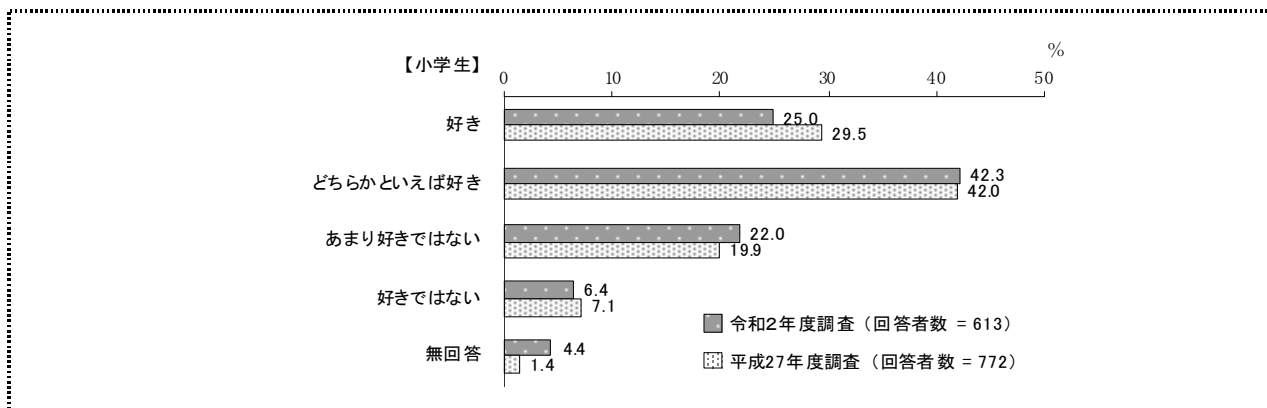
小学生調査では、「好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた“好き”の割合が67.3%、「あまり好きではない」と「好きではない」をあわせた“好きではない”の割合が28.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、“好き”の割合が41.0%，“好きではない”の割合が56.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



〔問5－1は、問5で「あまり好きではない」「好きではない」に○をつけた人だけにたずねます。〕

問5－1 勉強が好きではない理由は何ですか。(ひとつだけに○)

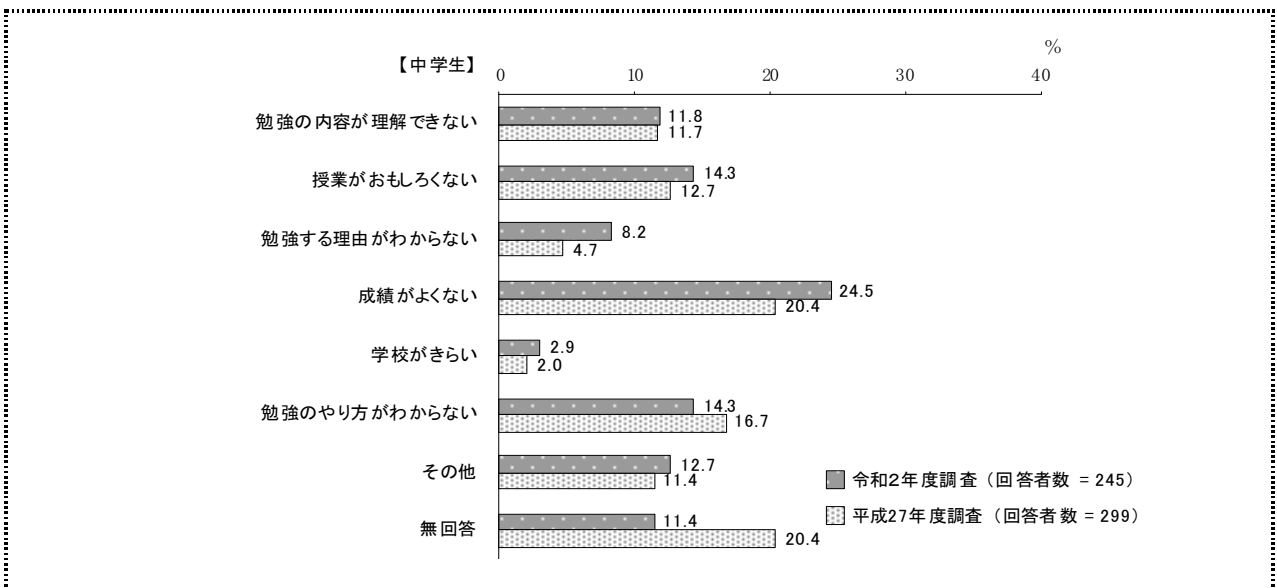
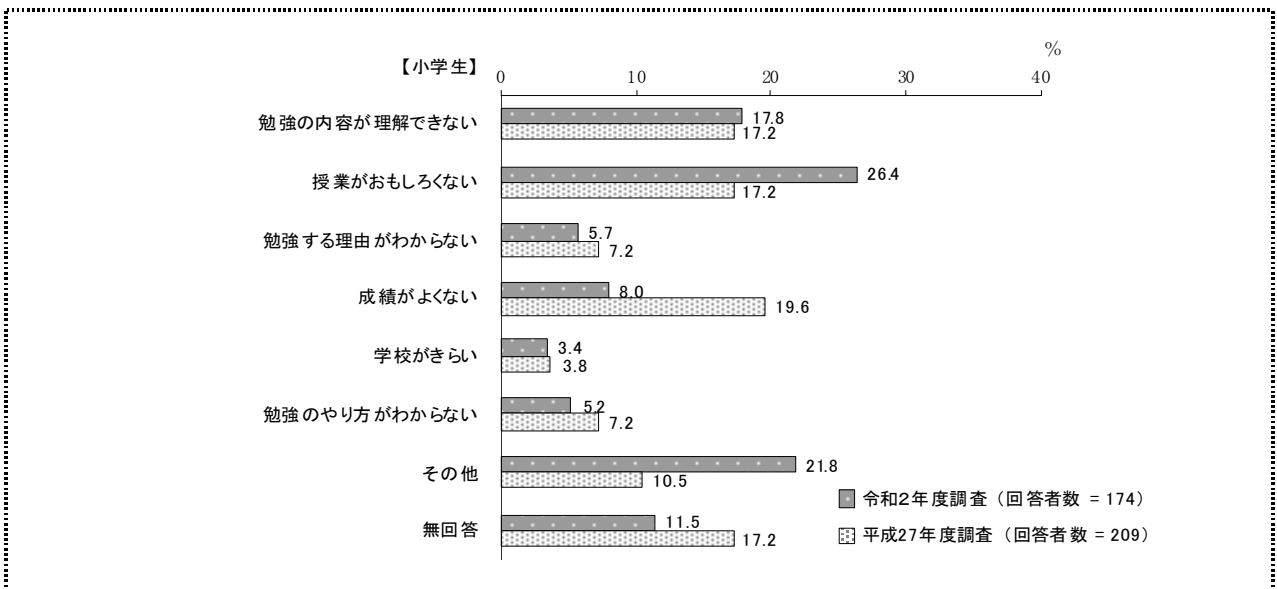
小学生調査では、「授業がおもしろくない」の割合が26.4%と最も高く、次いで「勉強の内容が理解できない」の割合が17.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「授業がおもしろくない」の割合が増加し、「成績がよくない」の割合が減少しています。

中学生調査では、「成績がよくない」の割合が24.5%と最も高く、次いで「授業がおもしろくない」、「勉強のやり方がわからない」の割合が14.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



問6 あなたが勉強するのはどうしてですか。勉強する理由を教えてください。
(ひとつだけに○)

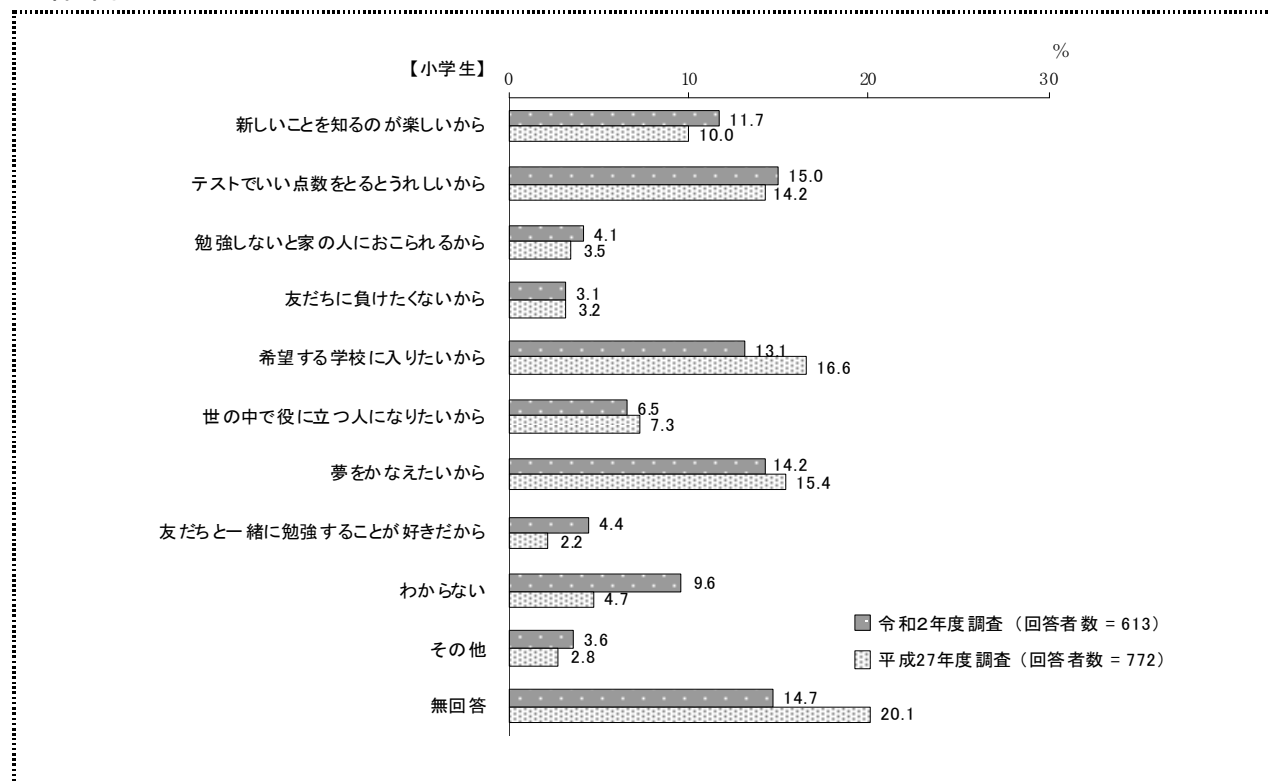
小学生調査では、「テストでいい点数をとるとうれしいから」の割合が15.0%と最も高く、次いで「夢をかなえたいから」の割合が14.2%、「希望する学校に入りたいから」の割合が13.1%となっています。

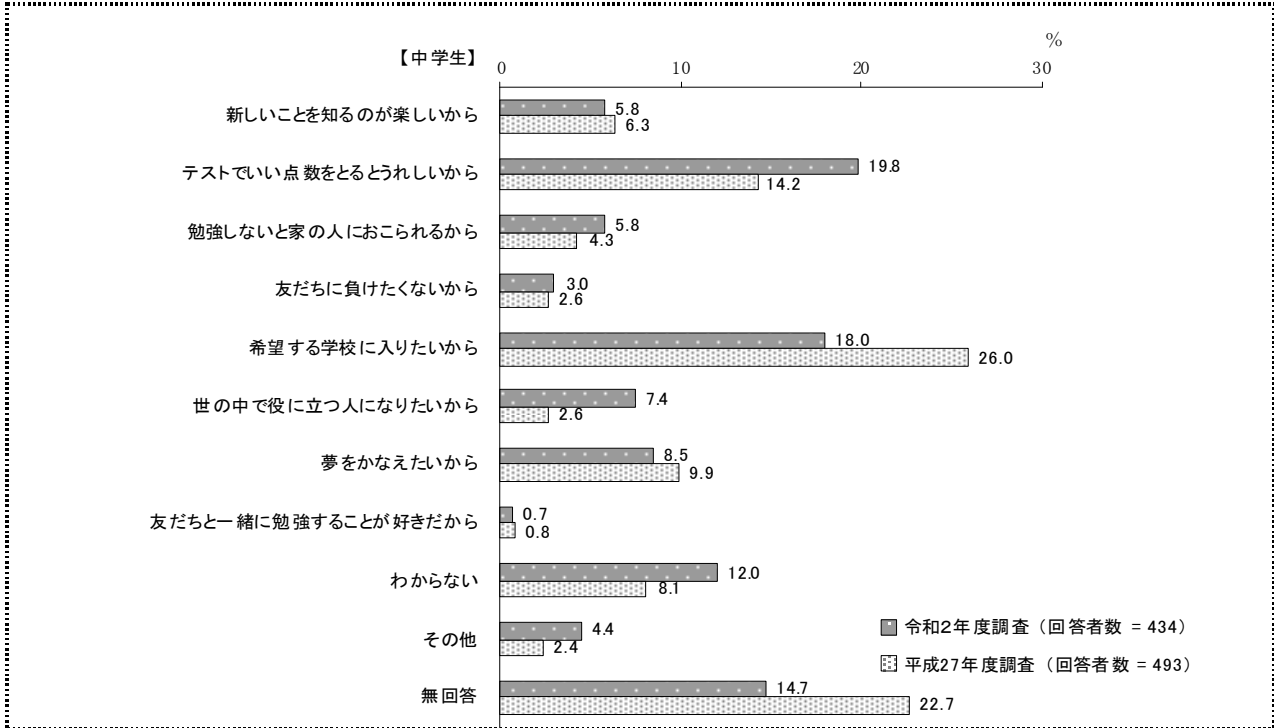
平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、「テストでいい点数をとるとうれしいから」の割合が19.8%と最も高く、次いで「希望する学校に入りたいから」の割合が18.0%、「わからない」の割合が12.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「テストでいい点数をとるとうれしいから」の割合が増加し、「希望する学校に入りたいから」の割合が減少しています。

○全体集計





問7 あなたは、学校生活に関する次のようなことについて、どのように感じていますか。(①～⑮の各項目について、あてはまるものに、それぞれひとつだけ○)

① 友だちとの関係

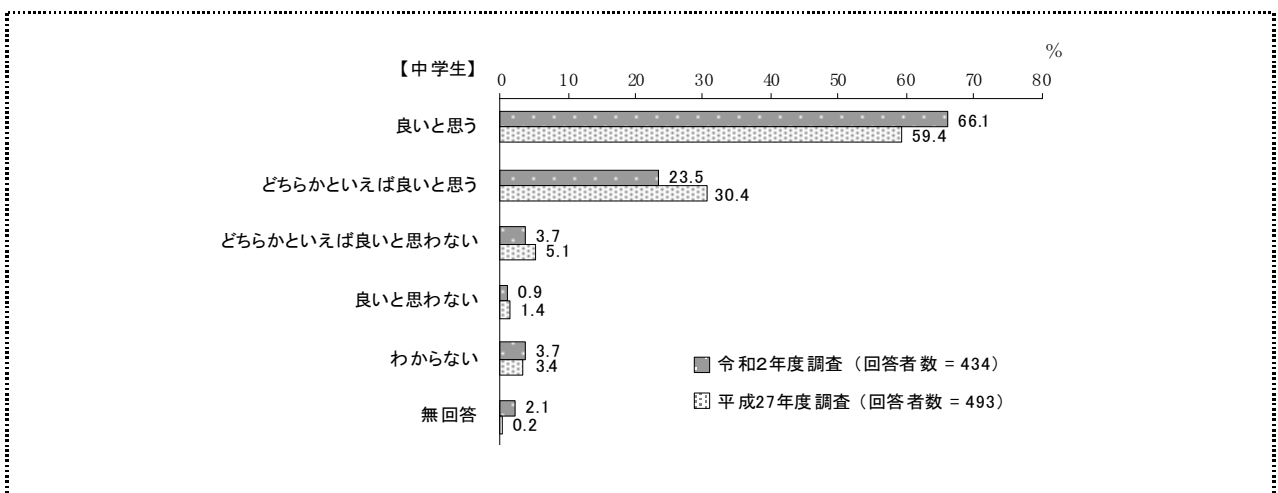
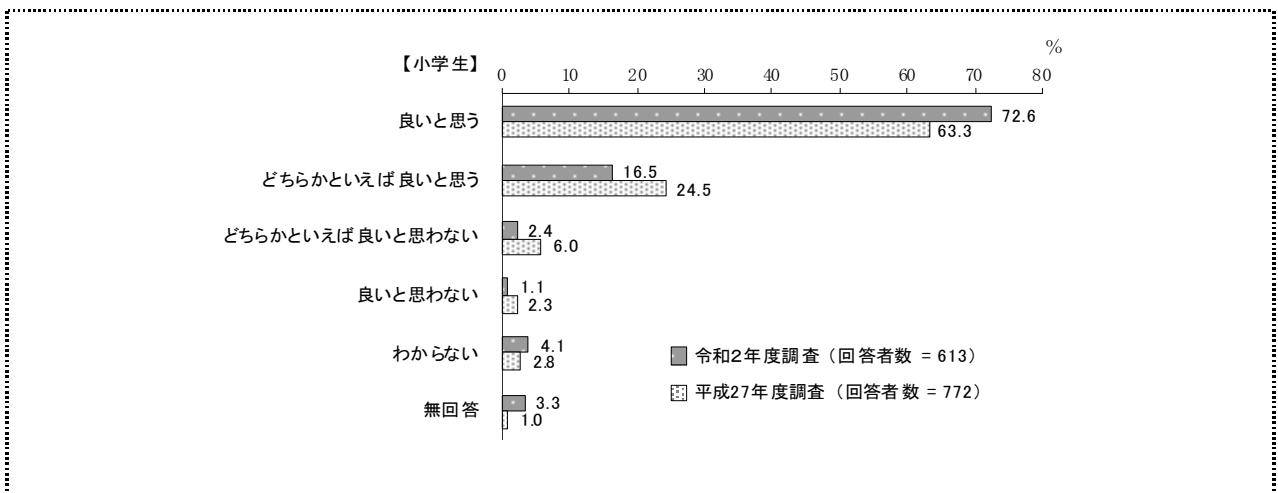
小学生調査では、「良いと思う」と「どちらかといえば良いと思う」をあわせた“良いと思う”の割合が89.1%、「あまり良いと思わない」と「良いと思わない」をあわせた“良いと思わない”の割合が3.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、“良いと思う”の割合が89.6%，“良いと思わない”の割合が4.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



② 先生との関係

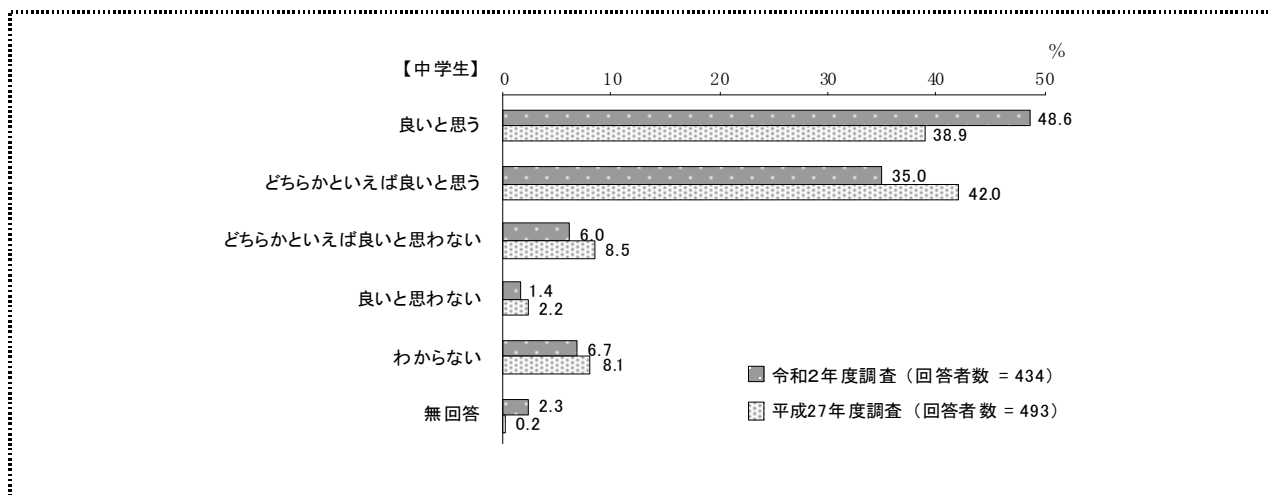
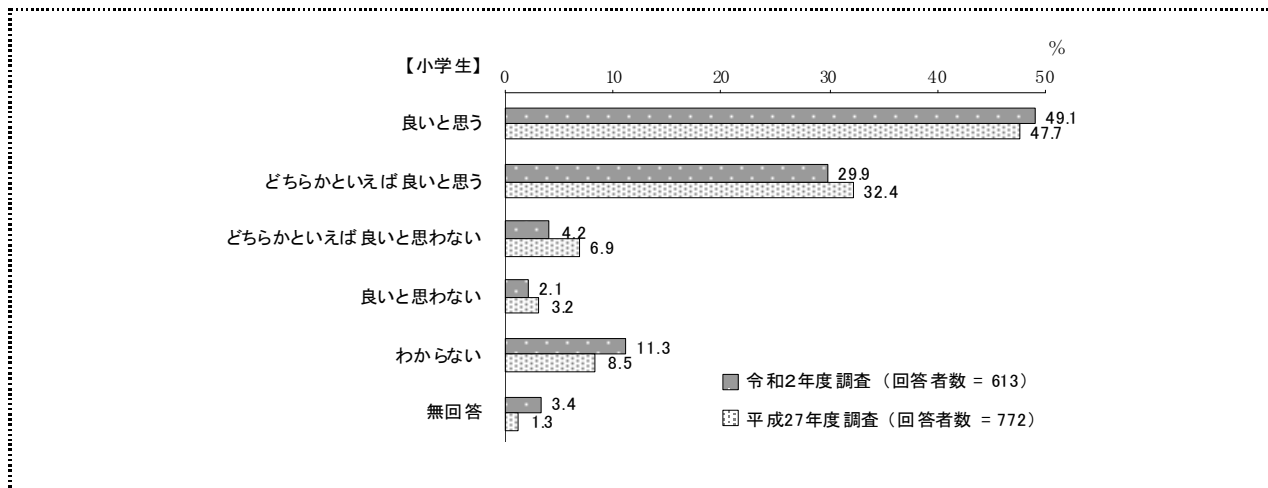
小学生調査では，“良いと思う”の割合が79.0%，“良いと思わない”の割合が6.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では，“良いと思う”の割合が83.6%，“良いと思わない”の割合が7.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



③ 全体的な授業の内容

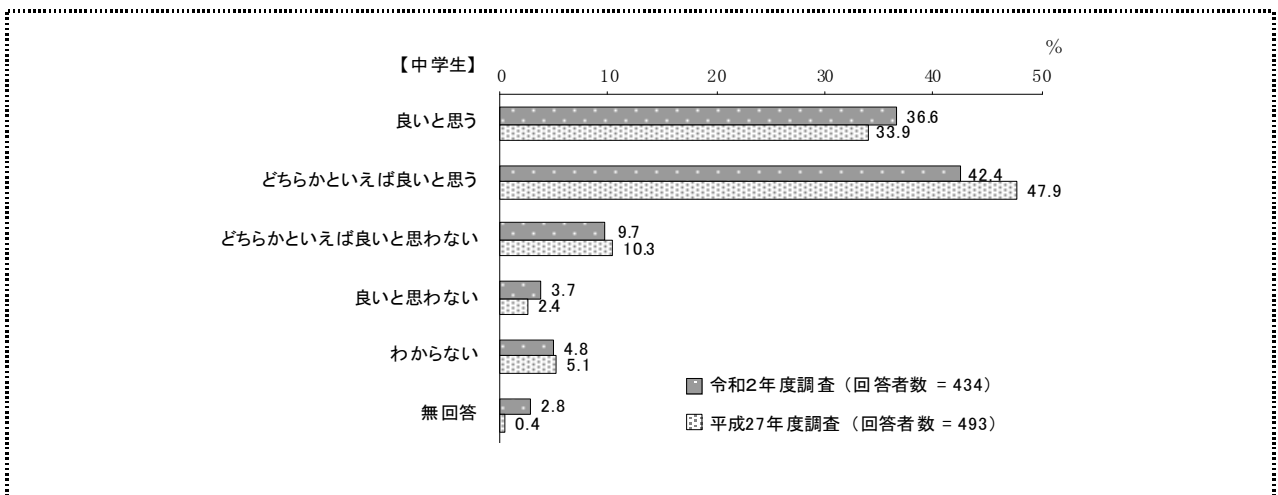
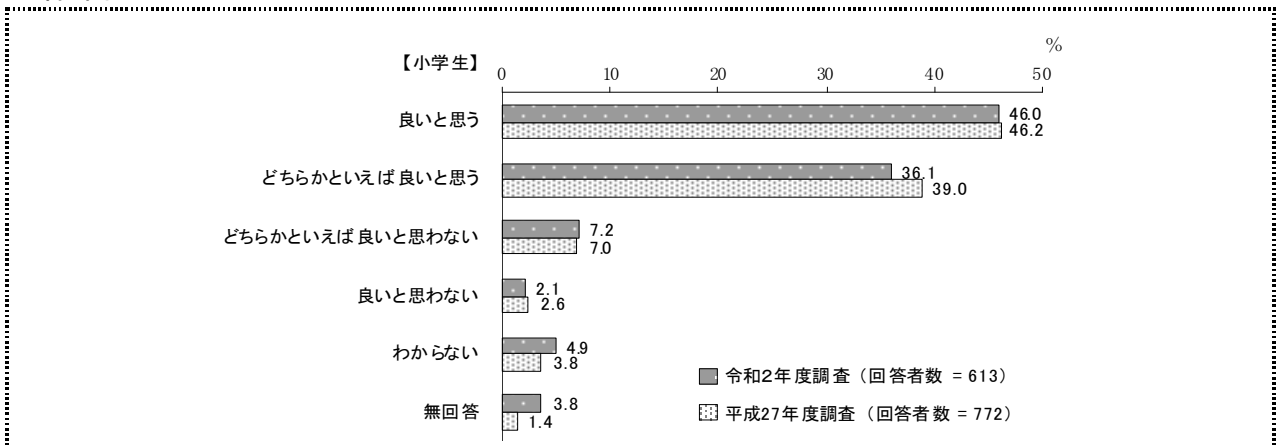
小学生調査では、“良いと思う”の割合が82.1%，“良いと思わない”の割合が9.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、“良いと思う”の割合が79.0%，“良いと思わない”の割合が13.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



④ コンピュータやタブレットなどを使った授業の内容

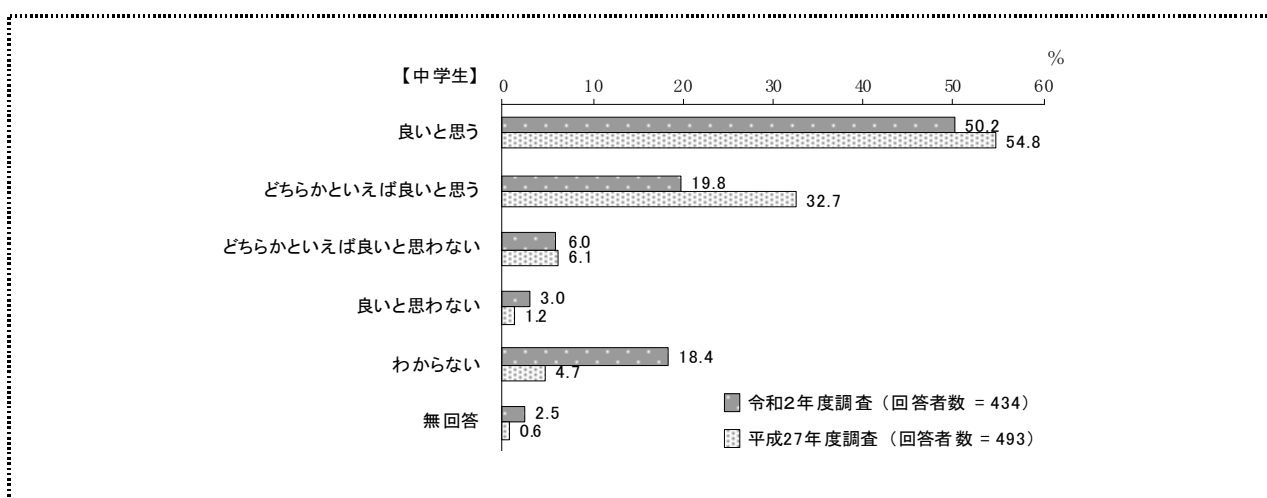
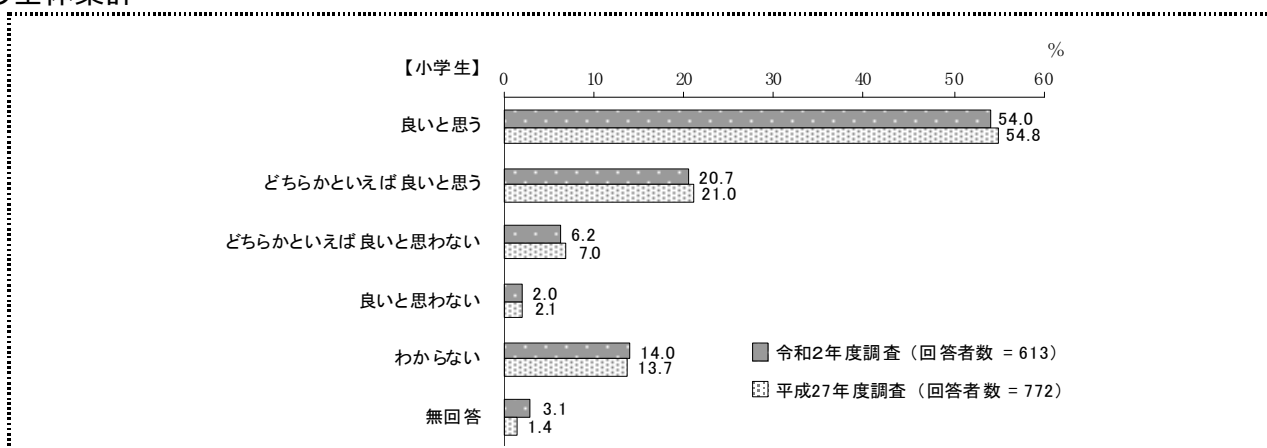
小学生調査では，“良いと思う”の割合が74.7%，“良いと思わない”の割合が8.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると，大きな変化はみられません。

中学生調査では，“良いと思う”の割合が70.0%，“良いと思わない”の割合が9.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“良いと思う”の割合が減少しています。

○全体集計



⑤ 外国語の授業の内容

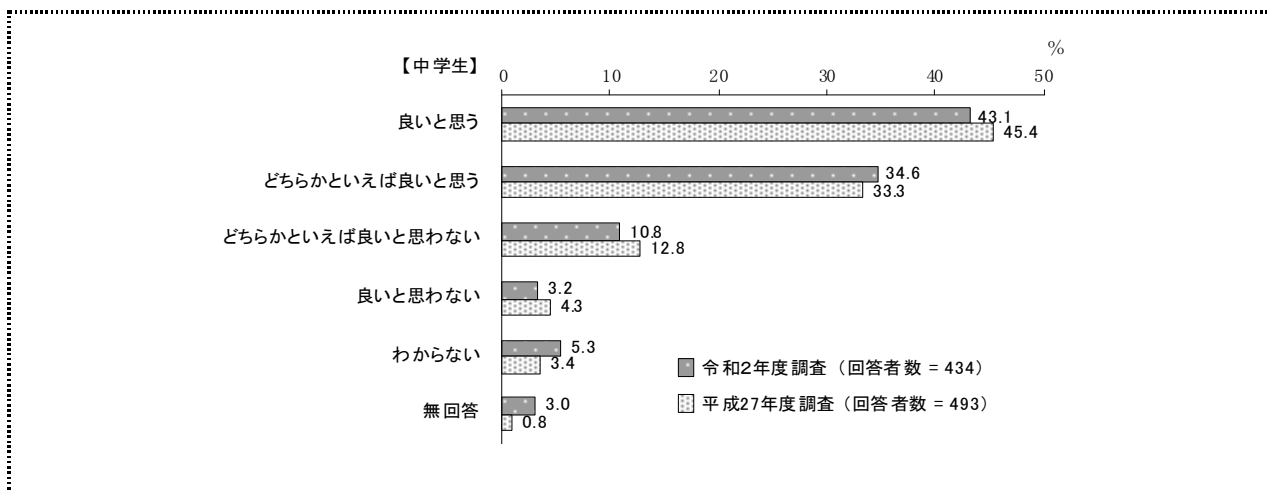
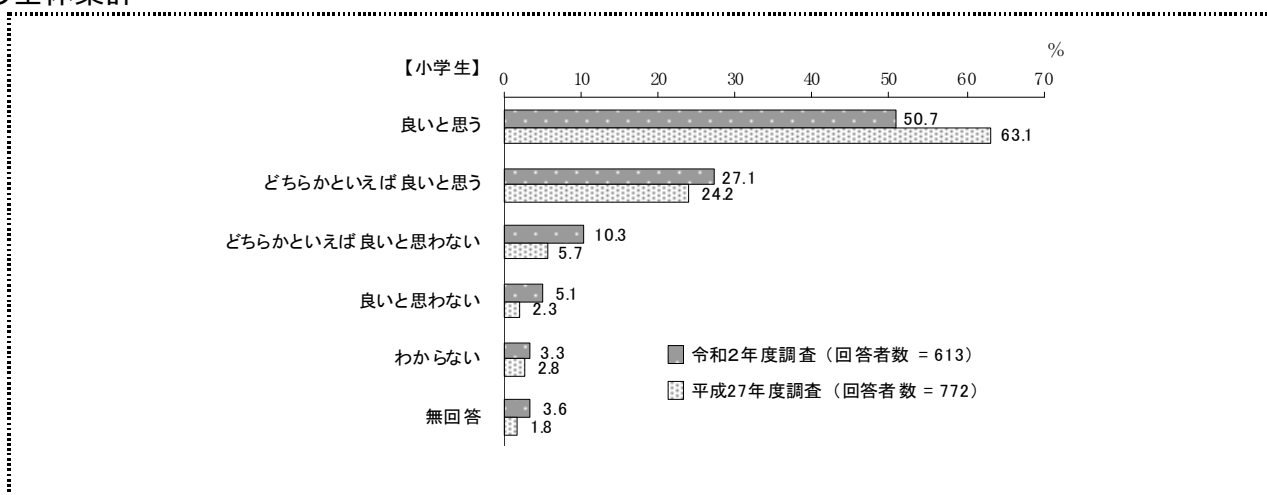
小学生調査では、“良いと思う”の割合が77.8%，“良いと思わない”の割合が15.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“良いと思う”の割合が減少しています。

中学生調査では，“良いと思う”の割合が77.7%，“良いと思わない”の割合が14.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



⑥ 環境に関する授業（自然を守るための学習など）の内容

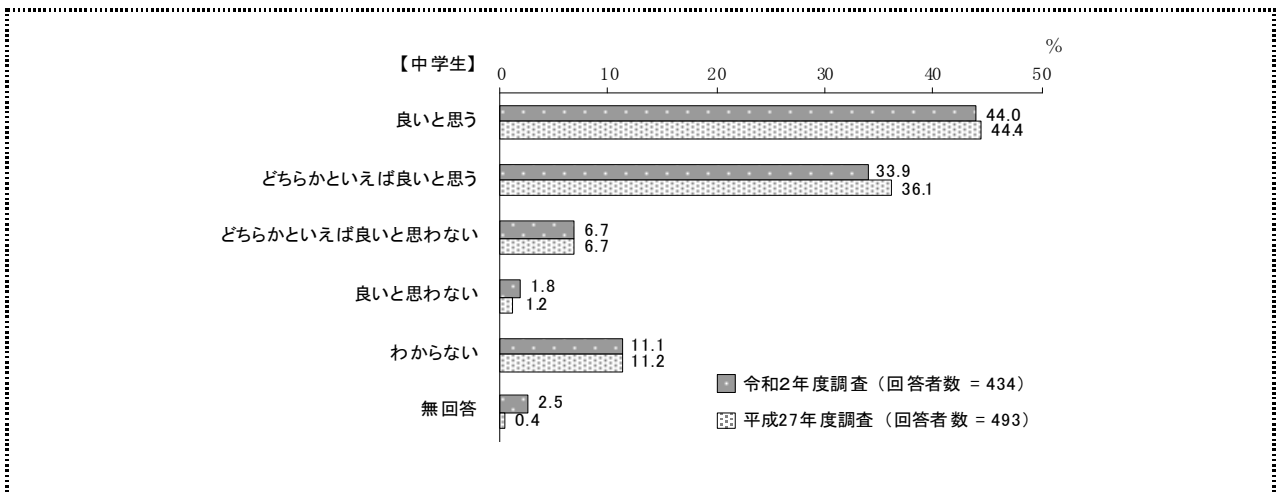
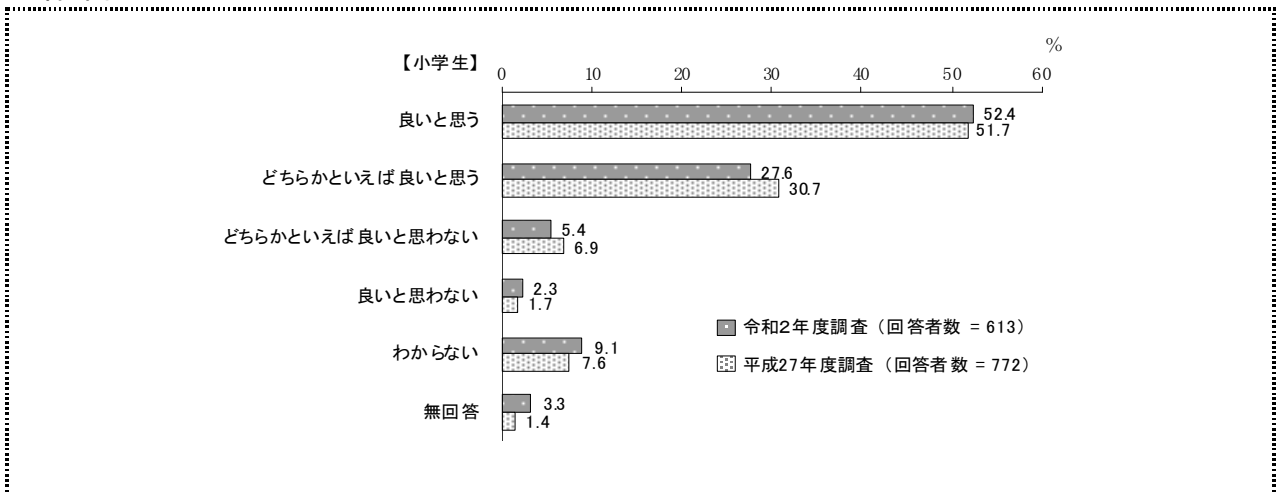
小学生調査では，“良いと思う”の割合が80.0%，“良いと思わない”の割合が7.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では，“良いと思う”の割合が77.9%，“良いと思わない”の割合が8.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



⑦ クラスの雰囲気

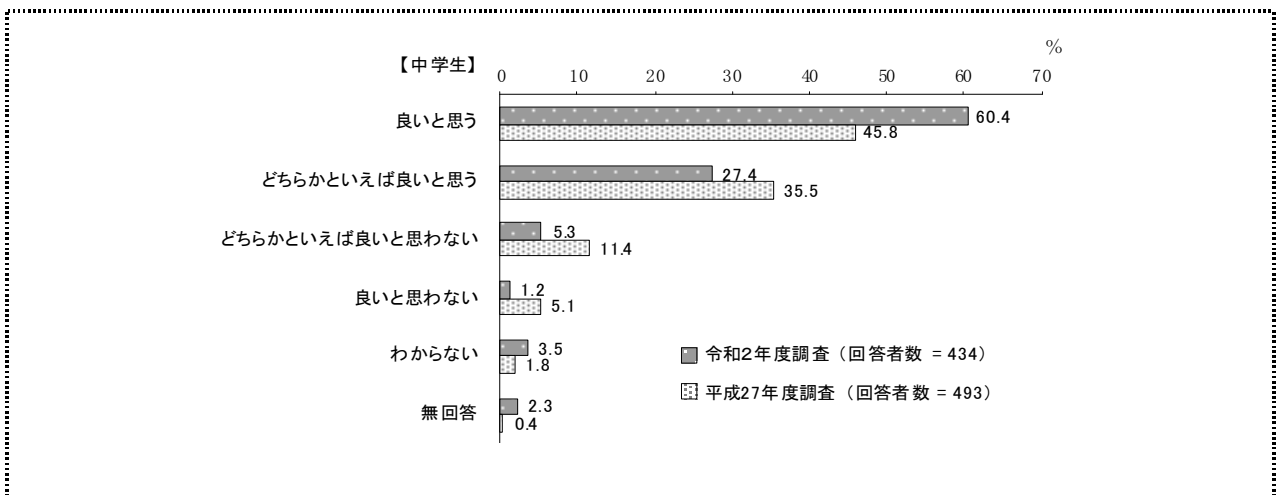
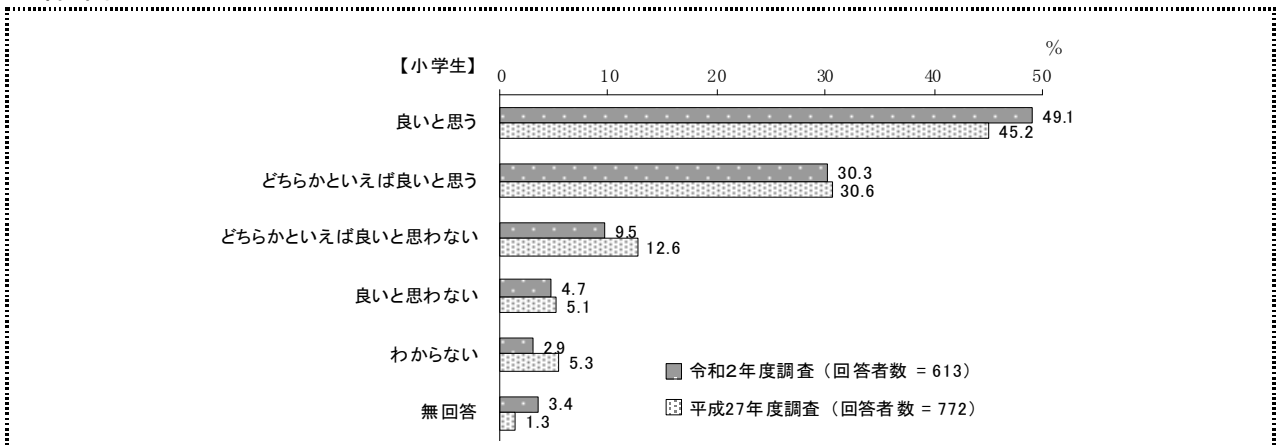
小学生調査では、“良いと思う”の割合が79.4%，“良いと思わない”の割合が14.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、“良いと思う”の割合が87.8%，“良いと思わない”の割合が6.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“良いと思う”の割合が増加しています。

○全体集計



⑧ 学校の行事（遠足や運動会・音楽会など）

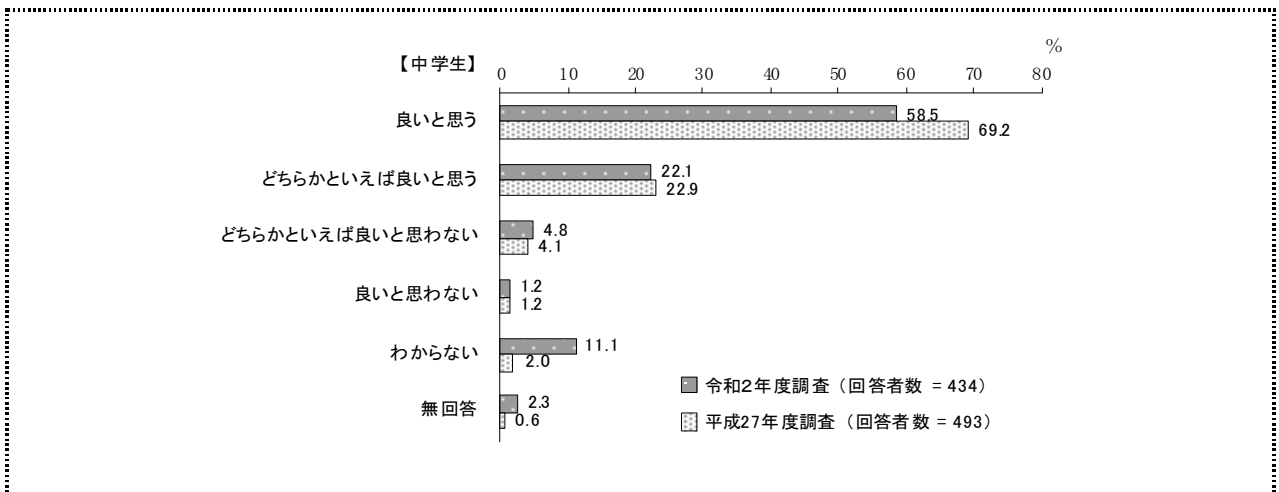
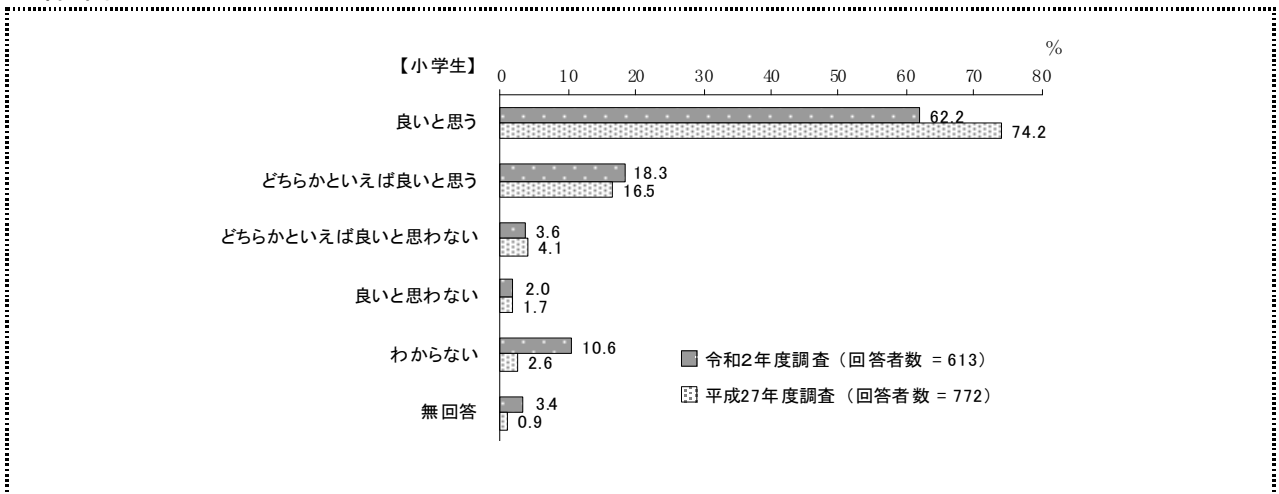
小学生調査では，“良いと思う”の割合が80.5%，“良いと思わない”の割合が5.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“良いと思う”の割合が減少しています。

中学生調査では，“良いと思う”の割合が80.6%，“良いと思わない”の割合が6.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“良いと思う”の割合が減少しています。

○全体集計



⑨ 学校のきまりやルール

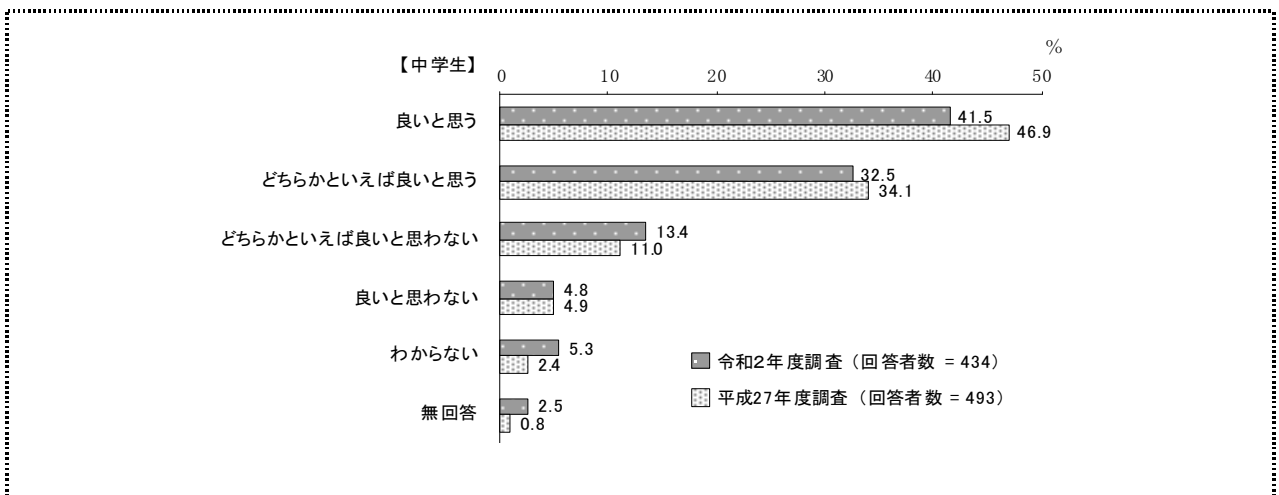
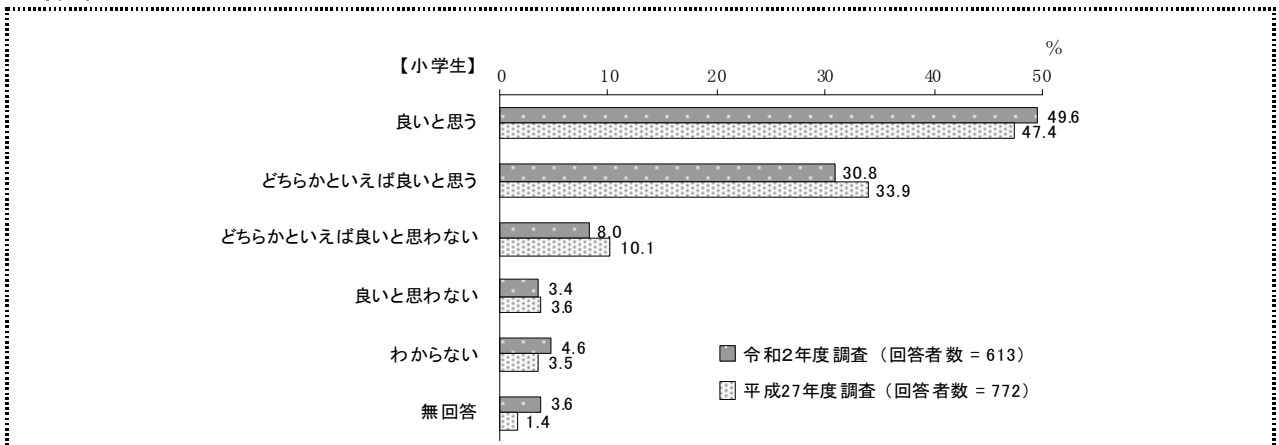
小学生調査では、“良いと思う”の割合が80.4%，“良いと思わない”の割合が11.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、“良いと思う”の割合が74.0%，“良いと思わない”の割合が18.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“良いと思う”の割合が減少しています。

○全体集計



⑩ 校舎や教室のきれいさ

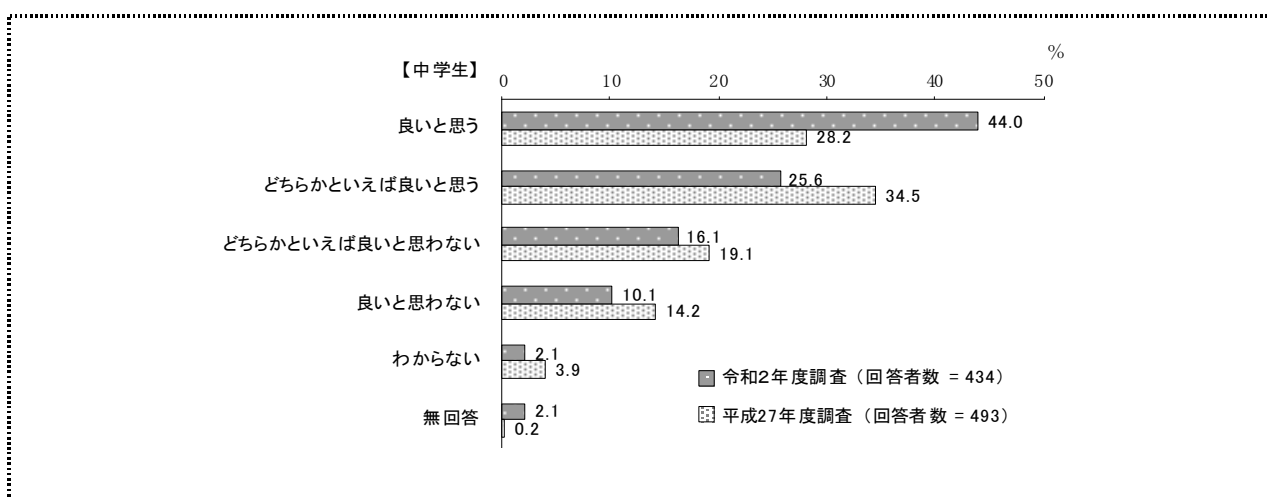
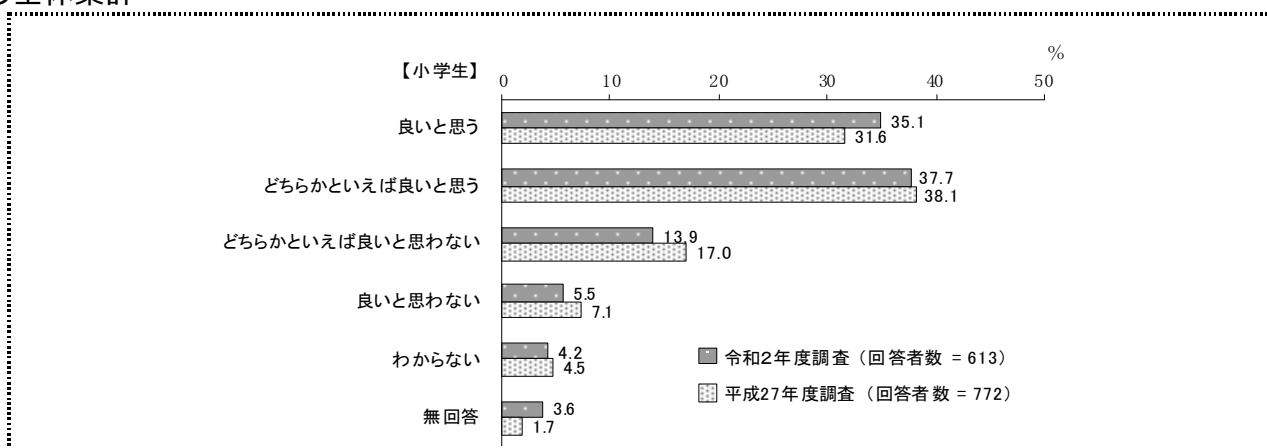
小学生調査では、“良いと思う”の割合が72.8%，“良いと思わない”の割合が19.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、“良いと思う”の割合が69.6%，“良いと思わない”の割合が26.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“良いと思う”の割合が増加しています。

○全体集計



⑪ 学校図書館の利用しやすさ

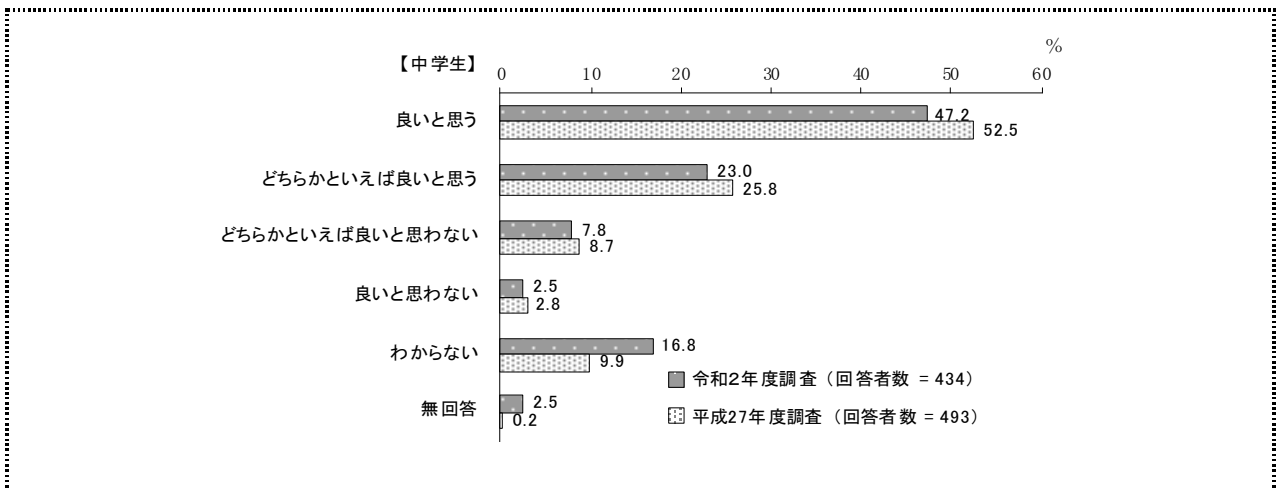
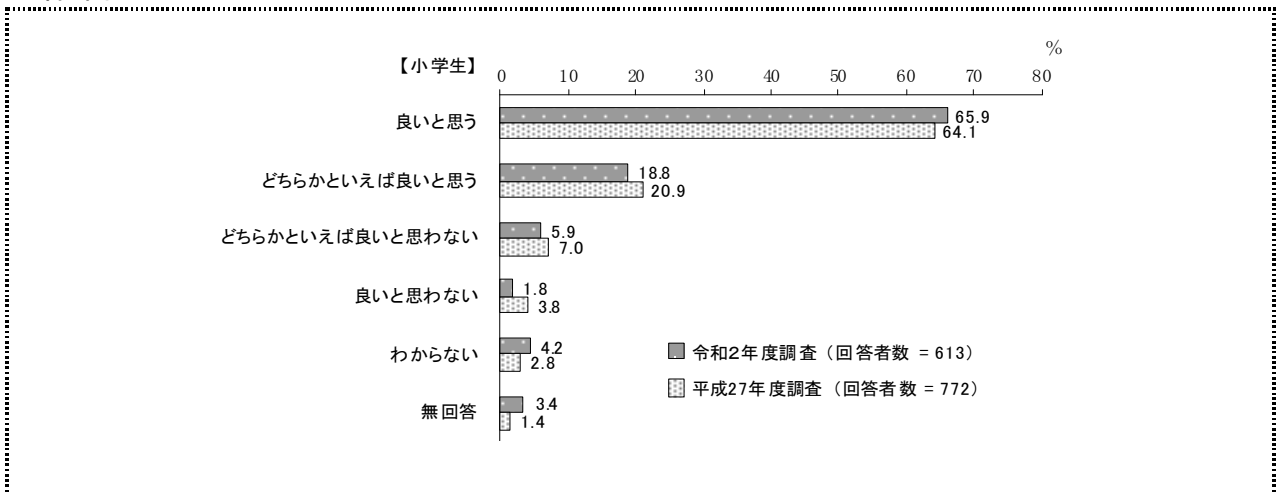
小学生調査では、“良いと思う”の割合が84.7%，“良いと思わない”の割合が7.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、“良いと思う”の割合が70.2%，“良いと思わない”の割合が10.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“良いと思う”の割合が減少しています。

○全体集計



⑫ パソコンルーム（コンピュータ室）の利用しやすさ

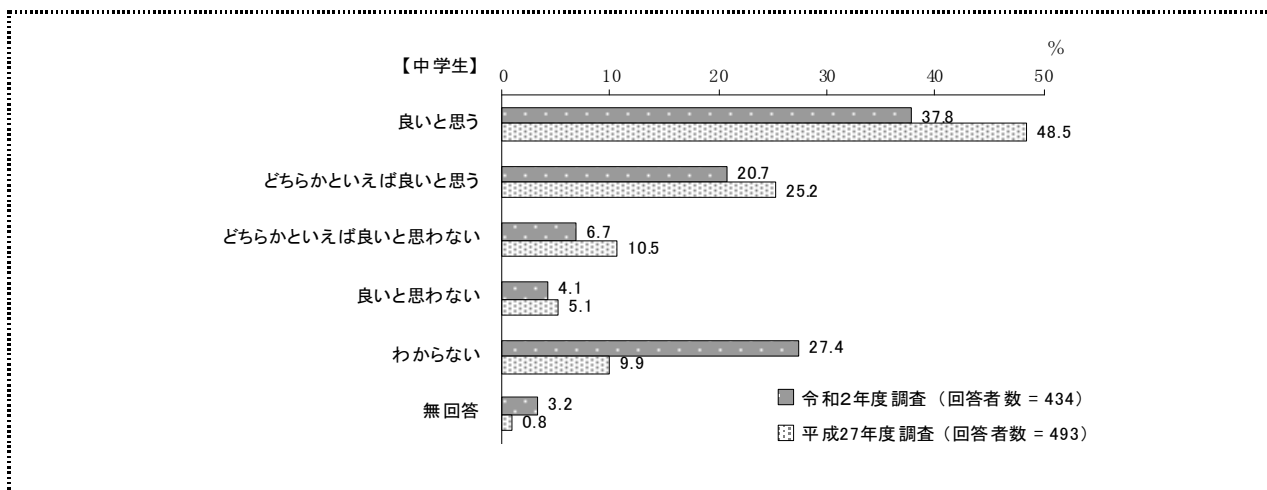
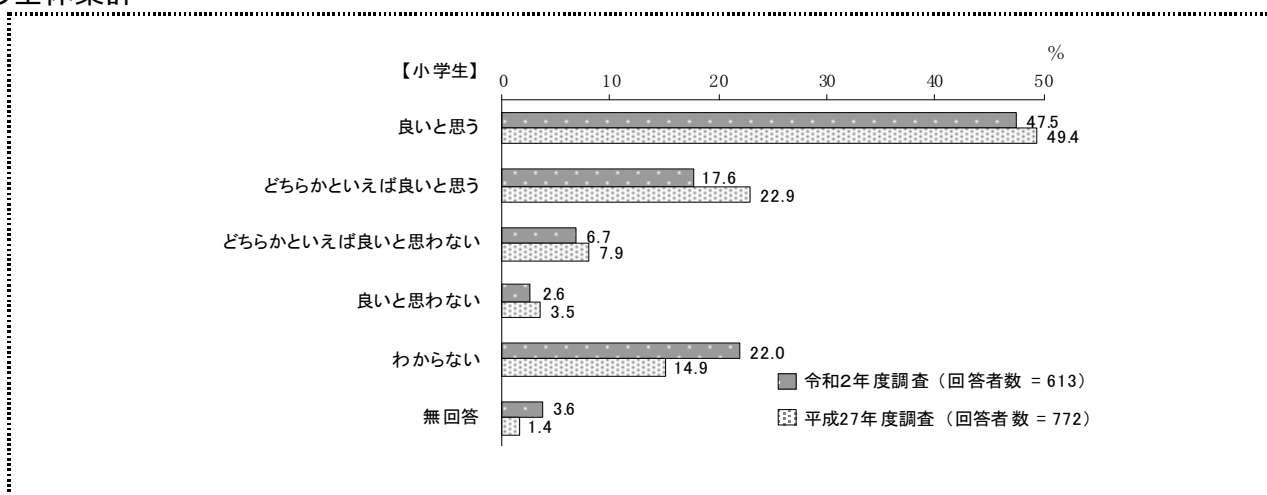
小学生調査では，“良いと思う”の割合が65.1%，“良いと思わない”の割合が9.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“良いと思う”の割合が減少しています。

中学生調査では，“良いと思う”の割合が58.5%，“良いと思わない”の割合が10.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“良いと思う”の割合が減少しています。

○全体集計



⑬ クラスの係や委員会活動の内容

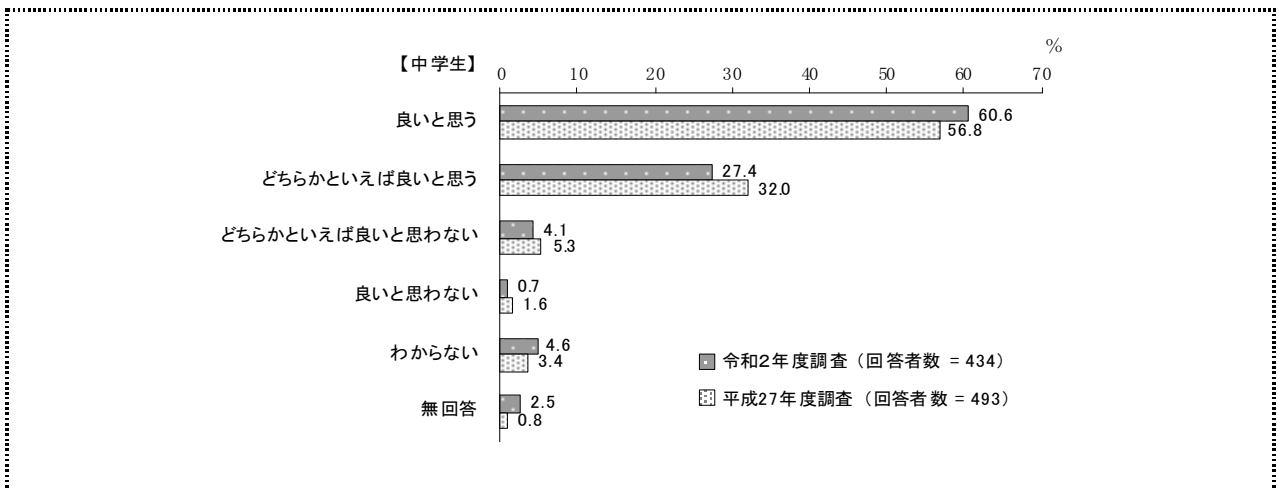
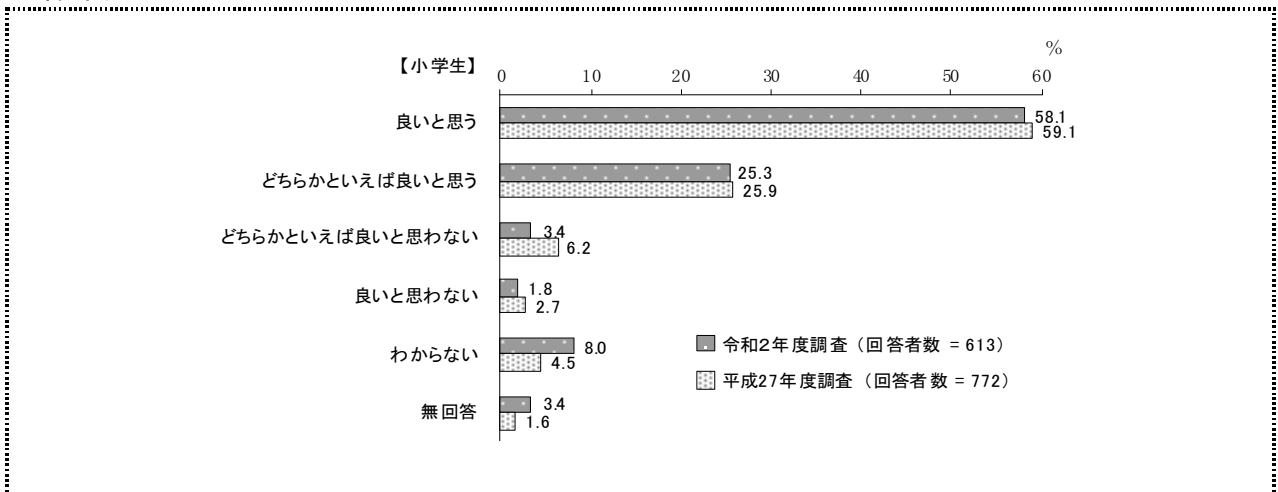
小学生調査では、“良いと思う”の割合が83.4%，“良いと思わない”の割合が5.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、“良いと思う”の割合が88.0%，“良いと思わない”の割合が4.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



⑭ クラブ活動や部活動の内容

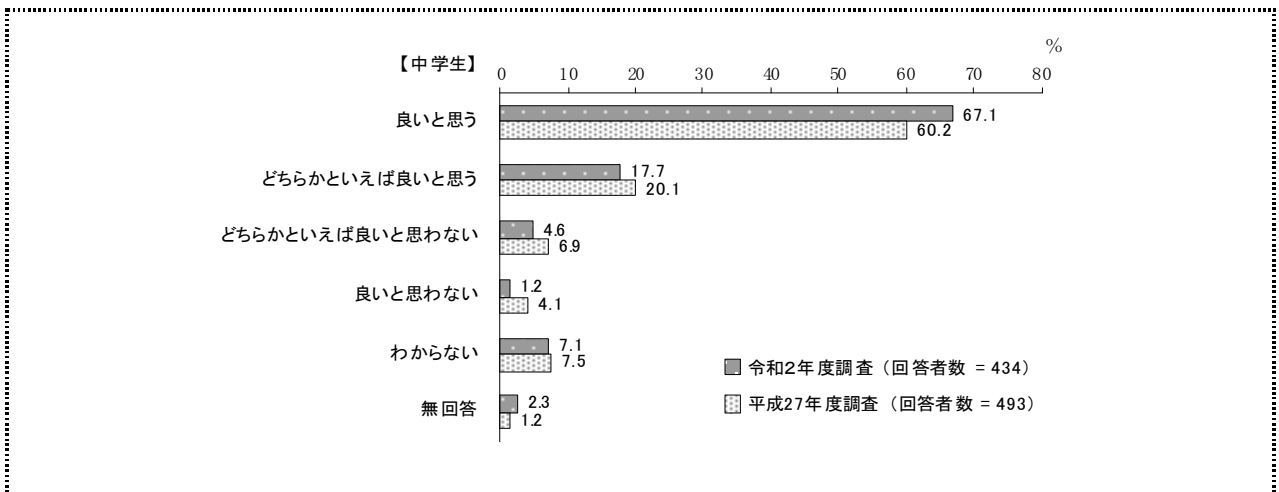
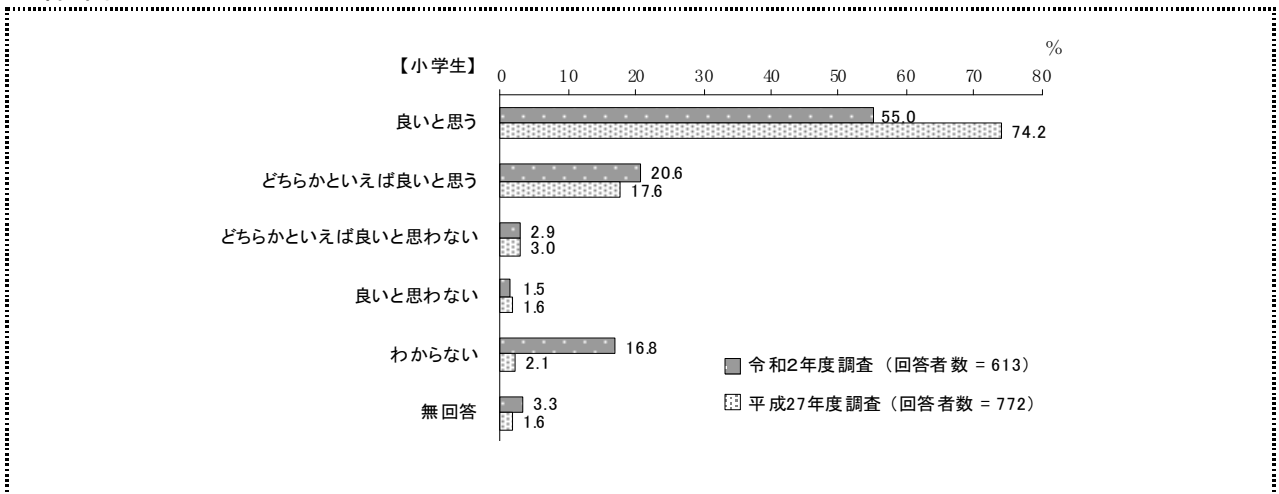
小学生調査では、“良いと思う”の割合が75.6%，“良いと思わない”の割合が4.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“良いと思う”の割合が減少しています。

中学生調査では，“良いと思う”の割合が84.8%，“良いと思わない”の割合が5.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



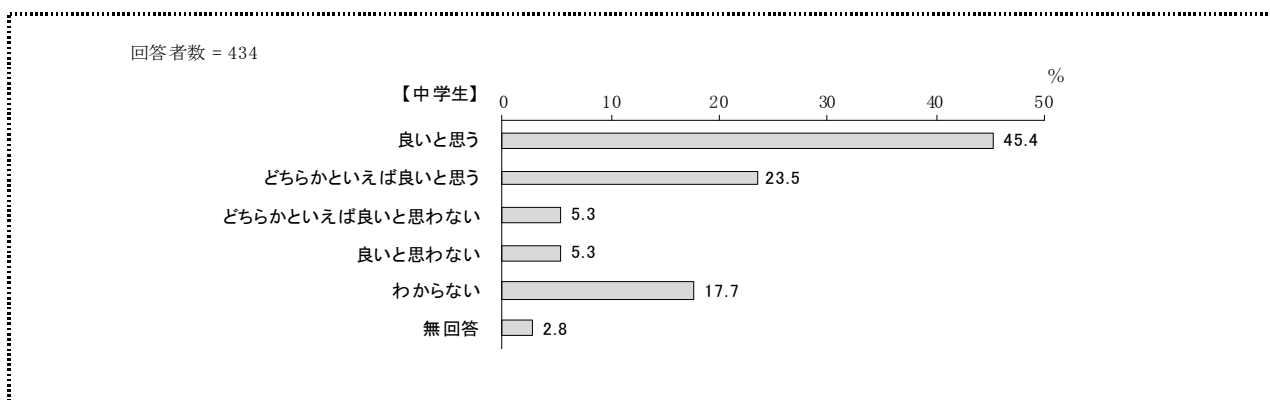
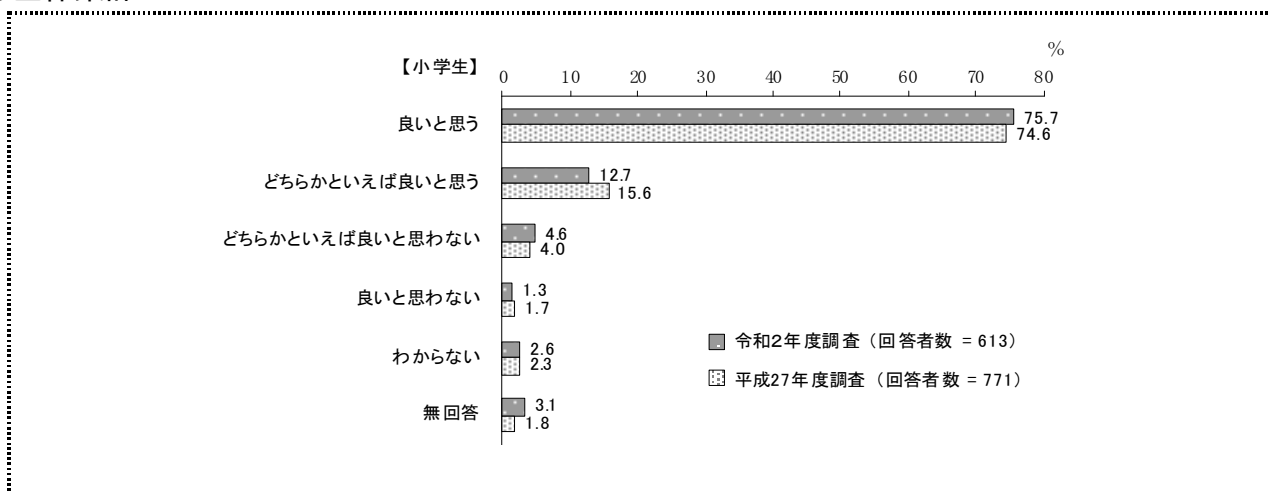
⑮ 学校給食（食育を含む）

小学生調査では，“良いと思う”の割合が88.4%，“良いと思わない”の割合が5.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると，大きな変化はみられません。

中学生調査では，“良いと思う”の割合が68.9%，“良いと思わない”の割合が10.6%となっています。

○全体集計



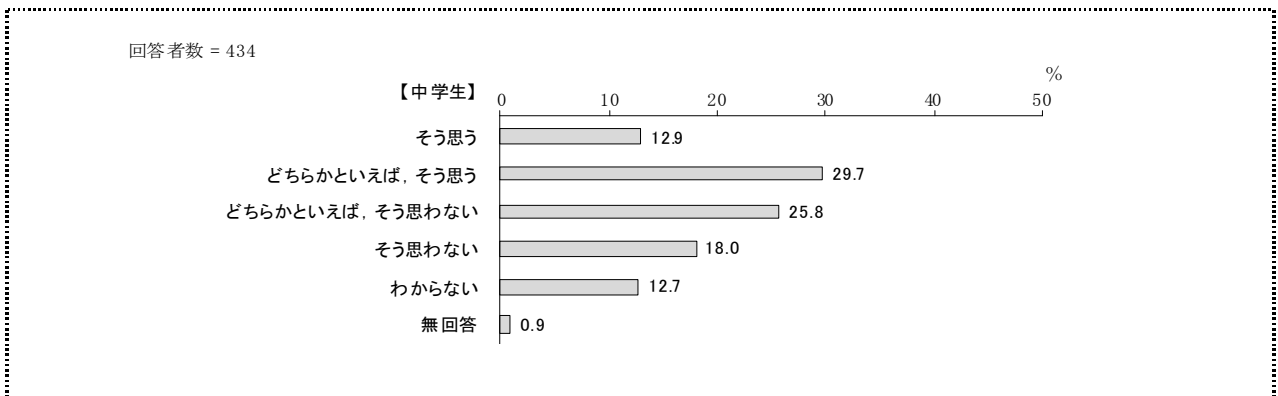
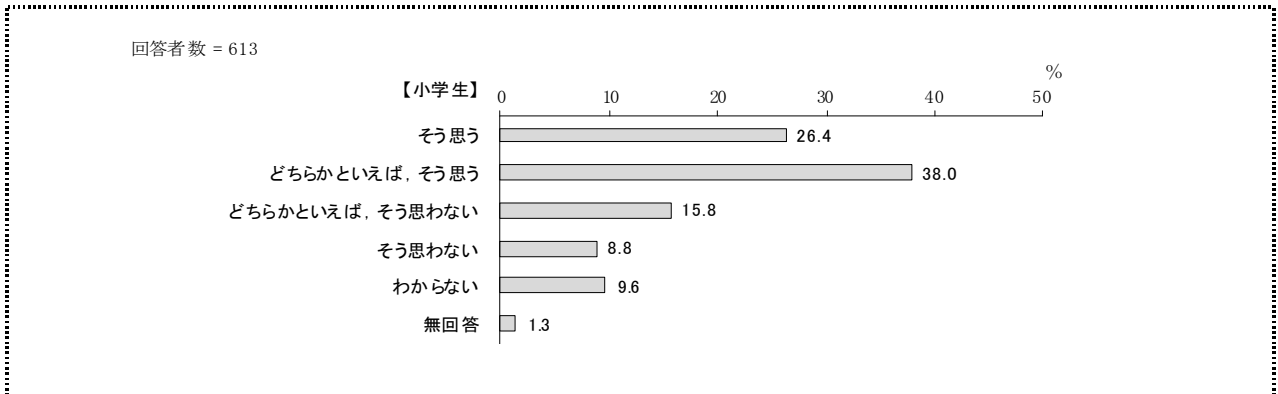
問8 あなた自身にあてはまるものをお答えください。

(①～⑤の各項目について、あてはまるものに、それぞれひとつだけに○)

① 自分に自信がある

小学生調査では、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」をあわせた“そう思う”の割合が64.4%、「どちらかといえば、そう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が24.6%となっています。

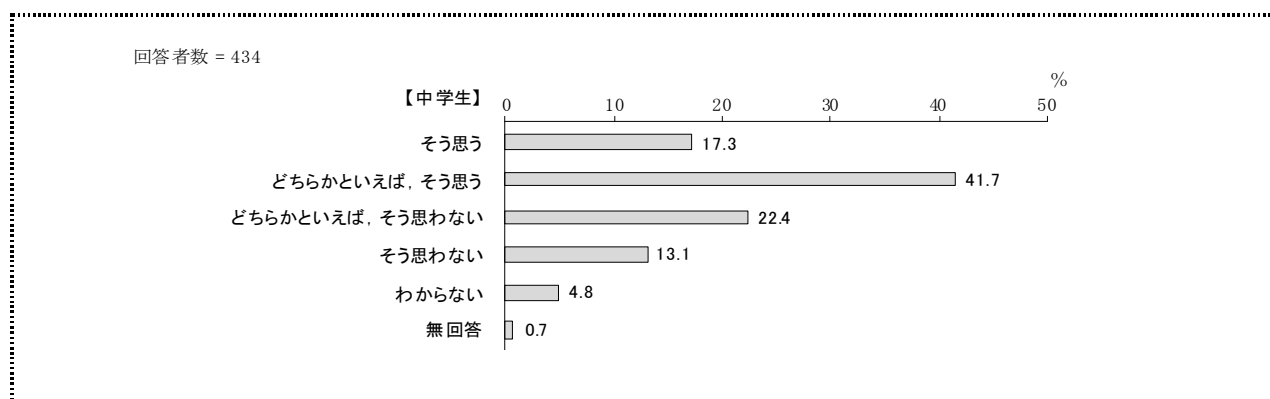
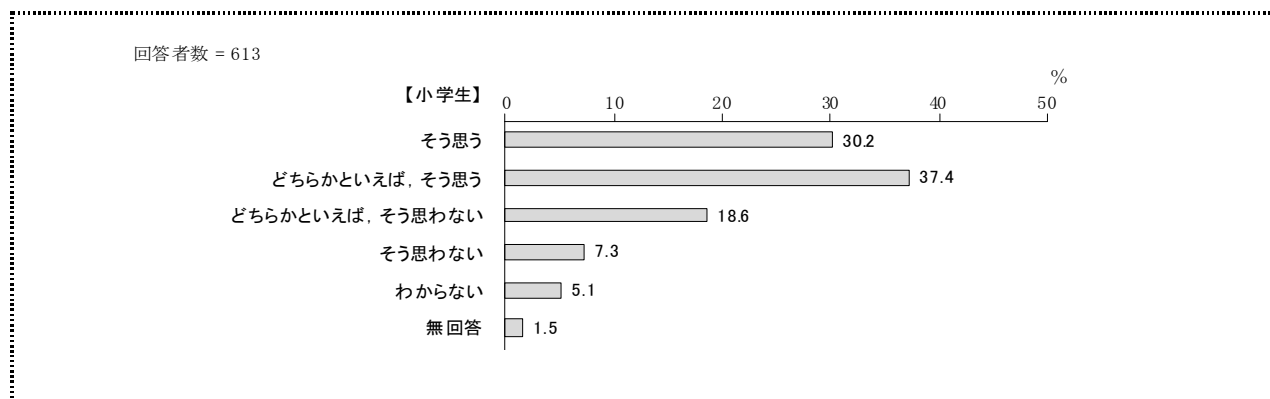
中学生調査では、“そう思う”の割合が42.6%，“そう思わない”の割合が43.8%となっています。



② いろいろなことに積極的に挑戦することができる

小学生調査では，“そう思う”の割合が67.6%，“そう思わない”の割合が25.9%となっています。

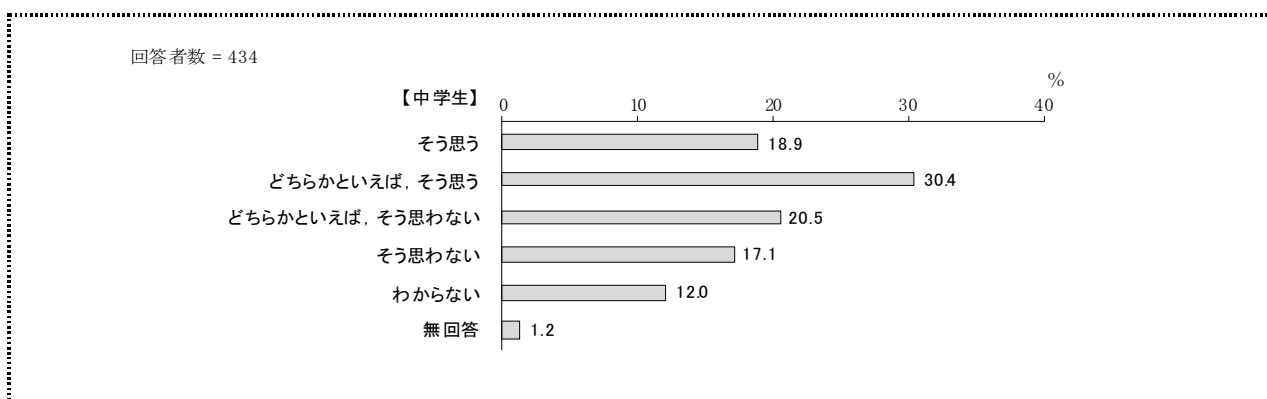
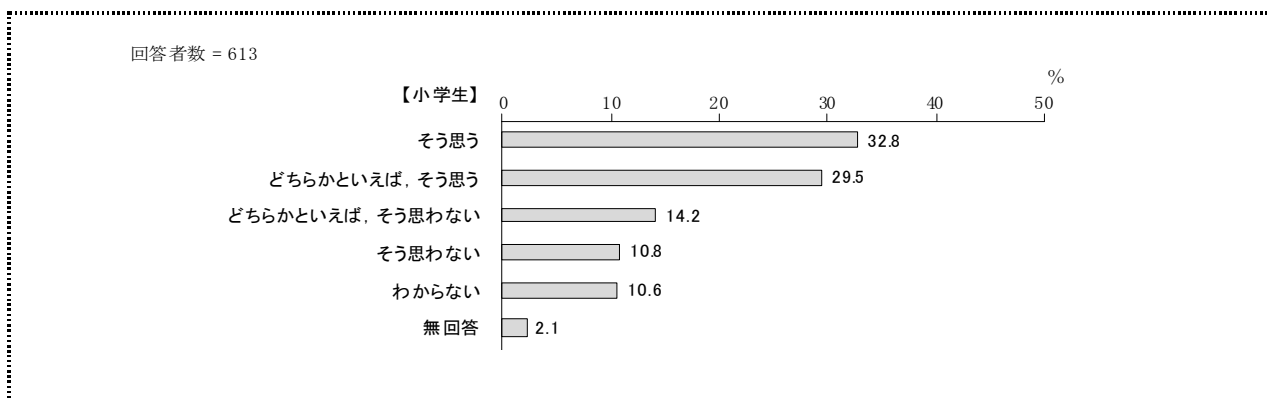
中学生調査では，“そう思う”の割合が59.0%，“そう思わない”の割合が35.5%となっています。



③ 自分のことが好き

小学生調査では，“そう思う”の割合が62.3%，“そう思わない”の割合が25.0%となっています。

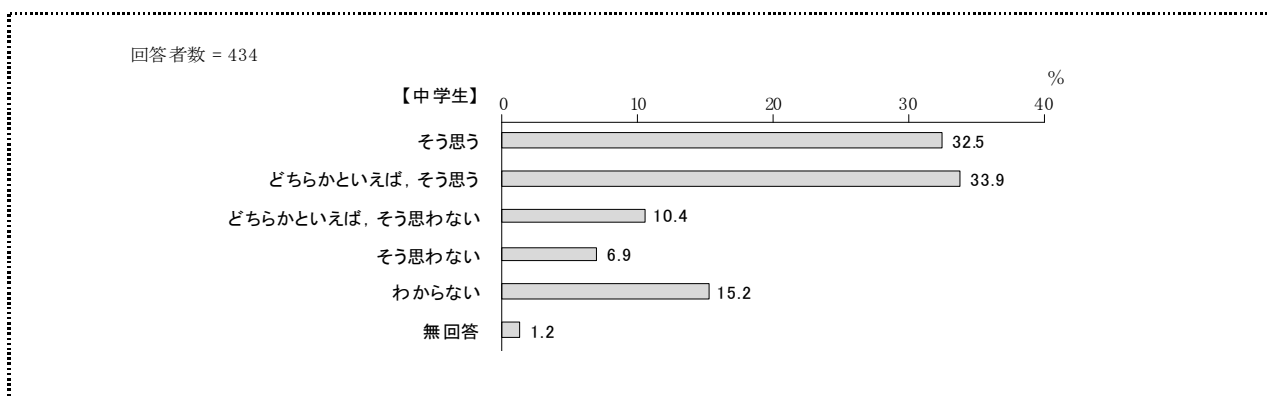
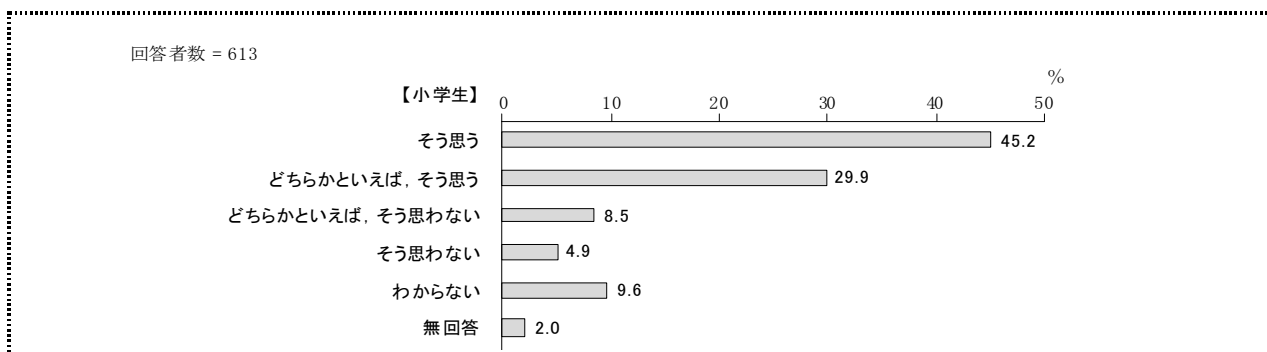
中学生調査では，“そう思う”の割合が49.3%，“そう思わない”の割合が37.6%となっています。



④ 将来の夢はなんとしてでも叶えたい

小学生調査では、“そう思う”の割合が75.1%，“そう思わない”の割合が13.4%となっています。

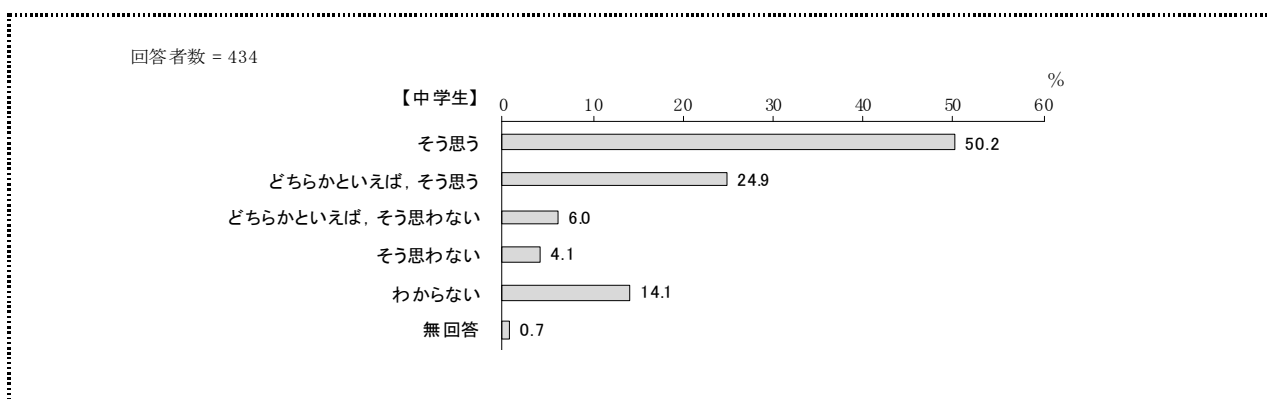
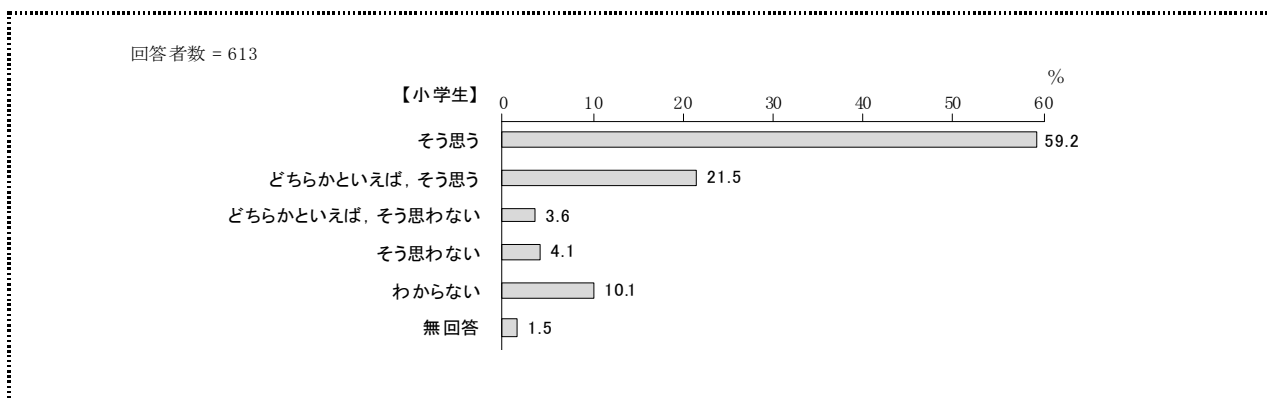
中学生調査では，“そう思う”の割合が66.4%，“そう思わない”の割合が17.3%となっています。



⑤ いつか自分の夢を実現させる仕事に就きたい

小学生調査では，“そう思う”の割合が80.7%，“そう思わない”の割合が7.7%となっています。

中学生調査では，“そう思う”の割合が75.1%，“そう思わない”の割合が10.1%となっています。



問9 学校や先生に対して、どのようなことを望みますか。(主なものを3つに○)

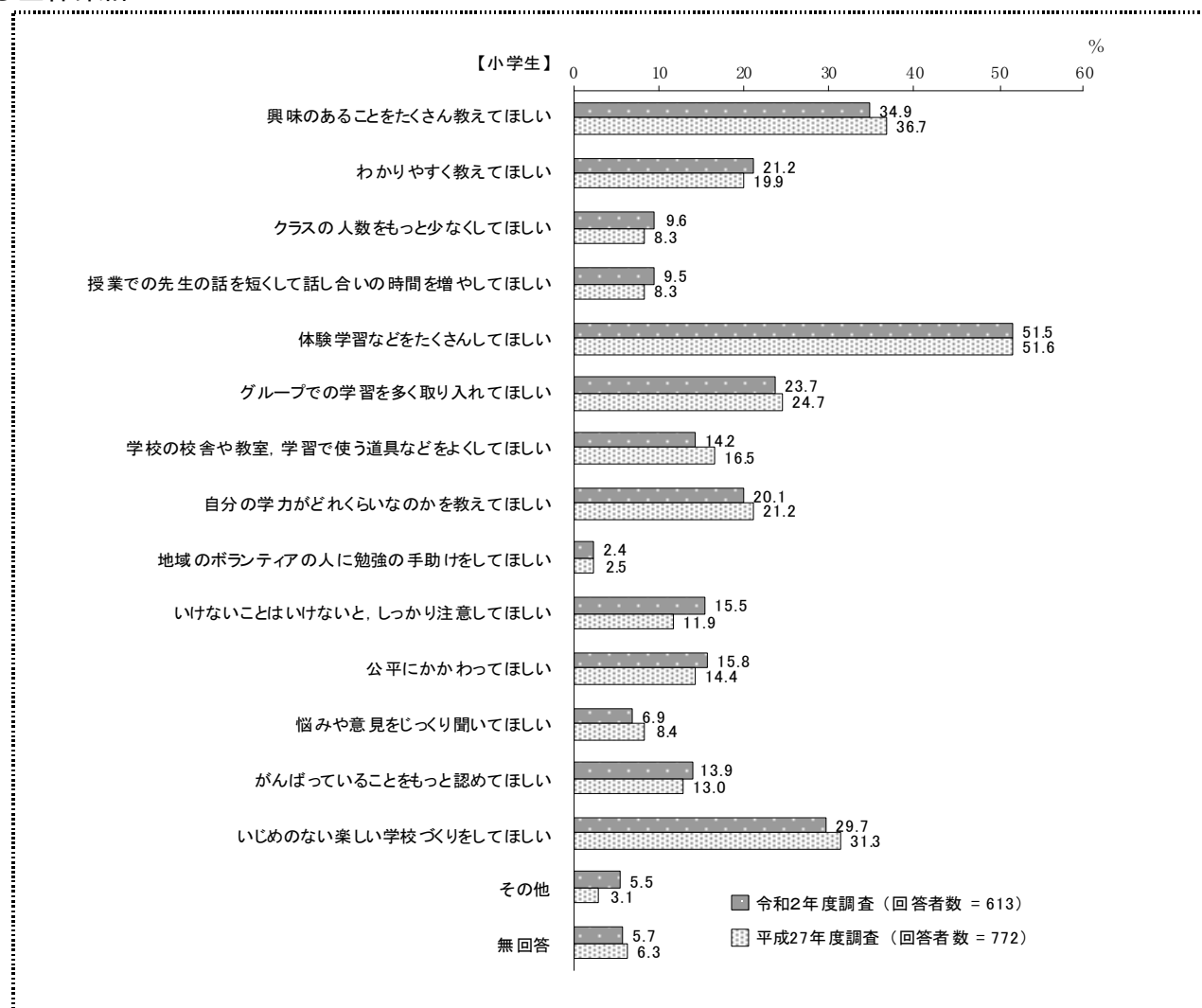
小学生調査では、「体験学習などをたくさんしてほしい」の割合が51.5%と最も高く、次いで「興味のあることをたくさん教えてほしい」の割合が34.9%、「いじめのない楽しい学校づくりをしてほしい」の割合が29.7%となっています。

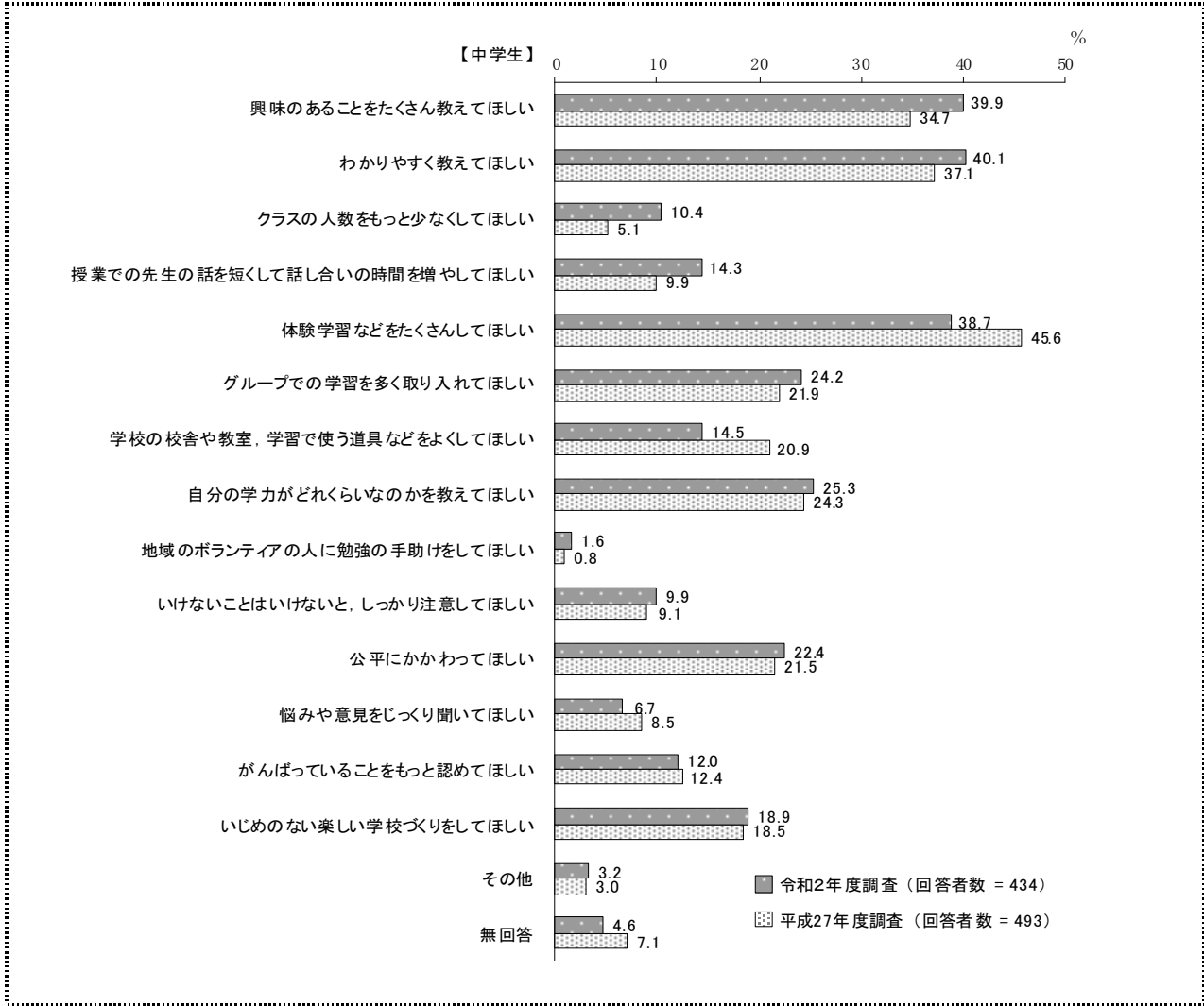
平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、「わかりやすく教えてほしい」の割合が40.1%と最も高く、次いで「興味のあることをたくさん教えてほしい」の割合が39.9%、「体験学習などをたくさんしてほしい」の割合が38.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「興味のあることをたくさん教えてほしい」、「クラスの人数をもっと少なくしてほしい」の割合が増加し、「体験学習などをたくさんしてほしい」、「学校の校舎や教室、学習で使う道具などをよくしてほしい」の割合が減少しています。

○全体集計





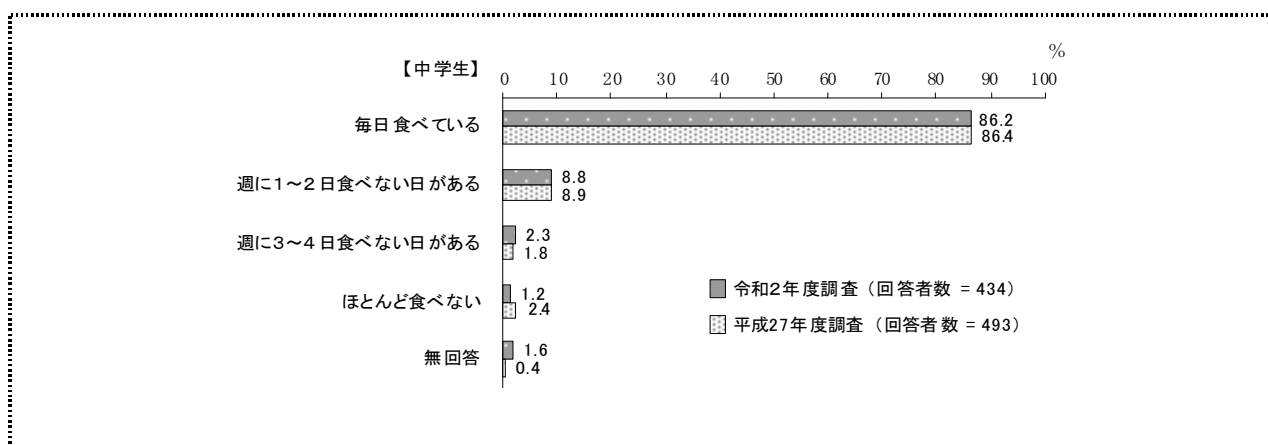
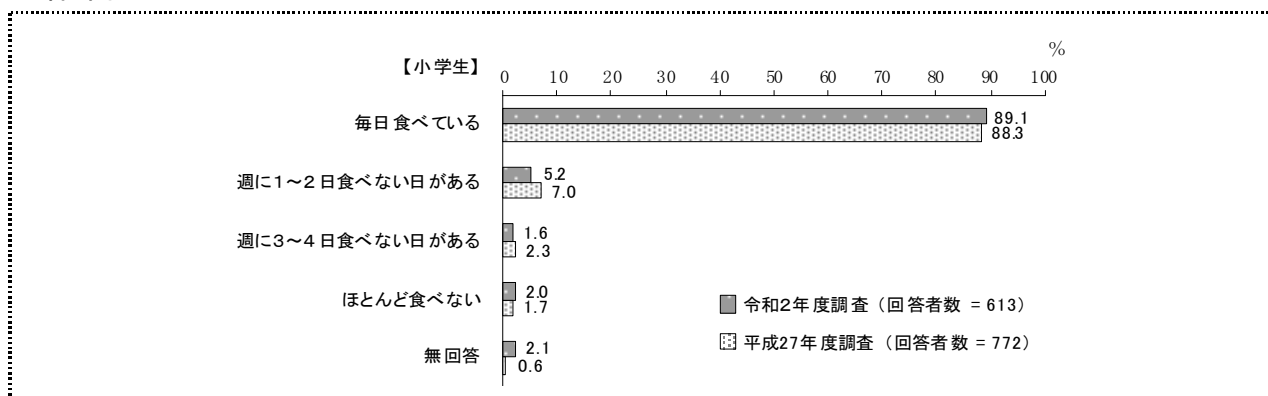
(3) 家庭や地域での生活について聞かせてください。

問 10 あなたは、朝食を食べていますか。(ひとつだけに○)

小学生調査では、「毎日食べている」の割合が 89.1%と最も高くなっています。
平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、「毎日食べている」の割合が 86.2%と最も高くなっています。
平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



問 11 あなたは、ふだん何時間くらい寝ていますか。(ひとつだけに○)

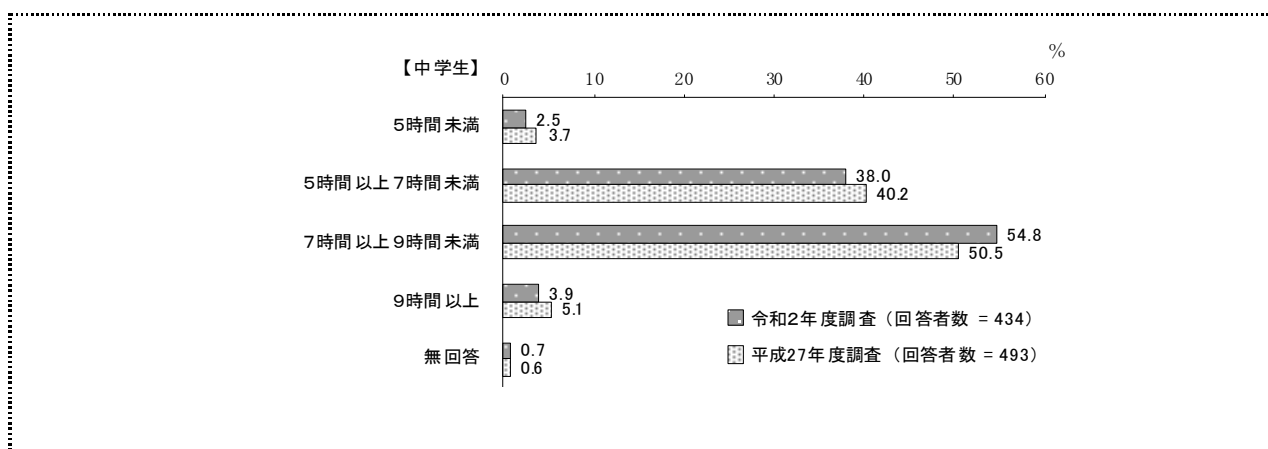
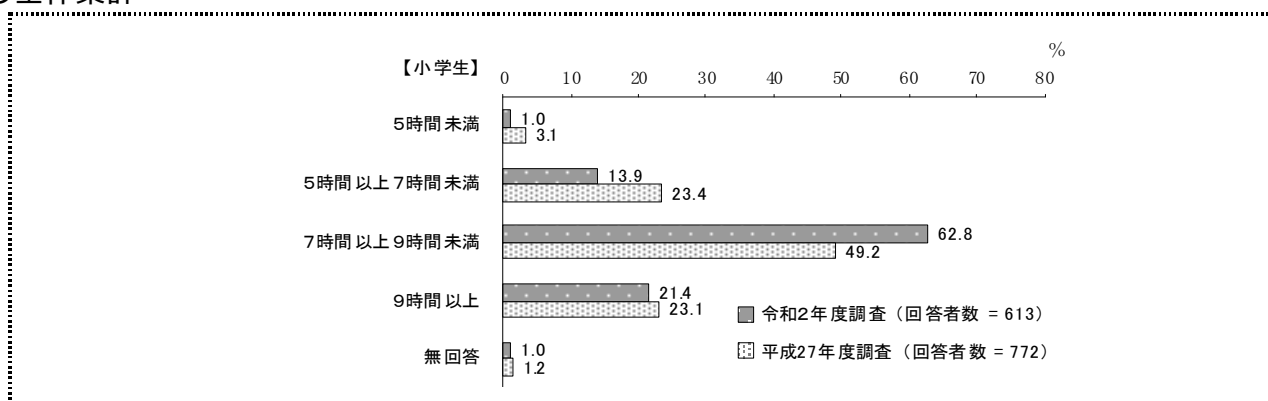
小学生調査では、「7時間以上9時間未満」の割合が62.8%と最も高く、次いで「9時間以上」の割合が21.4%、「5時間以上7時間未満」の割合が13.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「7時間以上9時間未満」の割合が増加し、「5時間以上7時間未満」の割合が減少しています。

中学生調査では、「7時間以上9時間未満」の割合が54.8%と最も高く、次いで「5時間以上7時間未満」の割合が38.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



問 12 あなたは、学習塾（家庭教師・オンライン学習を含む）に通っていますか。
（ひとつだけに○）

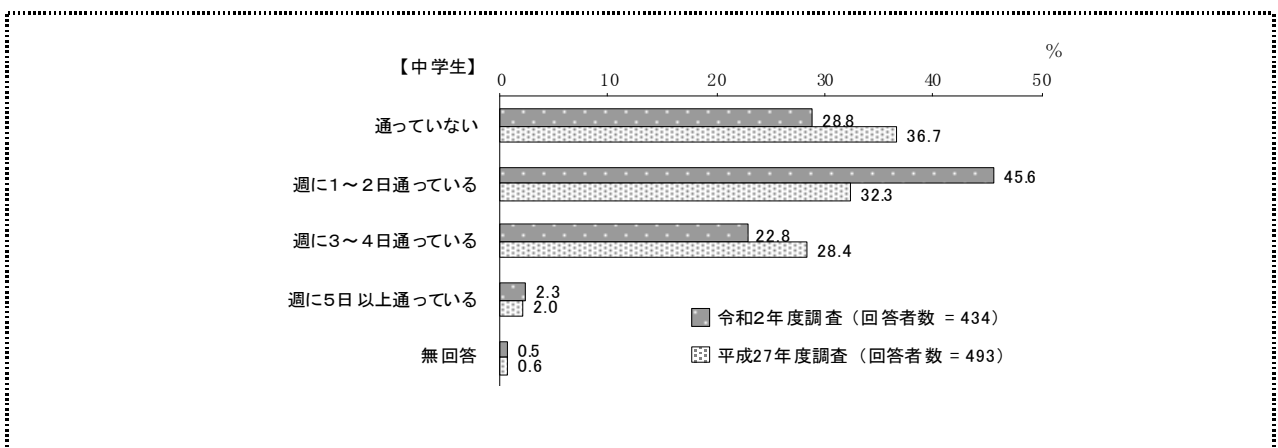
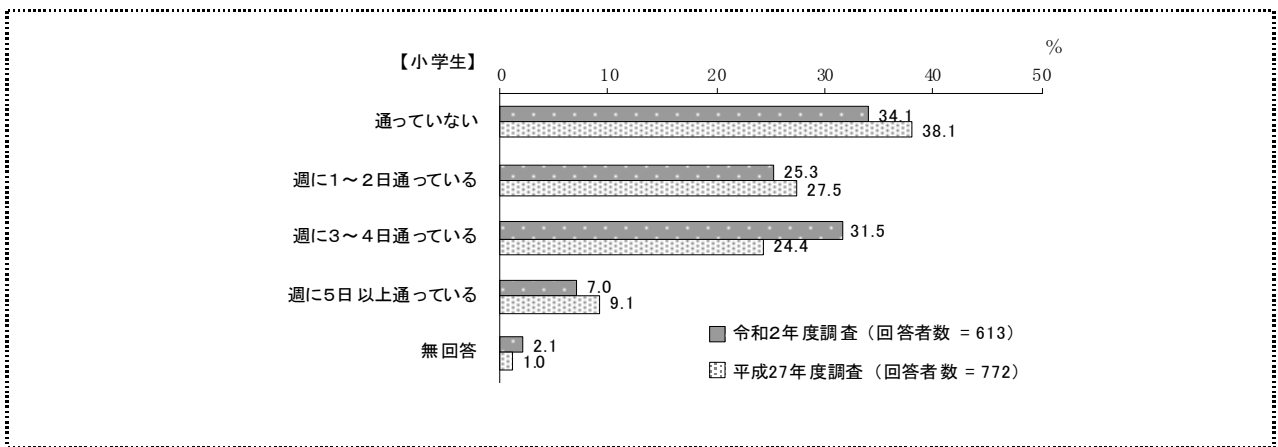
小学生調査では、「通っていない」の割合が34.1%と最も高く、次いで「週に3～4日通っている」の割合が31.5%、「週に1～2日通っている」の割合が25.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「週に3～4日通っている」の割合が増加しています。

中学生調査では、「週に1～2日通っている」の割合が45.6%と最も高く、次いで「通っていない」の割合が28.8%、「週に3～4日通っている」の割合が22.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「週に1～2日通っている」の割合が増加し、「通っていない」、「週に3～4日通っている」の割合が減少しています。

○全体集計



〔問 12-1 は、問 12 で学習塾に通っていると答えた人だけにたずねます。〕

問 12-1 あなたが、学習塾（家庭教師・オンライン学習）に通うのはどうしてですか。（あてはまるすべてに○）

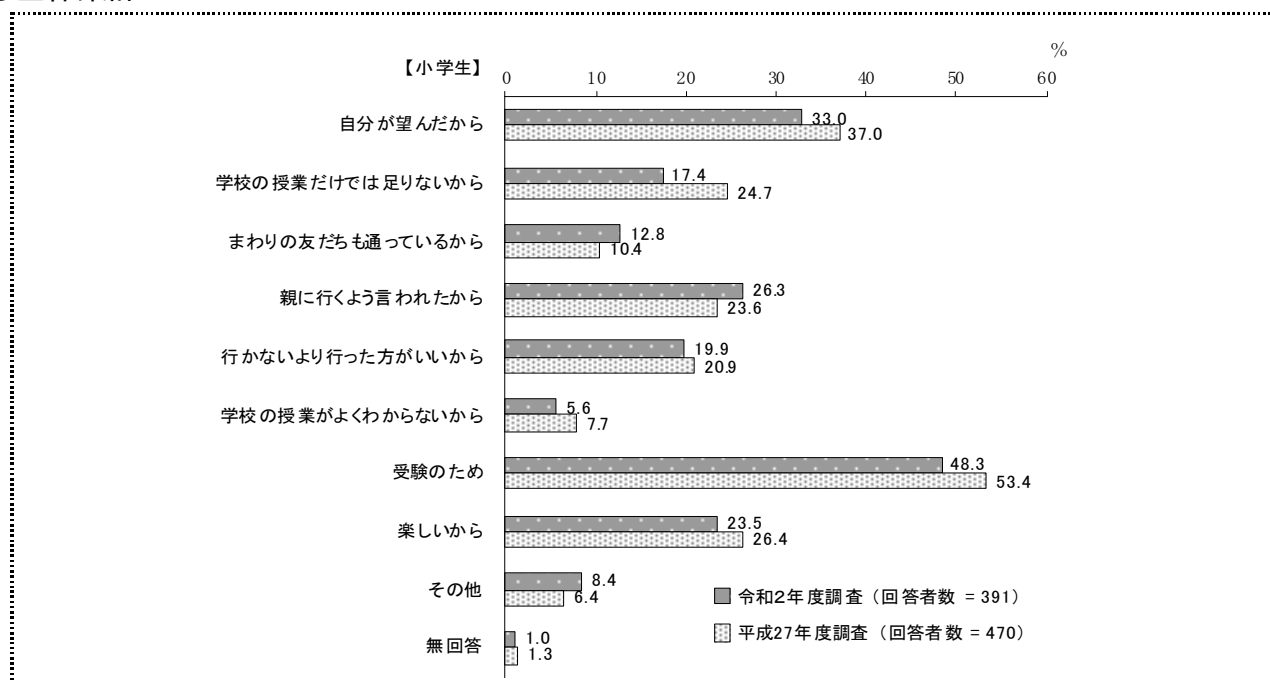
小学生調査では、「受験のため」の割合が 48.3%と最も高く、次いで「自分が望んだから」の割合が 33.0%、「親に行くよう言われたから」の割合が 26.3%となっています。

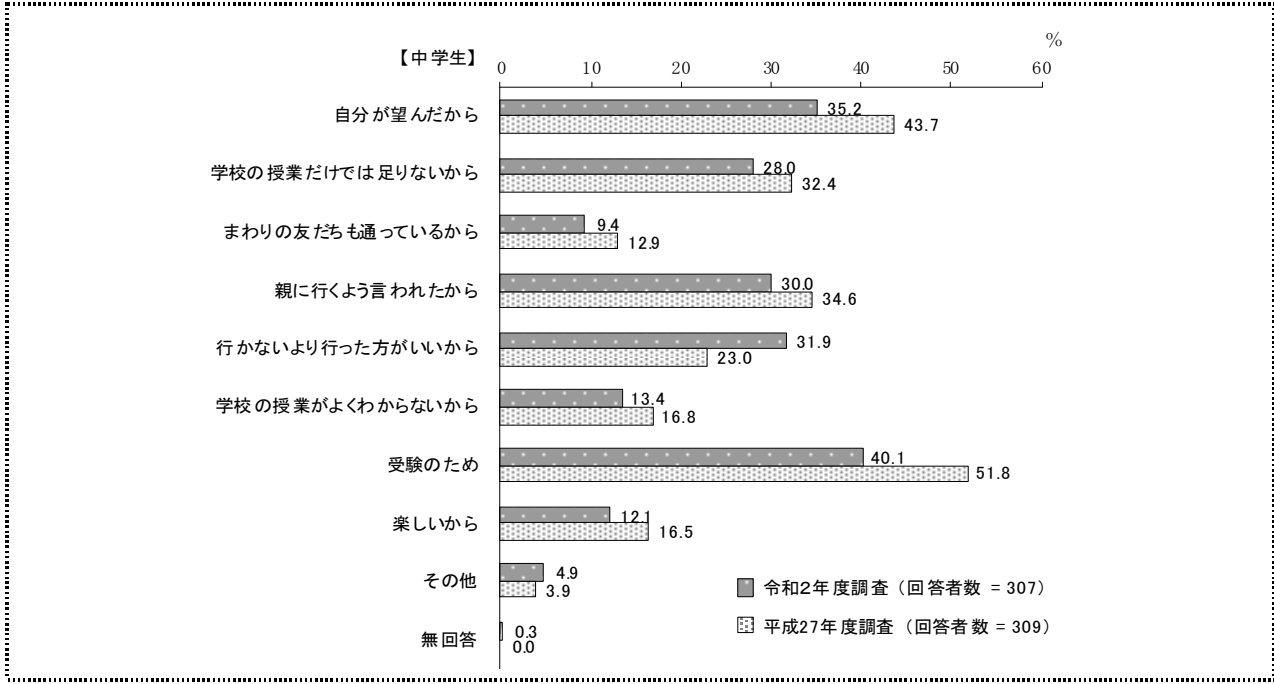
平成 27 年度調査と比較すると、「学校の授業だけでは足りないから」、「受験のため」の割合が減少しています。

中学生調査では、「受験のため」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「自分が望んだから」の割合が 35.2%、「行かないより行った方がいいから」の割合が 31.9%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「行かないより行った方がいいから」の割合が増加し、「自分が望んだから」、「受験のため」の割合が減少しています。

○全体集計





問 13 あなたは、学習塾以外の習い事に通っていますか。(ひとつだけに○)

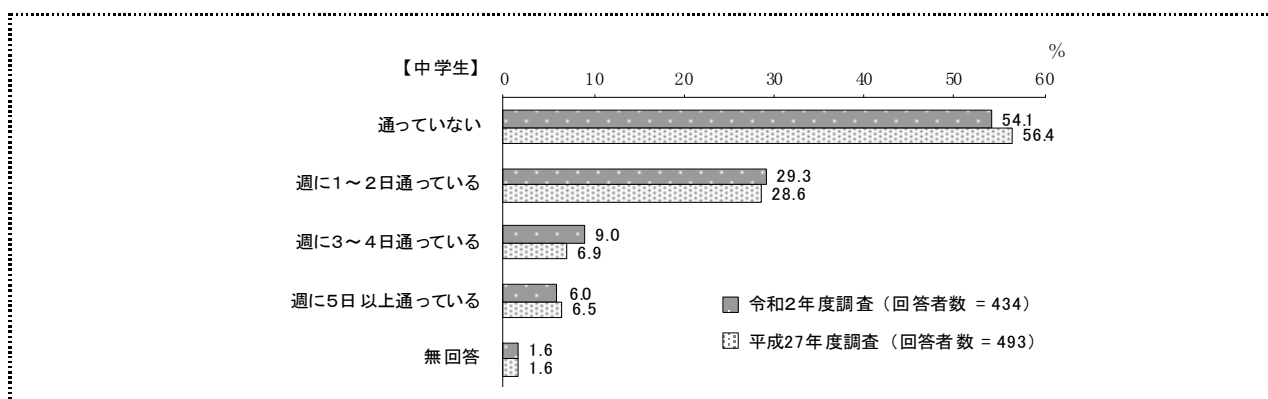
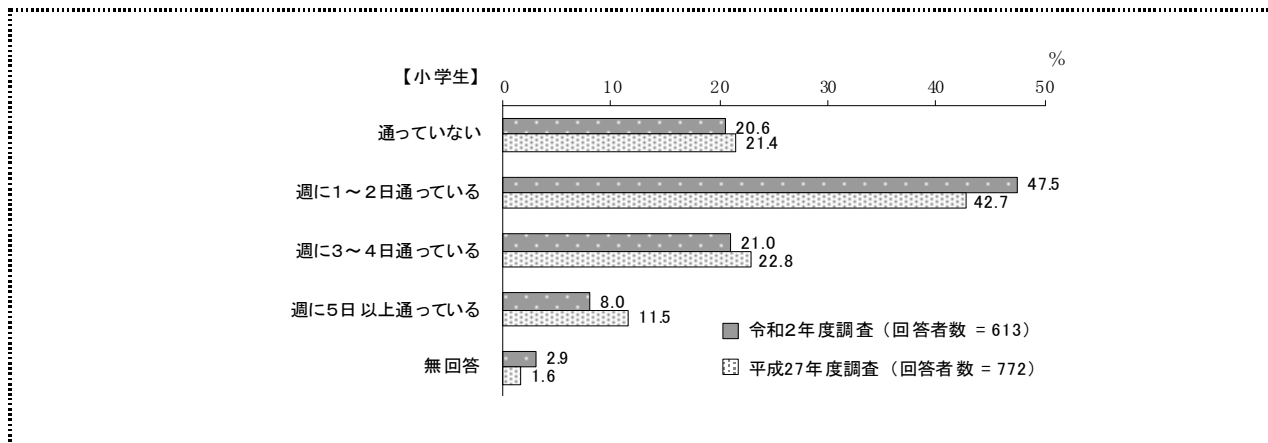
小学生調査では、「週に1～2日通っている」の割合が47.5%と最も高く、次いで「週に3～4日通っている」の割合が21.0%、「通っていない」の割合が20.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、「通っていない」の割合が54.1%と最も高く、次いで「週に1～2日通っている」の割合が29.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



問 14 あなたは、平日は家庭でどのくらい勉強しますか。
 (学習塾、家庭教師の時間は含まない) (ひとつだけに○)

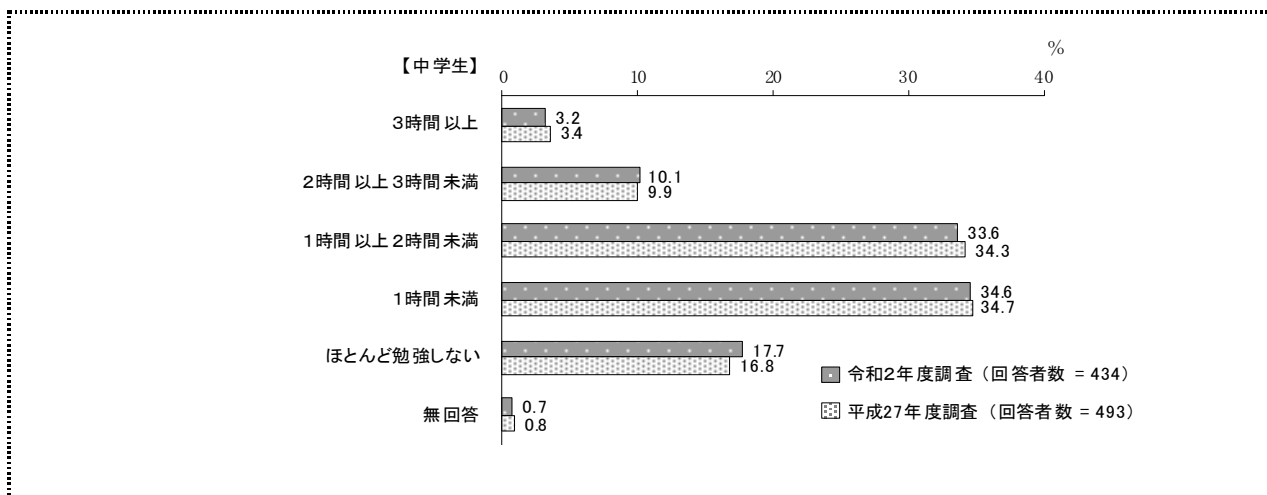
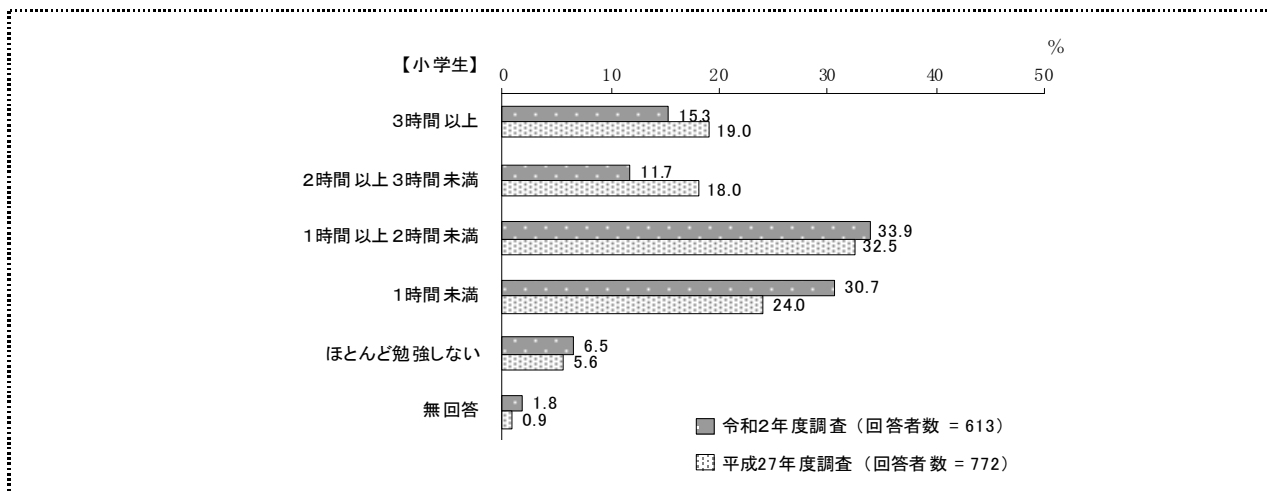
小学生調査では、「1時間以上2時間未満」の割合が33.9%と最も高く、次いで「1時間未満」の割合が30.7%、「3時間以上」の割合が15.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「1時間未満」の割合が増加し、「2時間以上3時間未満」の割合が減少しています。

中学生調査では、「1時間未満」の割合が34.6%と最も高く、次いで「1時間以上2時間未満」の割合が33.6%、「ほとんど勉強しない」の割合が17.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



問 15 あなたは、自分だけが使う携帯電話やスマートフォンを持っていますか。 (どちらかに○)

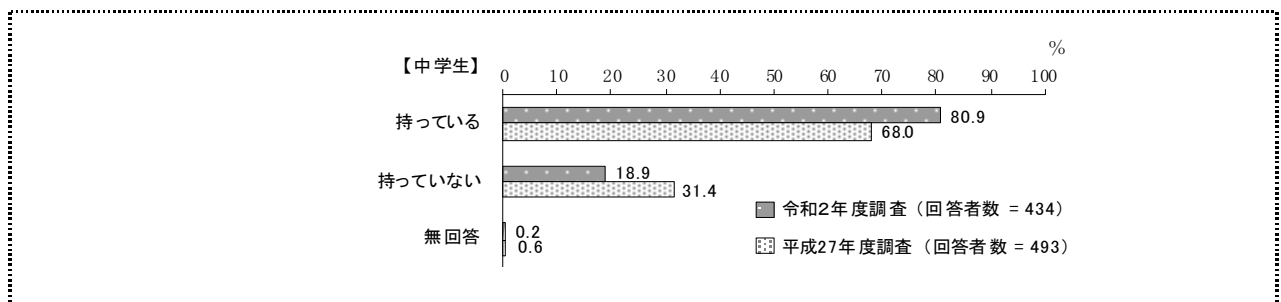
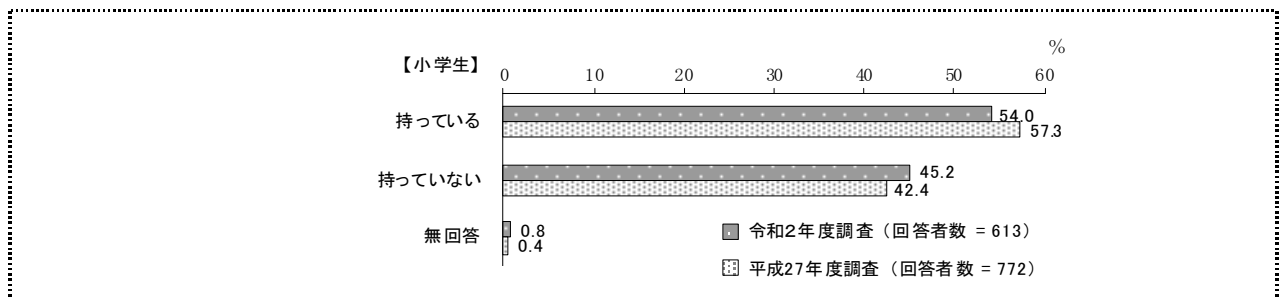
小学生調査では、「持っている」の割合が54.0%、「持っていない」の割合が45.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、「持っている」の割合が80.9%、「持っていない」の割合が18.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「持っている」の割合が増加し、「持っていない」の割合が減少しています。

○全体集計



〔問15-1は、問15で「持っている」に○をつけた人だけにたずねます。〕

問15-1 次の中であてはまることはどれですか。(あてはまるすべてに○)

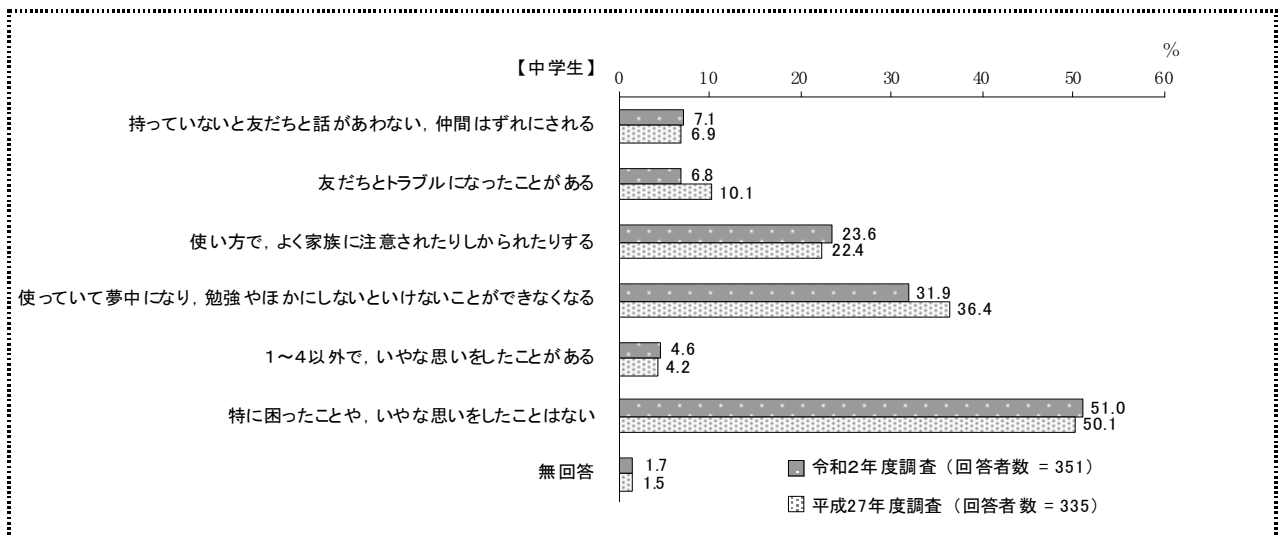
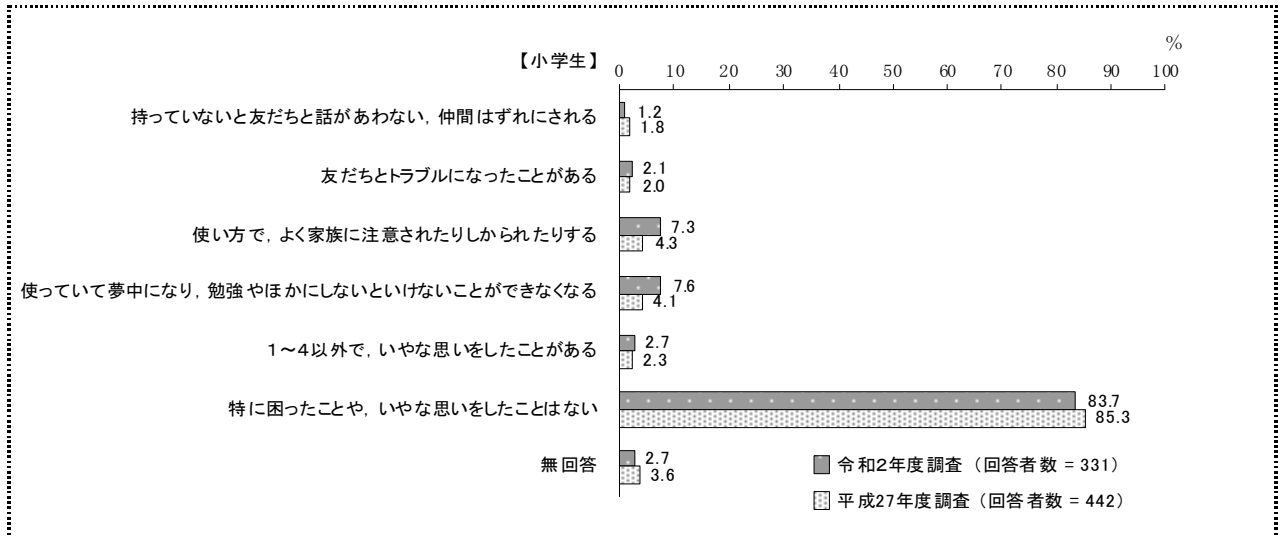
小学生調査では、「特に困ったことや、いやな思いをしたことはない」の割合が83.7%と最も高くなっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、「特に困ったことや、いやな思いをしたことはない」の割合が51.0%と最も高く、次いで「使っていて夢中になり、勉強やほかにしないといけないことができなくなる」の割合が31.9%、「使い方、よく家族に注意されたりしかられたりする」の割合が23.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



[問15-2は、問15で「持っている」に○をつけた人だけにたずねます。]

問15-2 あなたは、平日に携帯電話やスマートフォンを、どのくらいの時間使っていますか。(ひとつだけに○)

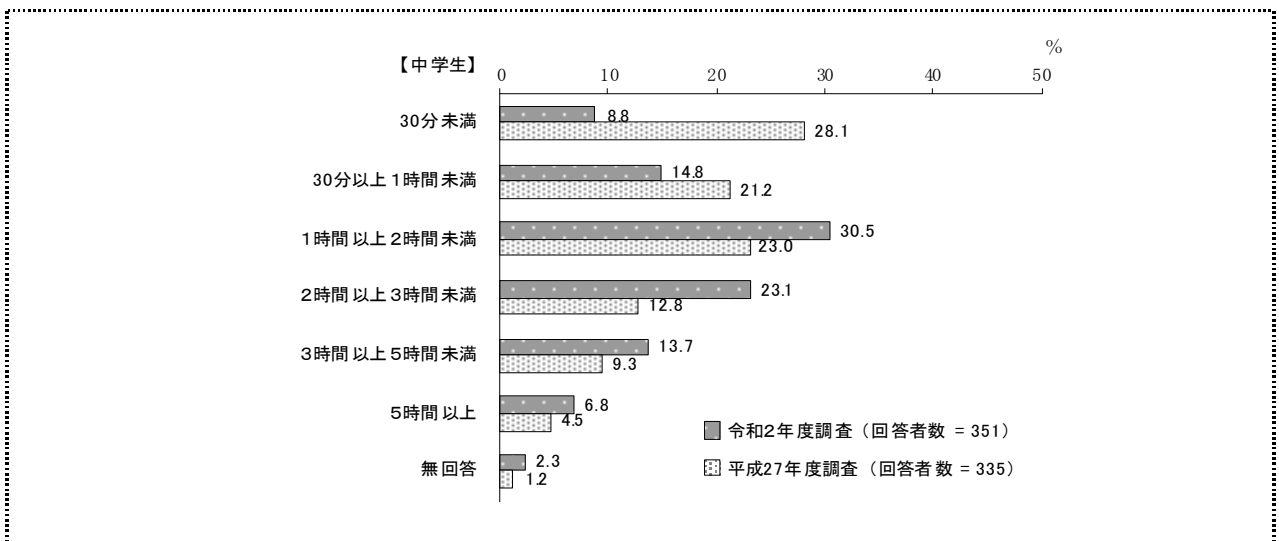
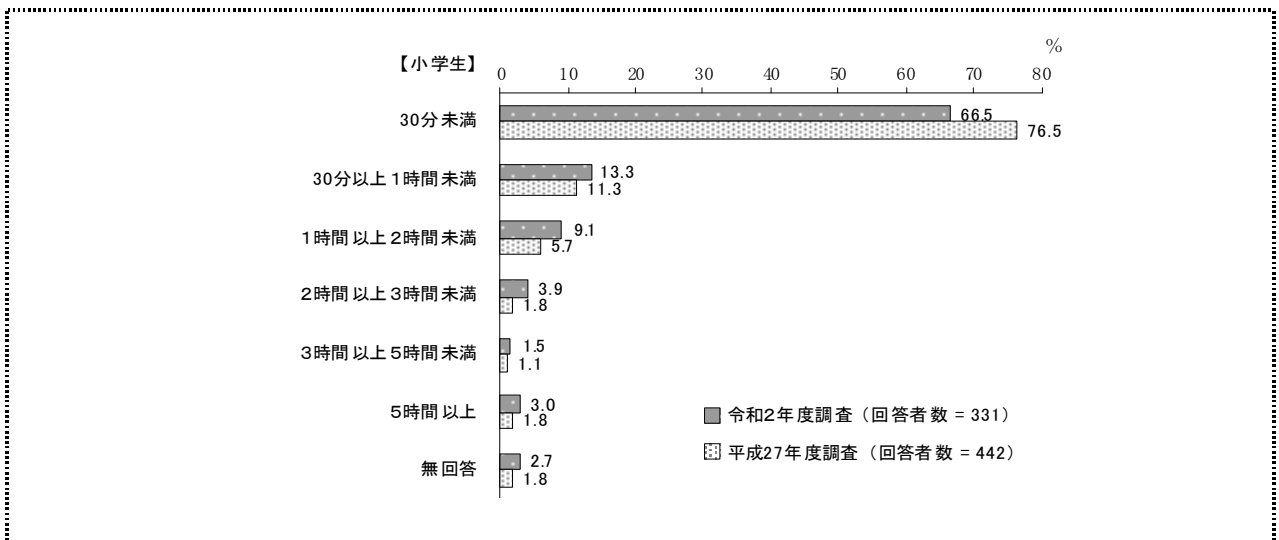
小学生調査では、「30分未満」の割合が66.5%と最も高く、次いで「30分以上1時間未満」の割合が13.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「30分未満」の割合が減少しています。

中学生調査では、「1時間以上2時間未満」の割合が30.5%と最も高く、次いで「2時間以上3時間未満」の割合が23.1%、「30分以上1時間未満」の割合が14.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「1時間以上2時間未満」、「2時間以上3時間未満」の割合が増加し、「30分未満」、「30分以上1時間未満」の割合が減少しています。

○全体集計



問 16 あなたは、読書が好きですか。(ひとつだけに○)

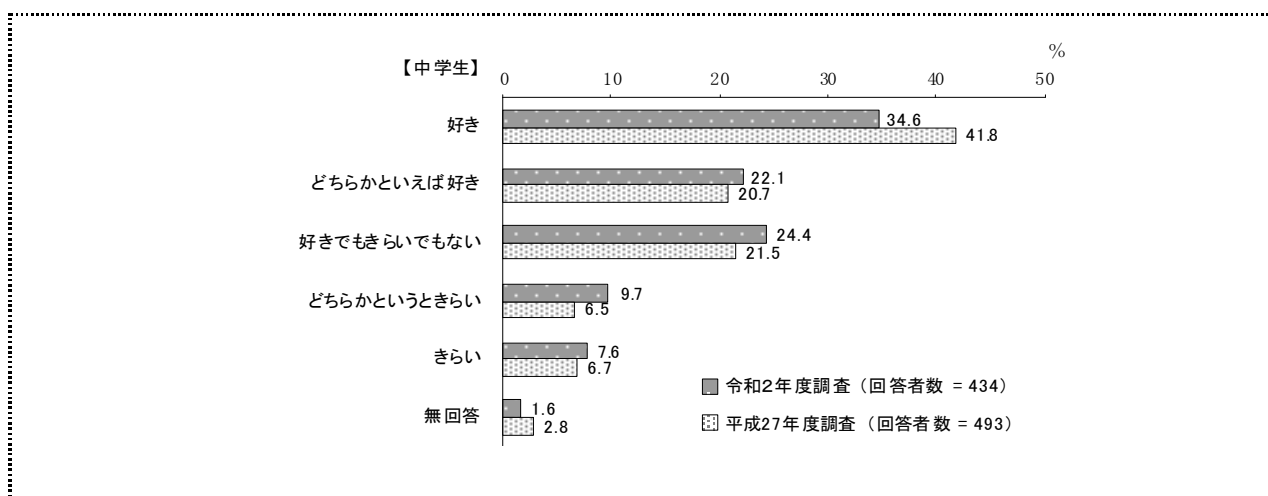
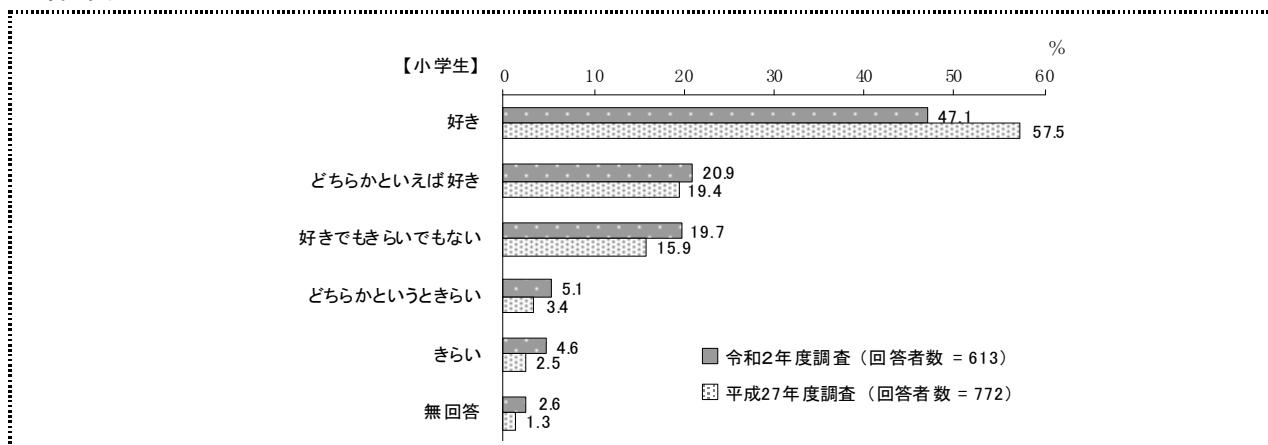
小学生調査では、「好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた“好き”の割合が68.0%、「好きでも嫌いでもない」の割合が19.7%、「どちらかというときらい」と「きらい」をあわせた“きらい”の割合が9.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“好き”の割合が減少しています。

中学生調査では，“好き”の割合が56.7%，“きらい”の割合が17.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“好き”の割合が減少しています。

○全体集計



問 17 あなたは、学校以外で本を読みますか。(ひとつだけに○)

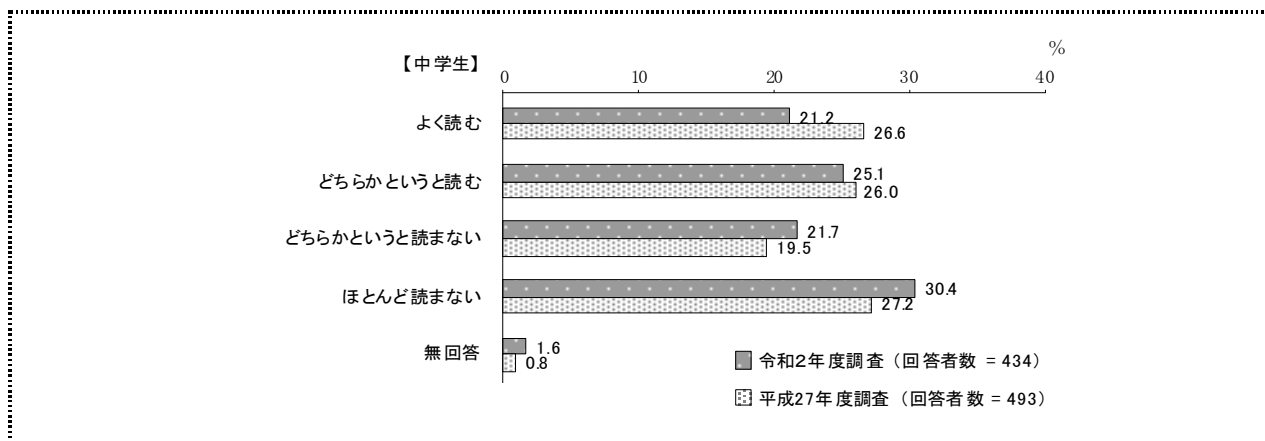
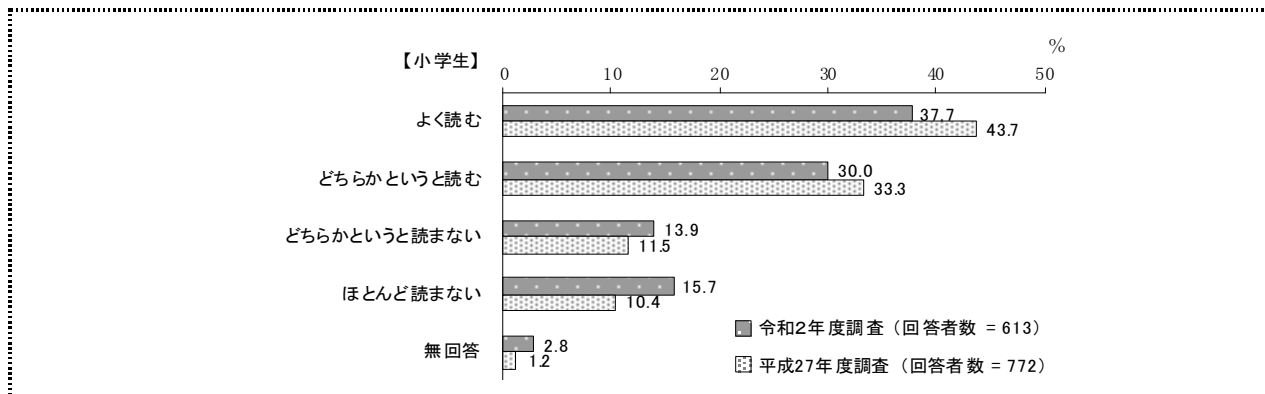
小学生調査では、「よく読む」と「どちらかという読む」をあわせた“読む”の割合が67.7%、「どちらかというと読まない」と「ほとんど読まない」をあわせた“読まない”の割合が29.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“読む”の割合が減少しています。

中学生調査では、“読む”の割合が46.3%，“読まない”の割合が52.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“読む”の割合が減少しています。

○全体集計



問 18 あなたは、運動することが好きですか。(ひとつだけに○)

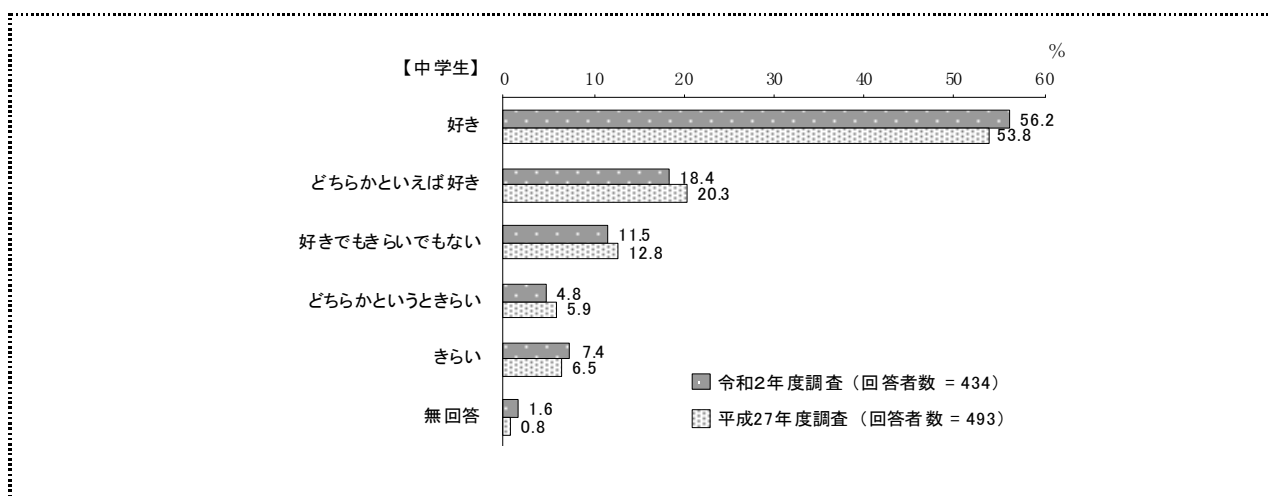
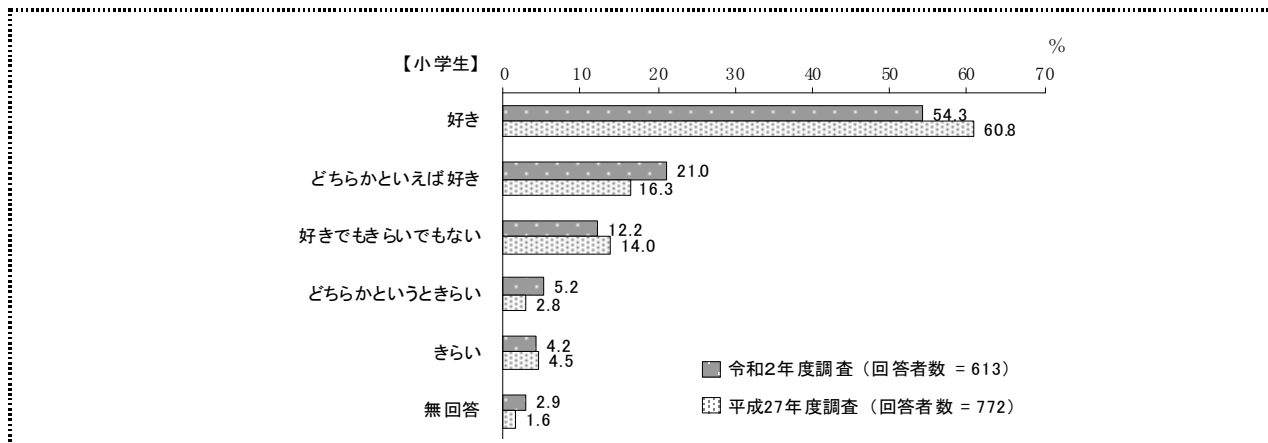
小学生調査では、「好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた“好き”の割合が75.3%、「好きでも嫌いでもない」の割合が12.2%、「どちらかというときらい」と「きらい」をあわせた“きらい”の割合が9.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、“好き”の割合が74.6%，“きらい”の割合が12.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



問 19 あなたは、学校の授業や部活動以外で運動をしていますか。(ひとつだけに○)

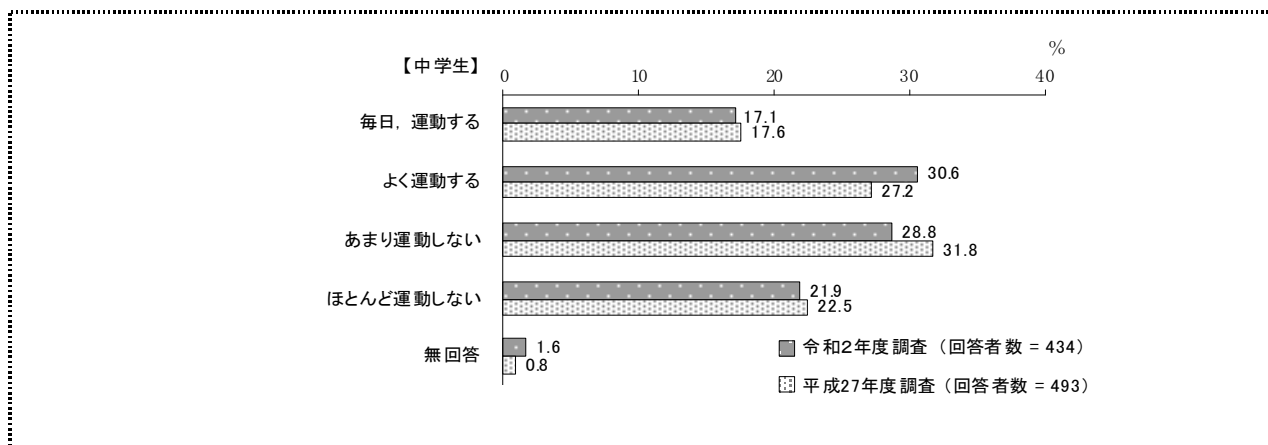
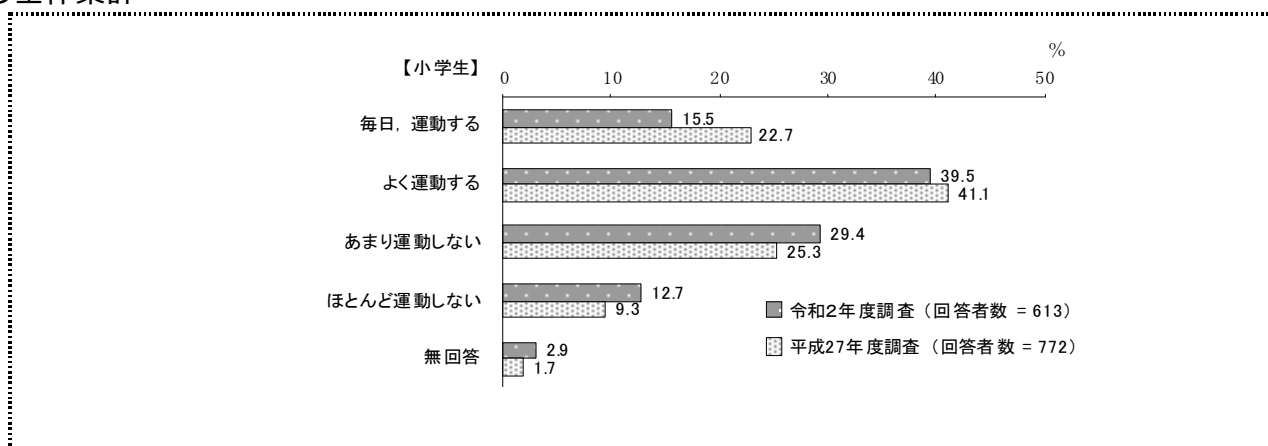
小学生調査では、「毎日、運動する」と「よく運動する」をあわせた“運動する”の割合が55.0%、「あまり運動しない」と「ほとんど運動しない」をあわせた“運動しない”の割合が42.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「毎日、運動する」の割合が減少しています。

中学生調査では、“運動する”の割合が47.7%，“運動しない”の割合が50.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



問 20 あなたは、心配なことや悩みがありますか。(ひとつだけに○)

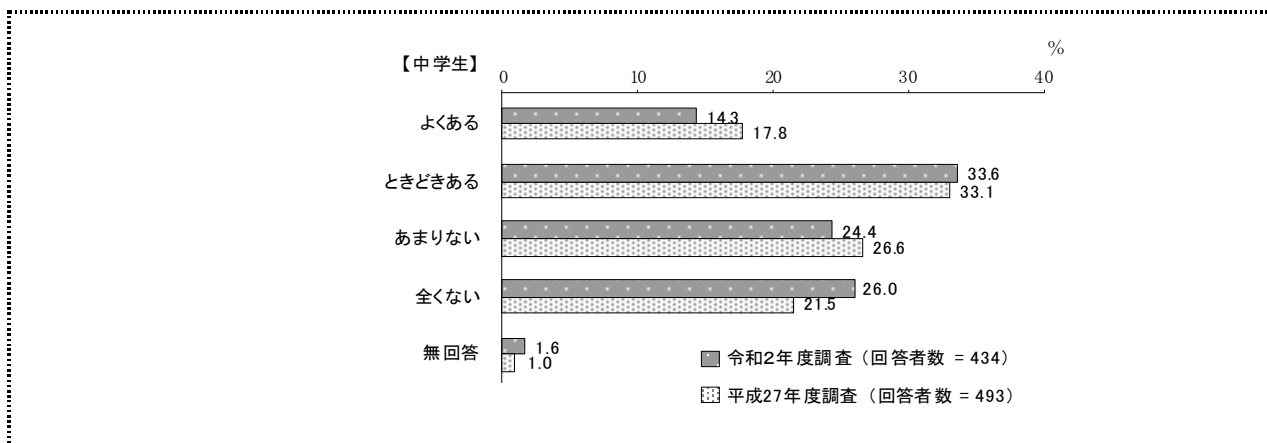
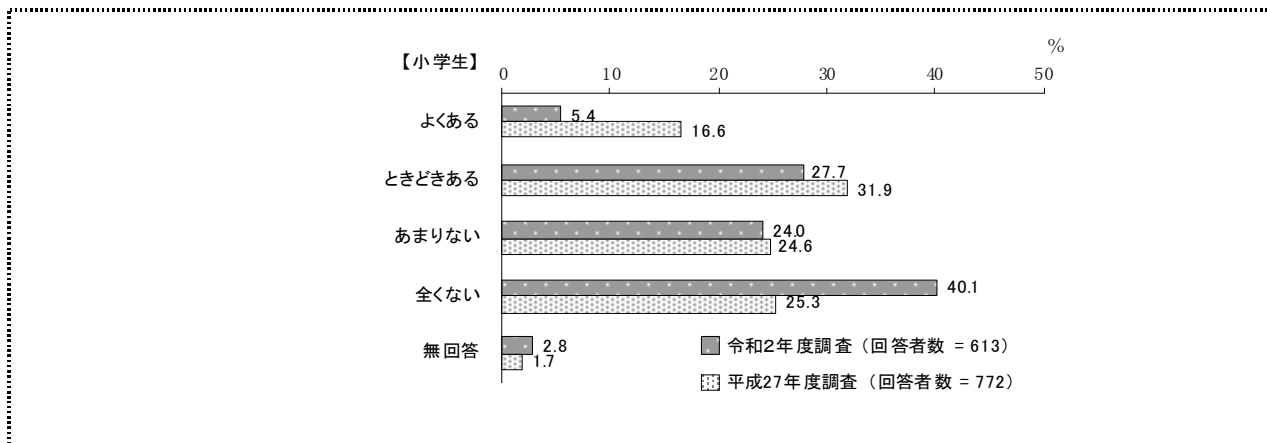
小学生調査では、「よくある」と「ときどきある」をあわせた“ある”の割合が33.1%、「あまりない」と「全くない」をあわせた“ない”の割合が64.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“ある”の割合が減少し、“ない”の割合が増加しています。

中学生調査では、“ある”の割合が47.9%，“ない”の割合が50.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



問 21 あなたは心配なことや悩みがあるとき、だれに相談しますか。
(ひとつだけに○)

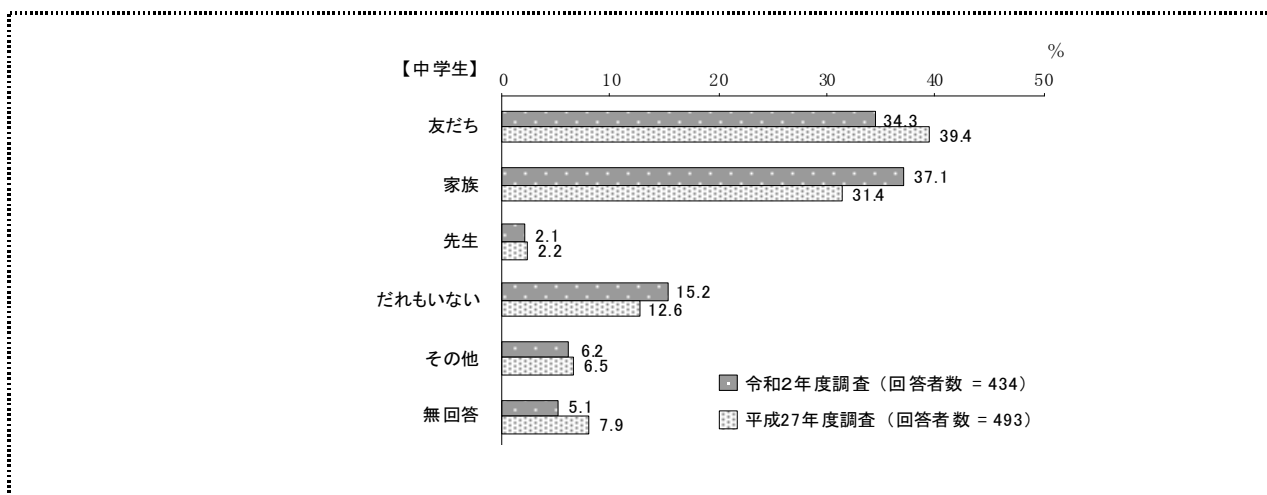
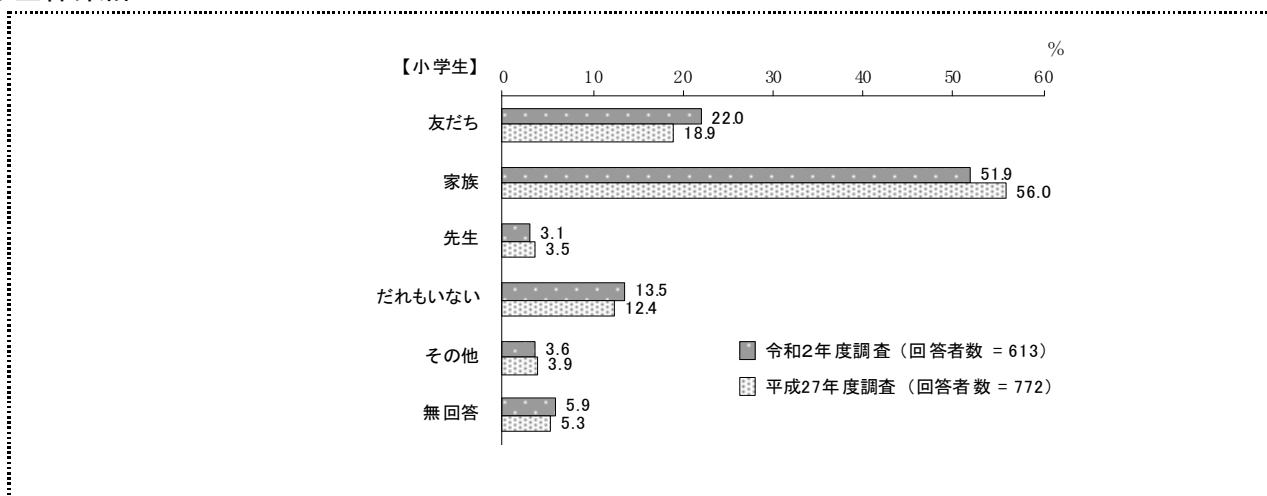
小学生調査では、「家族」の割合が51.9%と最も高く、次いで「友だち」の割合が22.0%、「だれもない」の割合が13.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、「家族」の割合が37.1%と最も高く、次いで「友だち」の割合が34.3%、「だれもない」の割合が15.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「家族」の割合が増加し、「友だち」の割合が減少しています。

○全体集計



問 22 あなたはふだん、好きなことをしたり、ゆっくり過ごしたりする時間がありますか。(ひとつだけに○)

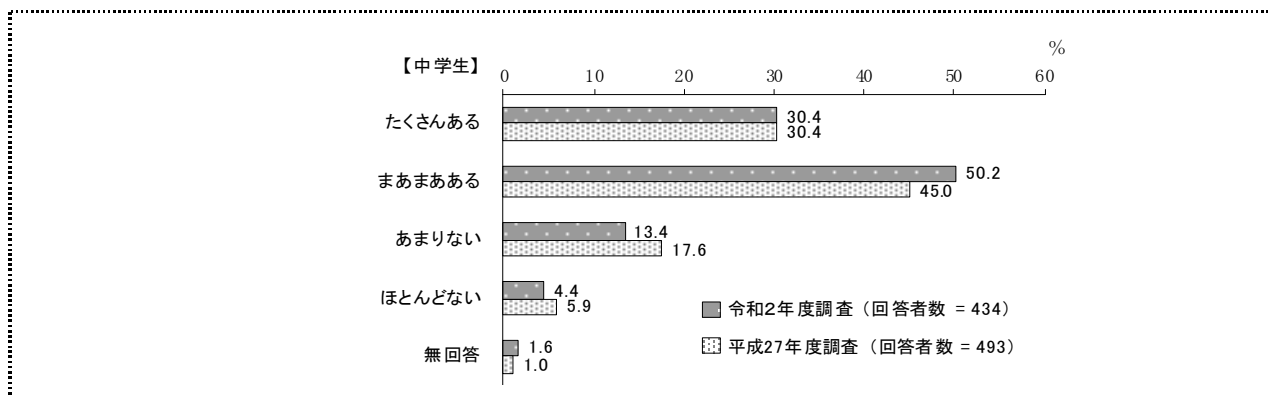
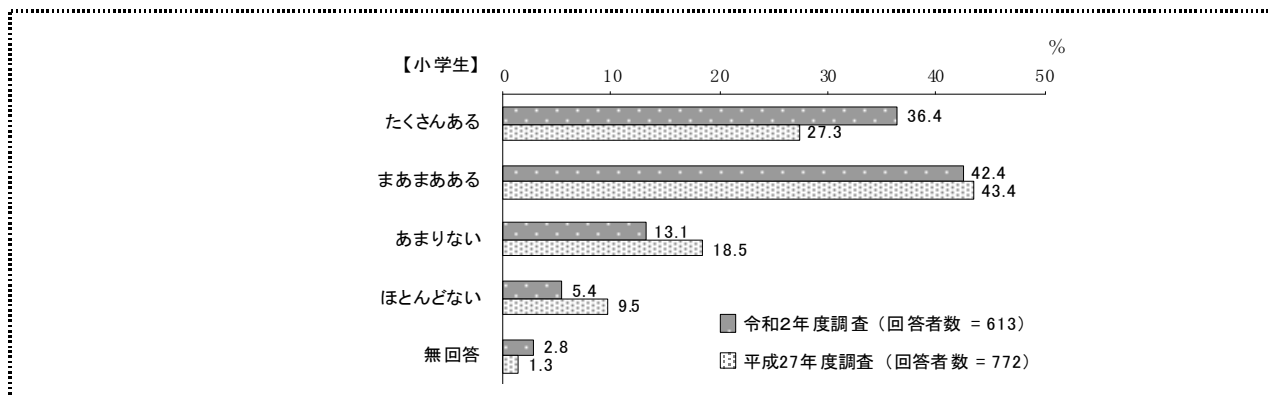
小学生調査では、「たくさんある」と「まあまあある」をあわせた“ある”の割合が78.8%、「あまりない」と「ほとんどない」をあわせた“ない”の割合が18.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“ある”の割合が増加し，“ない”の割合が減少しています。

中学生調査では，“ある”の割合が80.6%，“ない”の割合が17.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“ある”の割合が増加しています。

○全体集計



問 23 あなたには、将来なりたい職業がありますか。(ひとつだけに○)

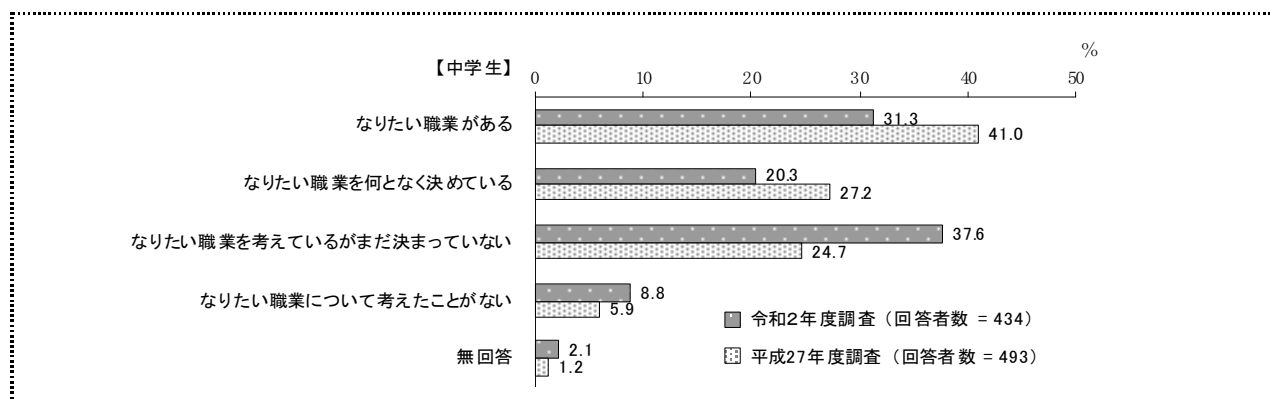
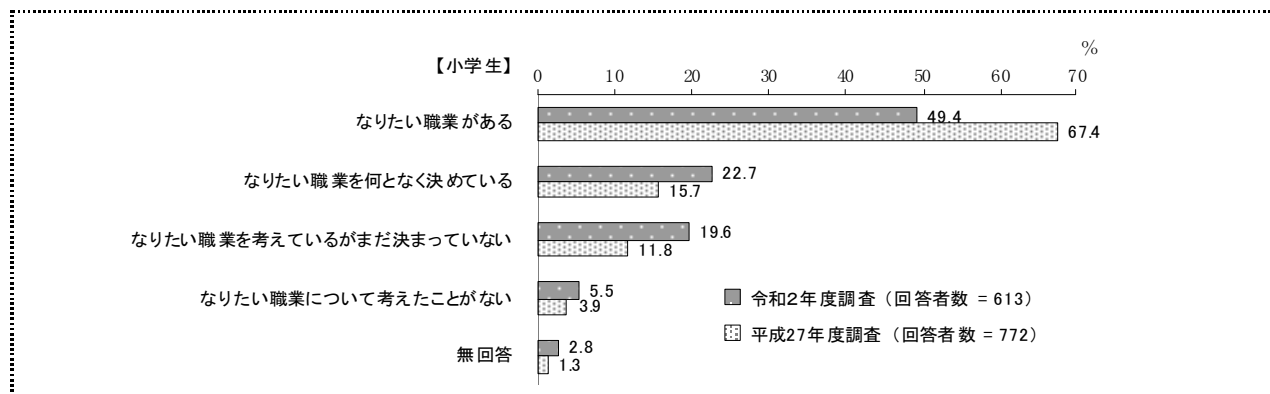
小学生調査では、「なりたい職業がある」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「なりたい職業を何となく決めている」の割合が 22.7%、「なりたい職業を考えているがまだ決まっていない」の割合が 19.6%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「なりたい職業を何となく決めている」、「なりたい職業を考えているがまだ決まっていない」の割合が増加し、「なりたい職業がある」の割合が減少しています。

中学生調査では、「なりたい職業を考えているがまだ決まっていない」の割合が 37.6%と最も高く、次いで「なりたい職業がある」の割合が 31.3%、「なりたい職業を何となく決めている」の割合が 20.3%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「なりたい職業を考えているがまだ決まっていない」の割合が増加し、「なりたい職業がある」、「なりたい職業を何となく決めている」の割合が減少しています。

○全体集計



問 24 あなたは、学校であった出来事を家族と話をしますか。(ひとつだけに○)

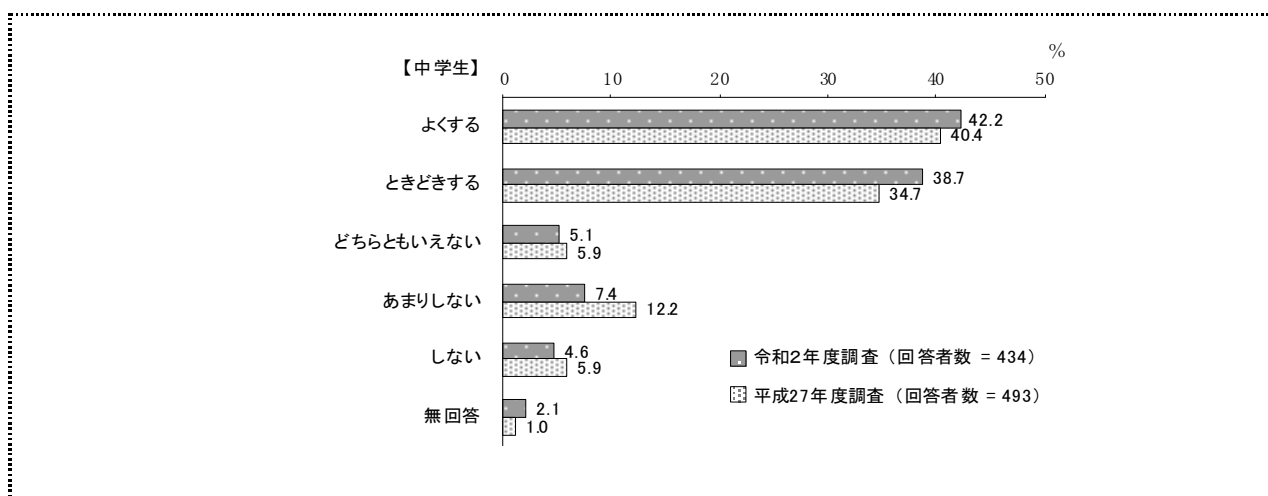
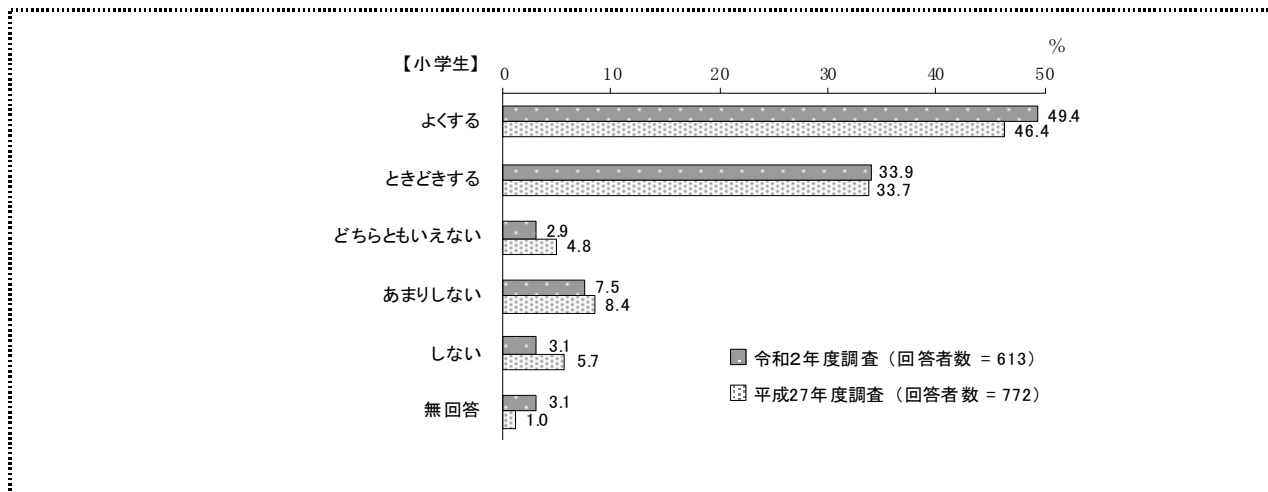
小学生調査では、「よくする」と「ときどきする」をあわせた“する”の割合が83.3%、「あまりしない」と「しない」をあわせた“しない”の割合が10.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、“する”の割合が80.9%，“しない”の割合が12.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



問 25 あなたは、家の手伝いをしますか。(ひとつだけに○)

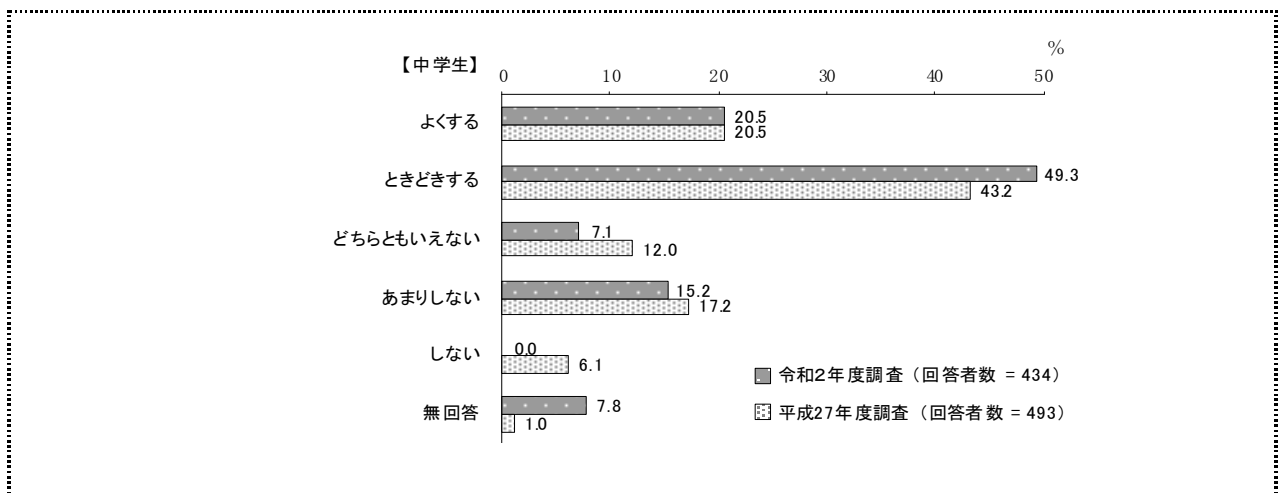
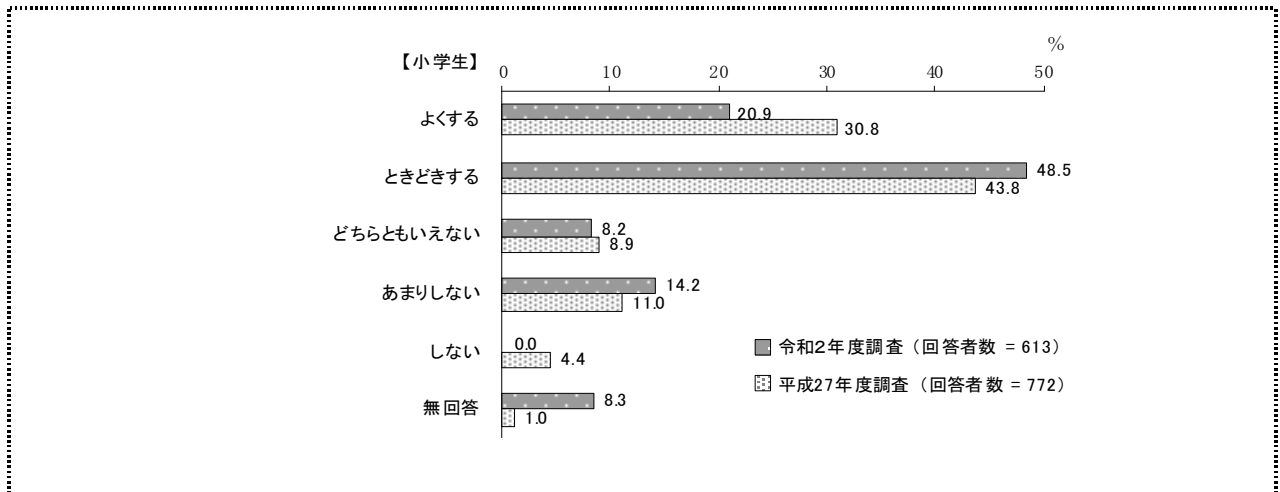
小学生調査では、「よくする」と「ときどきする」をあわせた“する”の割合が69.4%、「あまりしない」と「しない」をあわせた“しない”の割合が14.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“する”の割合が減少しています。

中学生調査では，“する”の割合が69.8%，“しない”の割合が15.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“する”の割合が増加し，“しない”の割合が減少しています。

○全体集計



問 26 あなたは、家の人と一緒に食事をしますか。(ひとつだけに○)

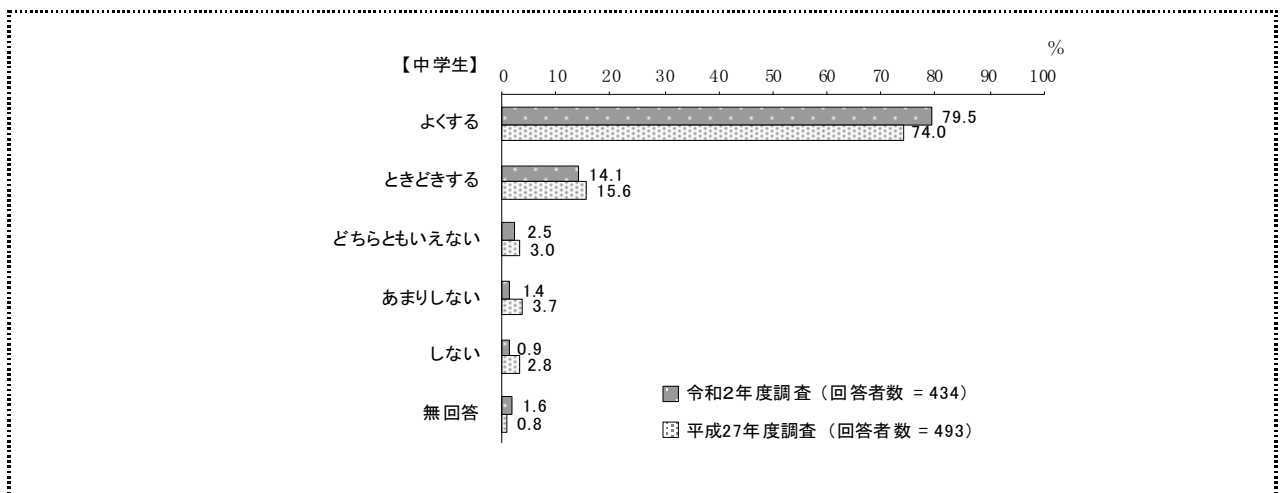
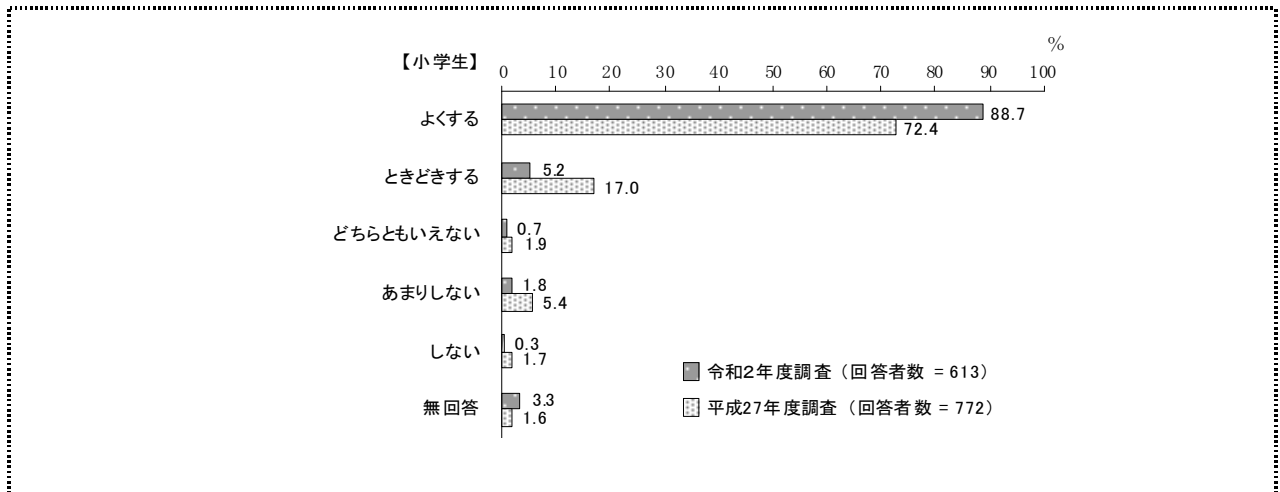
小学生調査では、「よくする」と「ときどきする」をあわせた“する”の割合が93.9%、「あまりしない」と「しない」をあわせた“しない”の割合が2.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“する”の割合が増加しています。

中学生調査では，“する”の割合が93.6%，“しない”の割合が2.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



問 27 あなたは、家の人から勉強を教えてもらうことがありますか。
(ひとつだけに○)

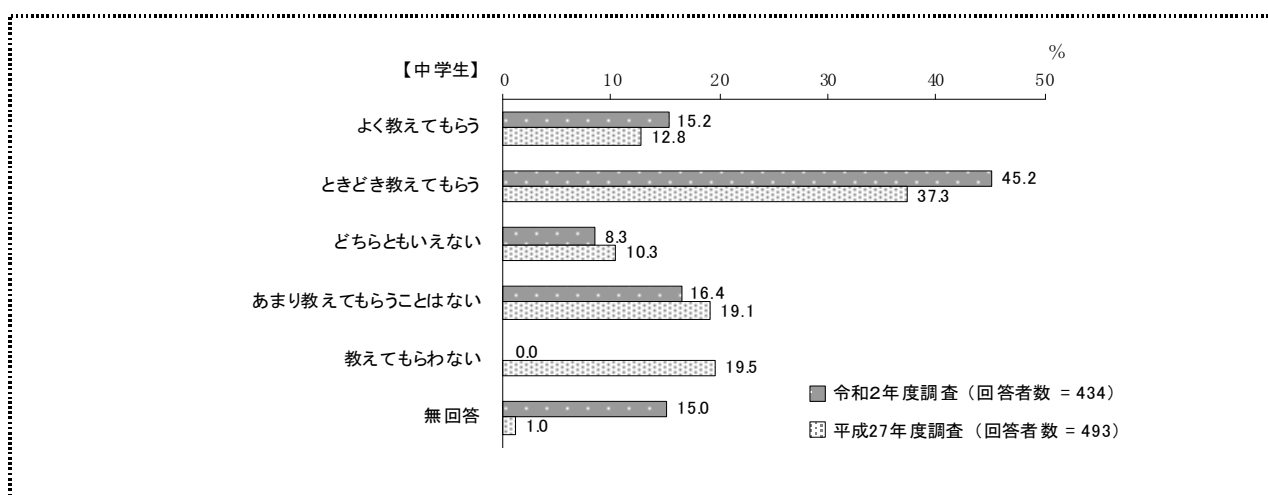
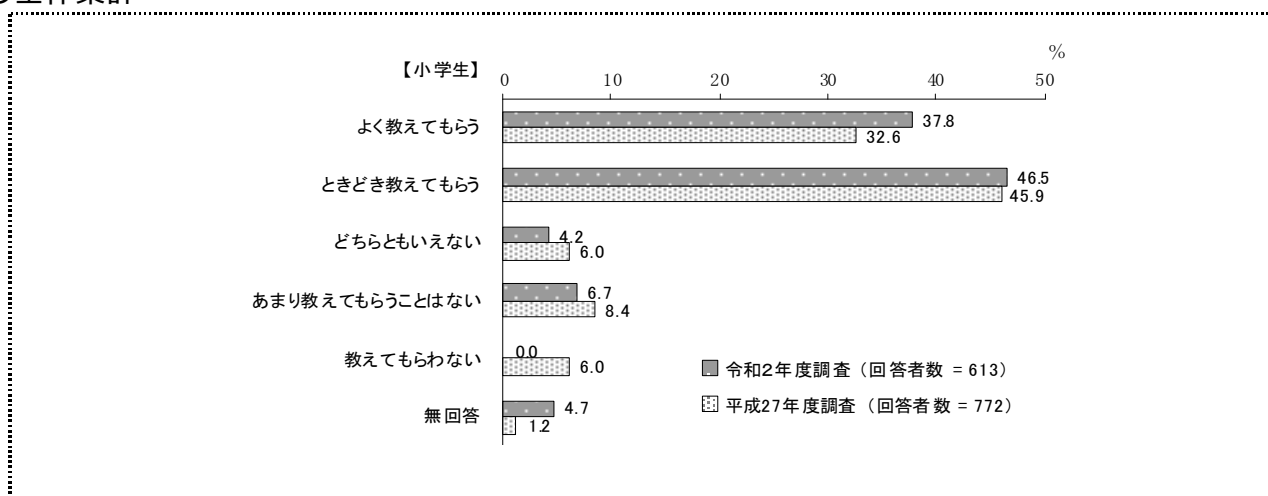
小学生調査では、「よく教えてもらう」と「ときどき教えてもらう」をあわせた“教えてもらう”の割合が84.3%、「あまり教えてもらうことはない」と「教えてもらわない」をあわせた“教えてもらわない”の割合が6.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“教えてもらう”の割合が増加しています。

中学生調査では、“教えてもらう”の割合が60.4%，“教えてもらわない”の割合が16.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“教えてもらう”の割合が増加し，“教えてもらわない”の割合が減少しています。

○全体集計



問 28 あなたは、自分の親や家族に対してどのようなことを望みますか。
(主なもの3つに〇)

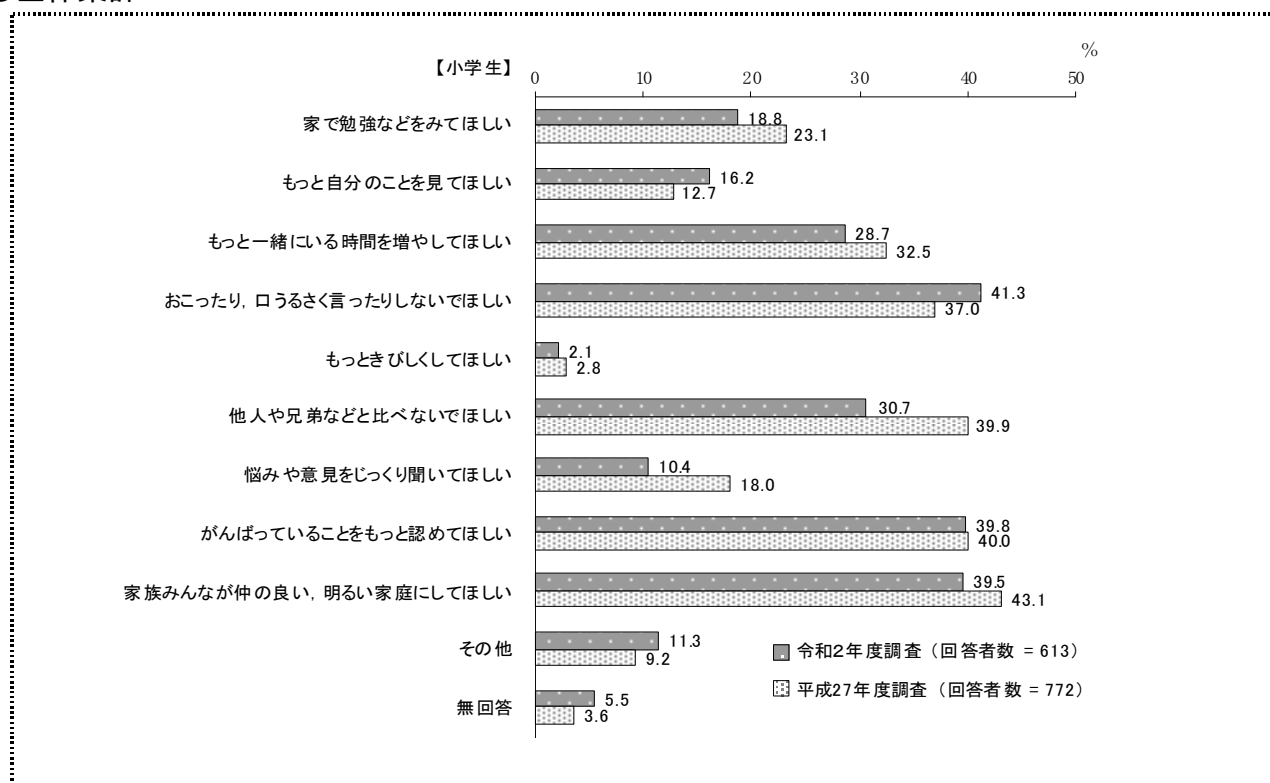
小学生調査では、「おこったり、口うるさく言ったりしないしてほしい」の割合が41.3%と最も高く、次いで「がんばっていることをもっと認めてほしい」の割合が39.8%、「家族みんなが仲の良い、明るい家庭にしてほしい」の割合が39.5%となっています。

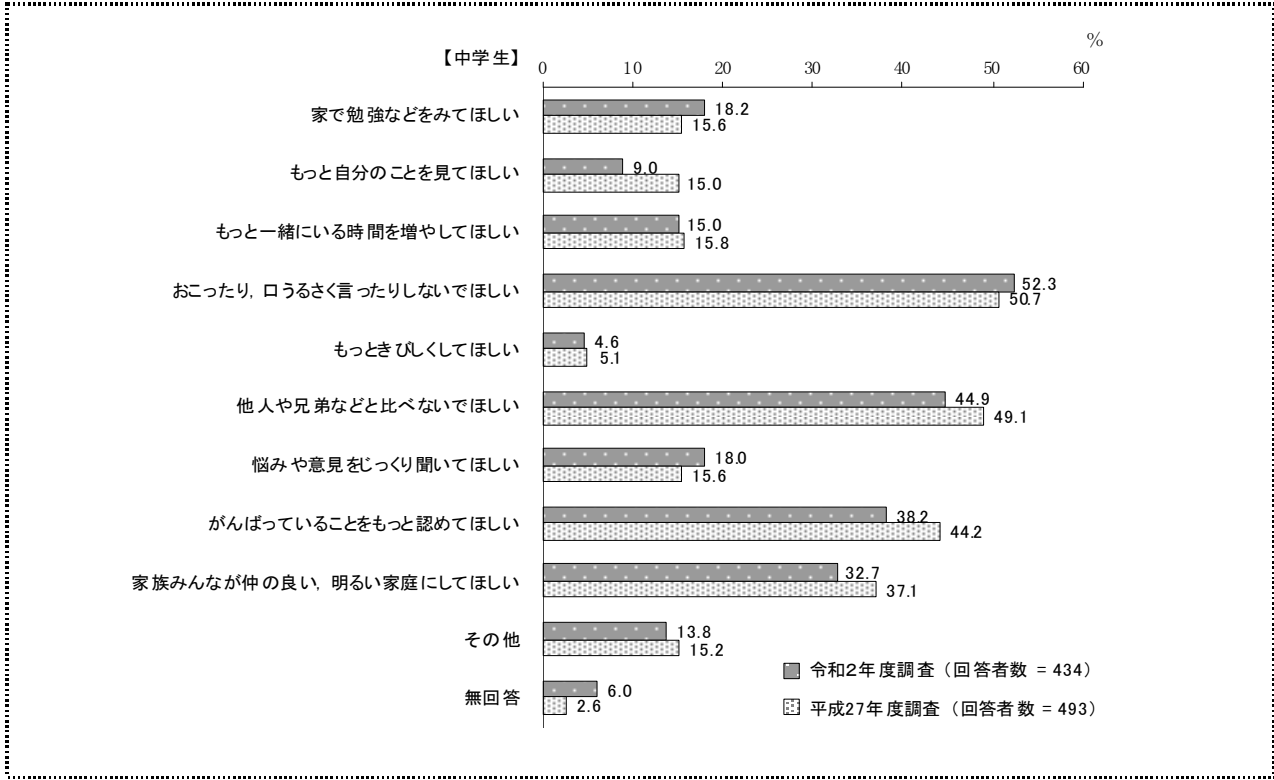
平成27年度調査と比較すると、「他人や兄弟などと比べないでほしい」、「悩みや意見をじっくり聞いてほしい」の割合が減少しています。

中学生調査では、「おこったり、口うるさく言ったりしないほしい」の割合が52.3%と最も高く、次いで「他人や兄弟などと比べないでほしい」の割合が44.9%、「がんばっていることをもっと認めてほしい」の割合が38.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「もっと自分のことを見てほしい」、「がんばっていることをもっと認めてほしい」の割合が減少しています。

○全体集計





問 29 あなたの住んでいる地域では、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。(ひとつだけに○)

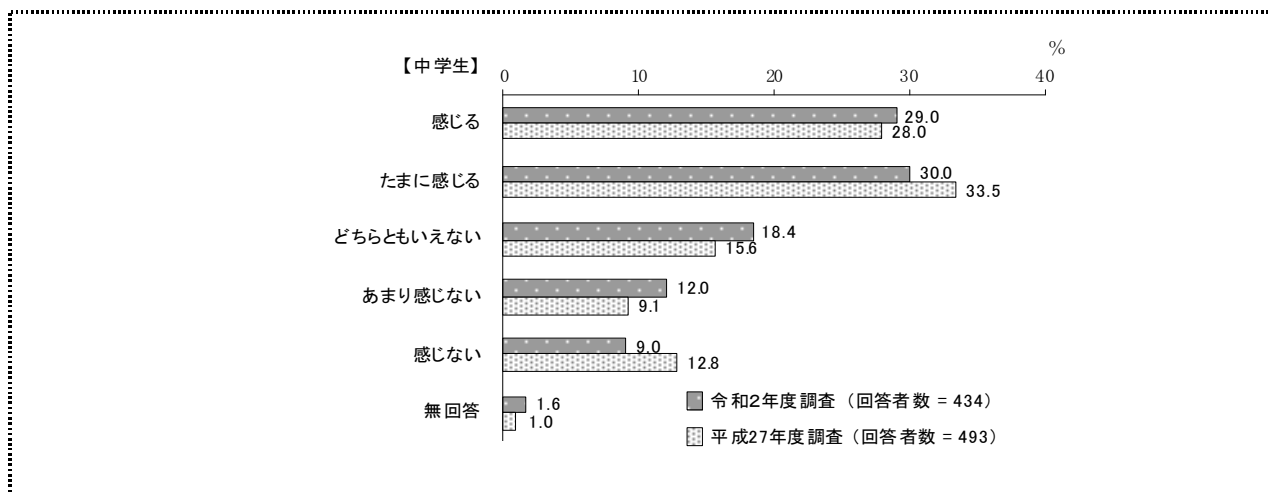
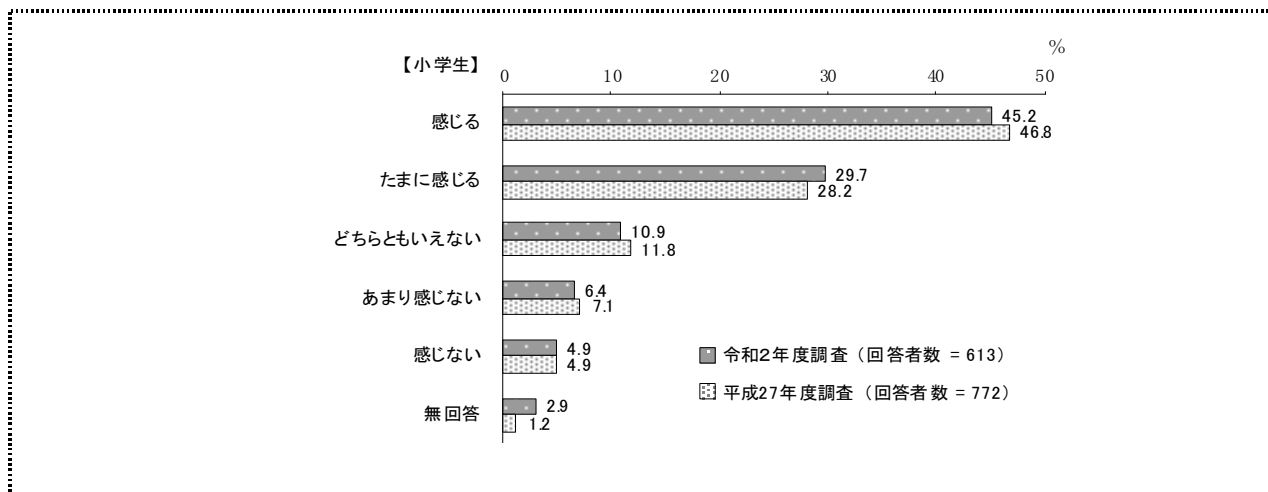
小学生調査では、「感じる」と「たまに感じる」をあわせた“感じる”の割合が74.9%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が11.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学生調査では、“感じる”の割合が59.0%，“感じない”の割合が21.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



問 30 あなたの住んでいる地域の大人に望むことは何ですか。(主なもの2つに○)

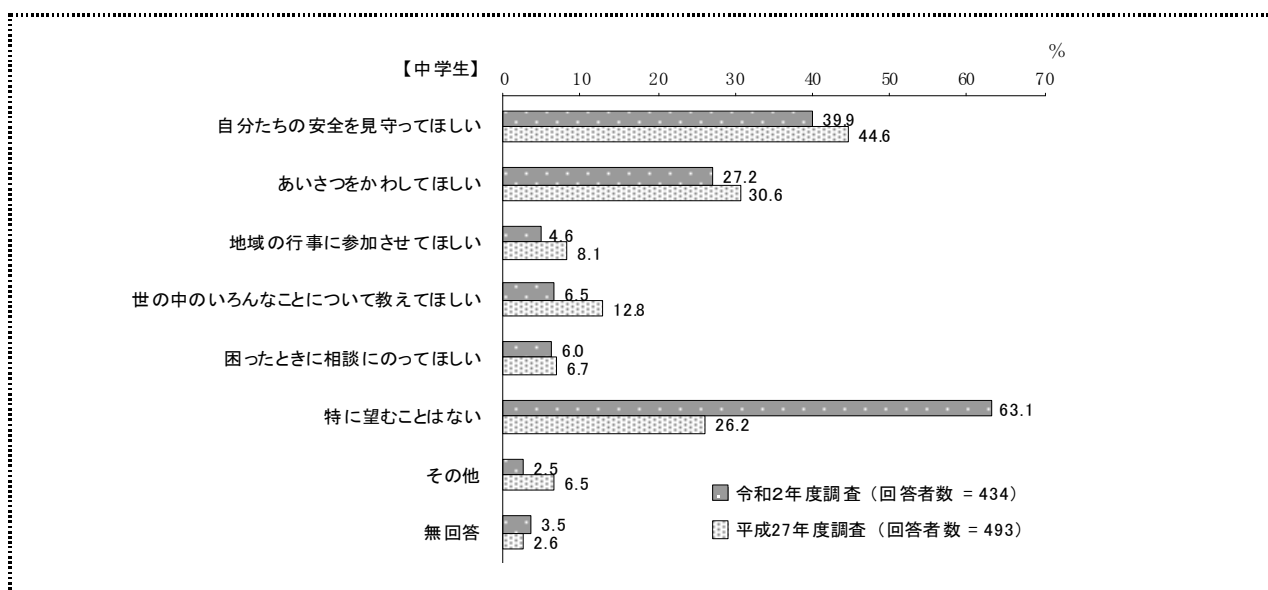
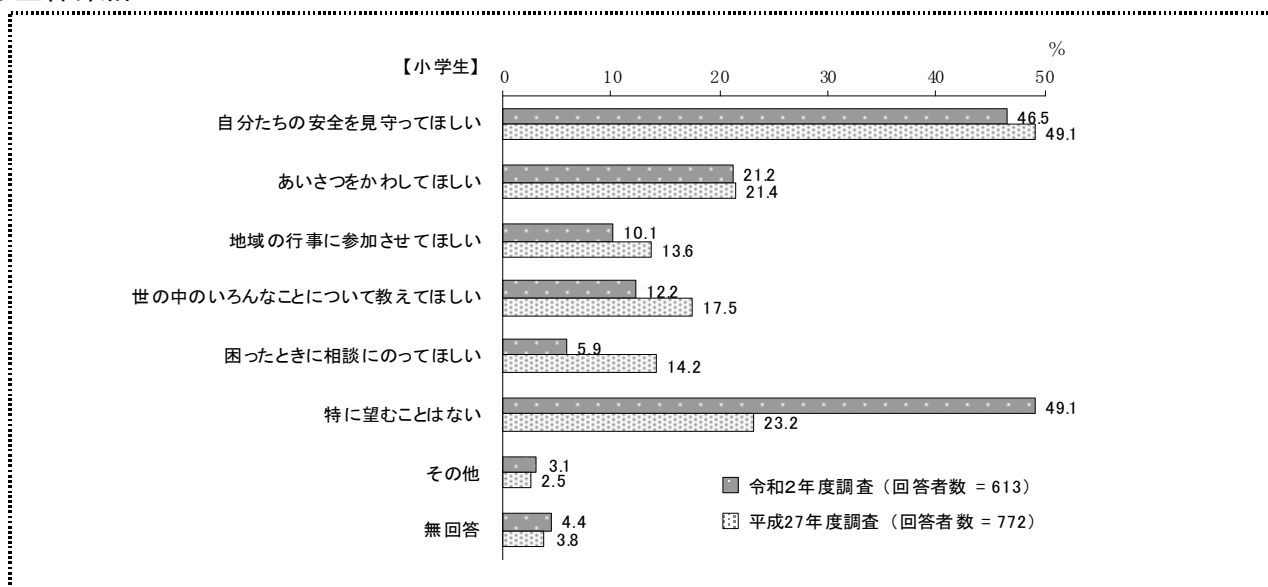
小学生調査では、「特に望むことはない」の割合が49.1%と最も高く、次いで「自分たちの安全を見守ってほしい」の割合が46.5%、「あいさつをかわしてほしい」の割合が21.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「特に望むことはない」の割合が増加し、「世の中のいろいろなことについて教えてほしい」、「困ったときに相談にのってほしい」の割合が減少しています。

中学生調査では、「特に望むことはない」の割合が63.1%と最も高く、次いで「自分たちの安全を見守ってほしい」の割合が39.9%、「あいさつをかわしてほしい」の割合が27.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「特に望むことはない」の割合が増加し、「世の中のいろいろなことについて教えてほしい」の割合が減少しています。

○全体集計



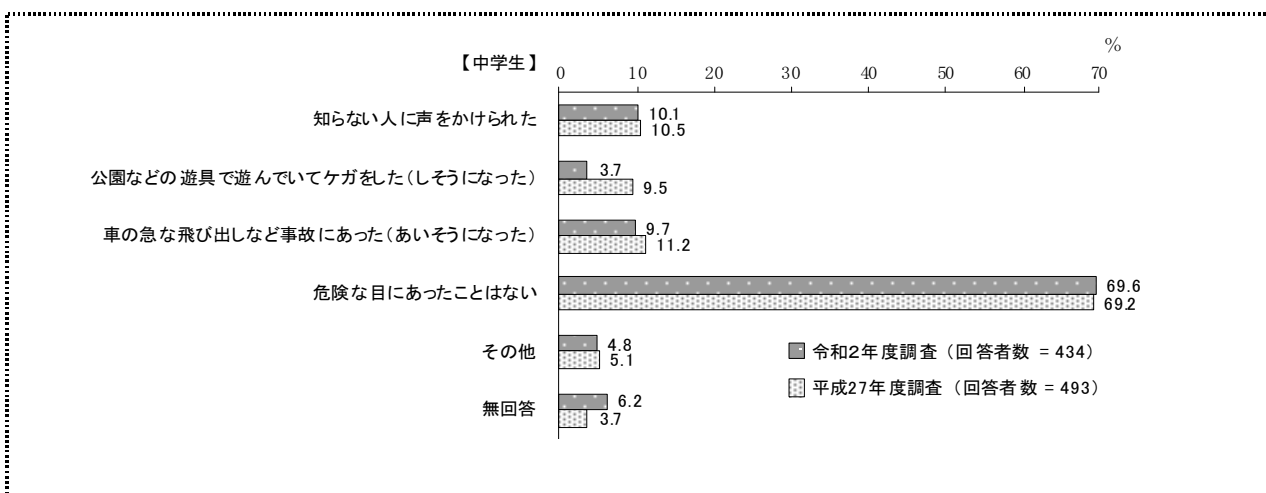
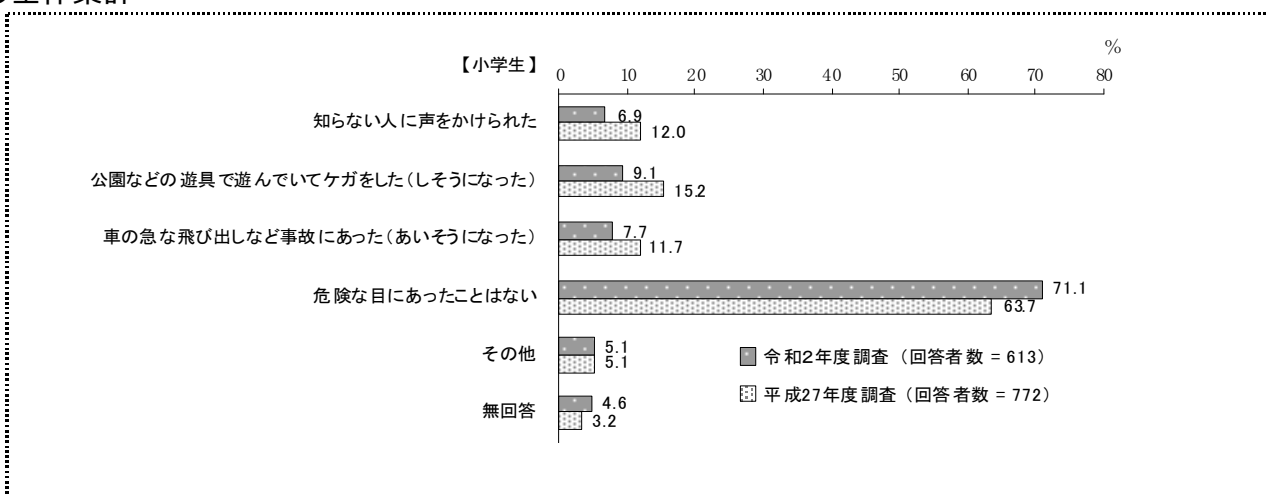
問 31 あなたは、学校の行き帰りに危険な目にあっただことがありますか。
(あてはまるすべてに○)

小学生調査では、「危険な目にあっただことはない」の割合が71.1%と最も高くなっています。
平成 27 年度調査と比較すると、「危険な目にあっただことはない」の割合が増加し、「知らない人に声をかけられた」、「公園などの遊具で遊んでいてケガをした(しそようになった)」の割合が減少しています。

中学生調査では、「危険な目にあっただことはない」の割合が 69.6%と最も高く、次いで「知らない人に声をかけられた」の割合が 10.1%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「公園などの遊具で遊んでいてケガをした(しそようになった)」の割合が減少しています。

○全体集計



問 32 あなたは、放課後をどのように過ごすことが多いですか。(主なもの3つに○)

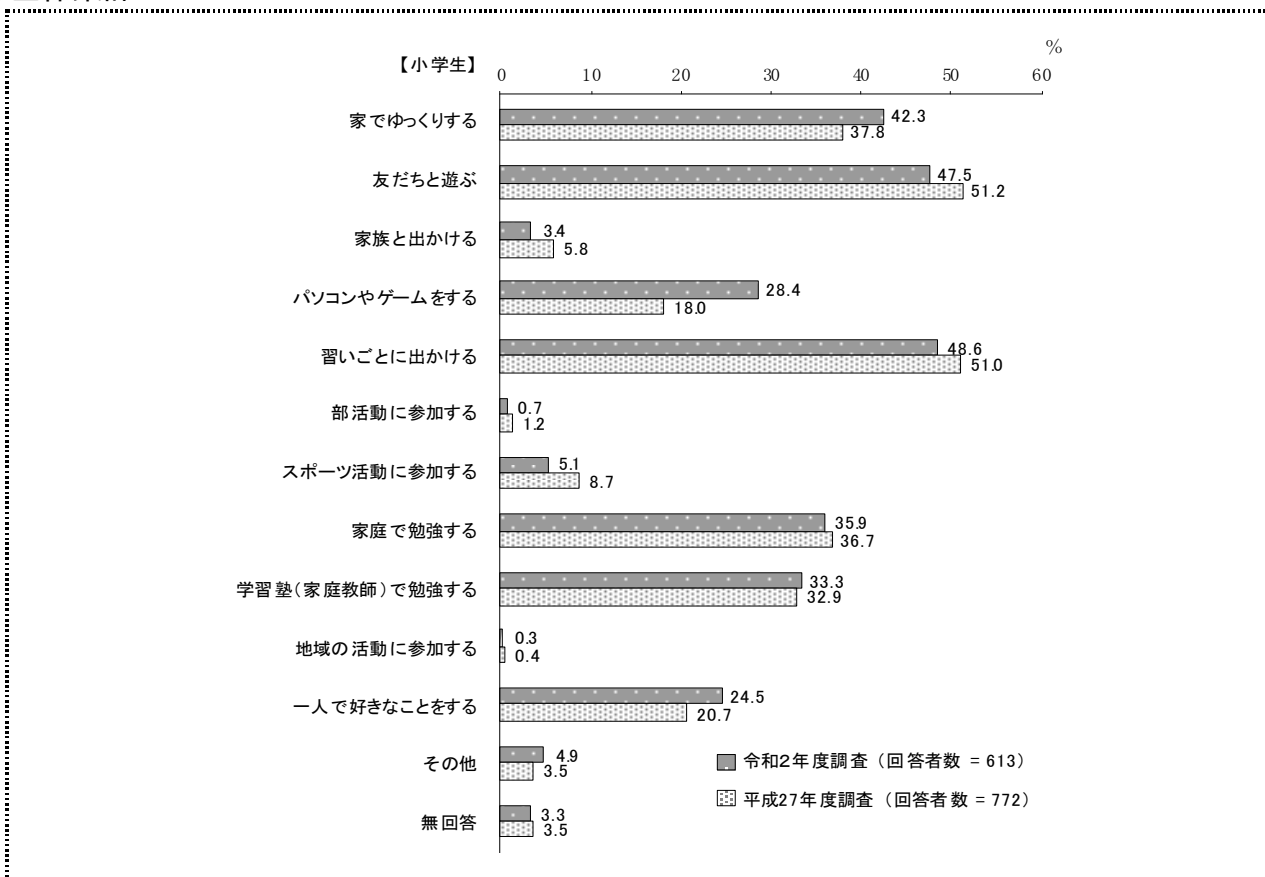
小学生調査では、「習いごとに出かける」の割合が48.6%と最も高く、次いで「友だちと遊ぶ」の割合が47.5%、「家でゆっくりする」の割合が42.3%となっています。

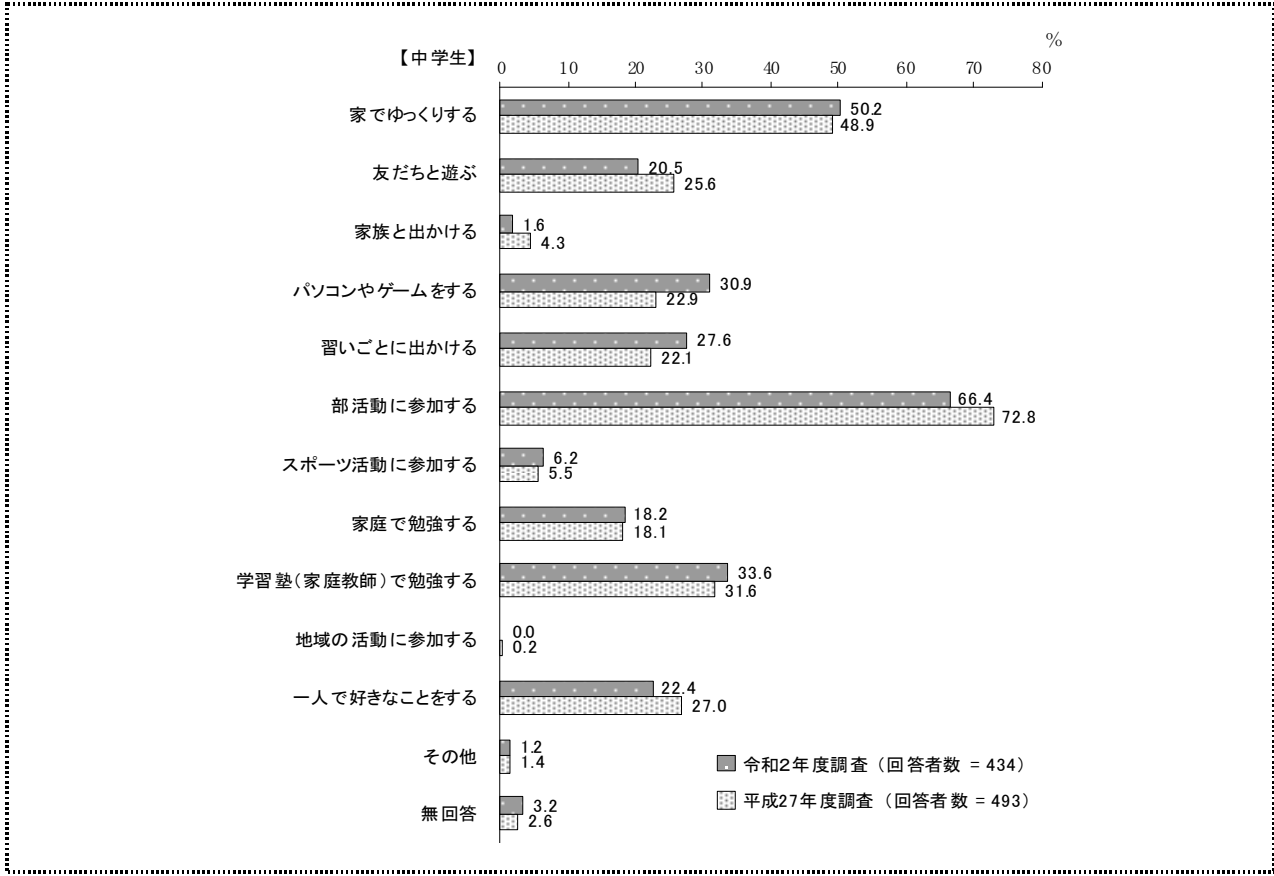
平成27年度調査と比較すると、「パソコンやゲームをする」の割合が増加しています。

中学生調査では、「部活動に参加する」の割合が66.4%と最も高く、次いで「家でゆっくりする」の割合が50.2%、「学習塾(家庭教師)で勉強する」の割合が33.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「パソコンやゲームをする」、「習いごとに出かける」の割合が増加し、「友だちと遊ぶ」、「部活動に参加する」の割合が減少しています。

○全体集計





問 33 あなたは、休日をどのようにして過ごすことが多いですか。
(主なもの3つに○)

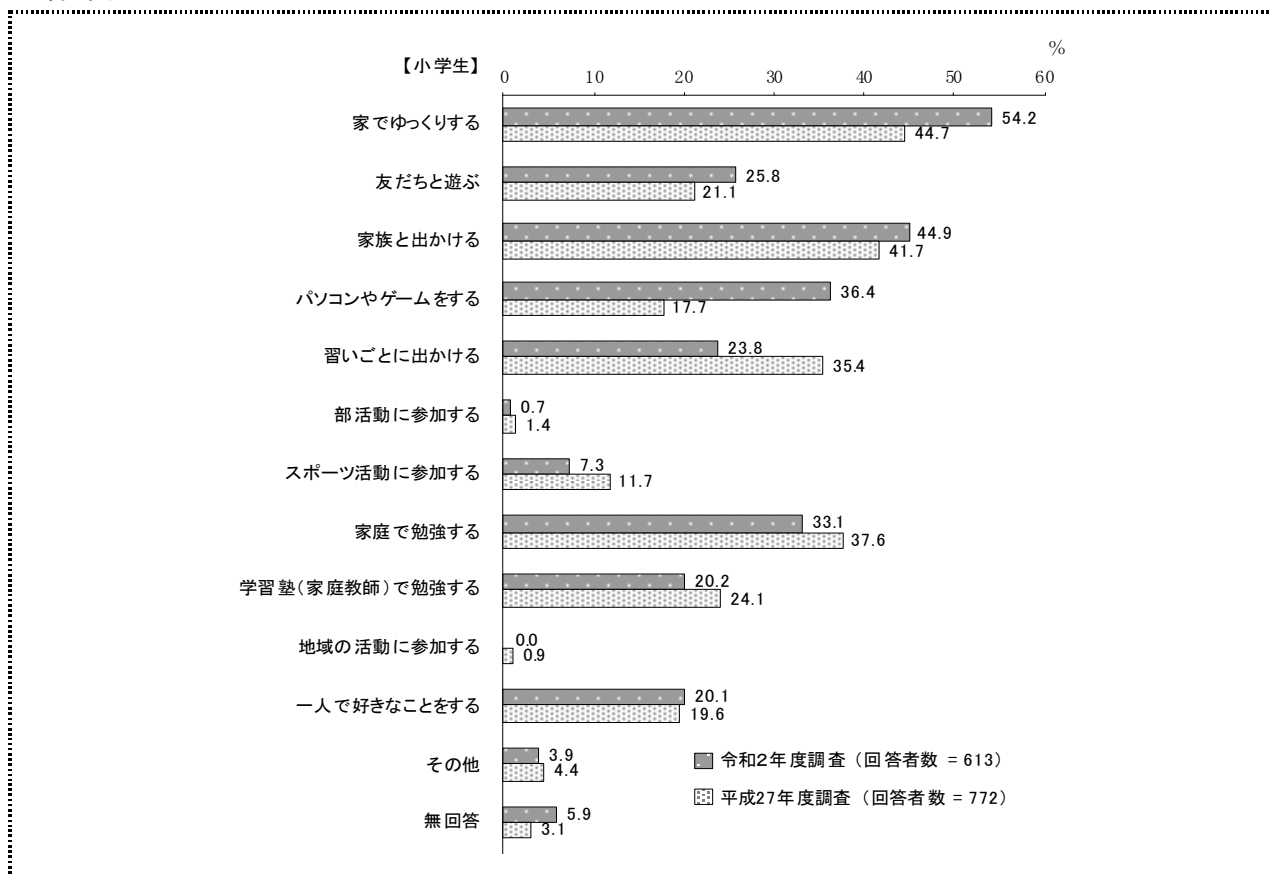
小学生調査では、「家でゆっくりする」の割合が54.2%と最も高く、次いで「家族と出かける」の割合が44.9%、「パソコンやゲームをする」の割合が36.4%となっています。

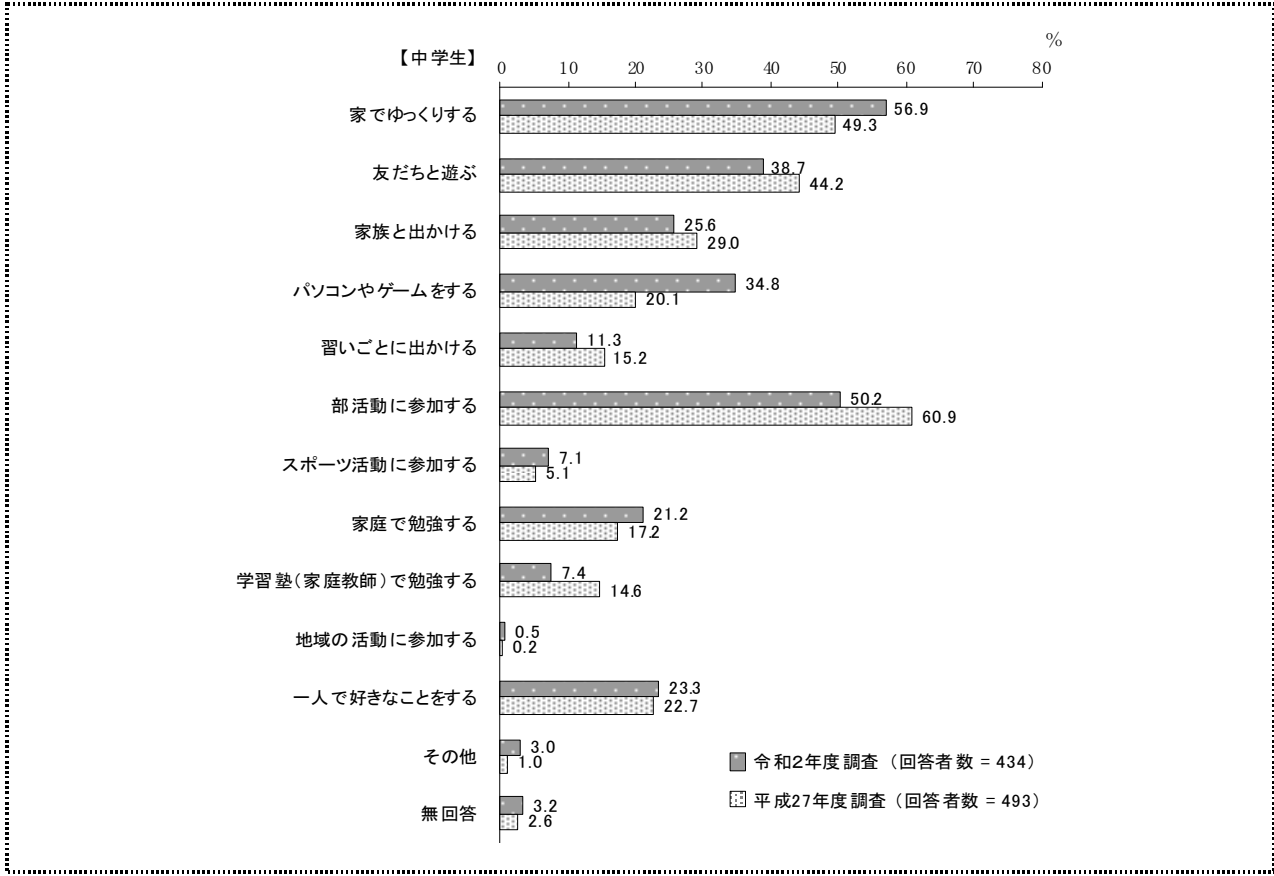
平成27年度調査と比較すると、「家でゆっくりする」、「パソコンやゲームをする」の割合が増加し、「習いごとに出かける」の割合が減少しています。

中学生調査では、「家でゆっくりする」の割合が56.9%と最も高く、次いで「部活動に参加する」の割合が50.2%、「友だちと遊ぶ」の割合が38.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「家でゆっくりする」、「パソコンやゲームをする」の割合が増加し、「友だちと遊ぶ」、「部活動に参加する」、「学習塾(家庭教師)で勉強する」の割合が減少しています。

○全体集計





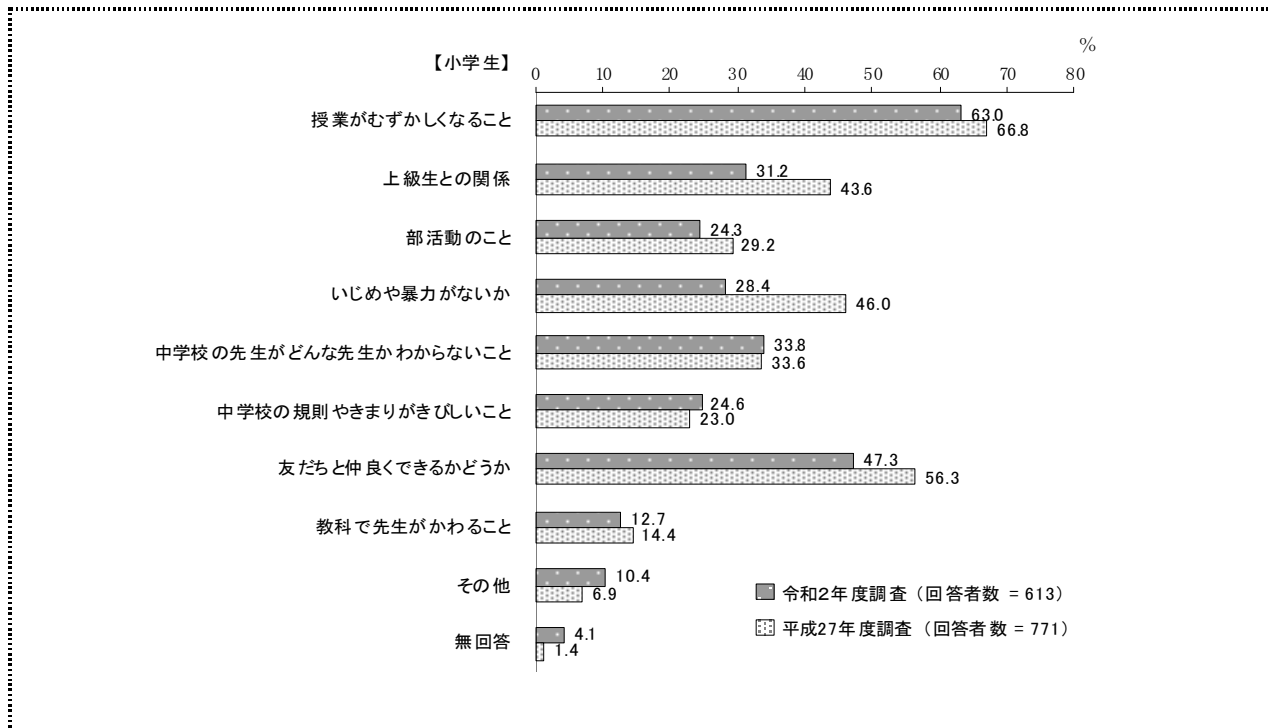
問 34 【小学生だけにたずねます。】

中学校に進学するときに不安に思うことは何ですか。(あてはまるすべてに○)

小学生調査では、「授業がむずかしくなること」の割合が63.0%と最も高く、次いで「友だちと仲良くできるかどうか」の割合が47.3%、「中学校の先生がどんな先生かわからないこと」の割合が33.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「上級生との関係」、「いじめや暴力がないか」、「友だちと仲良くできるかどうか」の割合が減少しています。

○全体集計



3 小学生保護者・中学生保護者

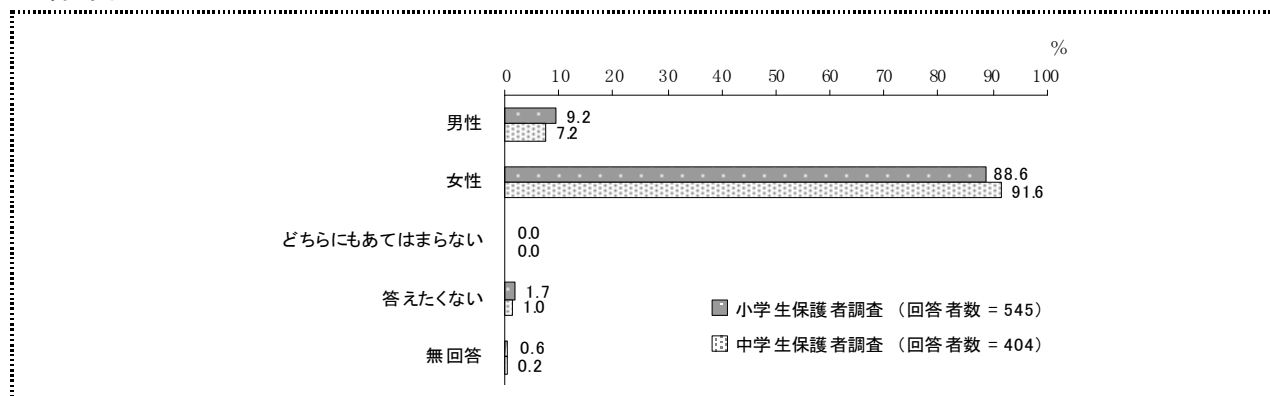
(1) あなた自身のことについておうかがいします。

問1 あなたの性別を教えてください。(ひとつだけに○)

小学生保護者調査では、「女性」の割合が88.6%と最も高くなっています。

中学生保護者調査では、「女性」の割合が91.6%と最も高くなっています。

○全体集計

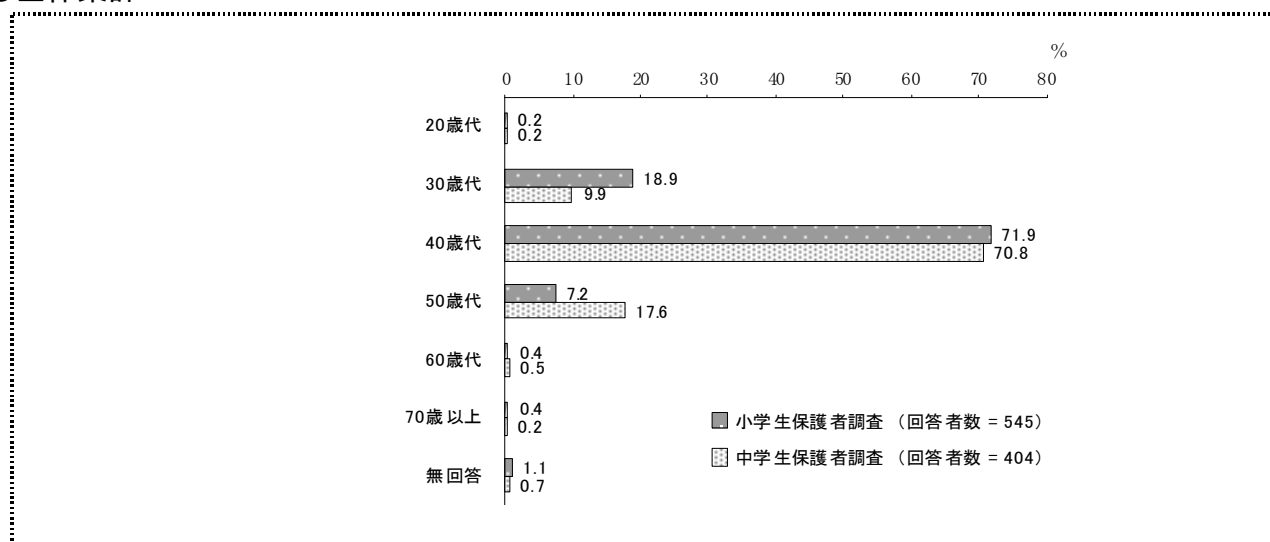


問2 あなたの年齢を教えてください。(令和2年4月1日現在)(ひとつだけに○)

小学生保護者調査では、「40歳代」の割合が71.9%と最も高く、次いで「30歳代」の割合が18.9%となっています。

中学生保護者調査では、「40歳代」の割合が70.8%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が17.6%となっています。

○全体集計

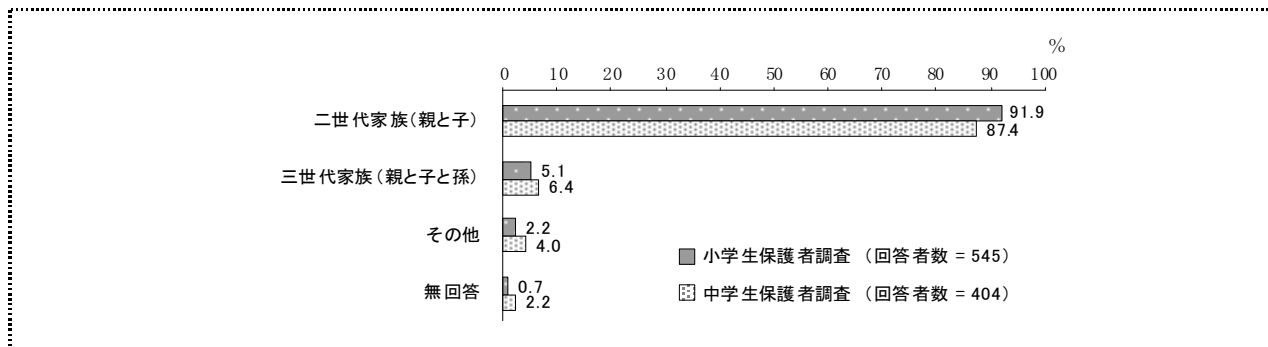


問3 あなたと一緒に暮らしている家族構成は次のうちどれですか。(ひとつだけに○)

小学生保護者調査では、「二世世代家族(親と子)」の割合が91.9%、「三世世代家族(親と子と孫)」の割合が5.1%となっています。

中学生保護者調査では、「二世世代家族(親と子)」の割合が87.4%、「三世世代家族(親と子と孫)」の割合が6.4%となっています。

○全体集計

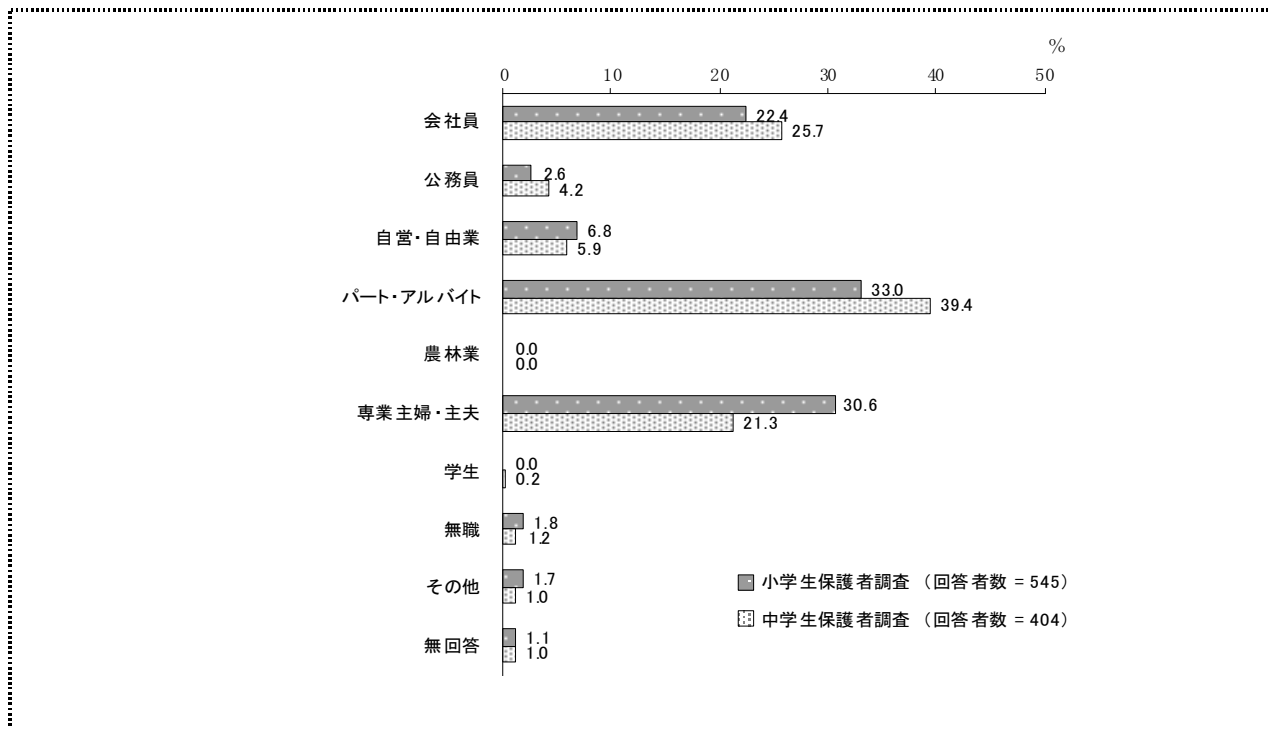


問4 あなたの現在の職業は何ですか。(ひとつだけに○)

小学生保護者調査では、「パート・アルバイト」の割合が33.0%と最も高く、次いで「専業主婦・主夫」の割合が30.6%、「会社員」の割合が22.4%となっています。

中学生保護者調査では、「パート・アルバイト」の割合が39.4%と最も高く、次いで「会社員」の割合が25.7%、「専業主婦・主夫」の割合が21.3%となっています。

○全体集計

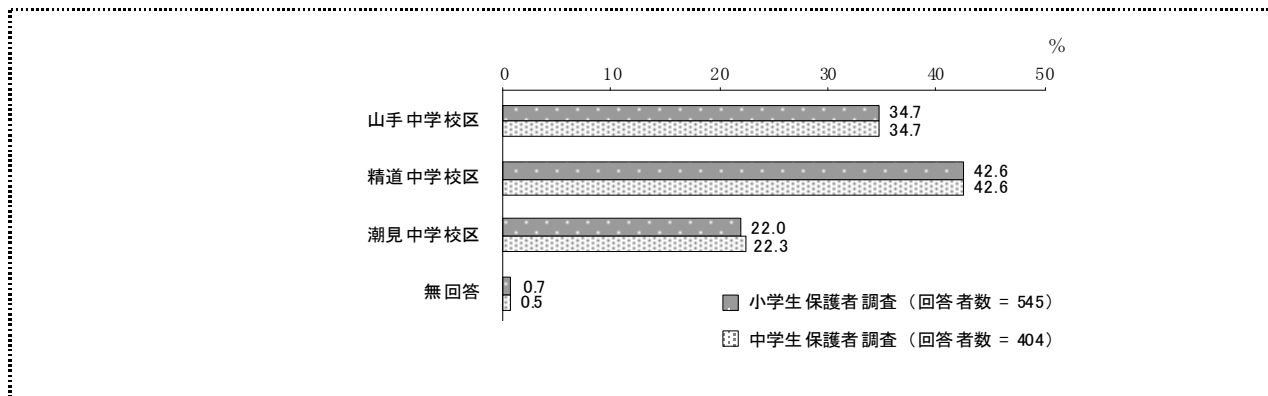


問5 あなたのお住まいの地域（公立中学校区）はどこですか。（ひとつだけに○）

小学生保護者調査では、「精道中学校区」の割合が42.6%と最も高く、次いで「山手中学校区」の割合が34.7%、「潮見中学校区」の割合が22.0%となっています。

中学生保護者調査では、「精道中学校区」の割合が42.6%と最も高く、次いで「山手中学校区」の割合が34.7%、「潮見中学校区」の割合が22.3%となっています。

○全体集計



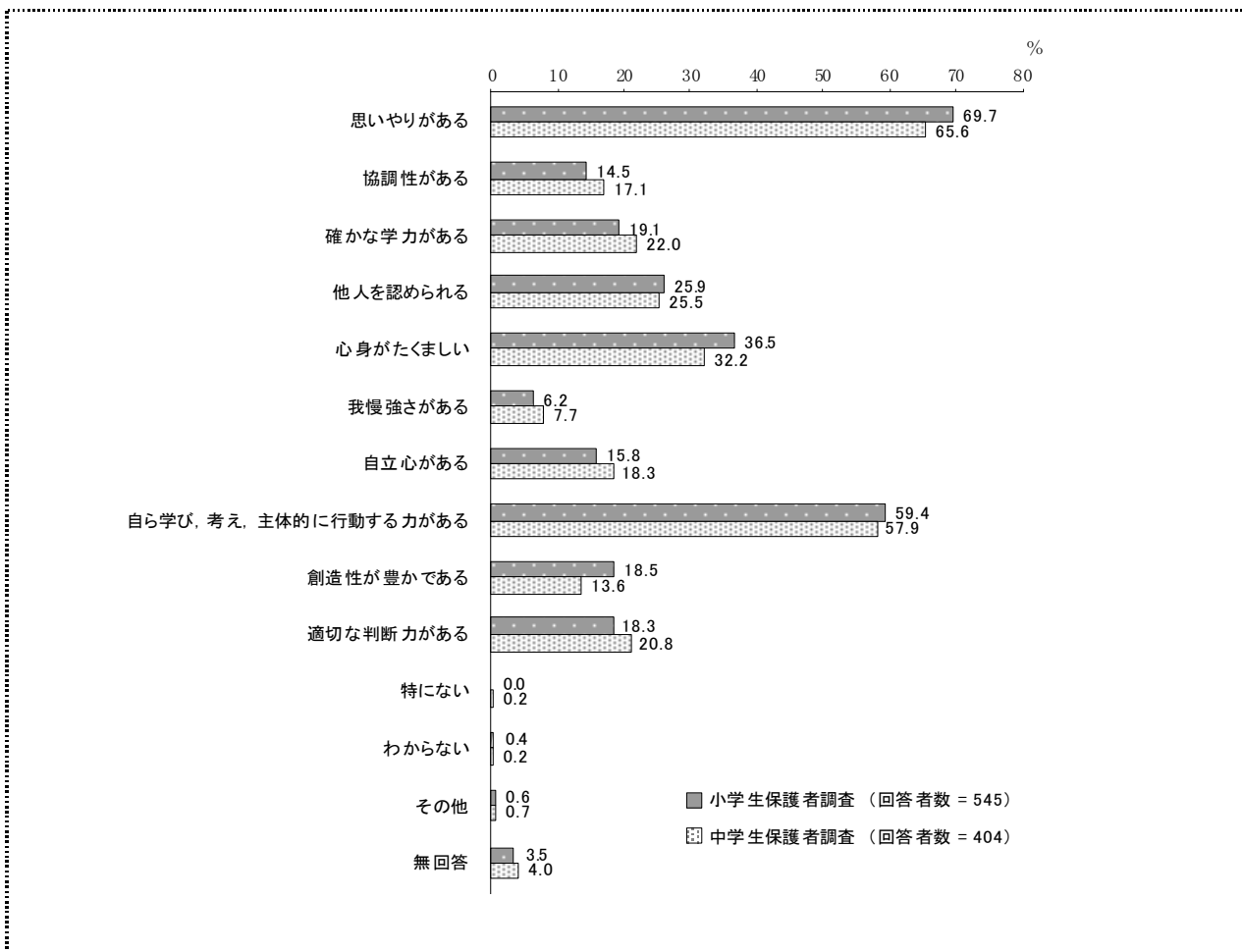
(2) 教育や学習に関する取組についておうかがいします。

問6 あなたは、芦屋市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか。(主なもの3つに○)

小学生保護者調査では、「思いやりがある」の割合が69.7%と最も高く、次いで「自ら学び、考え、主体的に行動する力がある」の割合が59.4%、「心身がたくましい」の割合が36.5%となっています。

中学生保護者調査では、「思いやりがある」の割合が65.6%と最も高く、次いで「自ら学び、考え、主体的に行動する力がある」の割合が57.9%、「心身がたくましい」の割合が32.2%となっています。

○全体集計

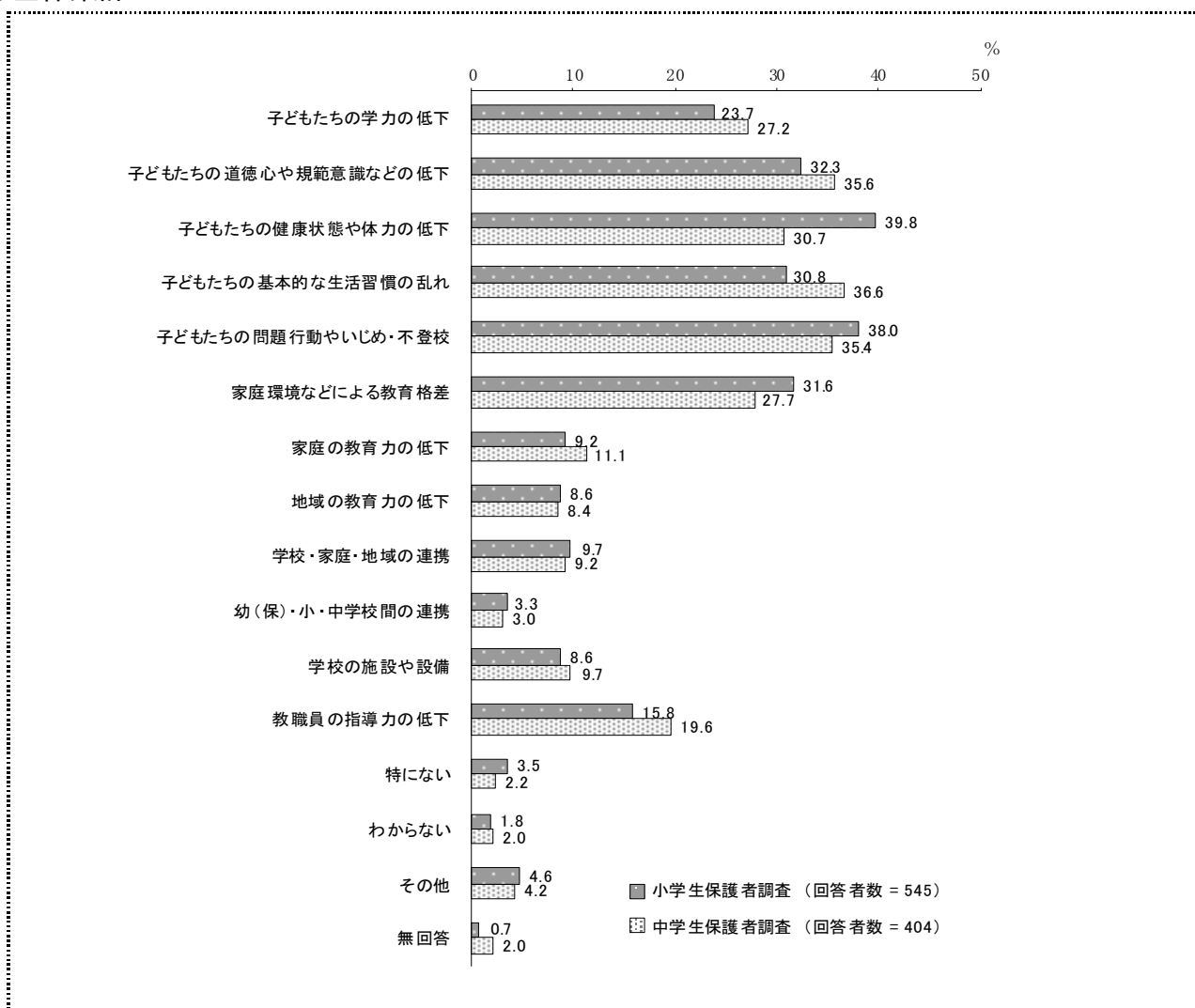


問7 あなたが子どもたちや教育について課題と感じていることは何ですか。
(主なものを3つに○)

小学生保護者調査では、「子どもたちの健康状態や体力の低下」の割合が39.8%と最も高く、次いで「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が38.0%、「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」の割合が32.3%となっています。

中学生保護者調査では、「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」の割合が36.6%と最も高く、次いで「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」の割合が35.6%、「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が35.4%となっています。

○全体集計

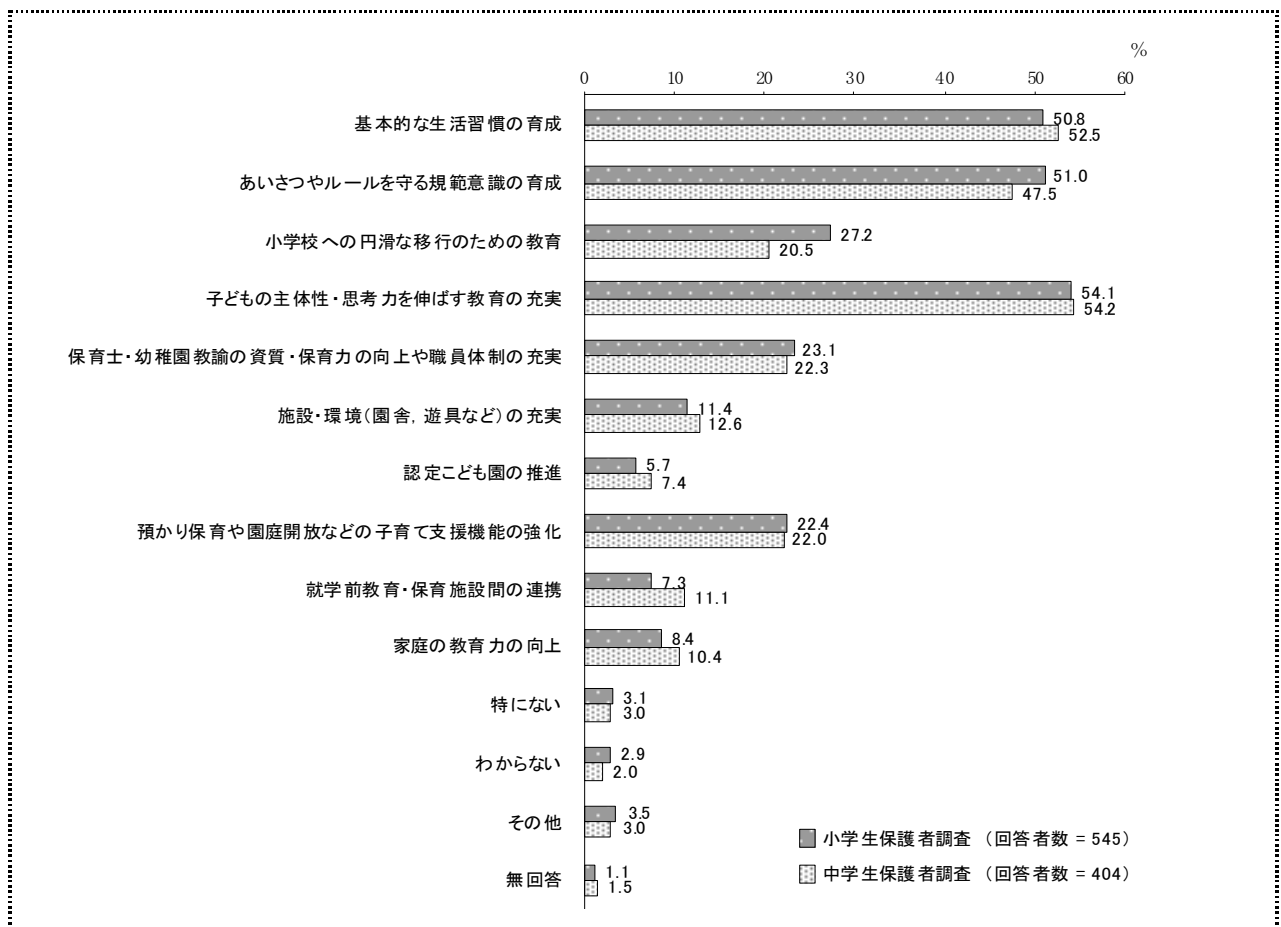


問 8 あなたは、芦屋市の就学前教育の充実のためにどのような取組が必要だと思いますか。(主なもの3つに○)

小学生保護者調査では、「子どもの主体性・思考力を伸ばす教育の充実」の割合が54.1%と最も高く、次いで「あいさつやルールを守る規範意識の育成」の割合が51.0%、「基本的な生活習慣の育成」の割合が50.8%となっています。

中学生保護者調査では、「子どもの主体性・思考力を伸ばす教育の充実」の割合が54.2%と最も高く、次いで「基本的な生活習慣の育成」の割合が52.5%、「あいさつやルールを守る規範意識の育成」の割合が47.5%となっています。

○全体集計

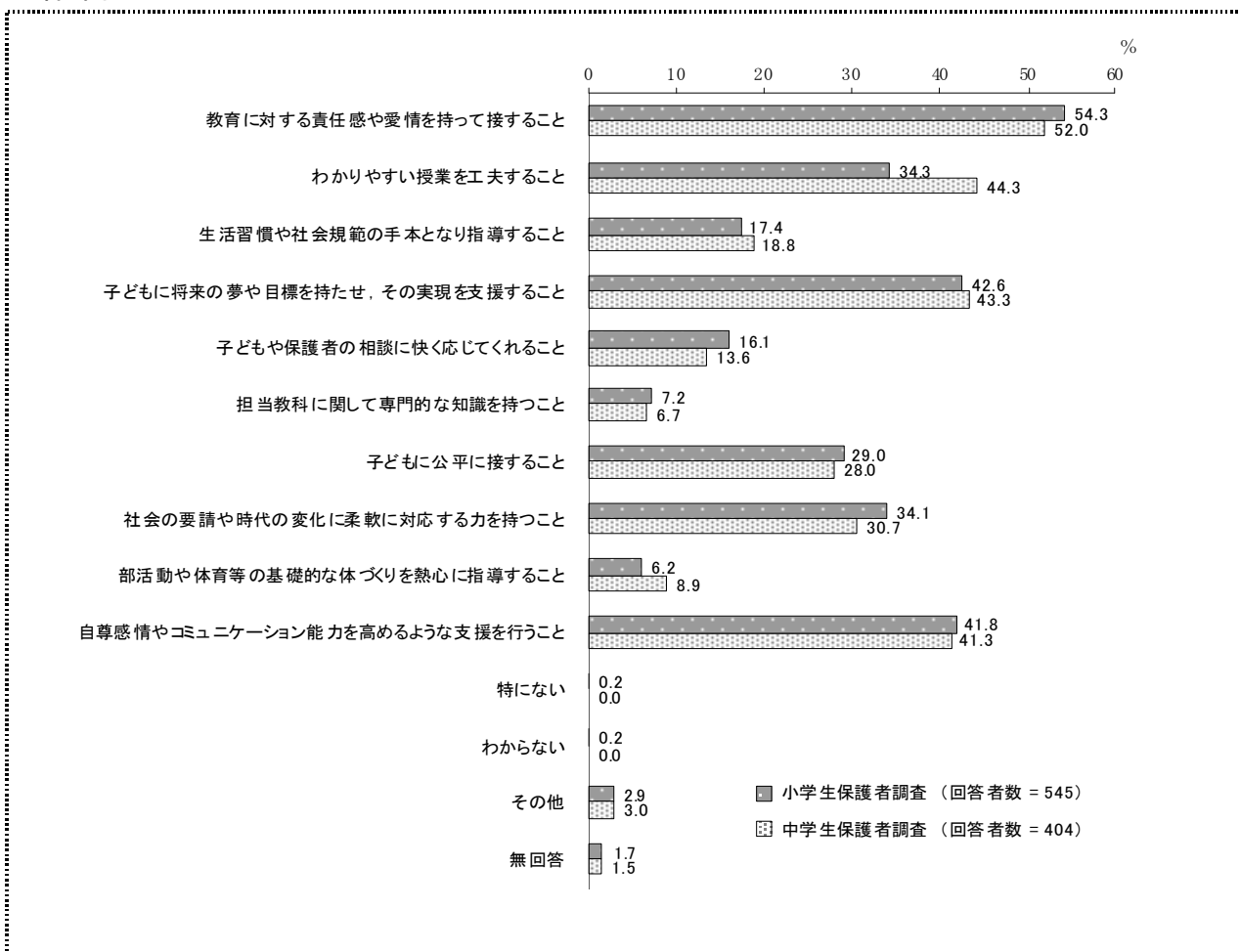


問9 あなたは小・中学校に対してどのようなことを望みますか。(主なものを3つに○)

小学生保護者調査では、「教育に対する責任感や愛情を持って接すること」の割合が54.3%と最も高く、次いで「子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること」の割合が42.6%、「自尊感情やコミュニケーション能力を高めるような支援を行うこと」の割合が41.8%となっています。

中学生保護者調査では、「教育に対する責任感や愛情を持って接すること」の割合が52.0%と最も高く、次いで「わかりやすい授業を工夫すること」の割合が44.3%、「子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること」の割合が43.3%となっています。

○全体集計

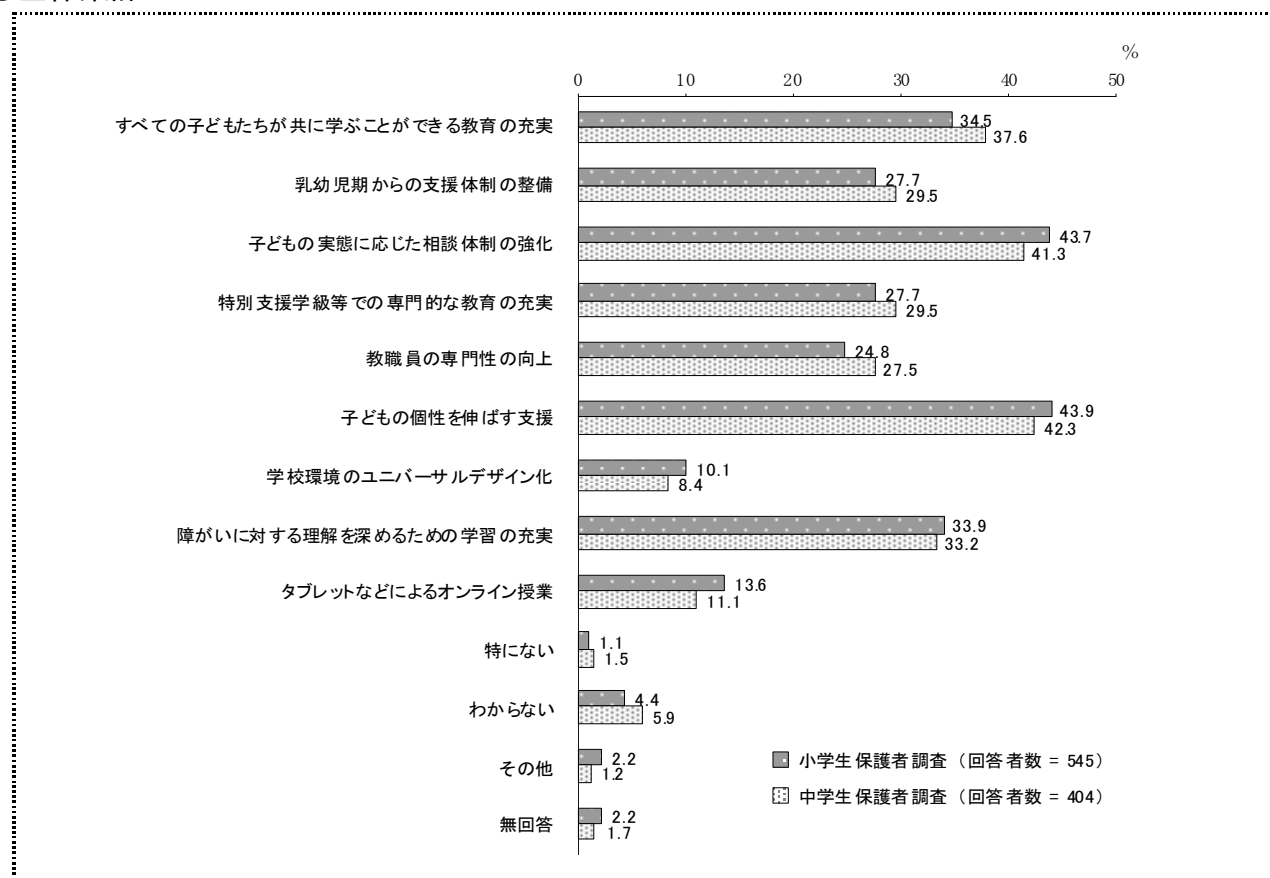


問10 あなたは、特別支援教育の充実のためにどのような取組が必要だと思いますか。
(主なものを3つに〇)

小学生保護者調査では、「子どもの個性を伸ばす支援」の割合が43.9%と最も高く、次いで「子どもの実態に応じた相談体制の強化」の割合が43.7%、「すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の充実」の割合が34.5%となっています。

中学生保護者調査では、「子どもの個性を伸ばす支援」の割合が42.3%と最も高く、次いで「子どもの実態に応じた相談体制の強化」の割合が41.3%、「すべての子どもたちが共に学ぶことができる教育の充実」の割合が37.6%となっています。

○全体集計

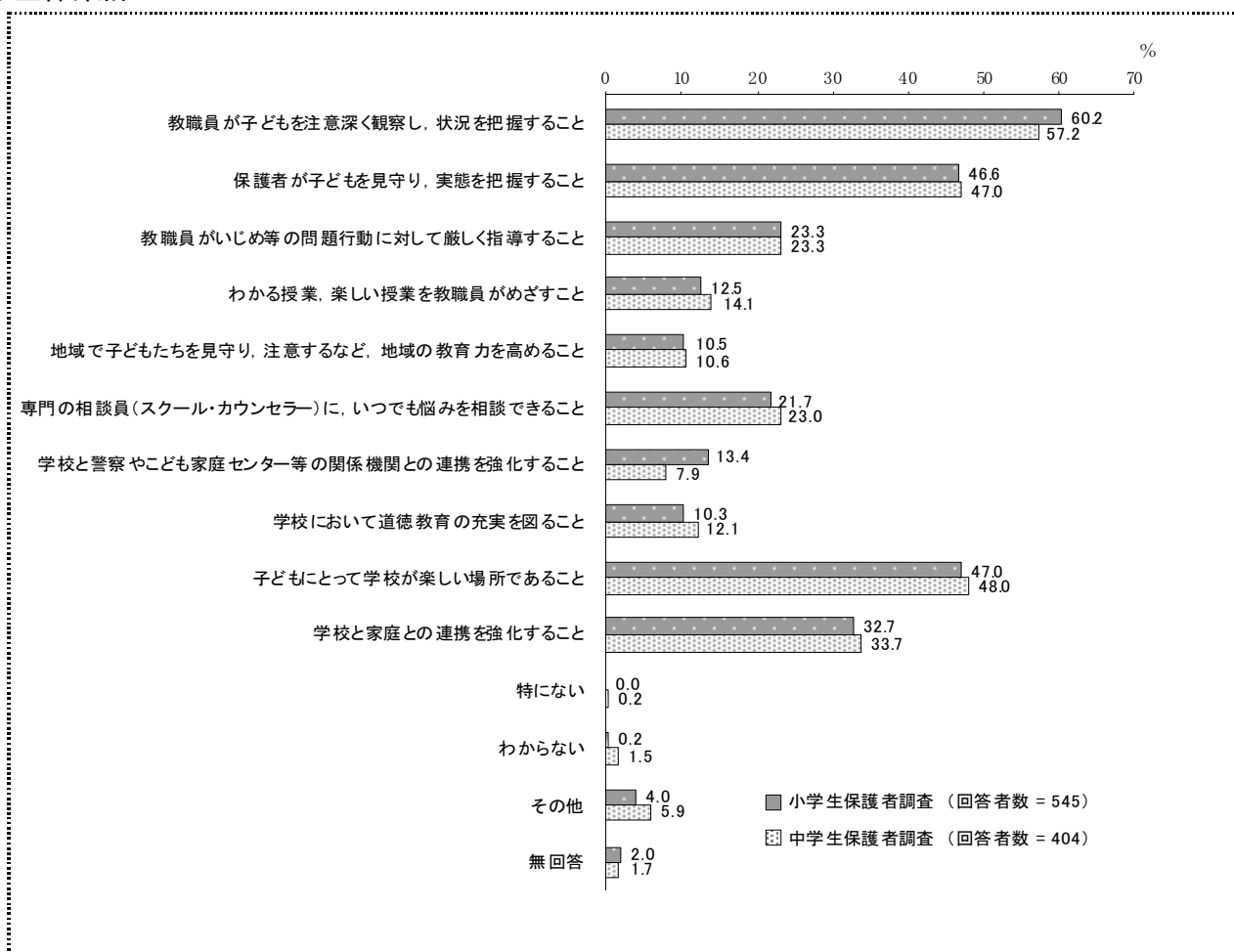


問 11 あなたは、いじめや不登校などを防ぐためにはどのようなことが必要だと思いますか。(主なもの3つに○)

小学生保護者調査では、「教職員が子どもを注意深く観察し、状況を把握すること」の割合が60.2%と最も高く、次いで「子どもにとって学校が楽しい場所であること」の割合が47.0%、「保護者が子どもを見守り、実態を把握すること」の割合が46.6%となっています。

中学生保護者調査では、「教職員が子どもを注意深く観察し、状況を把握すること」の割合が57.2%と最も高く、次いで「子どもにとって学校が楽しい場所であること」の割合が48.0%、「保護者が子どもを見守り、実態を把握すること」の割合が47.0%となっています。

○全体集計

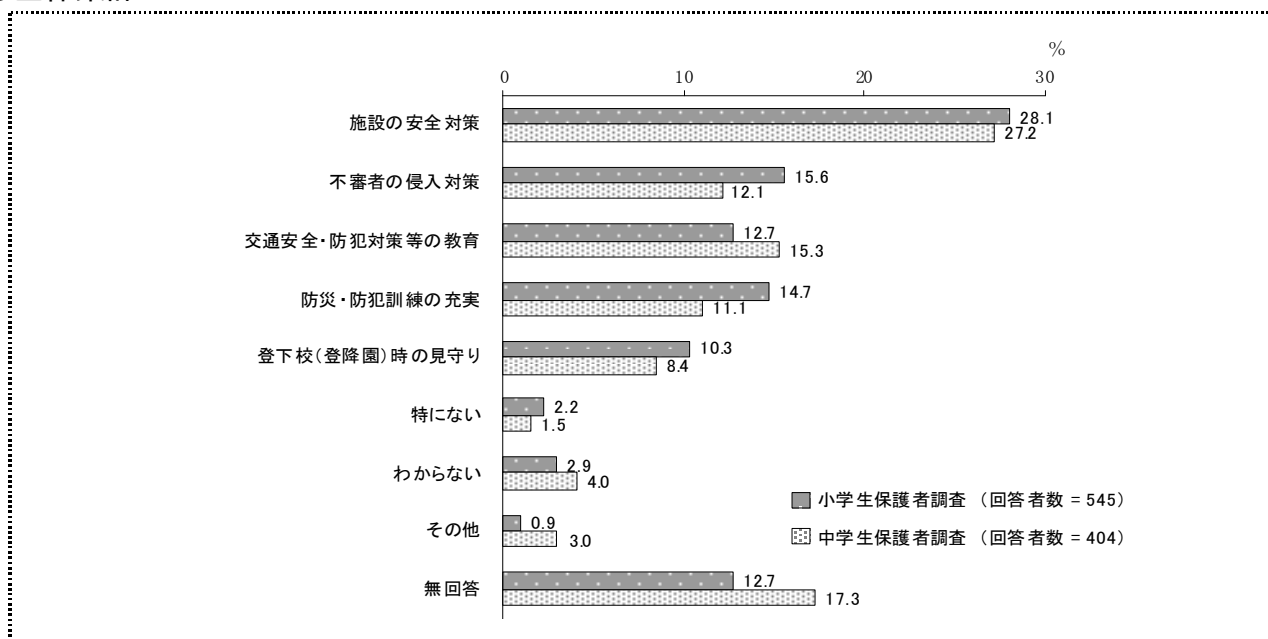


問 12 あなたは、安全・安心な学校や幼稚園・保育所（園）・認定こども園生活のために、今後特に力を入れていくべきものは何だと思いますか。（ひとつだけに○）

小学生保護者調査では、「施設の安全対策」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「不審者の侵入対策」の割合が 15.6%、「防災・防犯訓練の充実」の割合が 14.7%となっています。

中学生保護者調査では、「施設の安全対策」の割合が 27.2%と最も高く、次いで「交通安全・防犯対策等の教育」の割合が 15.3%、「不審者の侵入対策」の割合が 12.1%となっています。

○全体集計



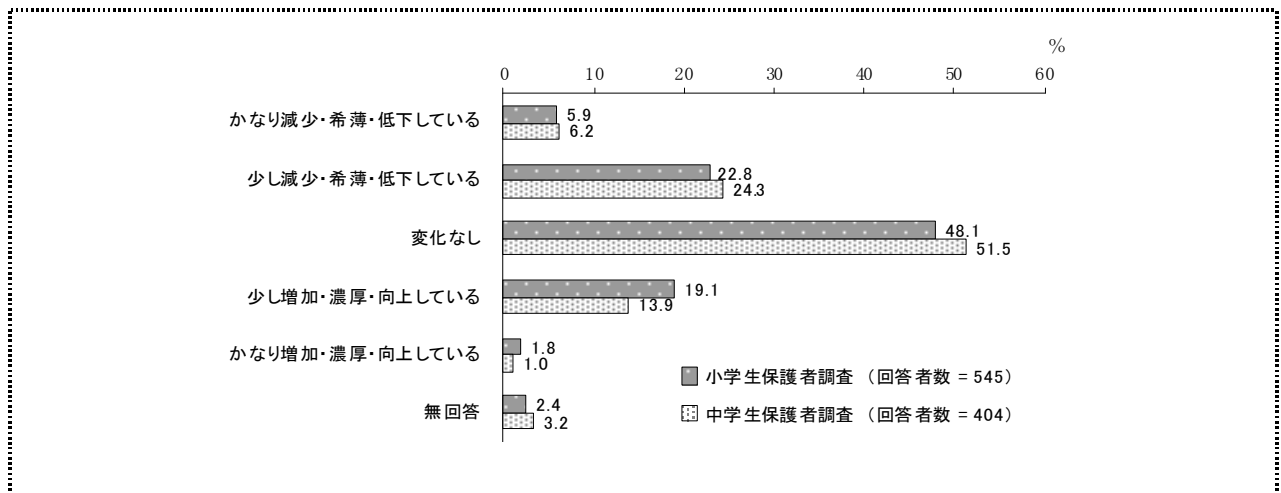
問 13 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか。(ひとつだけに○)

① 学校における児童・生徒一人一人に応じたきめ細かな学習指導

小学生保護者調査では、「かなり減少・希薄・低下している」と「少し減少・希薄・低下している」をあわせた“減少・希薄・低下している”の割合が28.7%、「変化なし」の割合が48.1%、「少し増加・濃厚・向上している」と「かなり増加・濃厚・向上している」をあわせた“増加・濃厚・向上している”の割合が20.9%となっています。

中学生保護者調査では、“減少・希薄・低下している”の割合が30.5%、「変化なし」の割合が51.5%，“増加・濃厚・向上している”の割合が14.9%となっています。

○全体集計

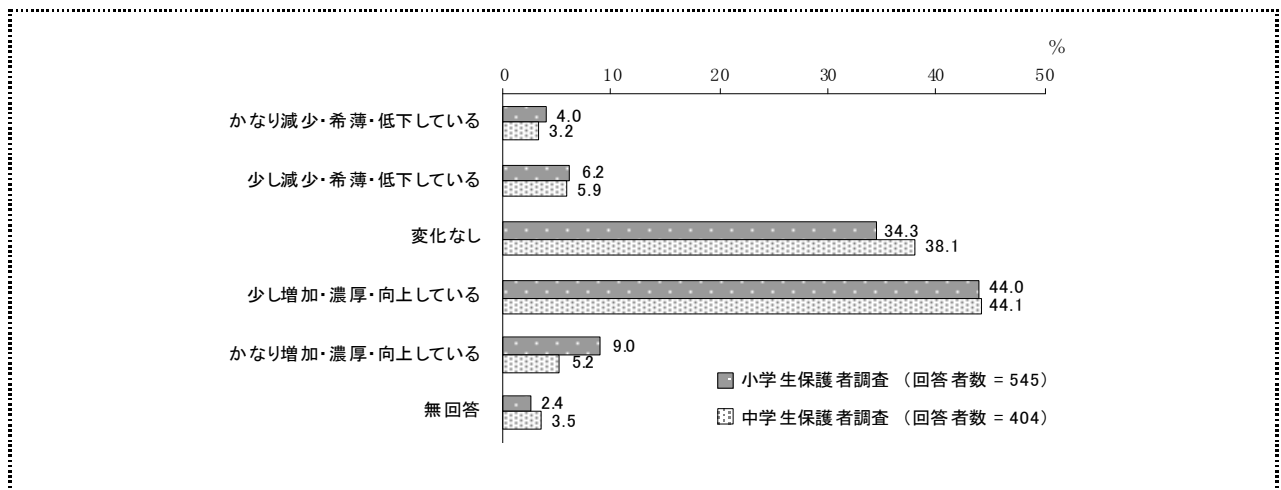


② 学校における情報機器を活用した授業

小学生保護者調査では、“減少・希薄・低下している”の割合が10.2%、「変化なし」の割合が34.3%，“増加・濃厚・向上している”の割合が53.0%となっています。

中学生保護者調査では、“減少・希薄・低下している”の割合が9.1%、「変化なし」の割合が38.1%，“増加・濃厚・向上している”の割合が49.3%となっています。

○全体集計

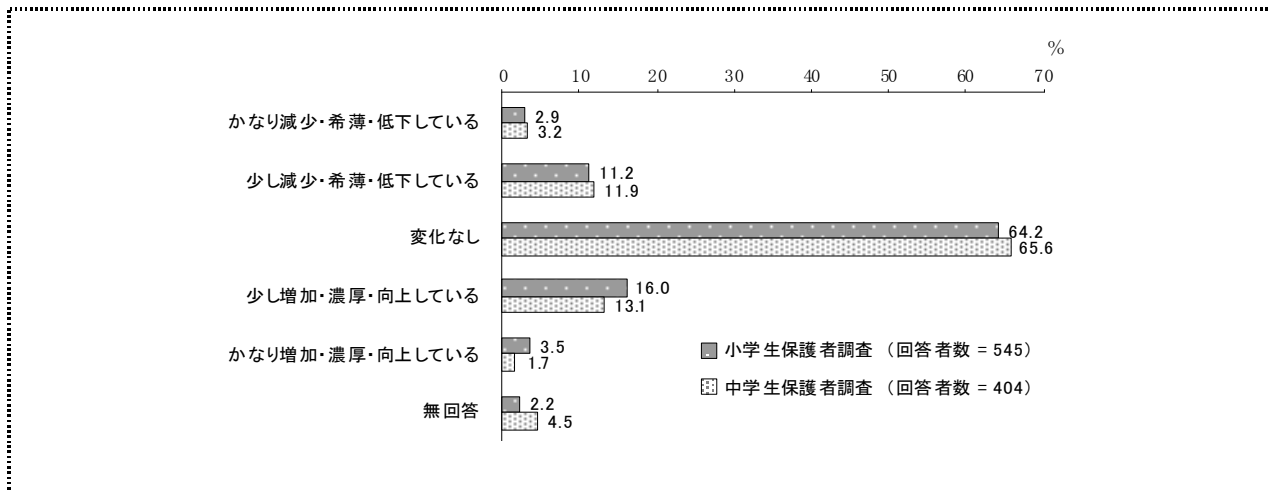


③ いじめや暴力行為

小学生保護者調査では、“減少・希薄・低下している”の割合が14.1%、「変化なし」の割合が64.2%，“増加・濃厚・向上している”の割合が19.5%となっています。

中学生保護者調査では、“減少・希薄・低下している”の割合が15.1%、「変化なし」の割合が65.6%，“増加・濃厚・向上している”の割合が14.8%となっています。

○全体集計

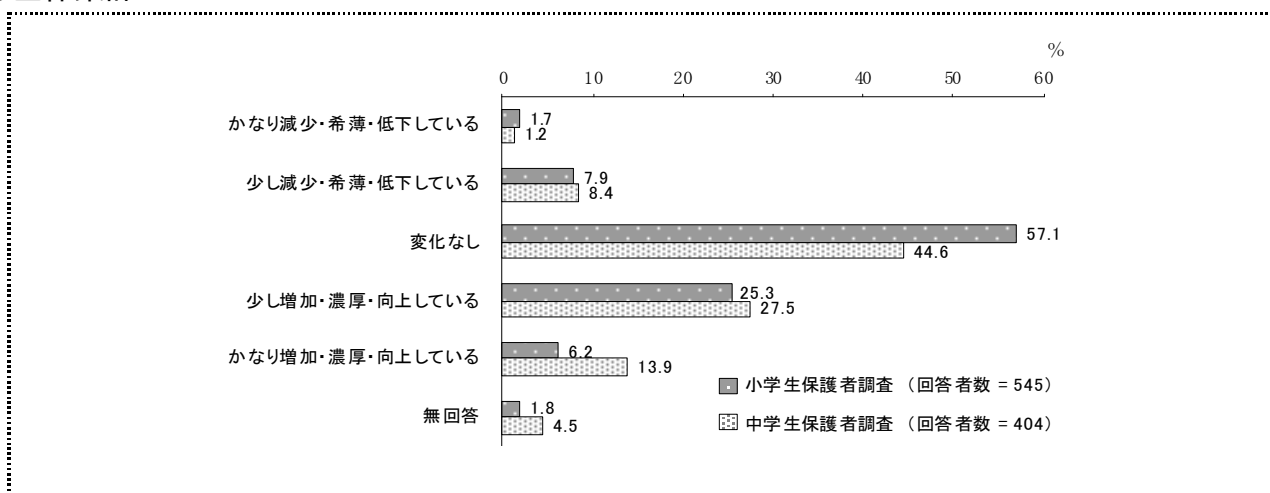


④ 不登校の児童・生徒

小学生保護者調査では、“減少・希薄・低下している”の割合が9.6%、「変化なし」の割合が57.1%，“増加・濃厚・向上している”の割合が31.5%となっています。

中学生保護者調査では、“減少・希薄・低下している”の割合が9.6%、「変化なし」の割合が44.6%，“増加・濃厚・向上している”の割合が41.4%となっています。

○全体集計

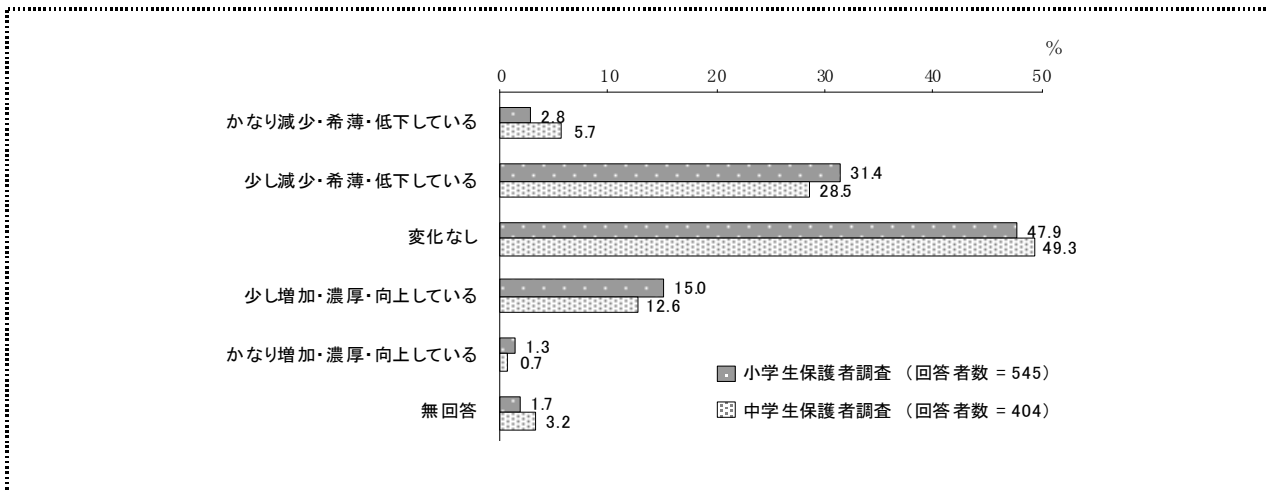


⑤ 家庭での生活体験の機会（家庭でのしつけやお手伝いなど）

小学生保護者調査では，“減少・希薄・低下している”の割合が34.2%，“変化なし”の割合が47.9%，“増加・濃厚・向上している”の割合が16.3%となっています。

中学生保護者調査では，“減少・希薄・低下している”の割合が34.2%，“変化なし”の割合が49.3%，“増加・濃厚・向上している”の割合が13.3%となっています。

○全体集計

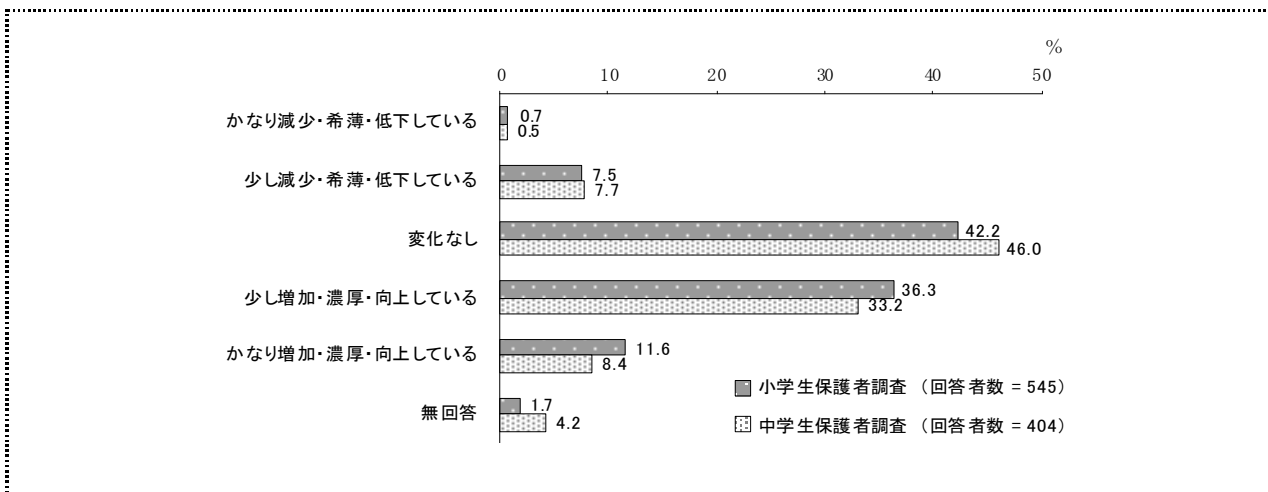


⑥ 家庭環境の多様化（核家族，単身赴任，親の深夜労働等）

小学生保護者調査では，“減少・希薄・低下している”の割合が8.2%，“変化なし”の割合が42.2%，“増加・濃厚・向上している”の割合が47.9%となっています。

中学生保護者調査では，“減少・希薄・低下している”の割合が8.2%，“変化なし”の割合が46.0%，“増加・濃厚・向上している”の割合が41.6%となっています。

○全体集計

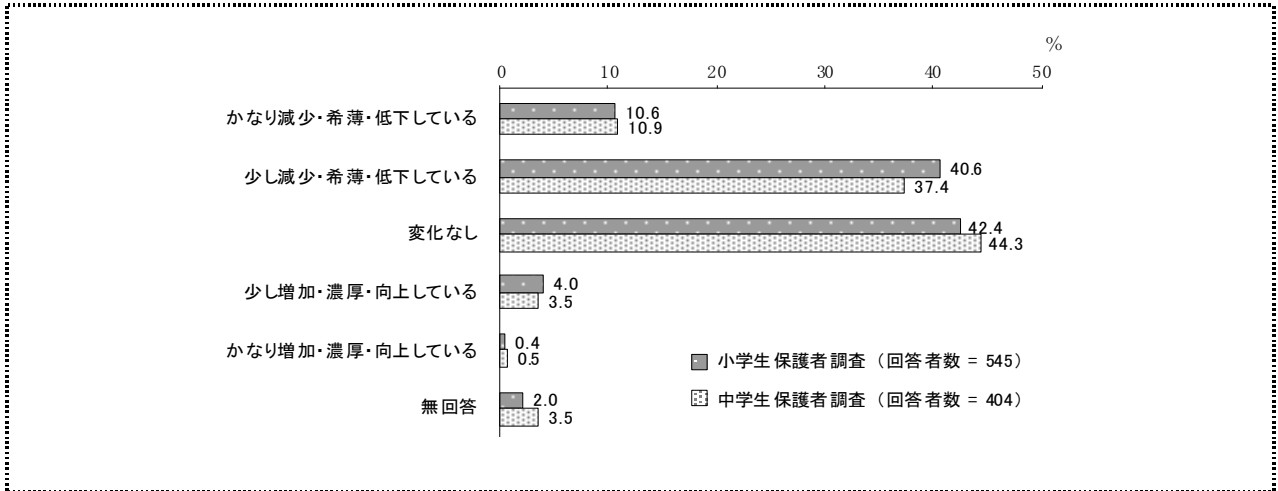


⑦ 家庭と地域の結びつき

小学生保護者調査では，“減少・希薄・低下している”の割合が51.2%，“変化なし”の割合が42.4%，“増加・濃厚・向上している”の割合が4.4%となっています。

中学生保護者調査では，“減少・希薄・低下している”の割合が48.3%，“変化なし”の割合が44.3%，“増加・濃厚・向上している”の割合が4.0%となっています。

○全体集計

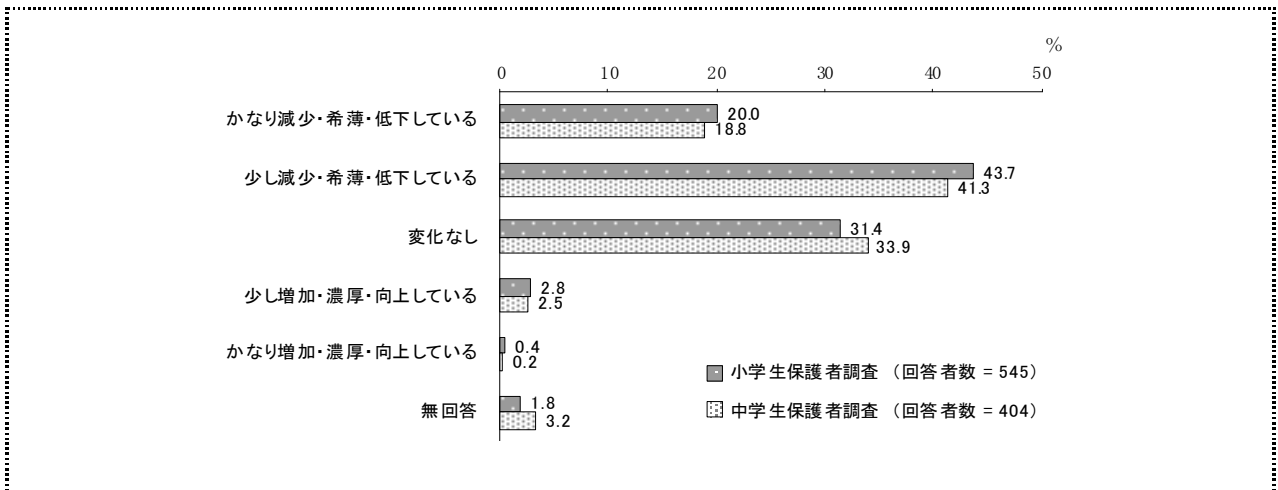


⑧ 子どもと高齢者がふれ合う機会

小学生保護者調査では，“減少・希薄・低下している”の割合が63.7%，“変化なし”の割合が31.4%，“増加・濃厚・向上している”の割合が3.2%となっています。

中学生保護者調査では，“減少・希薄・低下している”の割合が60.1%，“変化なし”の割合が33.9%，“増加・濃厚・向上している”の割合が2.7%となっています。

○全体集計

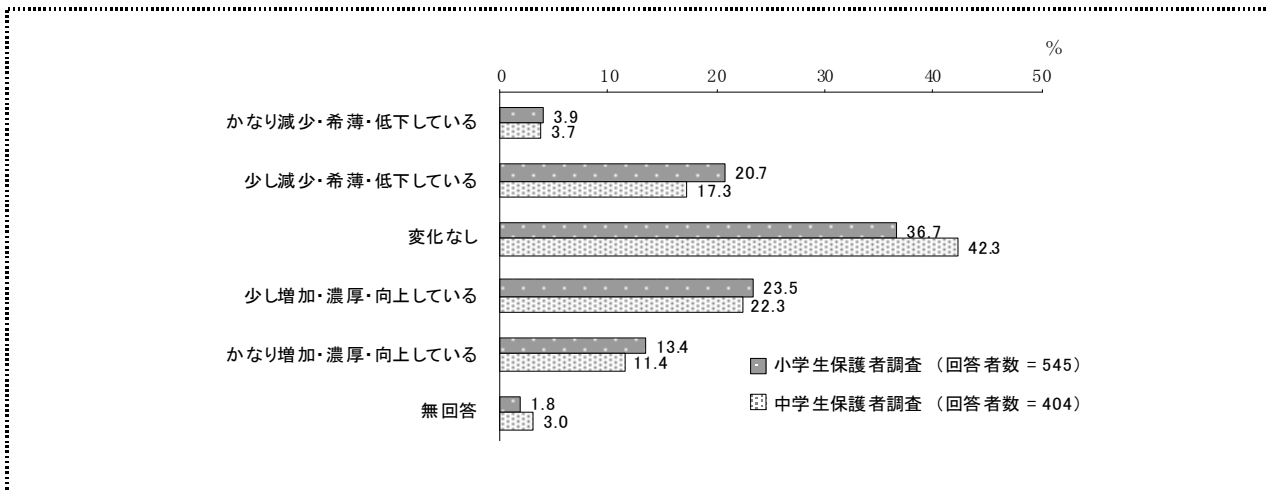


⑨ コミュニケーション能力の必要性

小学生保護者調査では、“減少・希薄・低下している”の割合が24.6%、「変化なし」の割合が36.7%，“増加・濃厚・向上している”の割合が36.9%となっています。

中学生保護者調査では、“減少・希薄・低下している”の割合が21.0%、「変化なし」の割合が42.3%，“増加・濃厚・向上している”の割合が33.7%となっています。

○全体集計

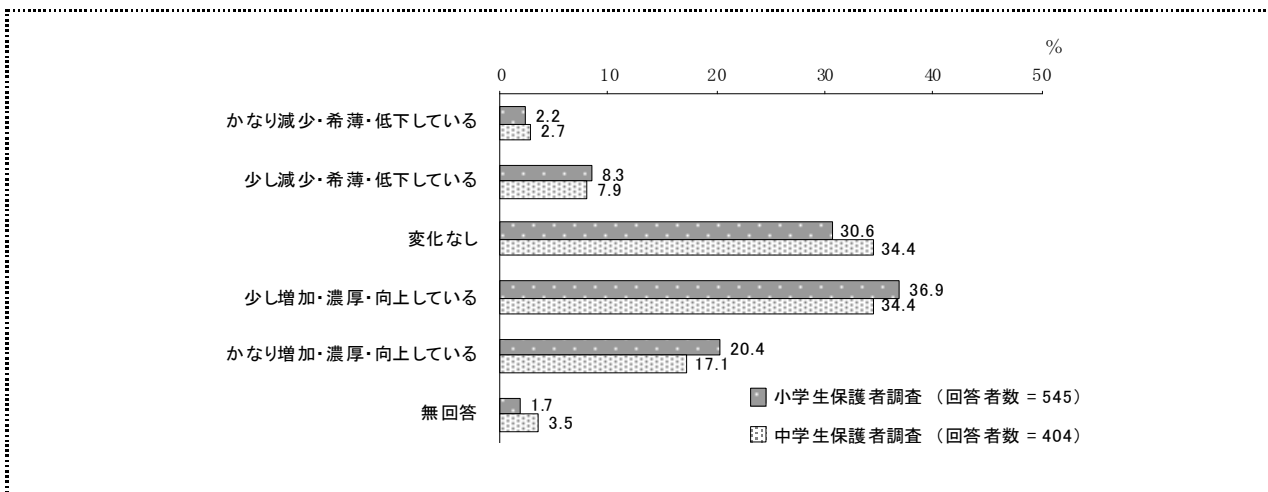


⑩ 語学力の必要性

小学生保護者調査では、“減少・希薄・低下している”の割合が10.5%、「変化なし」の割合が30.6%，“増加・濃厚・向上している”の割合が57.3%となっています。

中学生保護者調査では、“減少・希薄・低下している”の割合が10.6%、「変化なし」の割合が34.4%，“増加・濃厚・向上している”の割合が51.5%となっています。

○全体集計

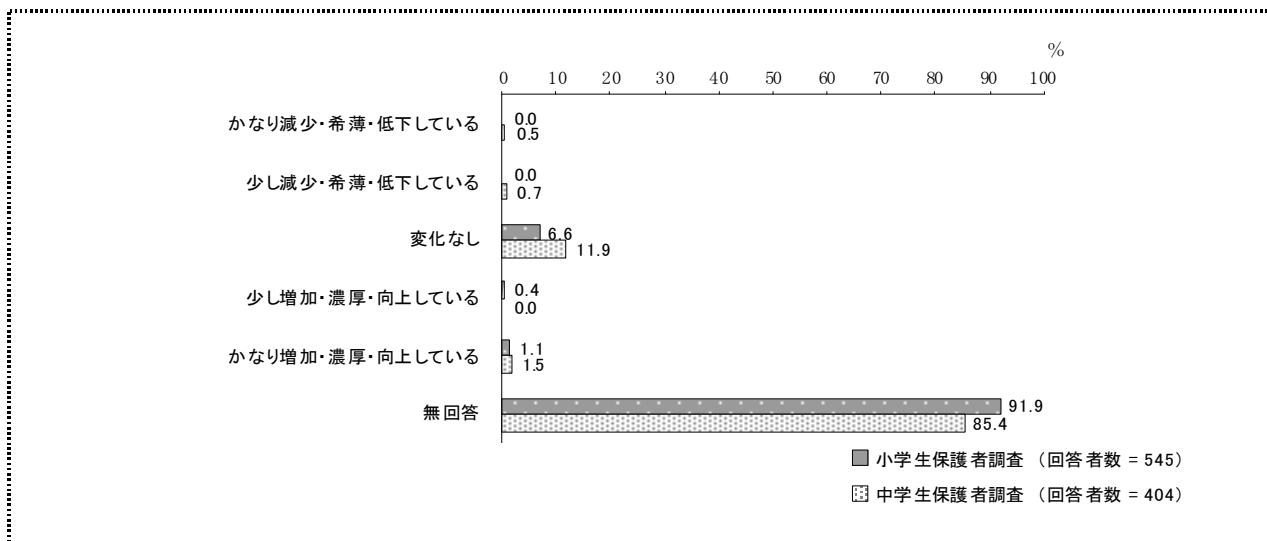


⑪ その他

小学生保護者調査では，“減少・希薄・低下している”の割合が0.0%、「変化なし」の割合が6.6%，“増加・濃厚・向上している”の割合が1.5%となっています。

中学生保護者調査では，“減少・希薄・低下している”の割合が1.2%、「変化なし」の割合が11.9%，“増加・濃厚・向上している”の割合が1.5%となっています。

○全体集計



問 14 次の教育施策や教育事業について、あなたは、今後芦屋市で力を入れて行う必要があると思いますか。

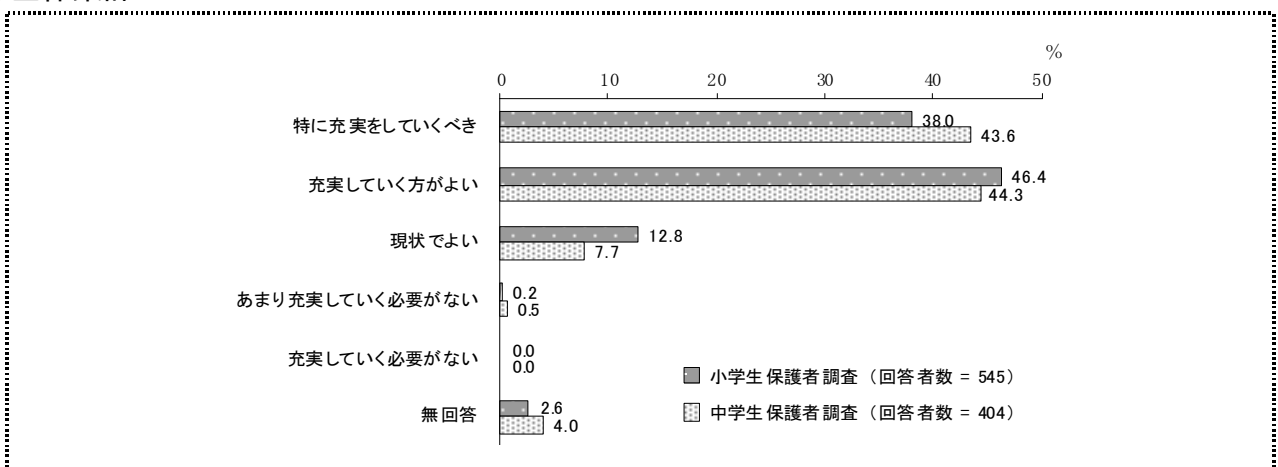
(①～⑳の各項目について、あてはまるものに、それぞれひとつだけに○)

① 子どもたちが、「わかる」と実感できる授業の実施

小学生保護者調査では、「特に充実をしていくべき」と「充実していく方がよい」をあわせた“充実をしていくべき”の割合が84.4%、「現状でよい」の割合が12.8%、「あまり充実していく必要がない」と「充実していく必要がない」をあわせた“充実していく必要がない”の割合が0.2%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が87.9%、「現状でよい」の割合が7.7%、「充実していく必要がない”の割合が0.5%となっています。

○全体集計

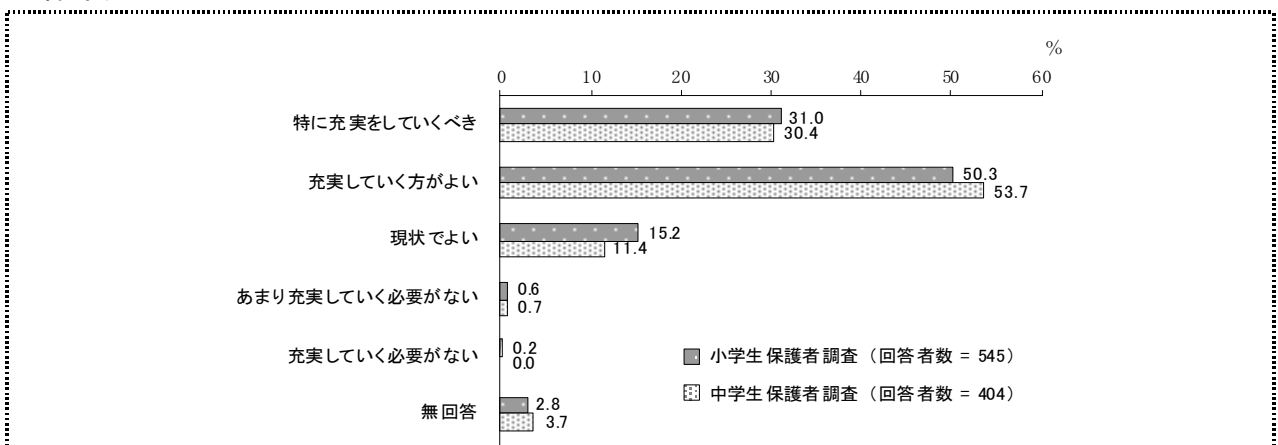


② 少人数・習熟度別学習など、多様な形態での学習の実施

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が81.3%、「現状でよい」の割合が15.2%、「充実していく必要がない”の割合が0.8%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が84.1%、「現状でよい」の割合が11.4%、「充実していく必要がない”の割合が0.7%となっています。

○全体集計

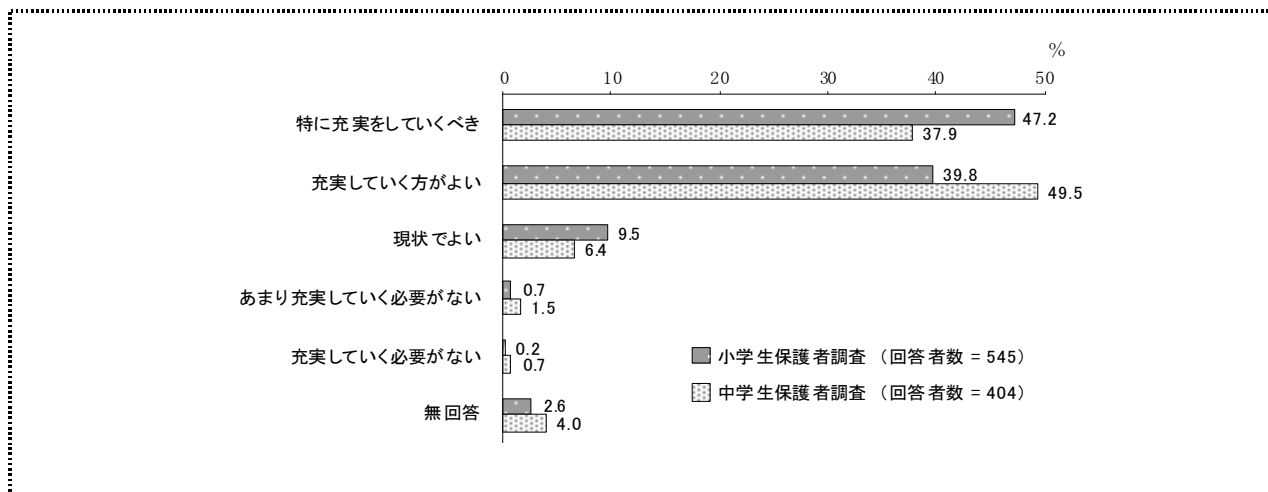


③ コンピュータなどのICT機器を活用した授業の推進

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が87.0%、「現状でよい」の割合が9.5%，“充実していく必要がない”の割合が0.9%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が87.4%、「現状でよい」の割合が6.4%，“充実していく必要がない”の割合が2.2%となっています。

○全体集計

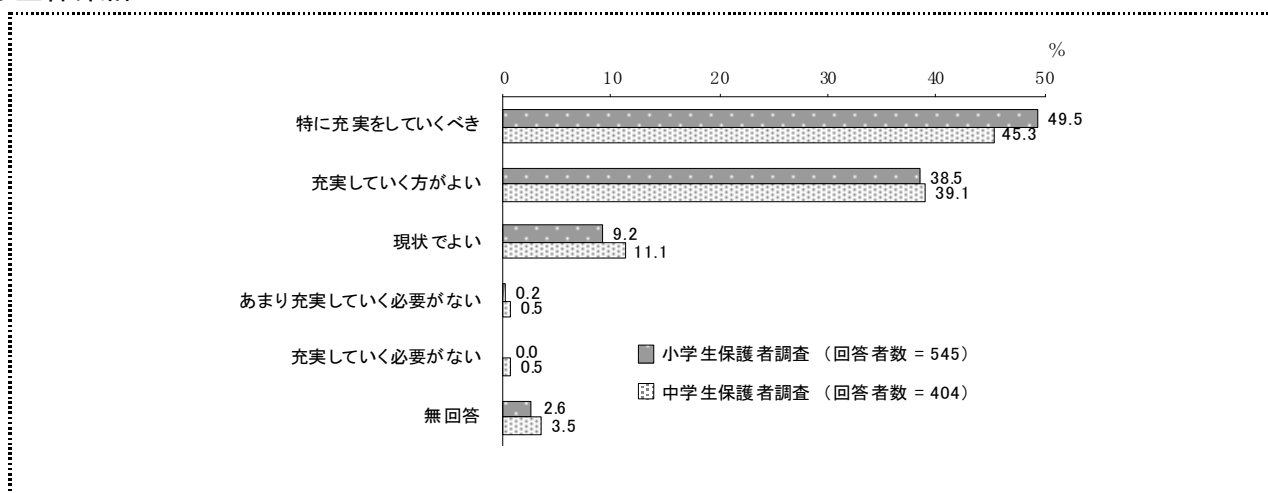


④ 情報モラル教育の推進（携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方）

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が88.0%、「現状でよい」の割合が9.2%，“充実していく必要がない”の割合が0.2%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が84.4%、「現状でよい」の割合が11.1%，“充実していく必要がない”の割合が1.0%となっています。

○全体集計

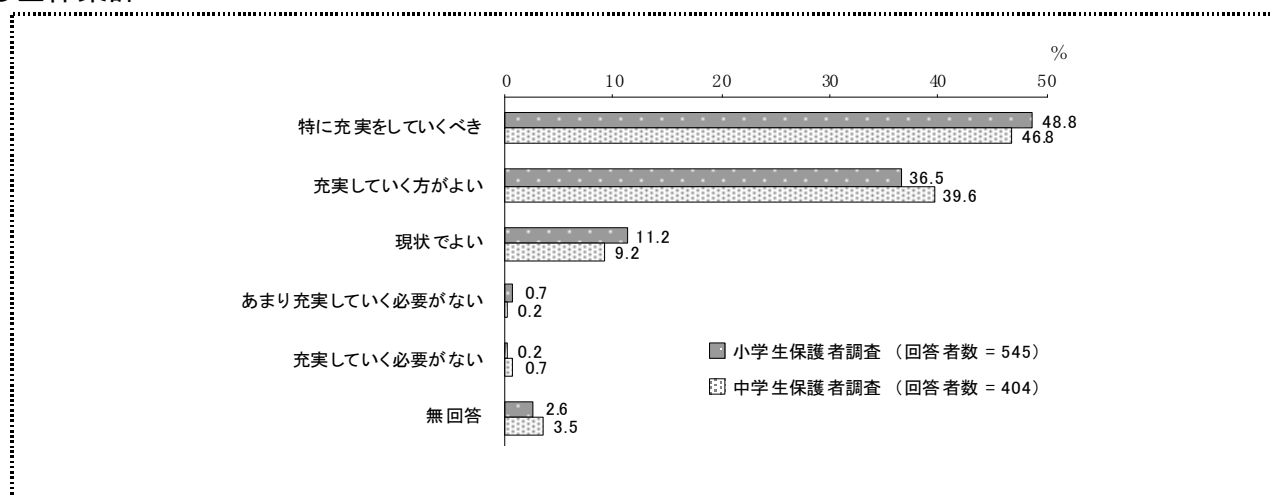


⑤ 外国語教育の充実

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が85.3%、「現状でよい」の割合が11.2%，“充実していく必要がない”の割合が0.9%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が86.4%、「現状でよい」の割合が9.2%，“充実していく必要がない”の割合が0.9%となっています。

○全体集計

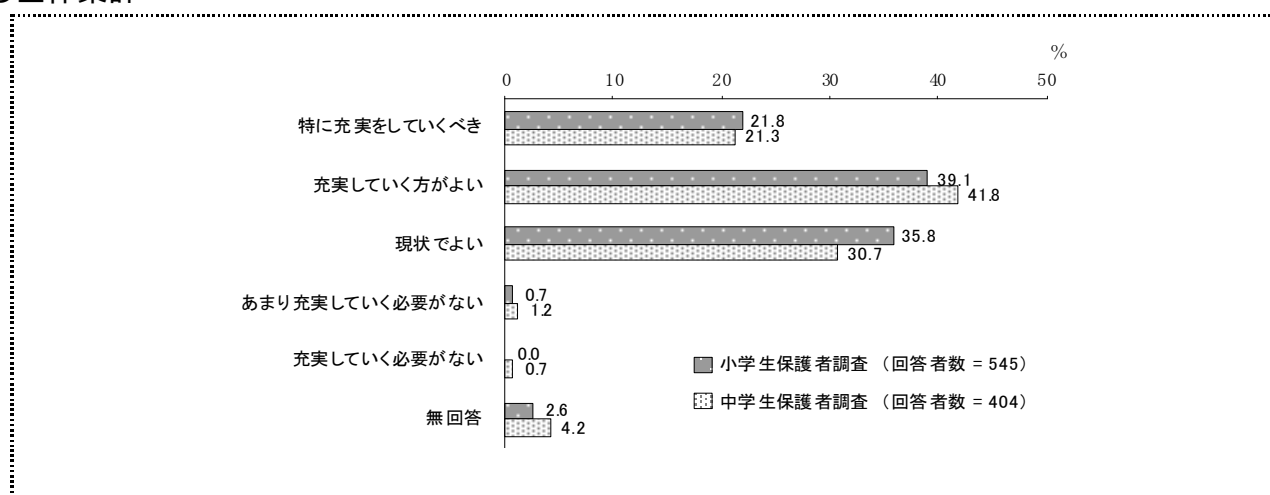


⑥ 学校園における読書の取組の推進

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が60.9%、「現状でよい」の割合が35.8%，“充実していく必要がない”の割合が0.7%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が63.1%、「現状でよい」の割合が30.7%，“充実していく必要がない”の割合が1.9%となっています。

○全体集計

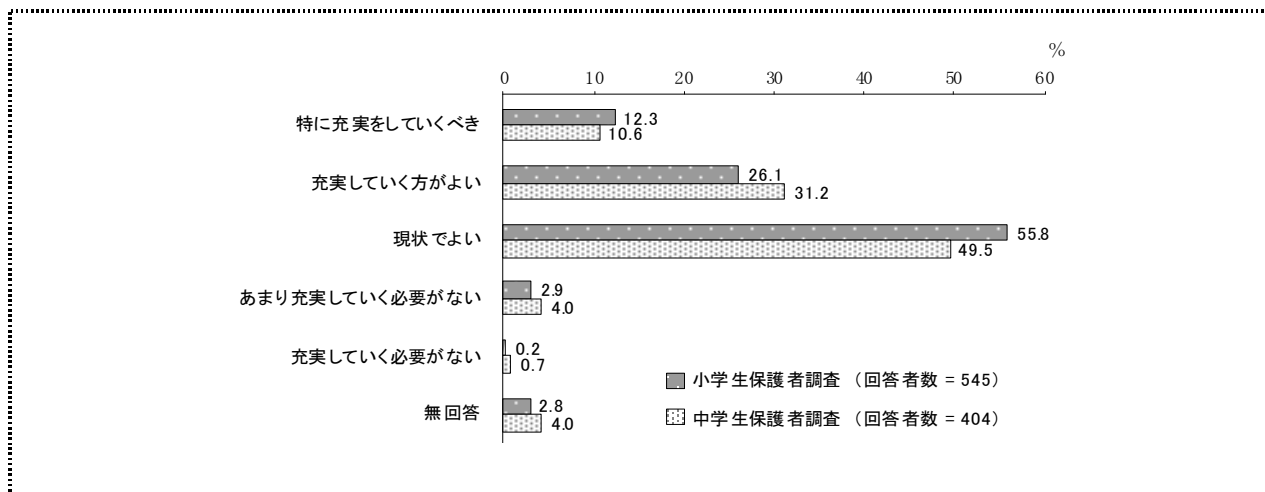


⑦ 家庭・地域と一体となった「読書のまちづくり」の推進

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が38.4%、「現状でよい」の割合が55.8%，“充実していく必要がない”の割合が3.1%となっています。

中学生保護者調査では，“充実をしていくべき”の割合が41.8%、「現状でよい」の割合が49.5%，“充実していく必要がない”の割合が4.7%となっています。

○全体集計

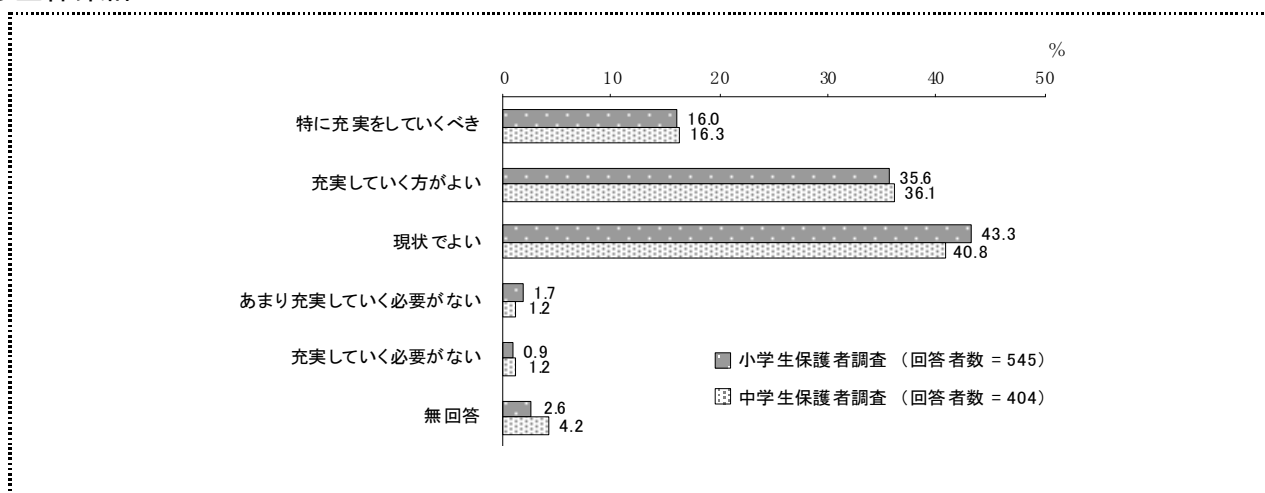


⑧ 豊かな心をはぐくむ道德教育の推進

小学生保護者調査では，“充実をしていくべき”の割合が51.6%、「現状でよい」の割合が43.3%，“充実していく必要がない”の割合が2.6%となっています。

中学生保護者調査では，“充実をしていくべき”の割合が52.4%、「現状でよい」の割合が40.8%，“充実していく必要がない”の割合が2.4%となっています。

○全体集計

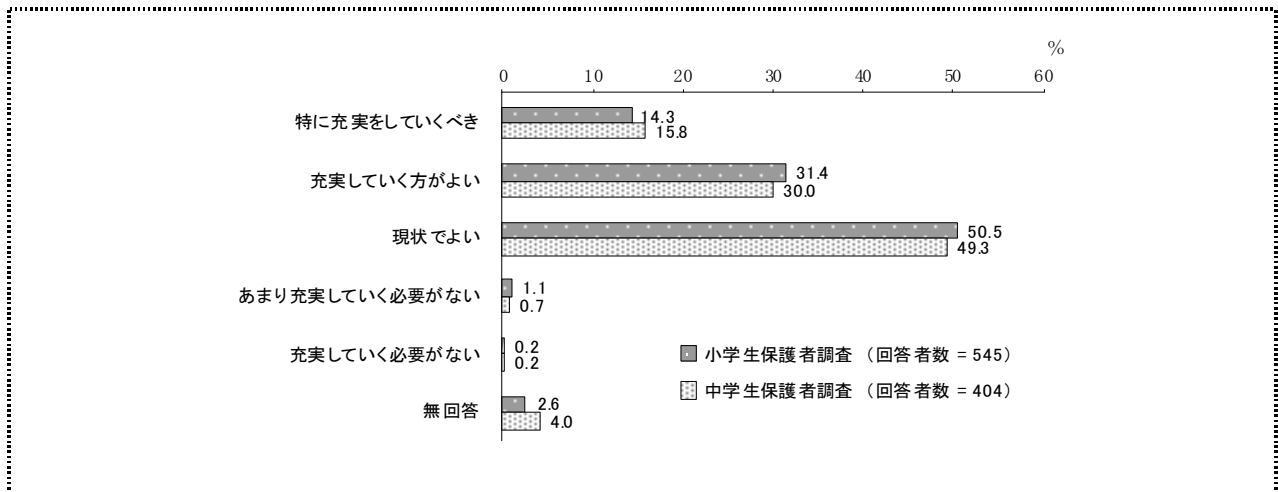


⑨ 阪神・淡路大震災を風化させないなど、防災教育の実施

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が45.7%、「現状でよい」の割合が50.5%，“充実していく必要がない”の割合が1.3%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が45.8%、「現状でよい」の割合が49.3%，“充実していく必要がない”の割合が0.9%となっています。

○全体集計

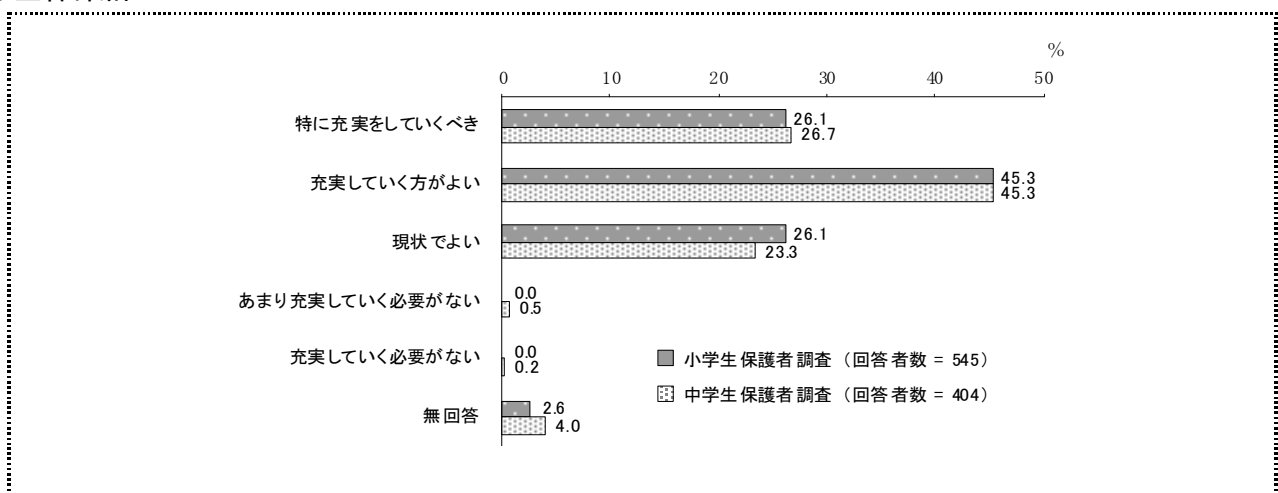


⑩ いじめや暴力行為などの解消を図る取組の推進

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が71.4%、「現状でよい」の割合が26.1%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が72.0%、「現状でよい」の割合が23.3%，“充実していく必要がない”の割合が0.7%となっています。

○全体集計

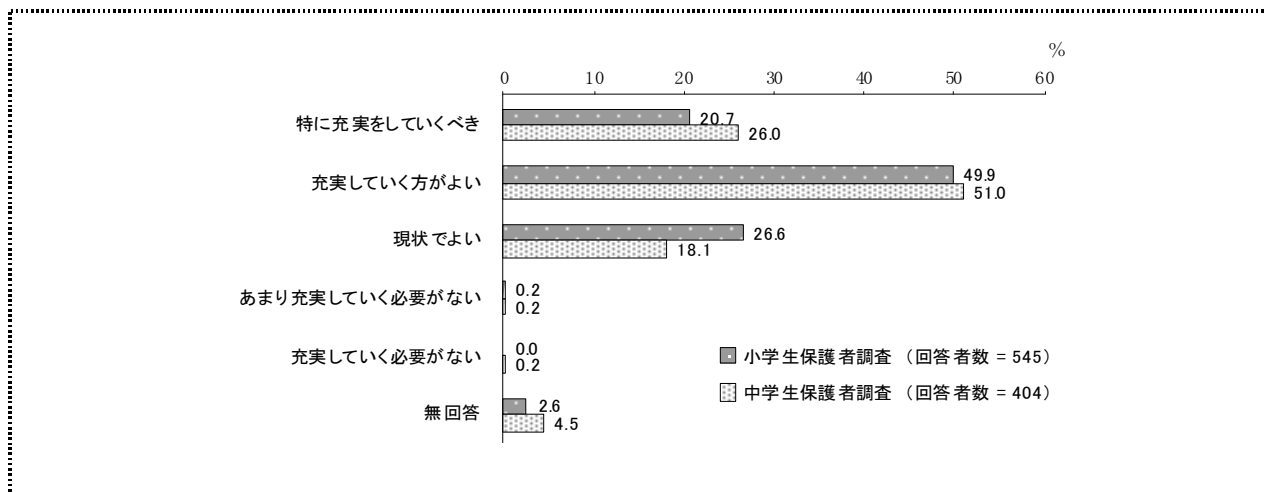


⑪ 不登校児童生徒へのケアや支援の充実

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が70.6%、「現状でよい」の割合が26.6%，“充実していく必要がない”の割合が0.2%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が77.0%、「現状でよい」の割合が18.1%，“充実していく必要がない”の割合が0.4%となっています。

○全体集計

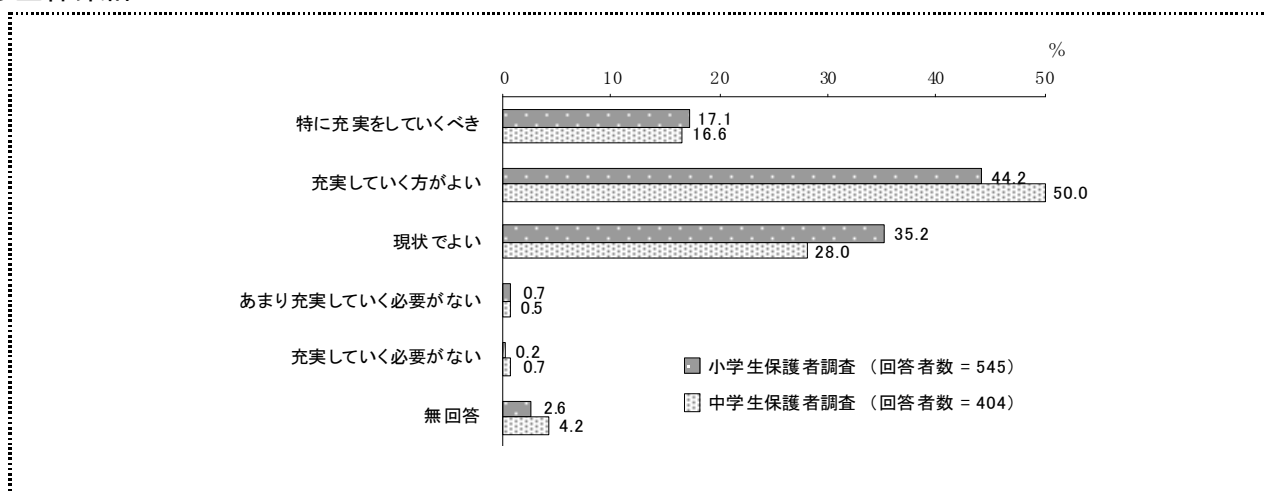


⑫ 障がいの有無に関わらず子どもたちが共に学ぶことができる仕組みづくり

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が61.3%、「現状でよい」の割合が35.2%，“充実していく必要がない”の割合が0.9%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が66.6%、「現状でよい」の割合が28.0%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

○全体集計

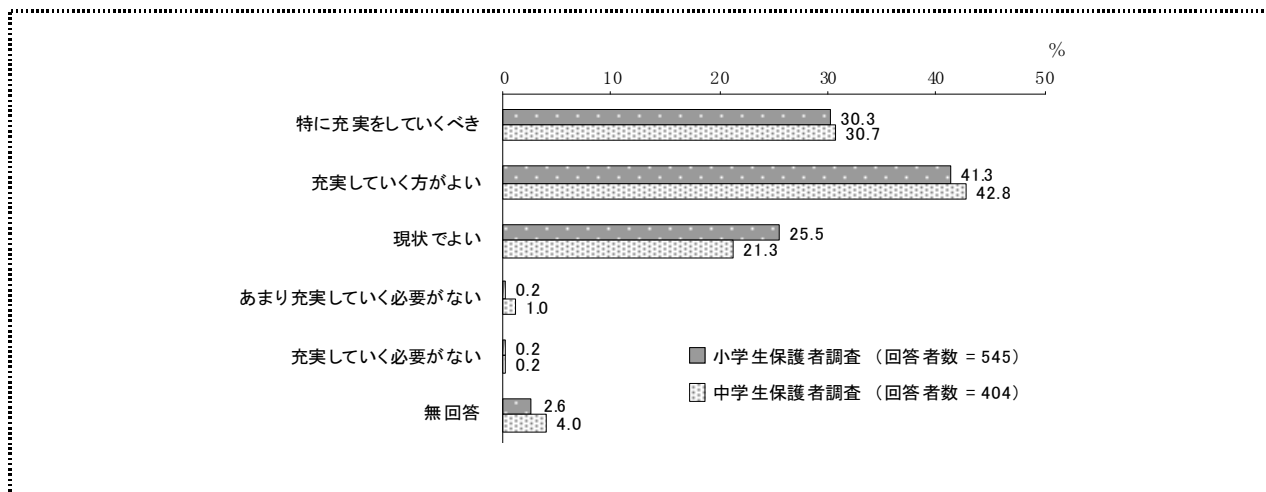


⑬ すべての子どもが公平で質の高い教育を受けられる支援の充実

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が71.6%、「現状でよい」の割合が25.5%，“充実していく必要がない”の割合が0.4%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が73.5%、「現状でよい」の割合が21.3%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

○全体集計

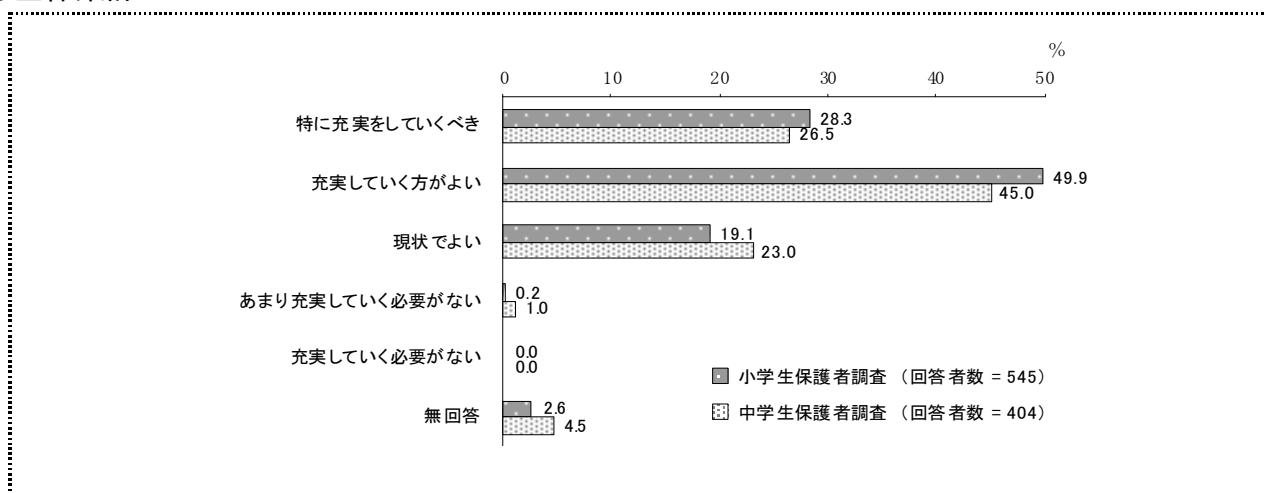


⑭ 子どもの体力向上の取組の充実

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が78.2%、「現状でよい」の割合が19.1%，“充実していく必要がない”の割合が0.2%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が71.5%、「現状でよい」の割合が23.0%，“充実していく必要がない”の割合が1.0%となっています。

○全体集計

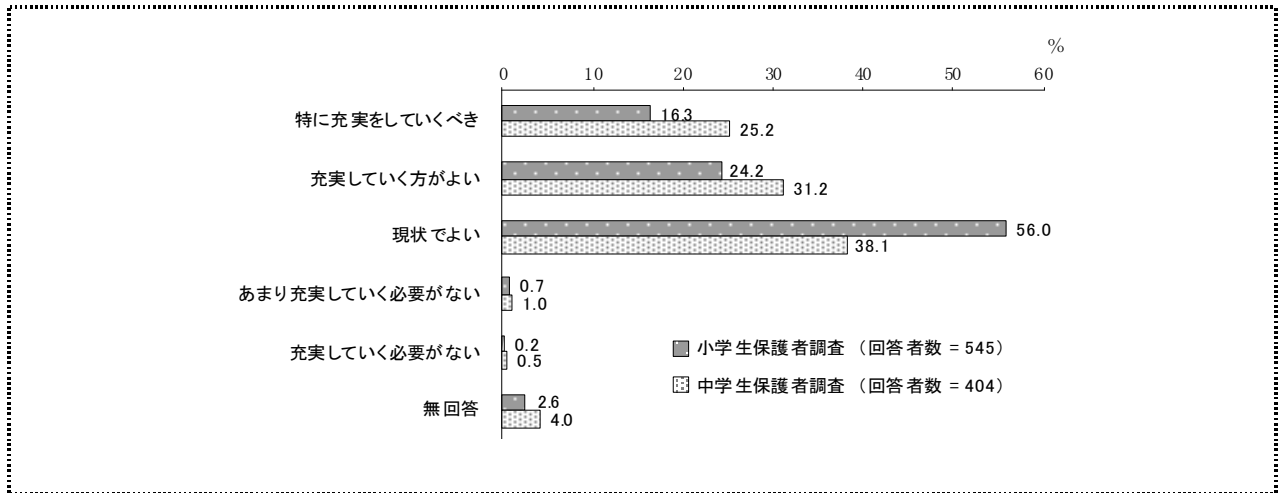


⑮ 学校給食の充実（食育を含む）

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が40.5%、「現状でよい」の割合が56.0%，“充実していく必要がない”の割合が0.9%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が56.4%、「現状でよい」の割合が38.1%，“充実していく必要がない”の割合が1.5%となっています。

○全体集計

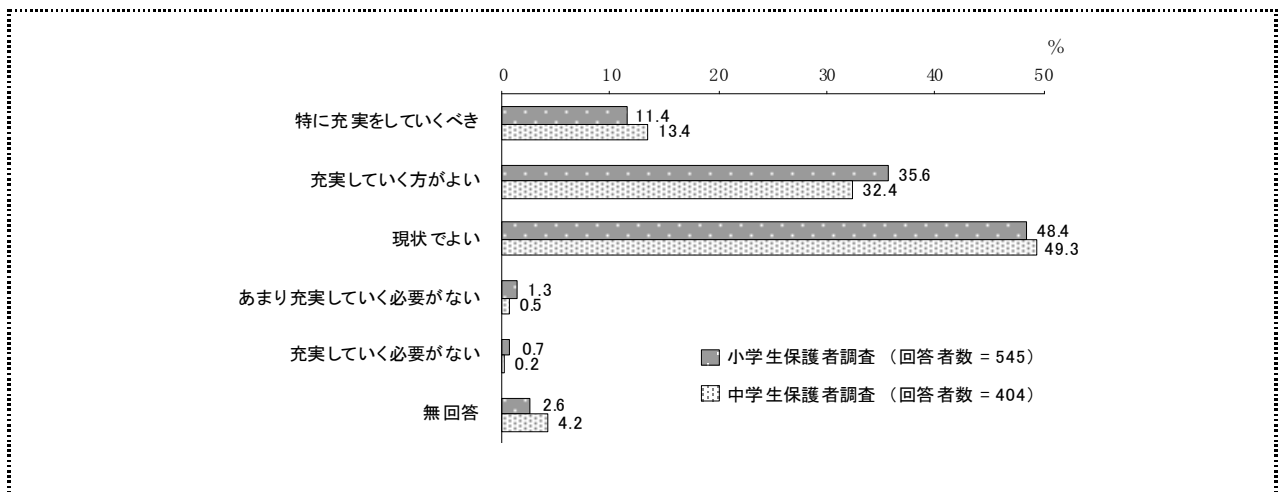


⑯ 小学校と中学校との連携の推進

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が47.0%、「現状でよい」の割合が48.4%，“充実していく必要がない”の割合が2.0%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が45.8%、「現状でよい」の割合が49.3%，“充実していく必要がない”の割合が0.7%となっています。

○全体集計

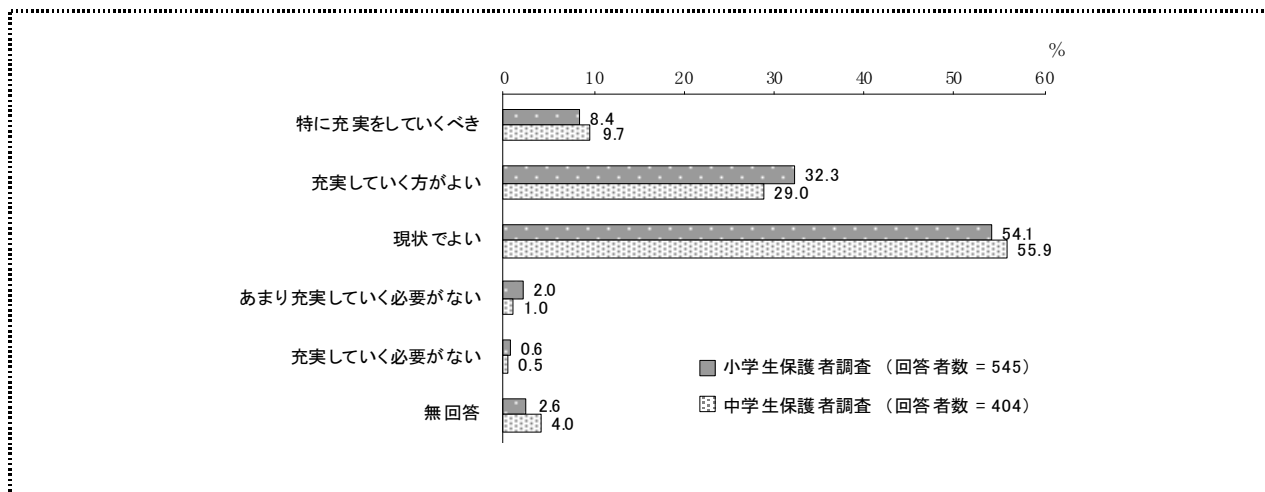


⑰ 幼稚園、保育所（園）、認定こども園と小学校との連携の推進

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が40.7%、「現状でよい」の割合が54.1%，“充実していく必要がない”の割合が2.6%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が38.7%、「現状でよい」の割合が55.9%，“充実していく必要がない”の割合が1.5%となっています。

○全体集計

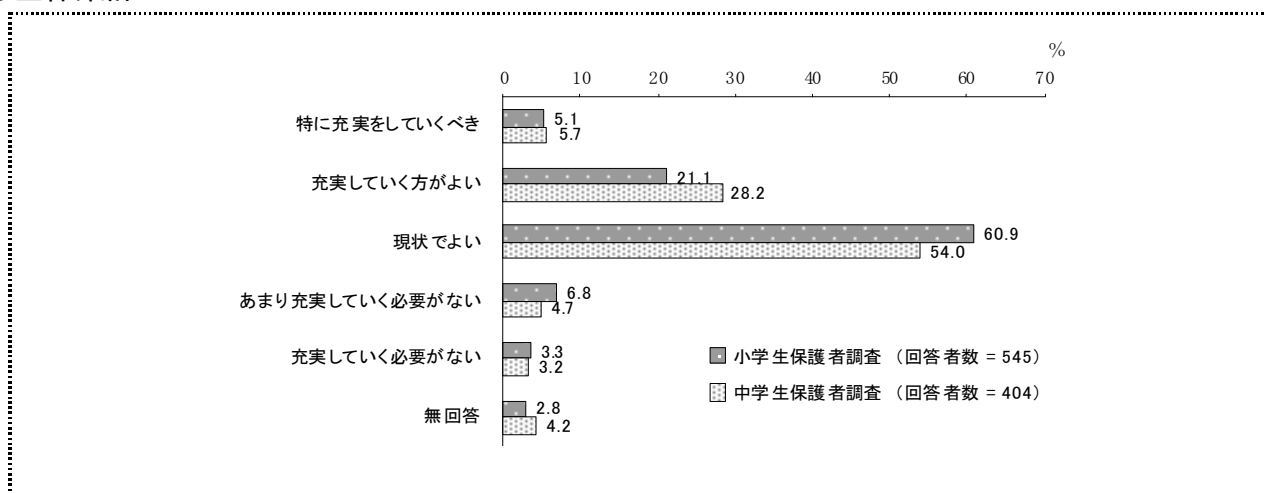


⑱ 認定こども園の推進

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が26.2%、「現状でよい」の割合が60.9%，“充実していく必要がない”の割合が10.1%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が33.9%、「現状でよい」の割合が54.0%，“充実していく必要がない”の割合が7.9%となっています。

○全体集計

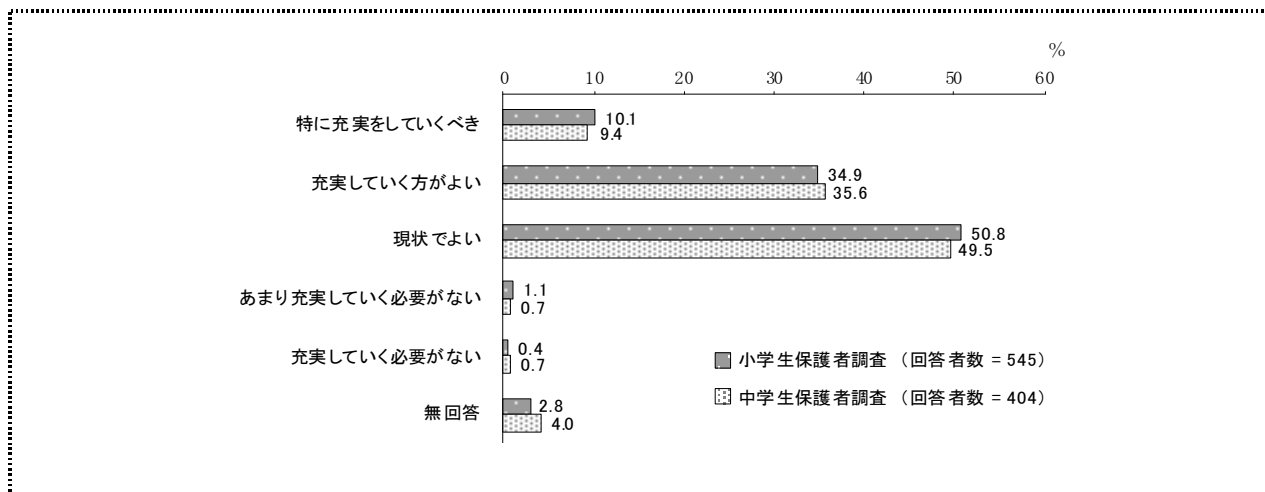


⑱ 発達や学びの連続性をふまえた幼児教育の推進

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が45.0%、「現状でよい」の割合が50.8%，“充実していく必要がない”の割合が1.5%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が45.0%、「現状でよい」の割合が49.5%，“充実していく必要がない”の割合が1.4%となっています。

○全体集計

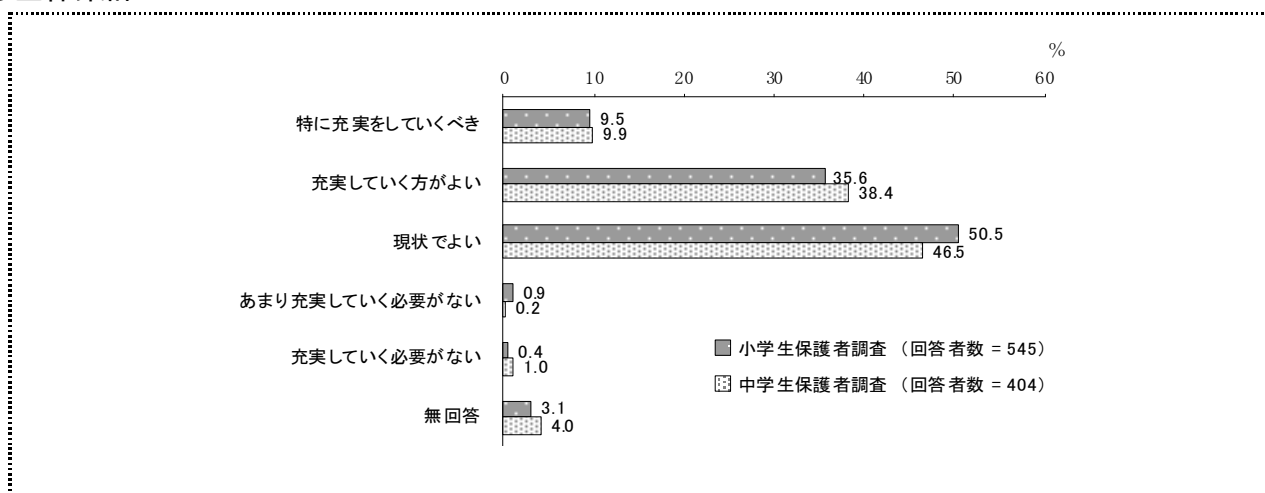


⑳ 学校園・家庭・地域が連携して子育てをしていくための取組の充実

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が45.1%、「現状でよい」の割合が50.5%，“充実していく必要がない”の割合が1.3%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が48.3%、「現状でよい」の割合が46.5%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

○全体集計

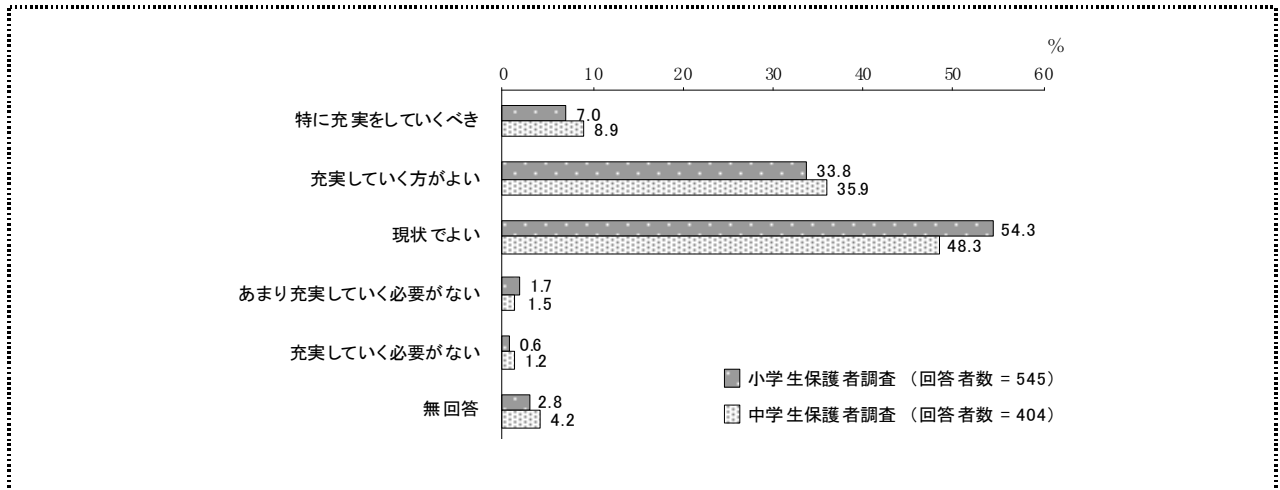


㉑ 地域や児童生徒の実態や課題に応じた人権教育の推進

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が40.8%、「現状でよい」の割合が54.3%，“充実していく必要がない”の割合が2.3%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が44.8%、「現状でよい」の割合が48.3%，“充実していく必要がない”の割合が2.7%となっています。

○全体集計

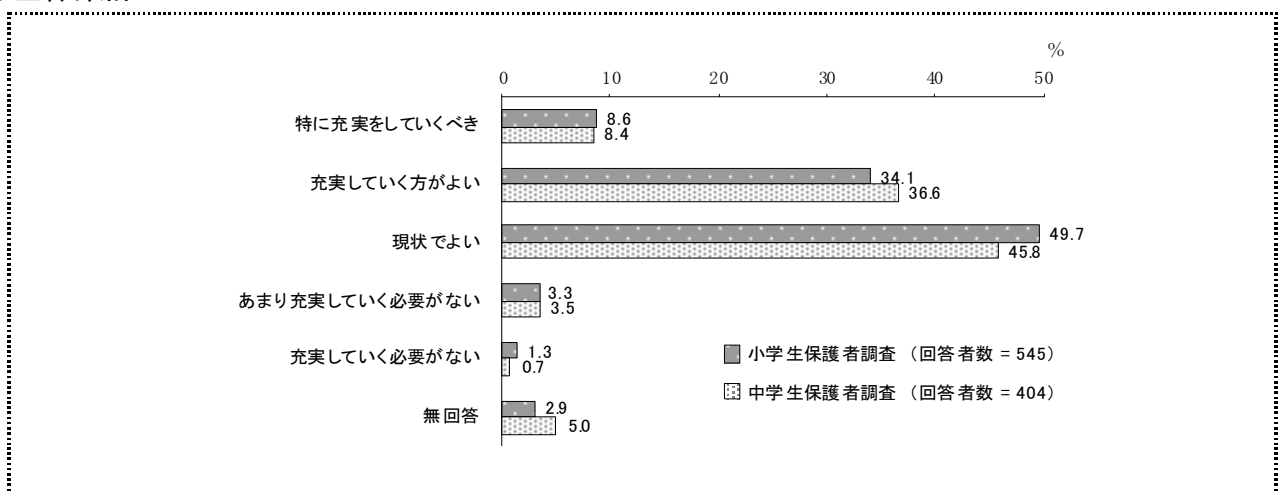


㉒ 地域の指導者等を活用した授業の実施

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が42.7%、「現状でよい」の割合が49.7%，“充実していく必要がない”の割合が4.6%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が45.0%、「現状でよい」の割合が45.8%，“充実していく必要がない”の割合が4.2%となっています。

○全体集計

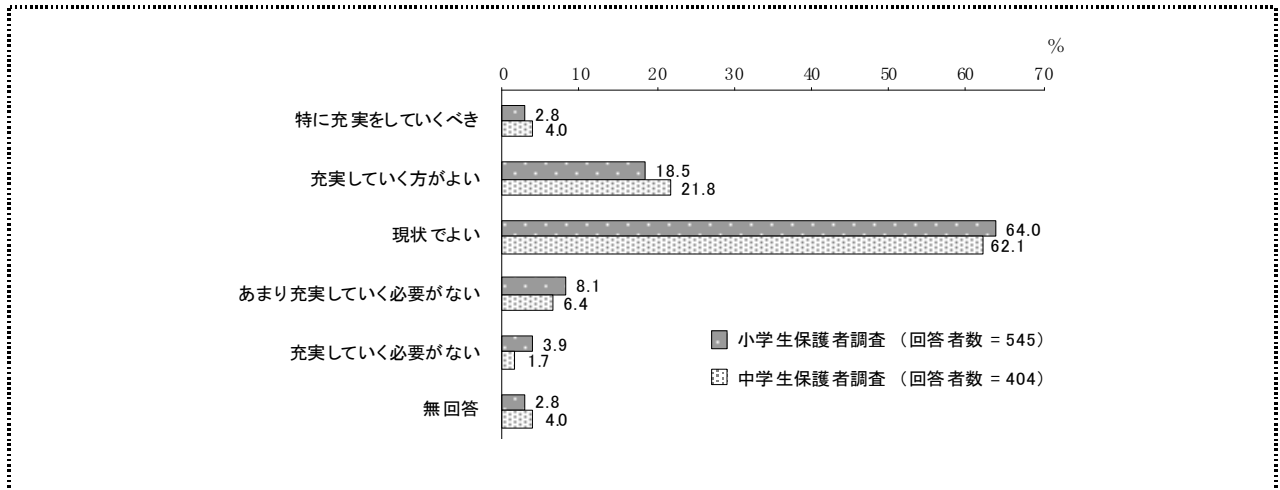


㉓ 家庭・地域の教育力向上を図るための講演会、講座、フォーラムの充実

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が21.3%、「現状でよい」の割合が64.0%，“充実していく必要がない”の割合が12.0%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が25.8%、「現状でよい」の割合が62.1%，“充実していく必要がない”の割合が8.1%となっています。

○全体集計

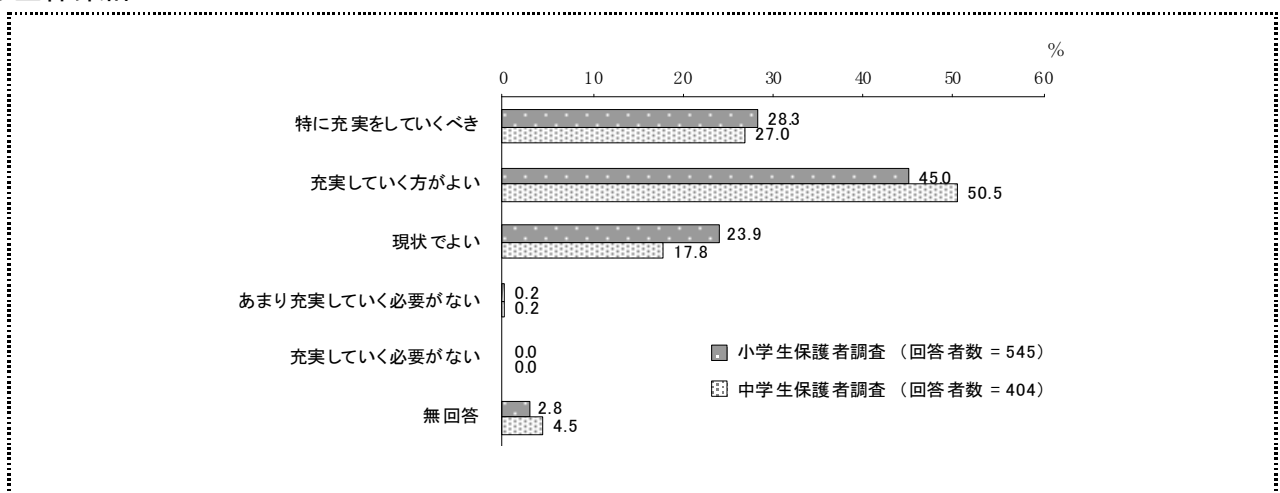


㉔ 教職員の資質や指導力の向上

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が73.3%、「現状でよい」の割合が23.9%，“充実していく必要がない”の割合が0.2%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が77.5%、「現状でよい」の割合が17.8%，“充実していく必要がない”の割合が0.2%となっています。

○全体集計

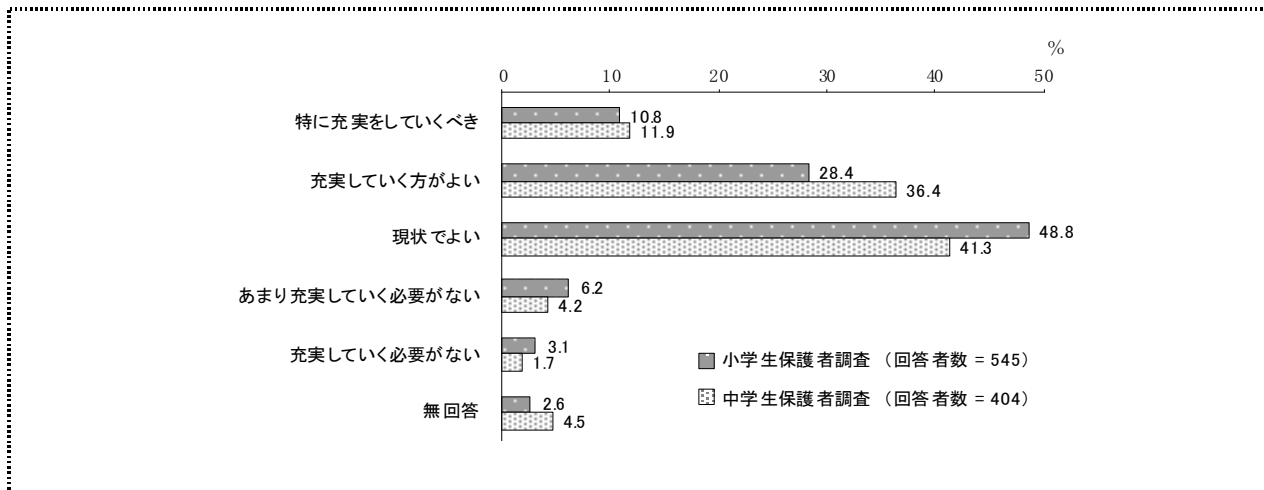


㊦ 放課後や土曜日などを活用した教育活動の実施

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が39.2%、「現状でよい」の割合が48.8%，“充実していく必要がない”の割合が9.3%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が48.3%、「現状でよい」の割合が41.3%，“充実していく必要がない”の割合が5.9%となっています。

○全体集計

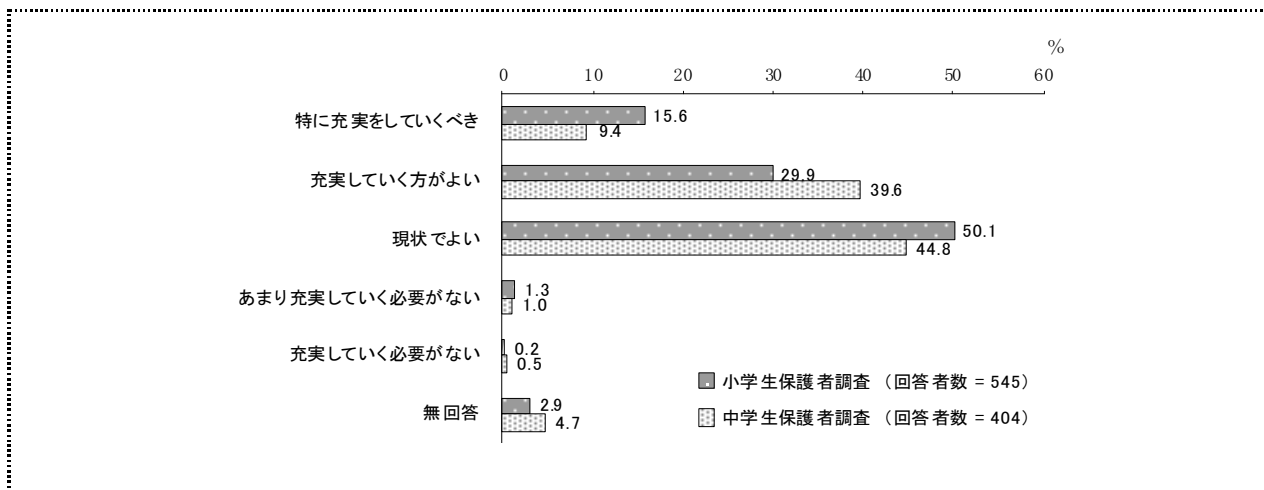


㊦ 学校園の適正規模や適正配置についての検討

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が45.5%、「現状でよい」の割合が50.1%，“充実していく必要がない”の割合が1.5%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が49.0%、「現状でよい」の割合が44.8%，“充実していく必要がない”の割合が1.5%となっています。

○全体集計

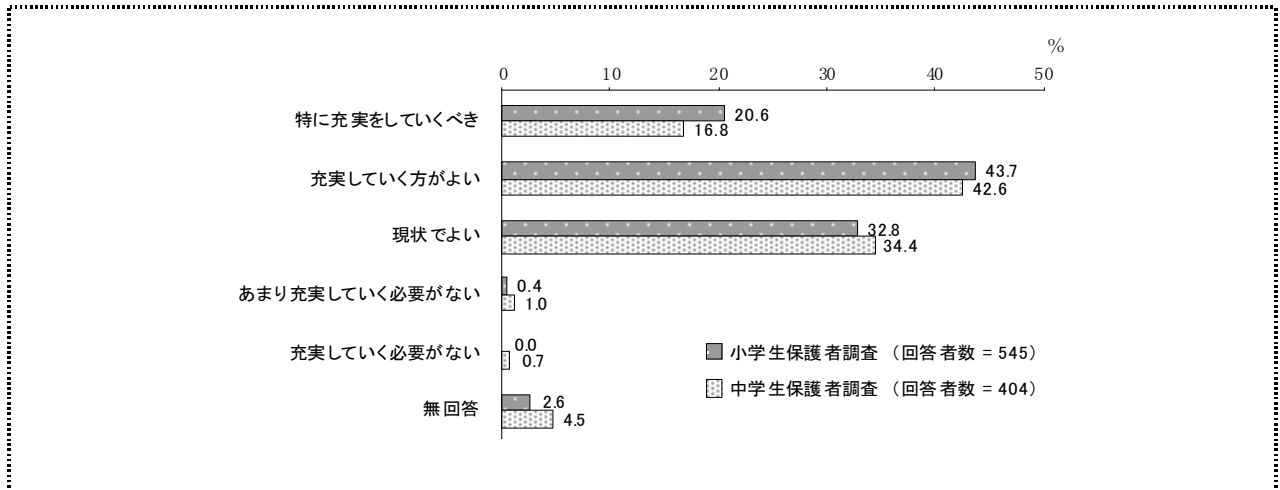


㉗ 学校校舎・施設の老朽化対策の実施

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が64.3%、「現状でよい」の割合が32.8%，“充実していく必要がない”の割合が0.4%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が59.4%、「現状でよい」の割合が34.4%，“充実していく必要がない”の割合が1.7%となっています。

○全体集計

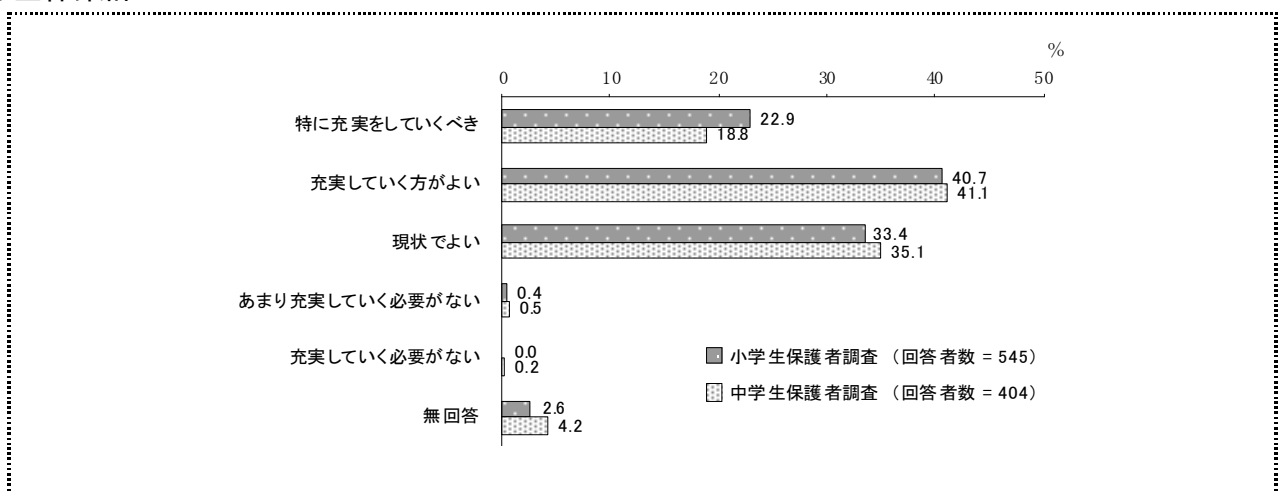


㉘ 子どもの通学路の安全確保に係る取組の実施

小学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が63.6%、「現状でよい」の割合が33.4%，“充実していく必要がない”の割合が0.4%となっています。

中学生保護者調査では、“充実をしていくべき”の割合が59.9%、「現状でよい」の割合が35.1%，“充実していく必要がない”の割合が0.7%となっています。

○全体集計

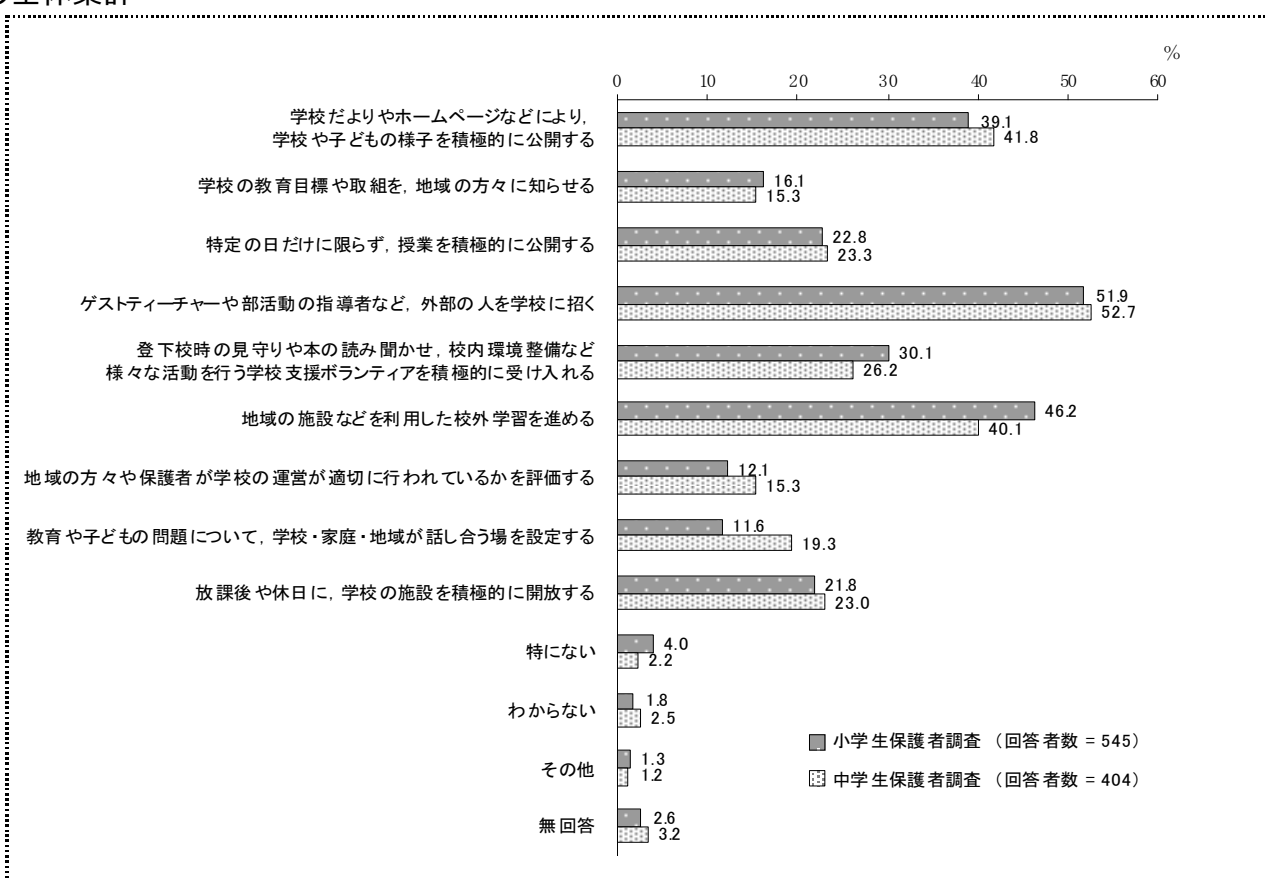


問 15 地域に開かれた学校にするために、あなたは何が大切だと思いますか。 (主なもの3つに〇)

小学生保護者調査では、「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「地域の施設などを利用した校外学習を進める」の割合が 46.2%、「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」の割合が 39.1%となっています。

中学生保護者調査では、「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」の割合が 41.8%、「地域の施設などを利用した校外学習を進める」の割合が 40.1%となっています。

○全体集計

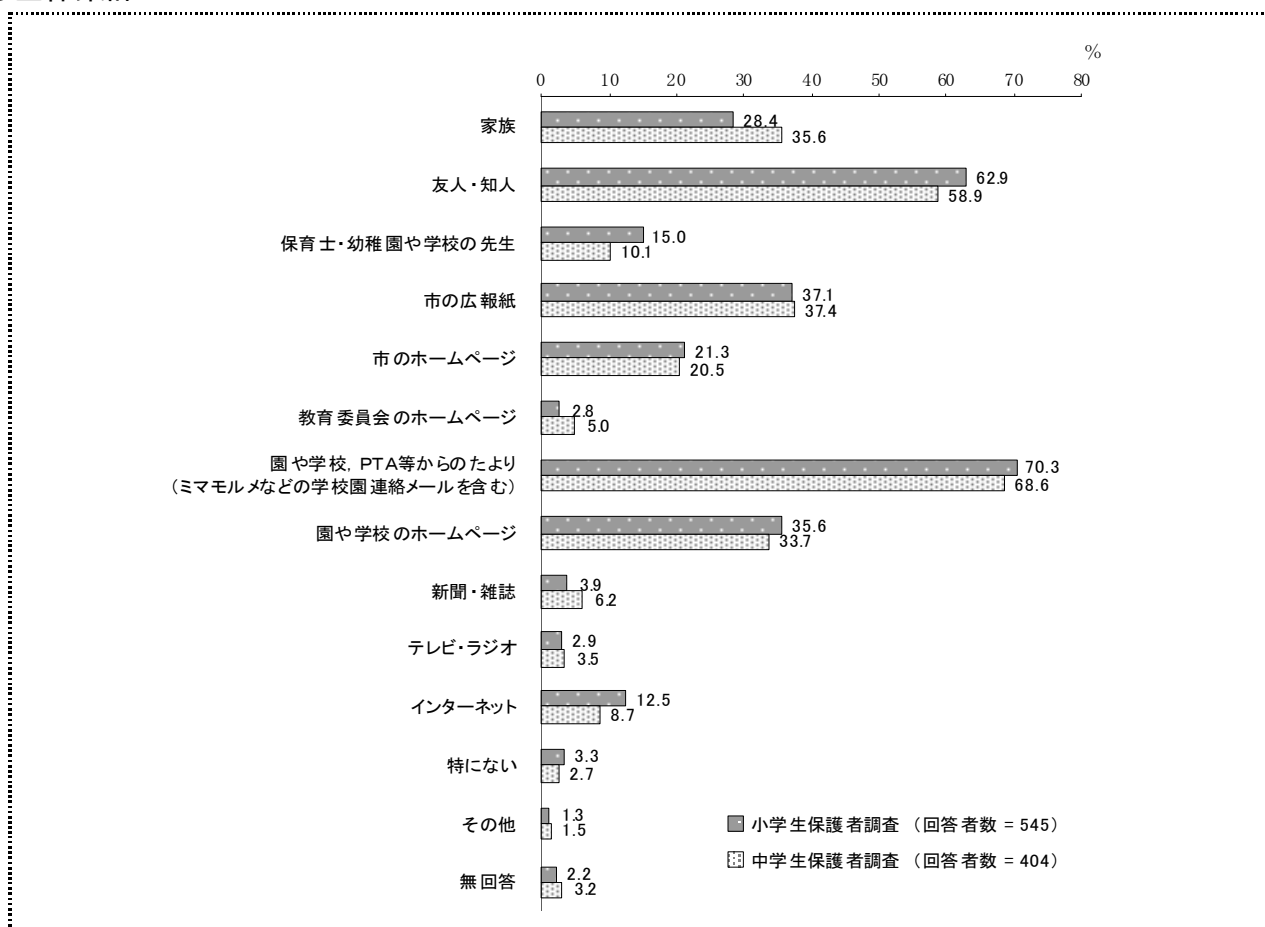


問 16 あなたは、芦屋市の教育や子育てに関する情報をどこで得ていますか。
 (あてはまるすべてに○)

小学生保護者調査では、「園や学校、PTA等からのたより（ミマモルメなどの学校園連絡メールを含む）」の割合が70.3%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が62.9%、「市の広報紙」の割合が37.1%となっています。

中学生保護者調査では、「園や学校、PTA等からのたより（ミマモルメなどの学校園連絡メールを含む）」の割合が68.6%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が58.9%、「市の広報紙」の割合が37.4%となっています。

○全体集計

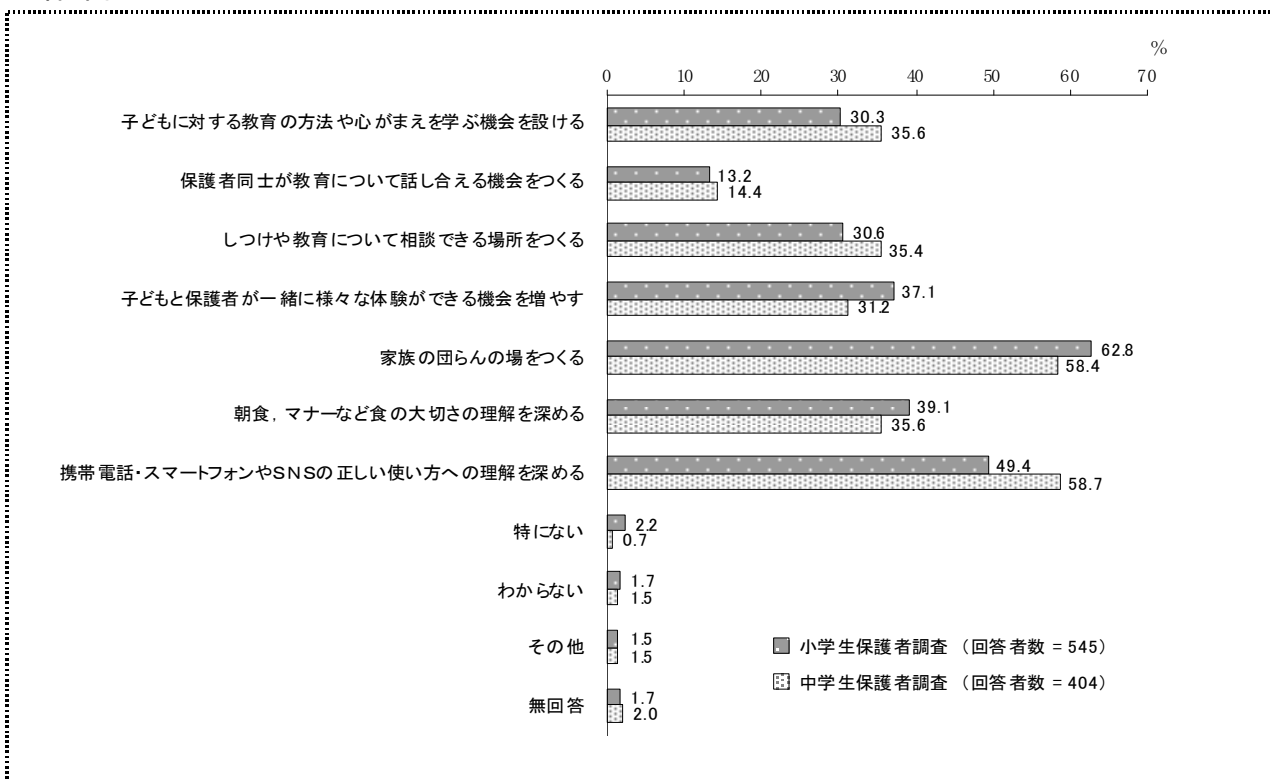


問 17 あなたは、家庭教育にとってどのような取組が必要だと思いますか。
(主なものを3つに〇)

小学生保護者調査では、「家族の団らんの場をつくる」の割合が62.8%と最も高く、次いで「携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方への理解を深める」の割合が49.4%、「朝食、マナーなど食の大切さの理解を深める」の割合が39.1%となっています。

中学生保護者調査では、「携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方への理解を深める」の割合が58.7%と最も高く、次いで「家族の団らんの場をつくる」の割合が58.4%、「子どもに対する教育の方法や心がまえを学ぶ機会を設ける」の割合が35.6%となっています。

○全体集計

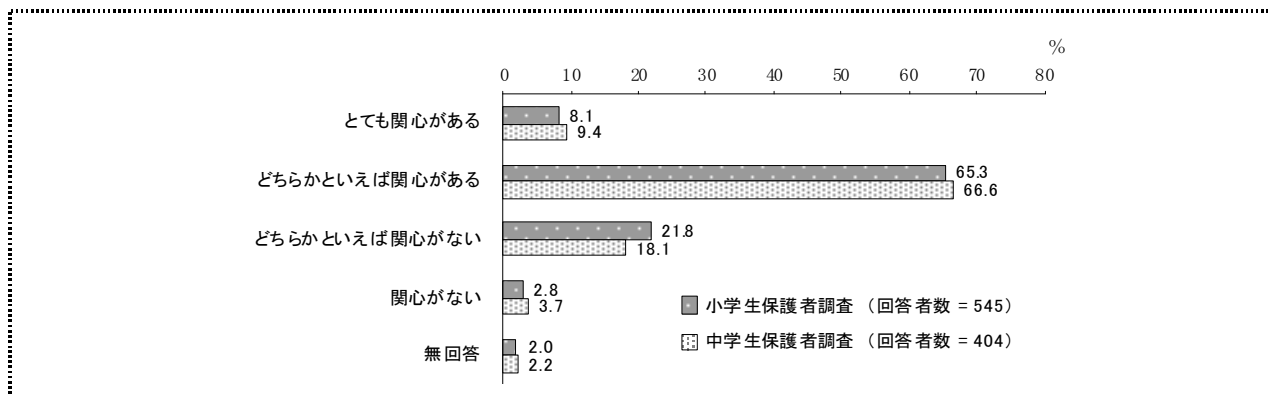


問 18 あなたは地域に関心がありますか。(ひとつだけに○)

小学生保護者調査では、「とても関心がある」と「どちらかといえば関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が73.4%、「どちらかといえば関心がない」と「関心がない」をあわせた“関心がない”の割合が24.6%となっています。

中学生保護者調査では、“関心がある”の割合が76.0%，“関心がない”の割合が21.8%となっています。

○全体集計

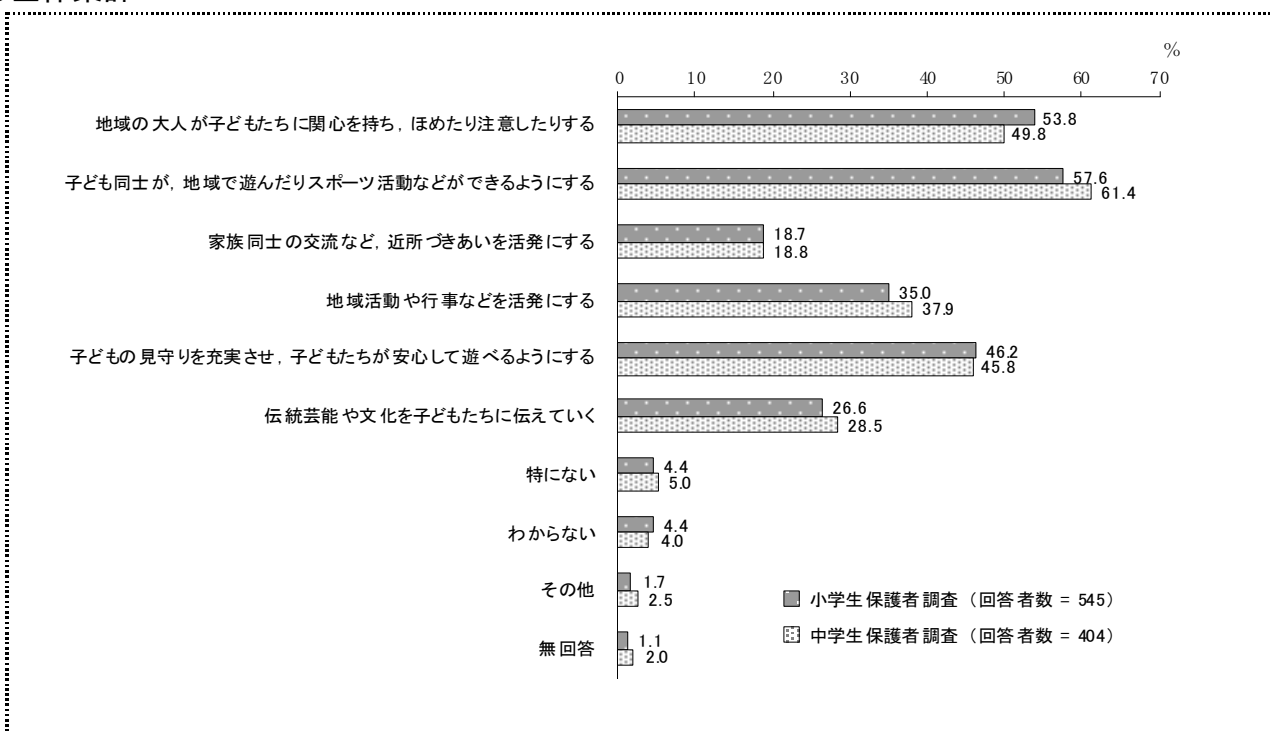


問 19 あなたは、「地域の教育力」を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。(主なものを3つに〇)

小学生保護者調査では、「子ども同士が、地域で遊んだりスポーツ活動などができるようになる」の割合が57.6%と最も高く、次いで「地域の大人が子どもたちに関心を持ち、ほめたり注意したりする」の割合が53.8%、「子どもの見守りを充実させ、子どもたちが安心して遊べるようになる」の割合が46.2%となっています。

中学生保護者調査では、「子ども同士が、地域で遊んだりスポーツ活動などができるようになる」の割合が61.4%と最も高く、次いで「地域の大人が子どもたちに関心を持ち、ほめたり注意したりする」の割合が49.8%、「子どもの見守りを充実させ、子どもたちが安心して遊べるようになる」の割合が45.8%となっています。

○全体集計

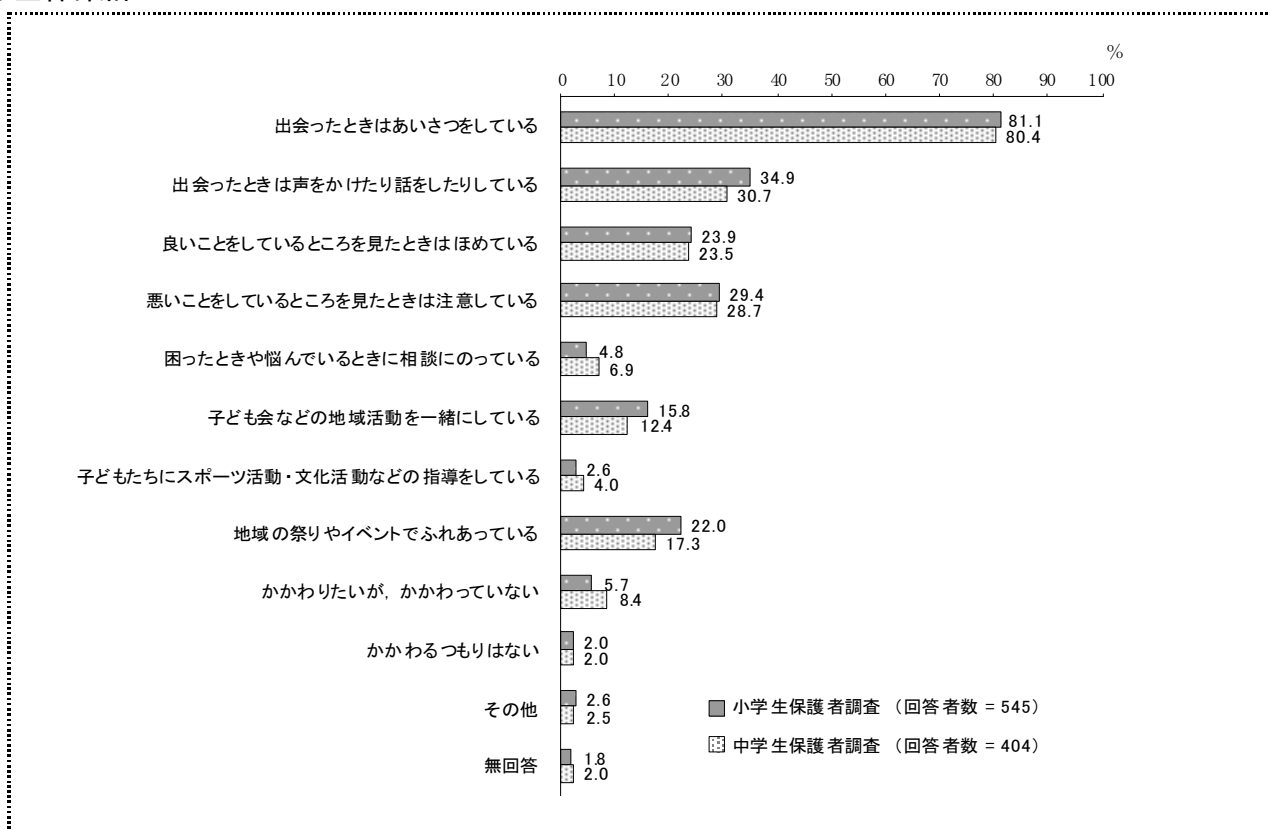


問 20 普段、あなたは地域の子どもとどのように接していますか。
(あてはまるすべてに○)

小学生保護者調査では、「出会ったときはあいさつをしている」の割合が81.1%と最も高く、次いで「出会ったときは声をかけたり話をしたりしている」の割合が34.9%、「悪いことをしているところを見たときは注意している」の割合が29.4%となっています。

中学生保護者調査では、「出会ったときはあいさつをしている」の割合が80.4%と最も高く、次いで「出会ったときは声をかけたり話をしたりしている」の割合が30.7%、「悪いことをしているところを見たときは注意している」の割合が28.7%となっています。

○全体集計

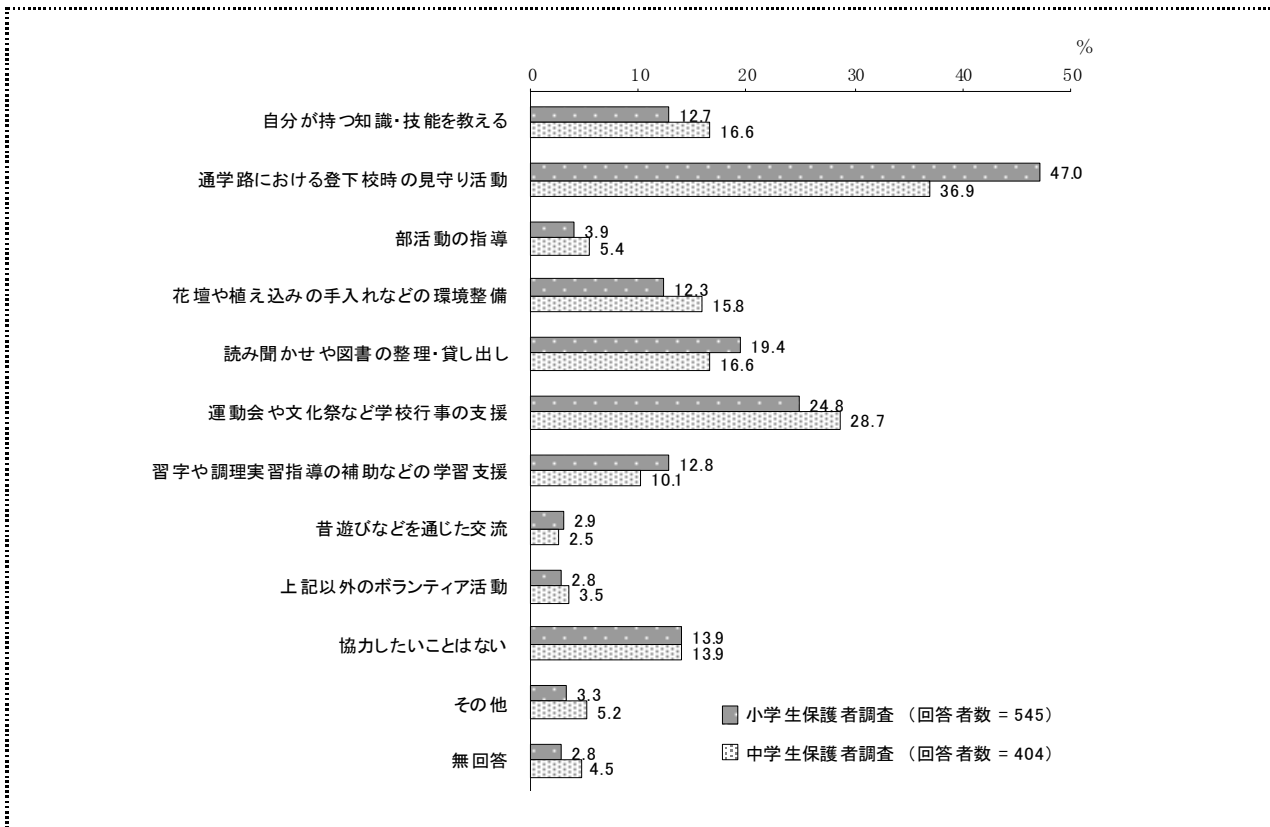


問 21 あなたは、今後、地域の学校に対して協力してみたいと思うことは何ですか。
(あてはまるすべてに○)

小学生保護者調査では、「通学路における登下校時の見守り活動」の割合が47.0%と最も高く、次いで「運動会や文化祭など学校行事の支援」の割合が24.8%、「読み聞かせや図書の整理・貸し出し」の割合が19.4%となっています。

中学生保護者調査では、「通学路における登下校時の見守り活動」の割合が36.9%と最も高く、次いで「運動会や文化祭など学校行事の支援」の割合が28.7%、「自分が持つ知識・技能を教える」の割合が16.6%となっています。

○全体集計



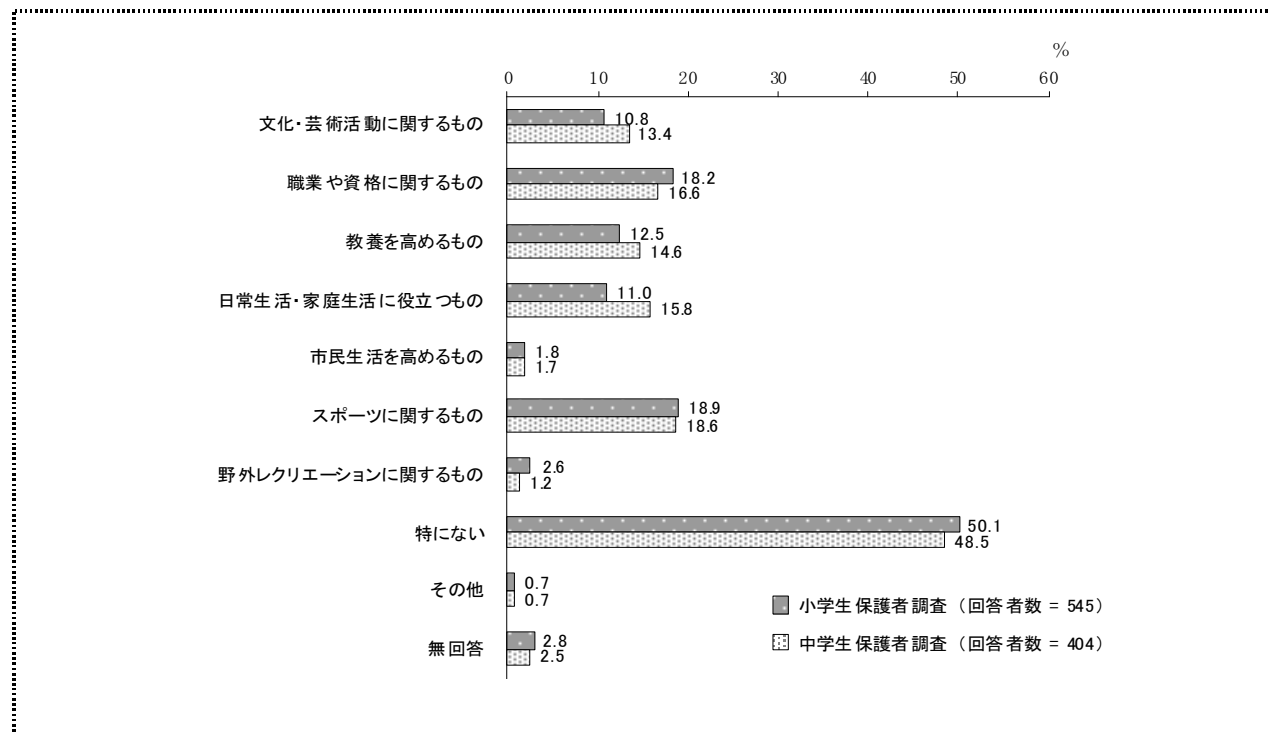
(3) 地域や家庭で行う学習活動などについておうかがいします。

問 22 あなたは現在、仕事や家事、学業のほかに、学んだり活動していること（以下、「学習活動」という。）がありますか。（あてはまるすべてに○）

小学生保護者調査では、「特にない」の割合が 50.1%と最も高く、次いで「スポーツに関するもの」の割合が 18.9%、「職業や資格に関するもの」の割合が 18.2%となっています。

中学生保護者調査では、「特にない」の割合が 48.5%と最も高く、次いで「スポーツに関するもの」の割合が 18.6%、「職業や資格に関するもの」の割合が 16.6%となっています。

○全体集計



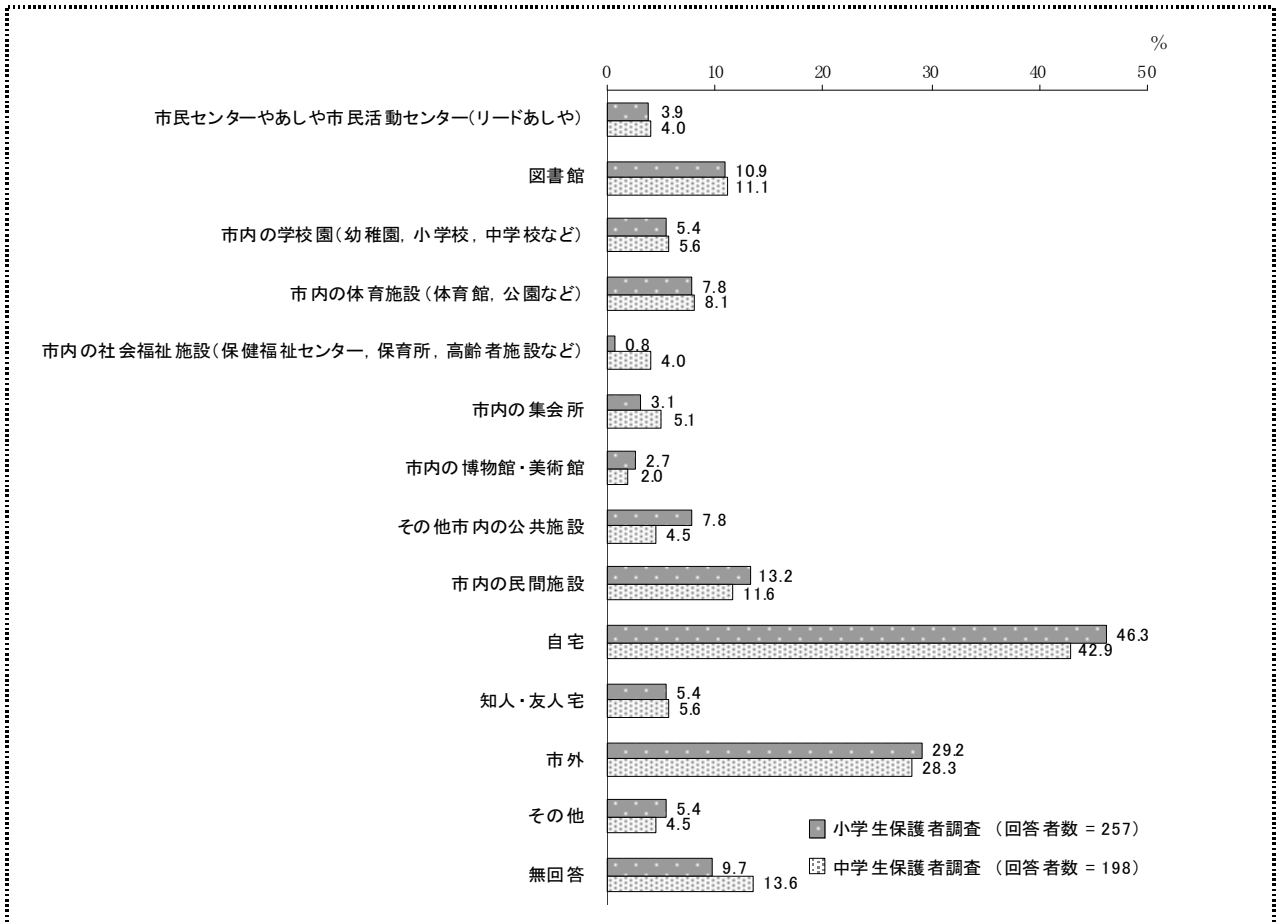
[学習活動を行っている人のおうかがいします。]

問 22-1 あなたは、どのような場所で学習や活動をされていますか。
(あてはまるすべてに○)

小学生保護者調査では、「自宅」の割合が46.3%と最も高く、次いで「市外」の割合が29.2%、「市内の民間施設」の割合が13.2%となっています。

中学生保護者調査では、「自宅」の割合が42.9%と最も高く、次いで「市外」の割合が28.3%、「市内の民間施設」の割合が11.6%となっています。

○全体集計



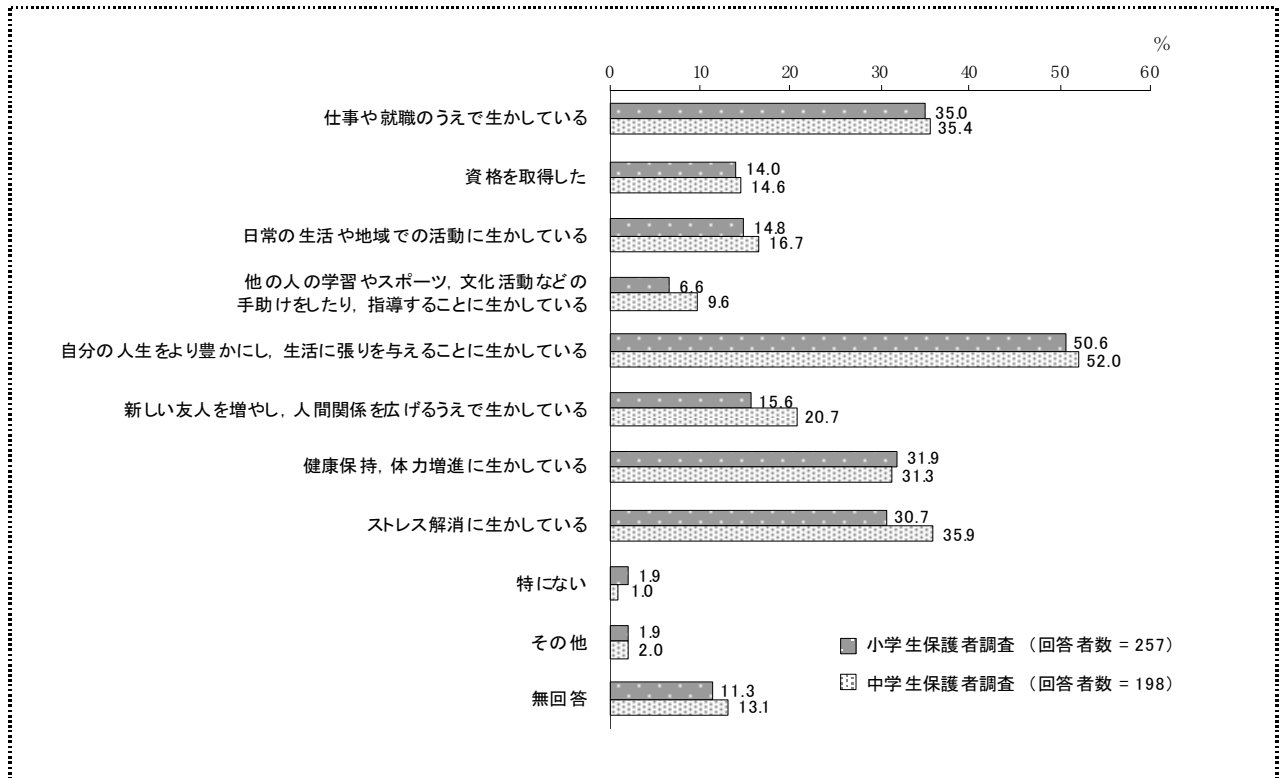
[学習活動を行っている人のみにおうかがいします。]

問 22-2 あなたは、学習や活動を通じて身につけた知識や技能、経験をどのように生かしていますか。(あてはまるすべてに○)

小学生保護者調査では、「自分の人生をより豊かにし、生活に張りを与えることに生かしている」の割合が 50.6%と最も高く、次いで「仕事や就職のうえで生かしている」の割合が 35.0%、「健康保持、体力増進に生かしている」の割合が 31.9%となっています。

中学生保護者調査では、「自分の人生をより豊かにし、生活に張りを与えることに生かしている」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「ストレス解消に生かしている」の割合が 35.9%、「仕事や就職のうえで生かしている」の割合が 35.4%となっています。

○全体集計



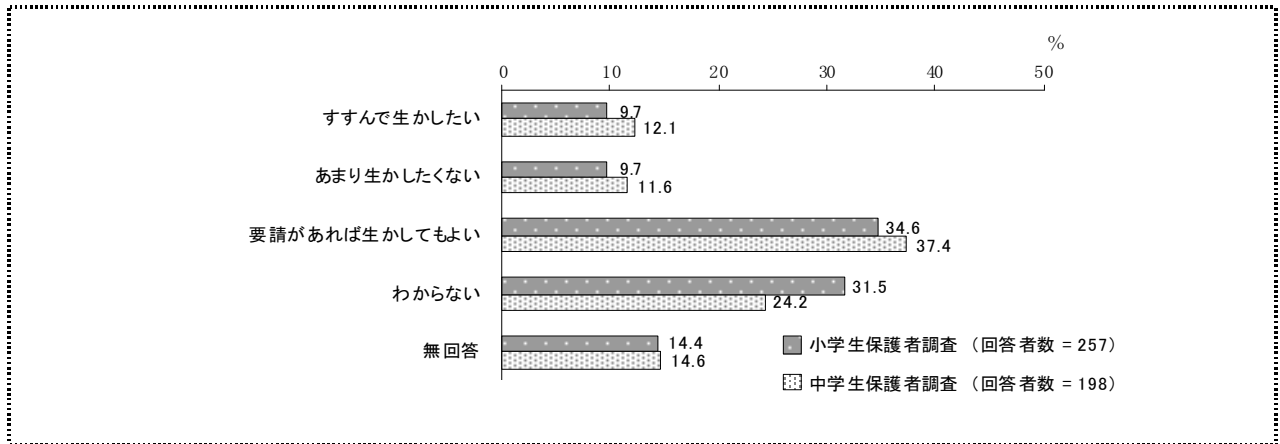
[学習活動を行っている人のおうかがいします。]

問 22-3 学習成果をボランティアとして生かすことについてどのように考えますか。
(ひとつだけに○)

小学生保護者調査では、「要請があれば生かしてもよい」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 31.5%となっています。

中学生保護者調査では、「要請があれば生かしてもよい」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 24.2%、「すすんで生かしたい」の割合が 12.1%となっています。

○全体集計



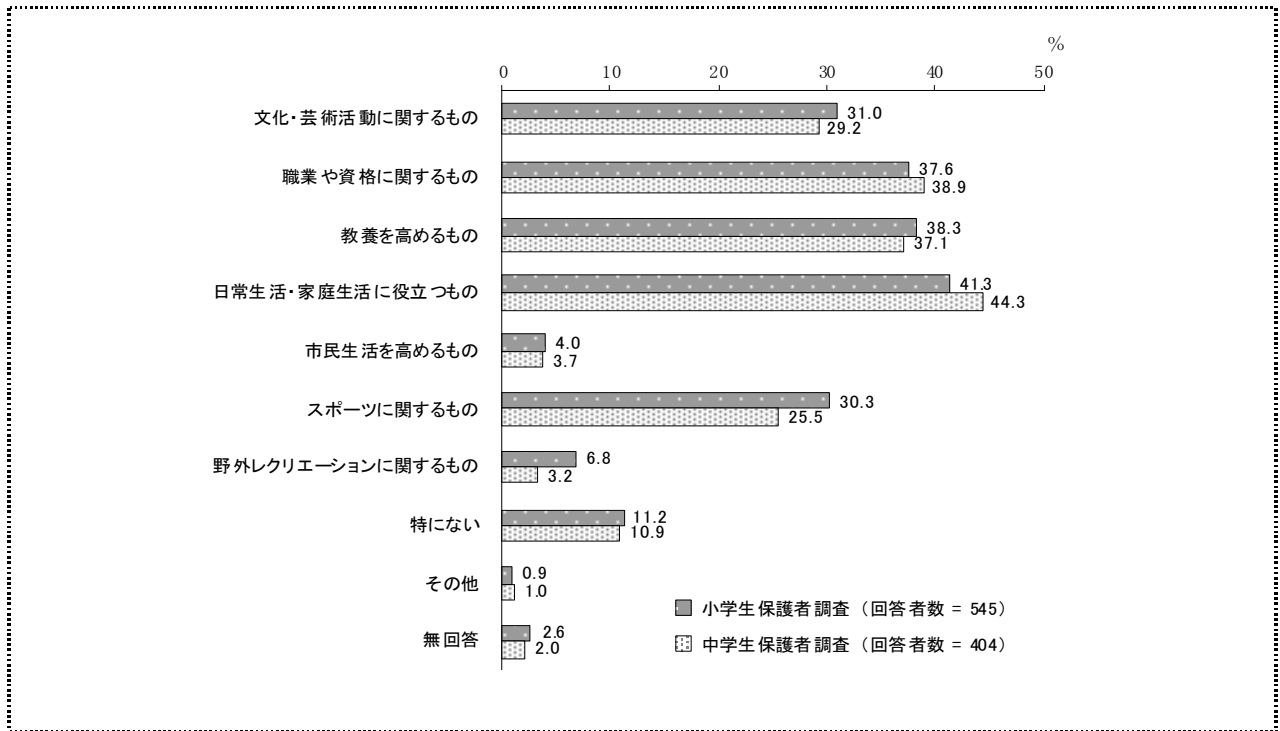
[ここからはすべてのかたが回答してください。]

問 23 あなたが今後、仕事や家事、学業のほかに、学んだり活動したいと思うものはどのようなことですか。(あてはまるすべてに○)

小学生保護者調査では、「日常生活・家庭生活に役立つもの」の割合が41.3%と最も高く、次いで「教養を高めるもの」の割合が38.3%、「職業や資格に関するもの」の割合が37.6%となっています。

中学生保護者調査では、「日常生活・家庭生活に役立つもの」の割合が44.3%と最も高く、次いで「職業や資格に関するもの」の割合が38.9%、「教養を高めるもの」の割合が37.1%となっています。

○全体集計

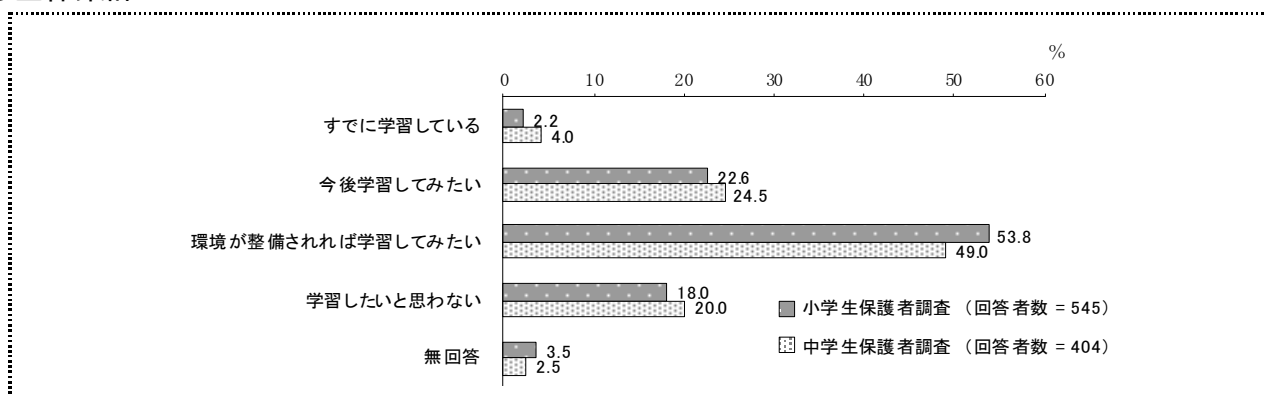


問 24 リカレント教育や社会人の学び直しが注目されていますが、あなたは今後、教育機関等で学習したいと思いますか。(ひとつだけに○)

小学生保護者調査では、「環境が整備されれば学習してみたい」の割合が 53.8%と最も高く、次いで「今後学習してみたい」の割合が 22.6%、「学習したいと思わない」の割合が 18.0%となっています。

中学生保護者調査では、「環境が整備されれば学習してみたい」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「今後学習してみたい」の割合が 24.5%、「学習したいと思わない」の割合が 20.0%となっています。

○全体集計



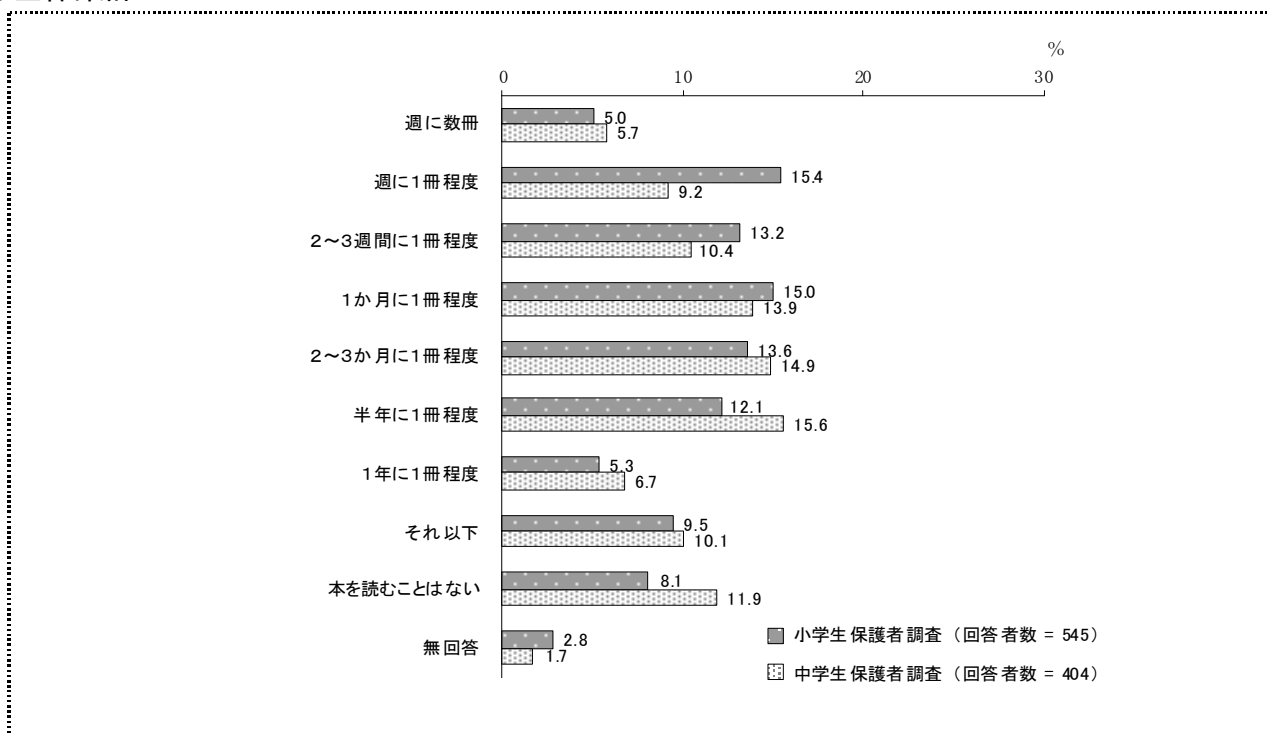
問 25 普段、平均してどれくらい本を読みますか。

(電子書籍を含む)(雑誌, 漫画は除く)(ひとつだけに○)

小学生保護者調査では、「週に1冊程度」の割合が15.4%と最も高く、次いで「1か月に1冊程度」の割合が15.0%、「2～3か月に1冊程度」の割合が13.6%となっています。

中学生保護者調査では、「半年に1冊程度」の割合が15.6%と最も高く、次いで「2～3か月に1冊程度」の割合が14.9%、「1か月に1冊程度」の割合が13.9%となっています。

○全体集計

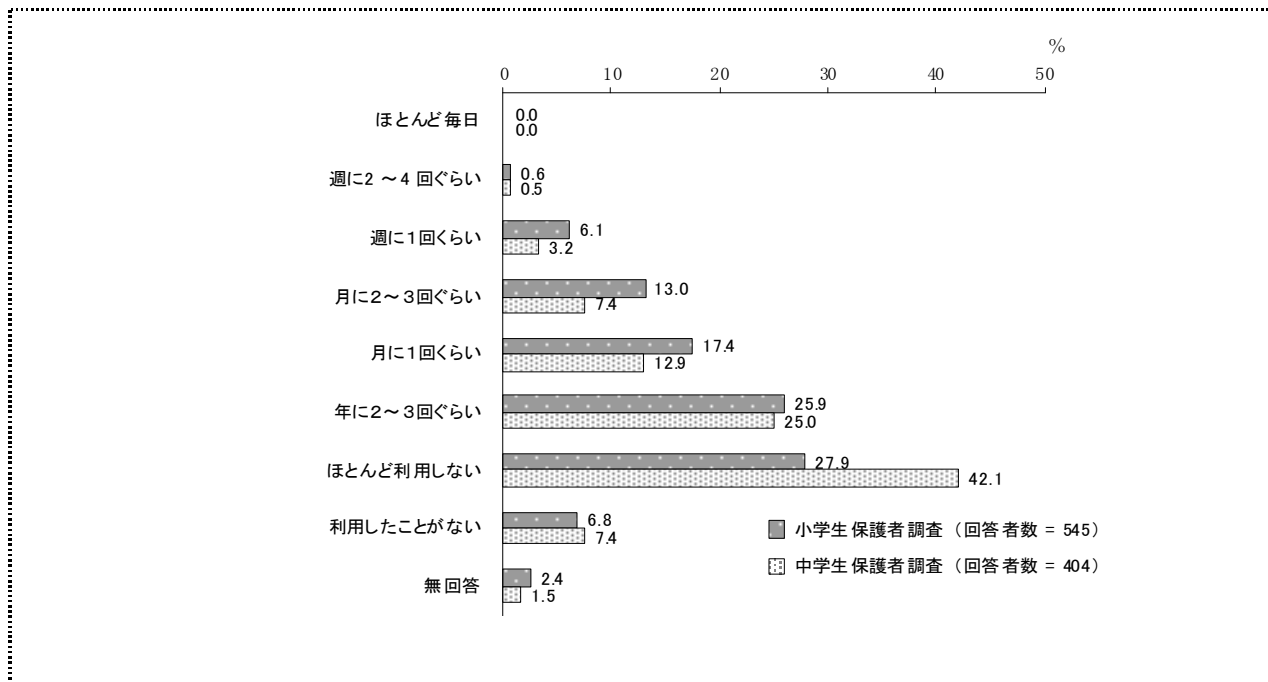


問 26 芦屋市内の図書館をどのくらい利用しますか。(ひとつだけに○)

小学生保護者調査では、「ほとんど利用しない」の割合が 27.9%と最も高く、次いで「年に2～3回ぐらい」の割合が 25.9%、「月に1回ぐらい」の割合が 17.4%となっています。

中学生保護者調査では、「ほとんど利用しない」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「年に2～3回ぐらい」の割合が 25.0%、「月に1回ぐらい」の割合が 12.9%となっています。

○全体集計

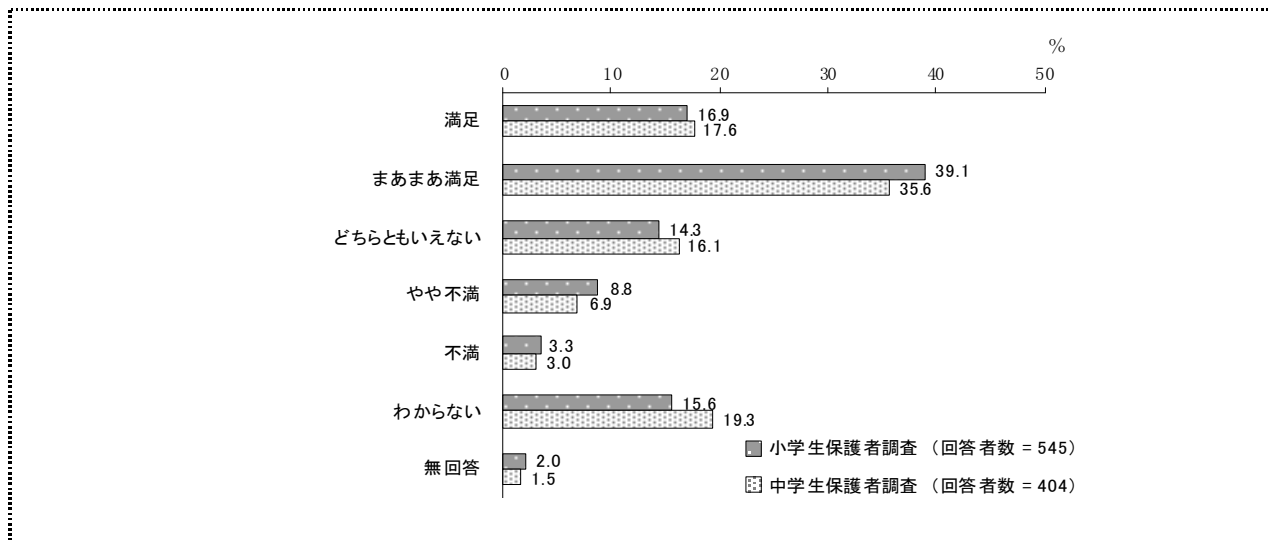


問 27 芦屋市内の図書館の満足度を教えてください。(ひとつだけに○)

小学生保護者調査では、「満足」と「まあまあ満足」をあわせた“満足”の割合が56.0%、「どちらともいえない」の割合が14.3%、「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が12.1%となっています。

中学生保護者調査では，“満足”の割合が53.2%，“不満”の割合が9.9%となっています。

○全体集計

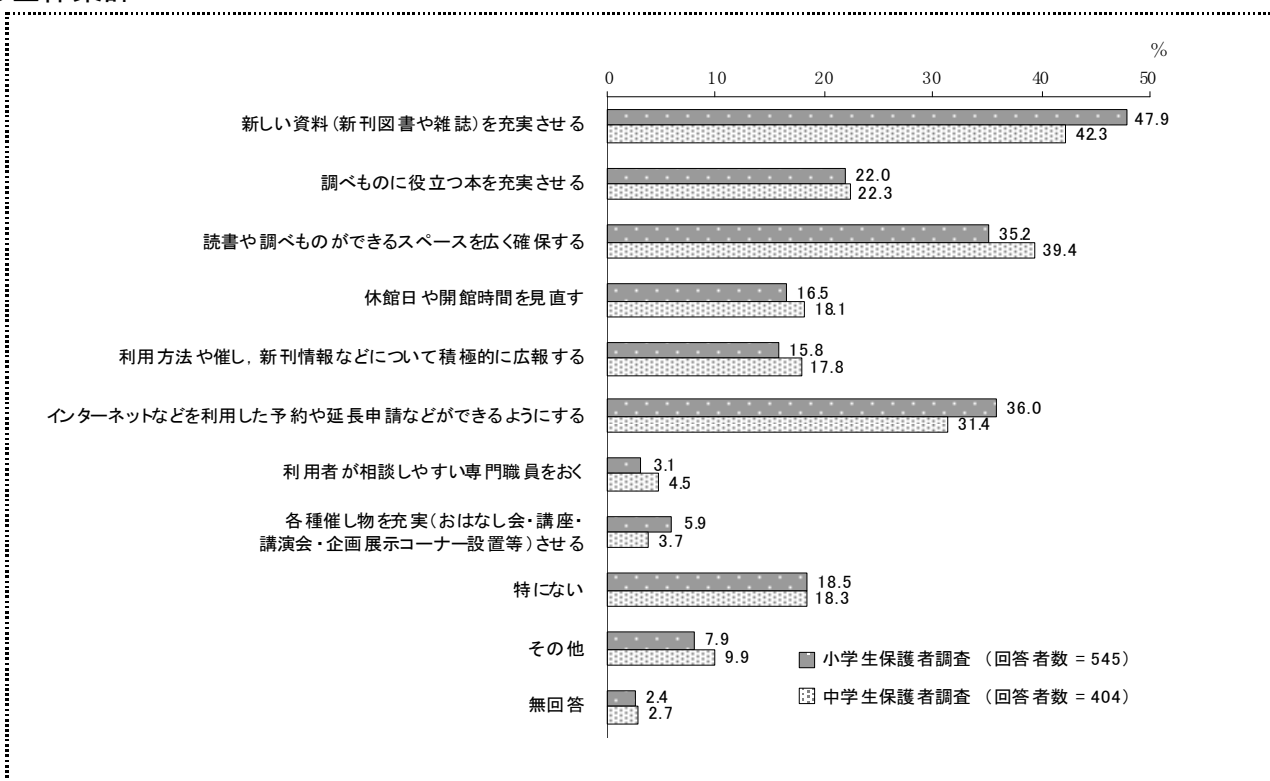


問 28 芦屋市立図書館を利用しやすくするために必要だと思うことは何ですか。
(主なもの3つに○)

小学生保護者調査では、「新しい資料（新刊図書や雑誌）を充実させる」の割合が47.9%と最も高く、次いで「インターネットなどを利用した予約や延長申請などができるようにする」の割合が36.0%、「読書や調べものができるスペースを広く確保する」の割合が35.2%となっています。

中学生保護者調査では、「新しい資料（新刊図書や雑誌）を充実させる」の割合が42.3%と最も高く、次いで「読書や調べものができるスペースを広く確保する」の割合が39.4%、「インターネットなどを利用した予約や延長申請などができるようにする」の割合が31.4%となっています。

○全体集計



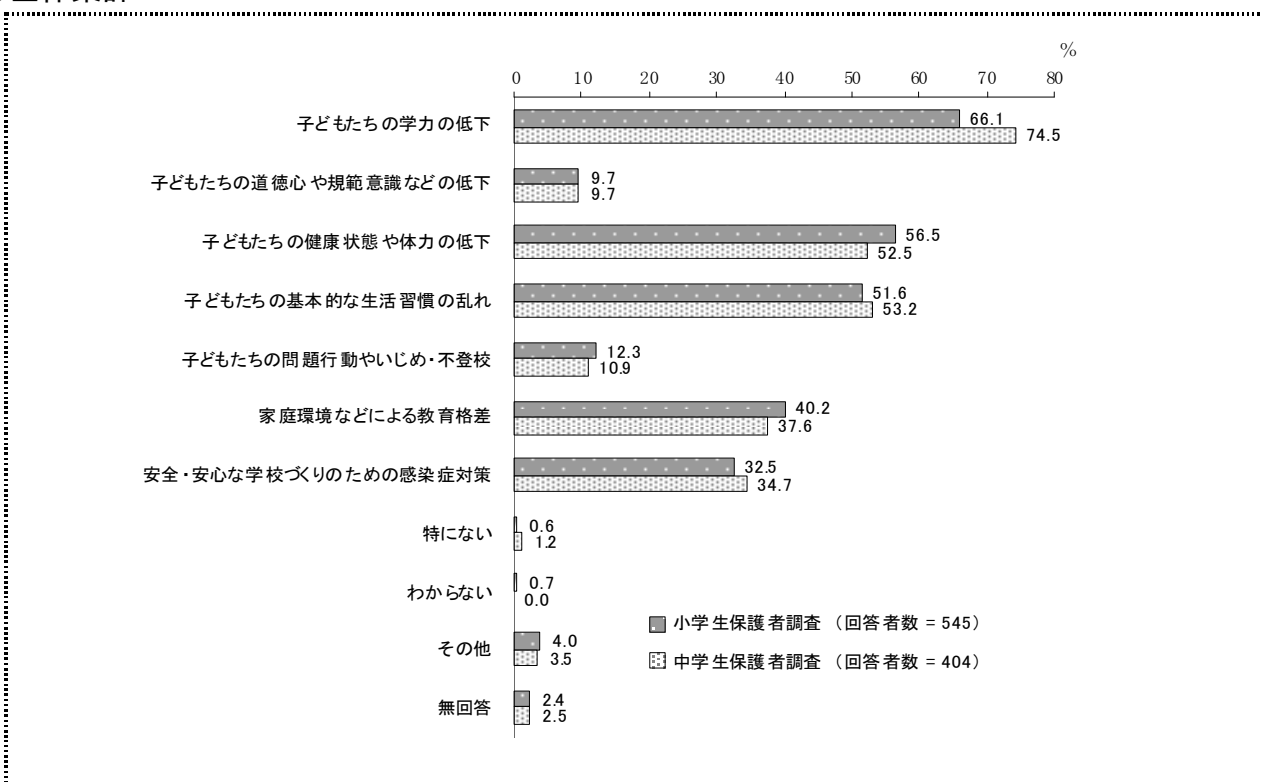
(4) 新型コロナウイルス感染症が与える子どもたちの教育への影響についておうかがいします。

問 29 社会問題となっている新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。
現在の状況下における芦屋市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。(主なもの3つに○)

小学生保護者調査では、「子どもたちの学力の低下」の割合が 66.1%と最も高く、次いで「子どもたちの健康状態や体力の低下」の割合が 56.5%、「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」の割合が 51.6%となっています。

中学生保護者調査では、「子どもたちの学力の低下」の割合が 74.5%と最も高く、次いで「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」の割合が 53.2%、「子どもたちの健康状態や体力の低下」の割合が 52.5%となっています。

○全体集計



4 小学校教諭・中学校教諭

(1) あなた自身のことについておうかがいします。

問1 あなたの性別を教えてください。(ひとつだけに○)

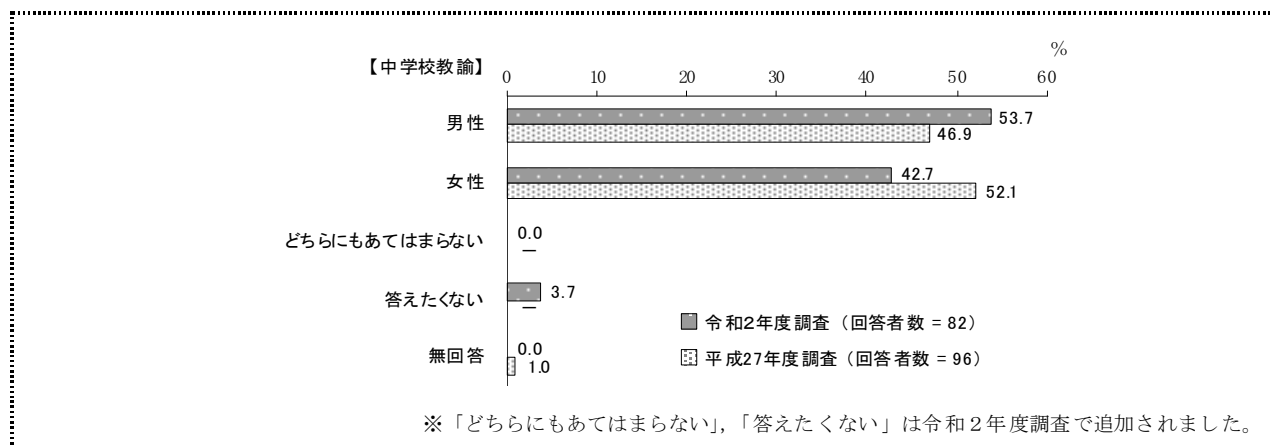
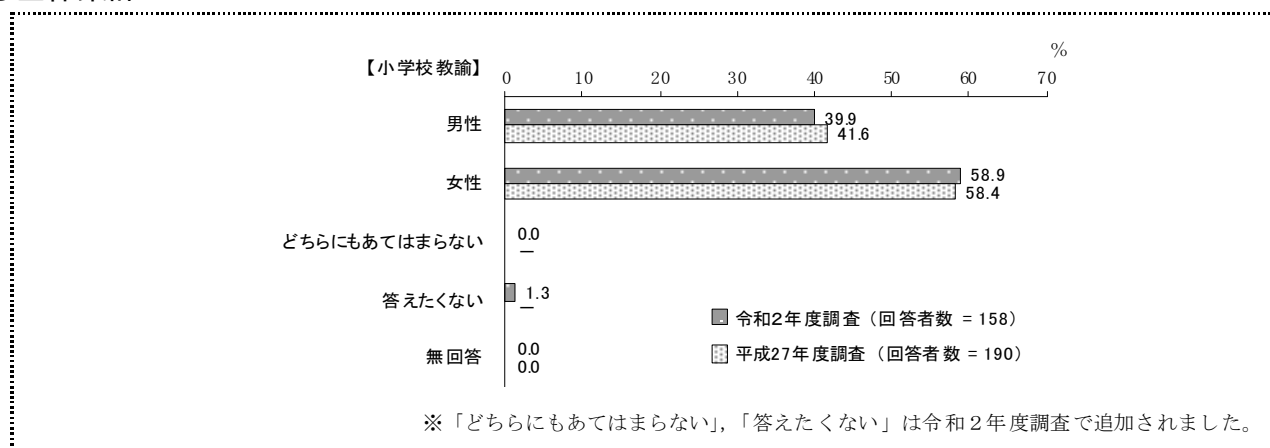
小学校教諭調査では、「女性」の割合が58.9%と最も高く、次いで「男性」の割合が39.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学校教諭調査では、「男性」の割合が53.7%と最も高く、次いで「女性」の割合が42.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「男性」の割合が増加し、「女性」の割合が減少しています。

○全体集計



問3 あなたの経験年数を教えてください。(ひとつだけに○)

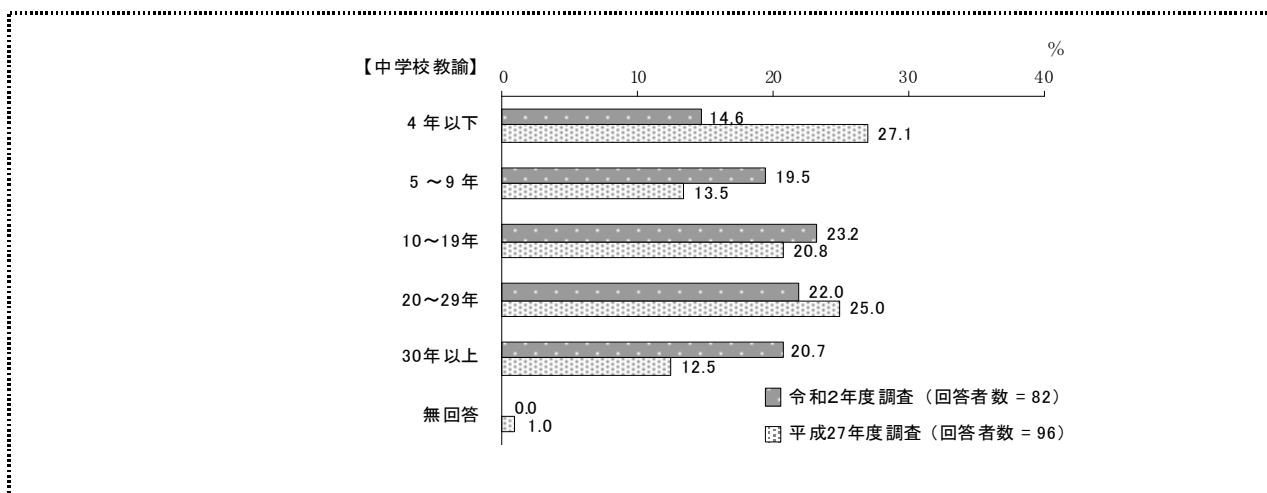
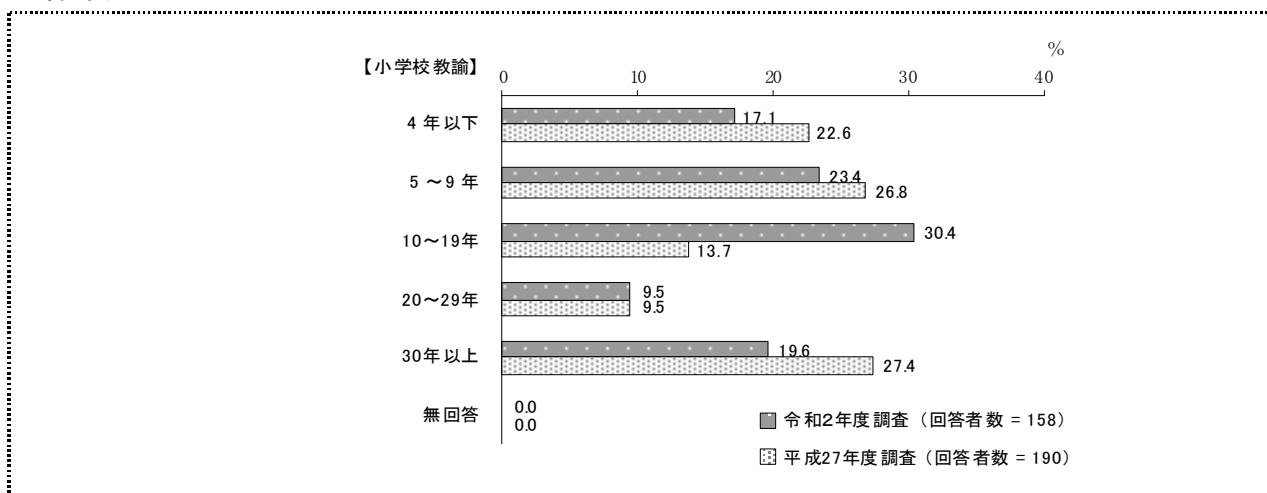
小学校教諭調査では、「10～19年」の割合が30.4%と最も高く、次いで「5～9年」の割合が23.4%、「30年以上」の割合が19.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「10～19年」の割合が増加し、「4年以下」、「30年以上」の割合が減少しています。

中学校教諭調査では、「10～19年」の割合が23.2%と最も高く、次いで「20～29年」の割合が22.0%、「30年以上」の割合が20.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「5～9年」、「30年以上」の割合が増加し、「4年以下」の割合が減少しています。

○全体集計



問4 あなたが勤務している学校ほどの地域ですか。(ひとつだけに○)

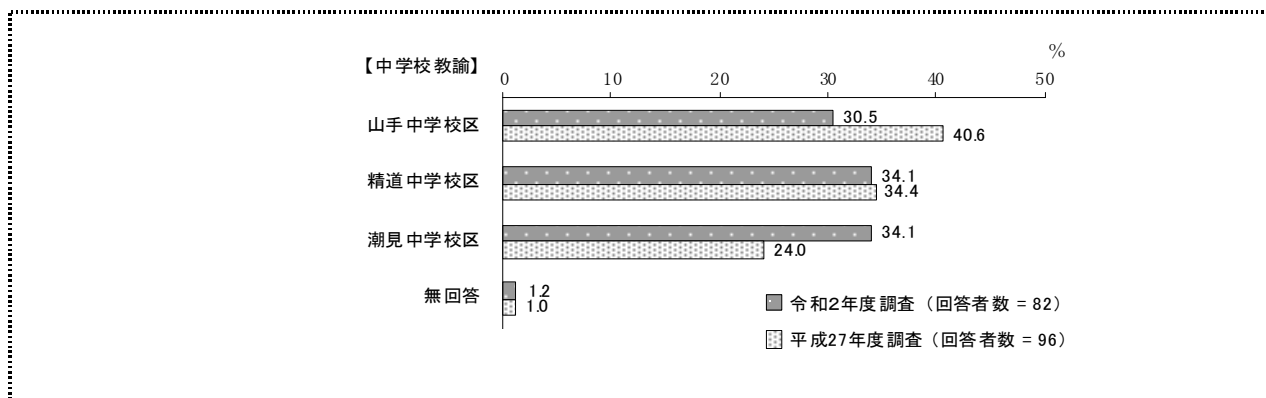
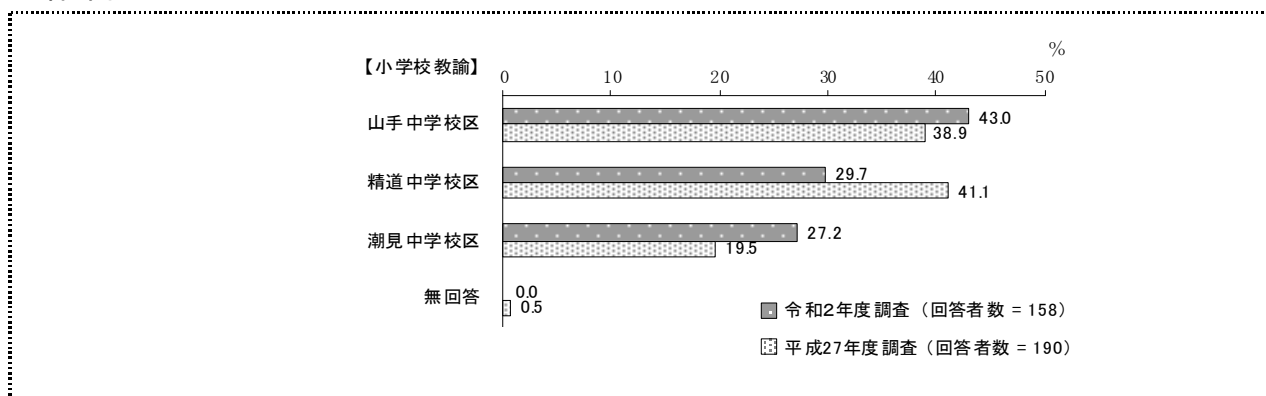
小学校教諭調査では、「山手中学校区」の割合が43.0%と最も高く、次いで「精道中学校区」の割合が29.7%、「潮見中学校区」の割合が27.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「潮見中学校区」の割合が増加し、「精道中学校区」の割合が減少しています。

中学校教諭調査では、「精道中学校区」、「潮見中学校区」の割合が34.1%と最も高く、次いで、「山手中学校区」の割合が30.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「潮見中学校区」の割合が増加し、「山手中学校区」の割合が減少しています。

○全体集計



(2) 職場環境についておうかがいします。

問5 勤務されていて次のようなことを感じますか。(あてはまるすべてに○)

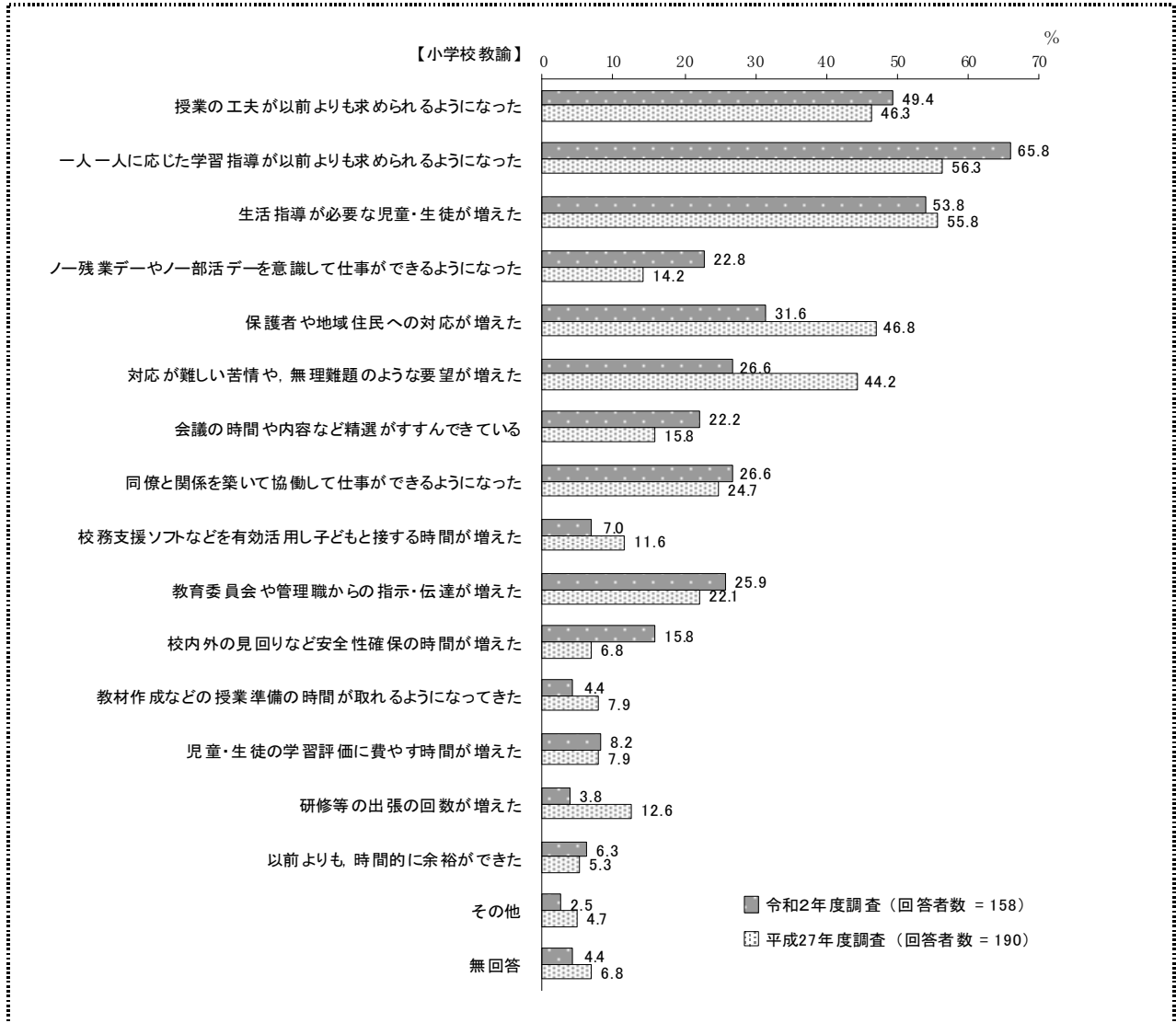
小学校教諭調査では、「一人一人に応じた学習指導が以前よりも求められるようになった」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「生活指導が必要な児童・生徒が増えた」の割合が 53.8%、「授業の工夫が以前よりも求められるようになった」の割合が 49.4%となっています。

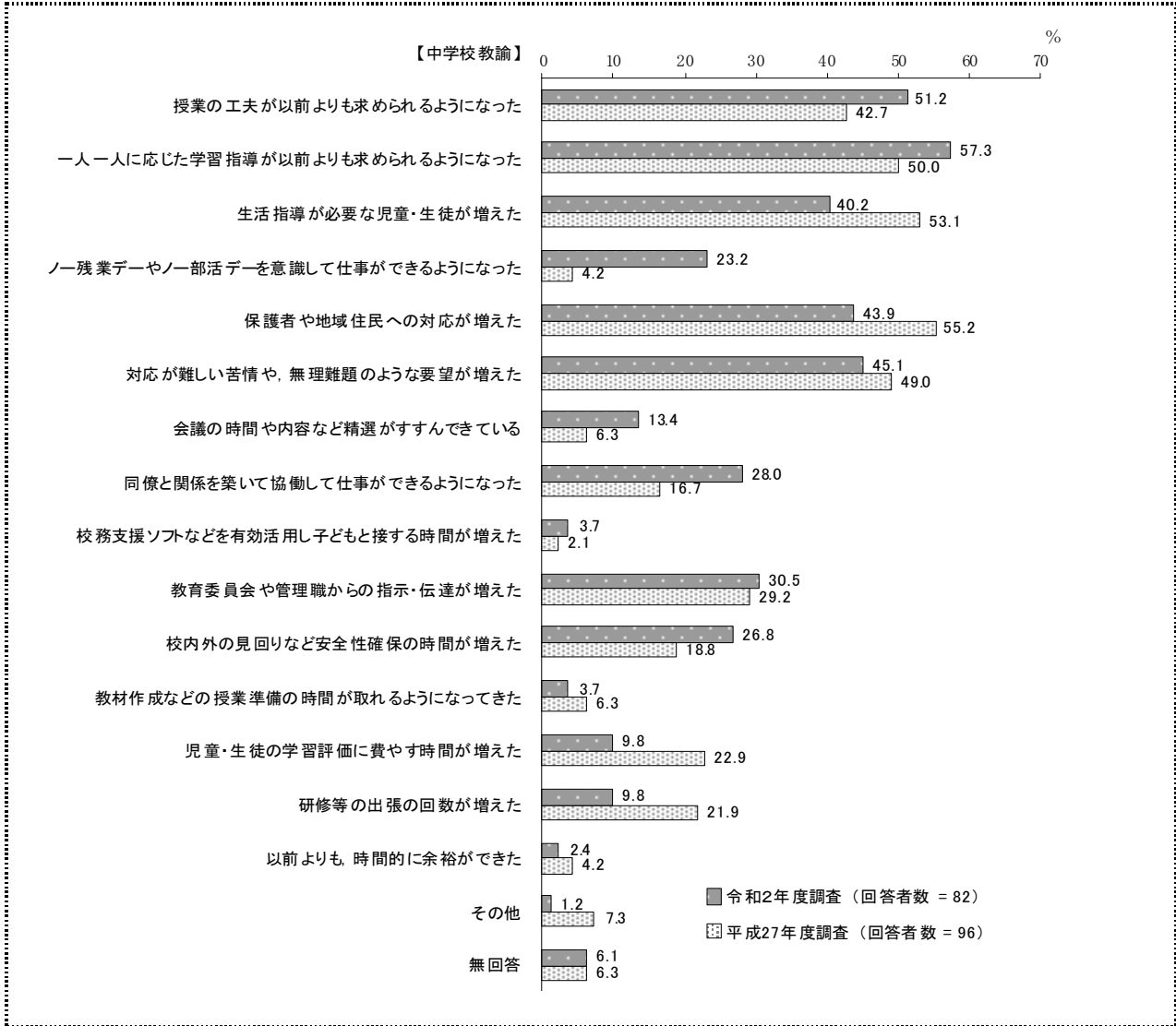
平成 27 年度調査と比較すると、「一人一人に応じた学習指導が以前よりも求められるようになった」、「ノー残業デーやノー部活デーを意識して仕事ができるようになった」、「会議の時間や内容など精選がすすんできている」、「校内外の見回りなど安全性確保の時間が増えた」の割合が増加し、「保護者や地域住民への対応が増えた」、「研修等の出張の回数が増えた」の割合が減少しています。

中学校教諭調査では、「一人一人に応じた学習指導が以前よりも求められるようになった」の割合が 57.3%と最も高く、次いで「授業の工夫が以前よりも求められるようになった」の割合が 51.2%、「対応が難しい苦情や、無理難題のような要望が増えた」の割合が 45.1%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「授業の工夫が以前よりも求められるようになった」、「一人一人に応じた学習指導が以前よりも求められるようになった」、「ノー残業デーやノー部活デーを意識して仕事ができるようになった」、「会議の時間や内容など精選がすすんできている」、「同僚と関係を築いて協働して仕事ができるようになった」、「校内外の見回りなど安全性確保の時間が増えた」の割合が増加し、「生活指導が必要な児童・生徒が増えた」、「保護者や地域住民への対応が増えた」、「児童・生徒の学習評価に費やす時間が増えた」、「研修等の出張の回数が増えた」の割合が減少しています。

○全体集計





問6 ご自身の職務について忙しいと感じていますか。(ひとつだけに○)

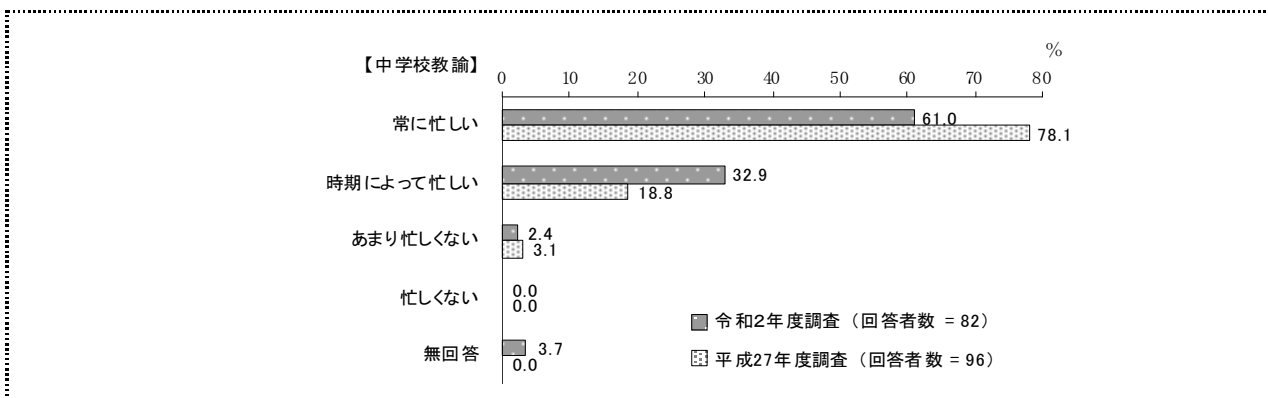
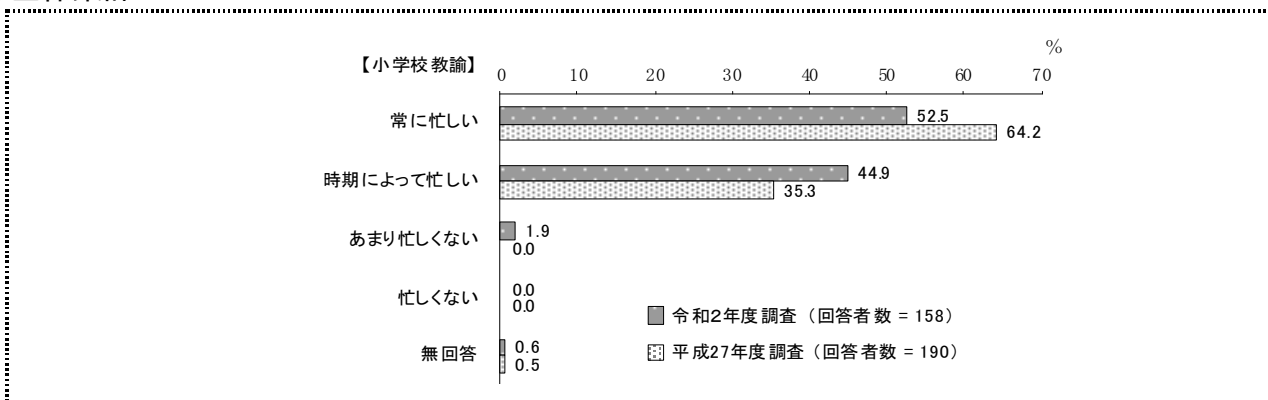
小学校教諭調査では、「常に忙しい」と「時期によって忙しい」をあわせた“忙しい”の割合が97.4%、「あまり忙しくない」と「忙しくない」をあわせた“忙しくない”の割合が1.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学校教諭調査では、“忙しい”の割合が93.9%，“忙しくない”の割合が2.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



〔問6-1は、問6で「常に忙しい」「時期によって忙しい」に○をつけた方におうかがいします。〕

問6-1 多忙を解消するために必要なことは何だと思いませんか。
 (あてはまるすべてに○)

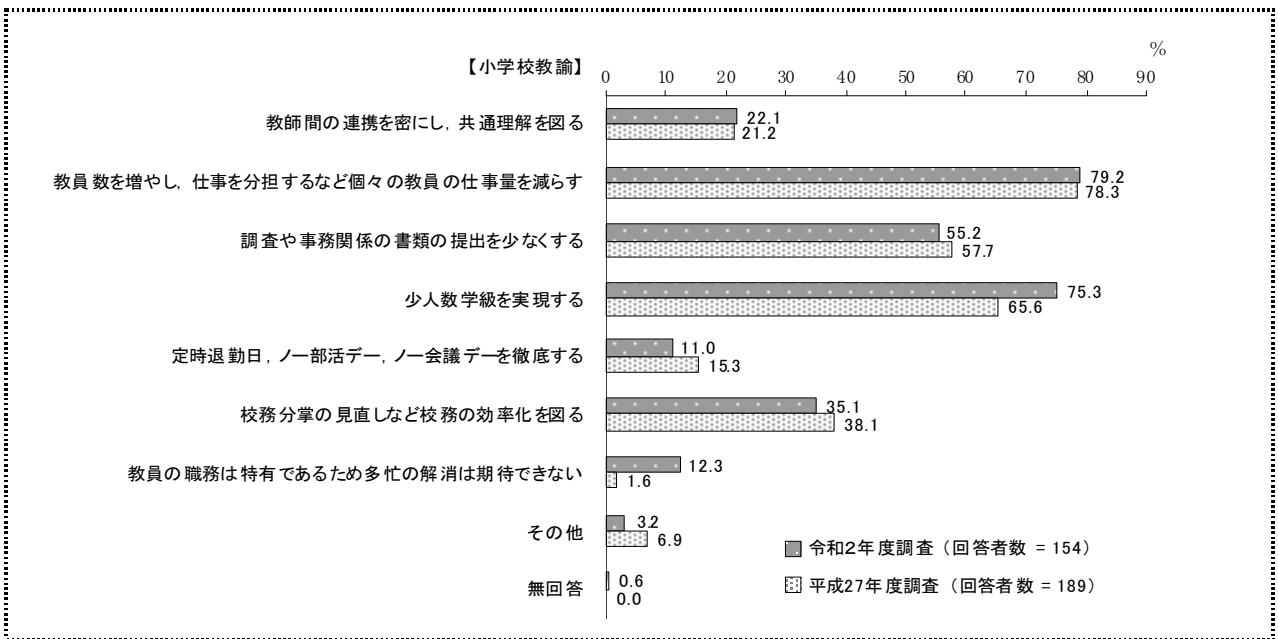
小学校教諭調査では、「教員数を増やし、仕事を分担するなど個々の教員の仕事を減らす」の割合が79.2%と最も高く、次いで「少人数学級を実現する」の割合が75.3%、「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」の割合が55.2%となっています。

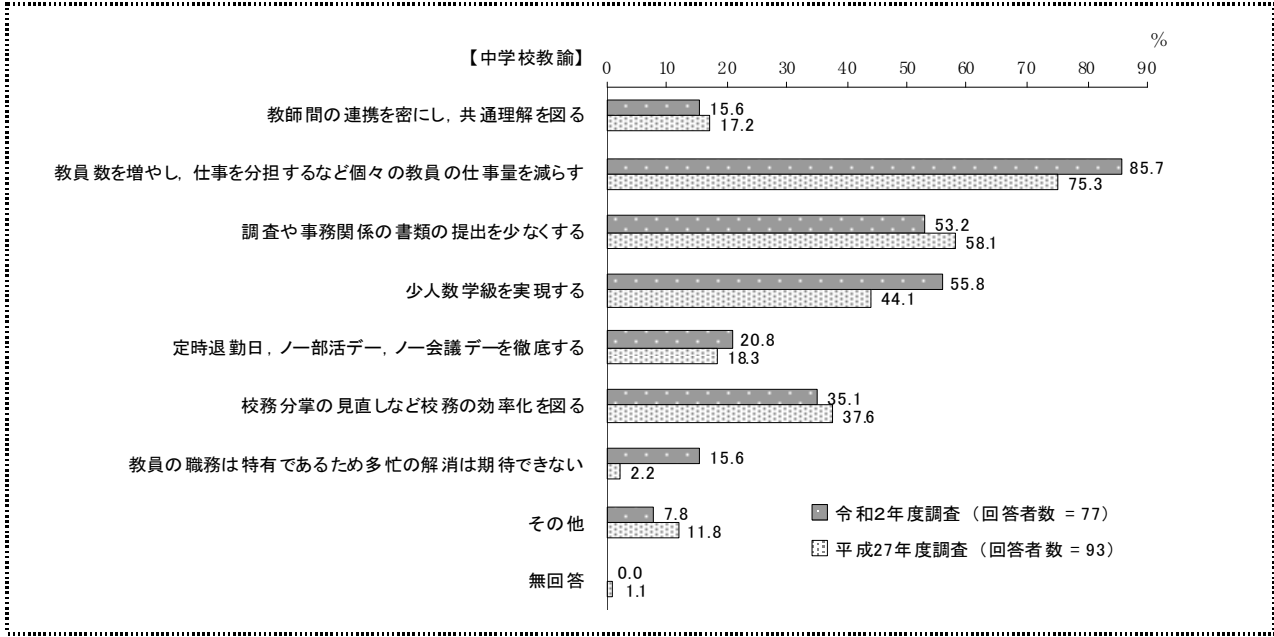
平成27年度調査と比較すると、「少人数学級を実現する」、「教員の職務は特有であるため多忙の解消は期待できない」の割合が増加しています。

中学校教諭調査では、「教員数を増やし、仕事を分担するなど個々の教員の仕事を減らす」の割合が85.7%と最も高く、次いで「少人数学級を実現する」の割合が55.8%、「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」の割合が53.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「教員数を増やし、仕事を分担するなど個々の教員の仕事を減らす」、「少人数学級を実現する」、「教員の職務は特有であるため多忙の解消は期待できない」の割合が増加しています。

○全体集計





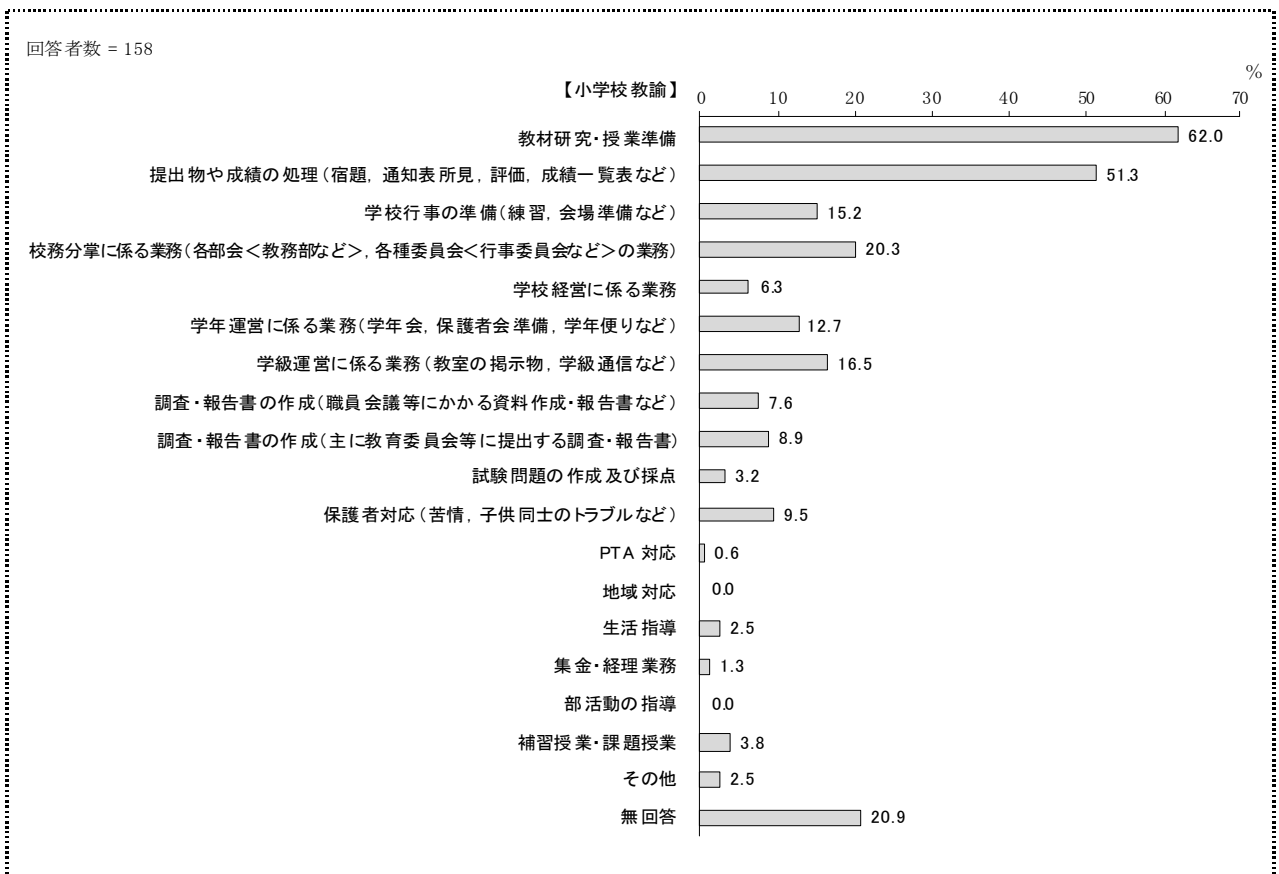
問7 仕事をするうえで、①時間をかけている業務、②負担感を感じている業務は、どのような業務ですか。(それぞれ主なものを3つに〇)

① 時間をかけている業務

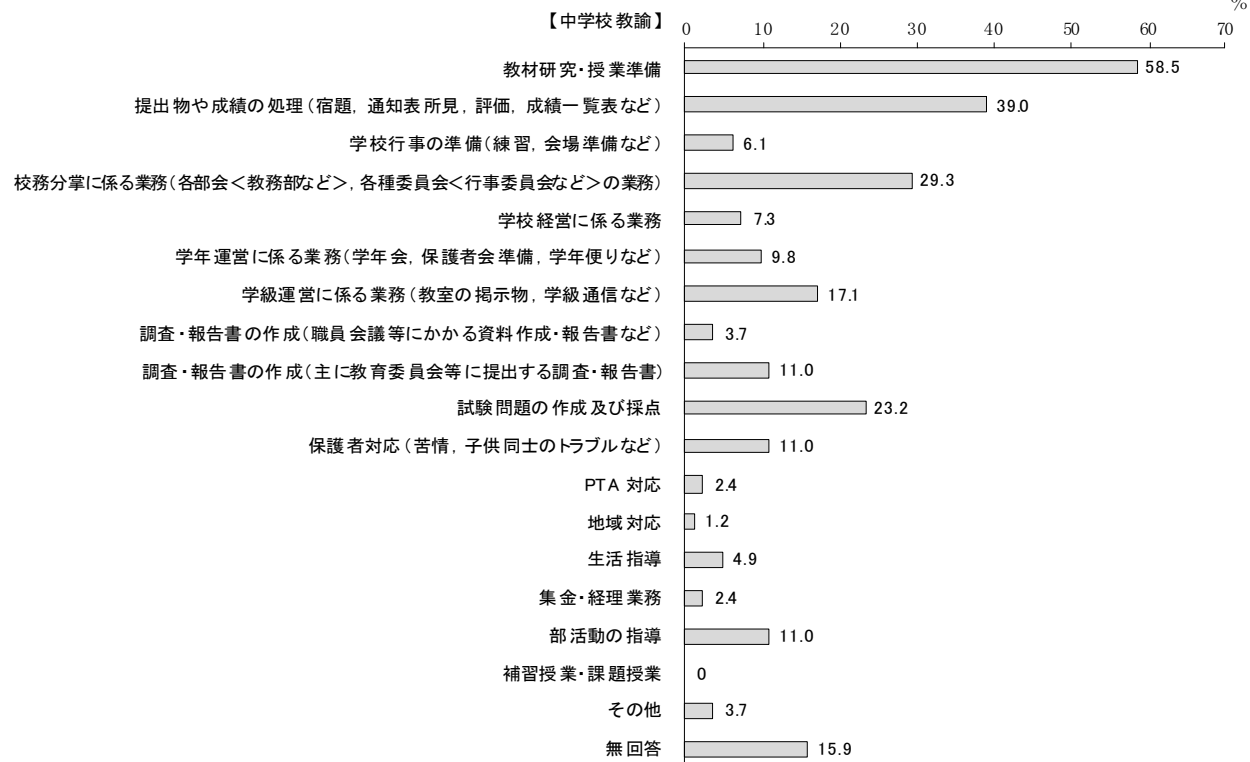
小学校教諭調査では、「教材研究・授業準備」の割合が62.0%と最も高く、次いで「提出物や成績の処理（宿題，通知表所見，評価，成績一覧表など）」の割合が51.3%，「校務分掌に係る業務（各部会＜教務部など＞，各種委員会＜行事委員会など＞の業務）」の割合が20.3%となっています。

中学校教諭調査では、「教材研究・授業準備」の割合が58.5%と最も高く、次いで「提出物や成績の処理（宿題，通知表所見，評価，成績一覧表など）」の割合が39.0%，「校務分掌に係る業務（各部会＜教務部など＞，各種委員会＜行事委員会など＞の業務）」の割合が29.3%となっています。

○全体集計



回答者数 = 82

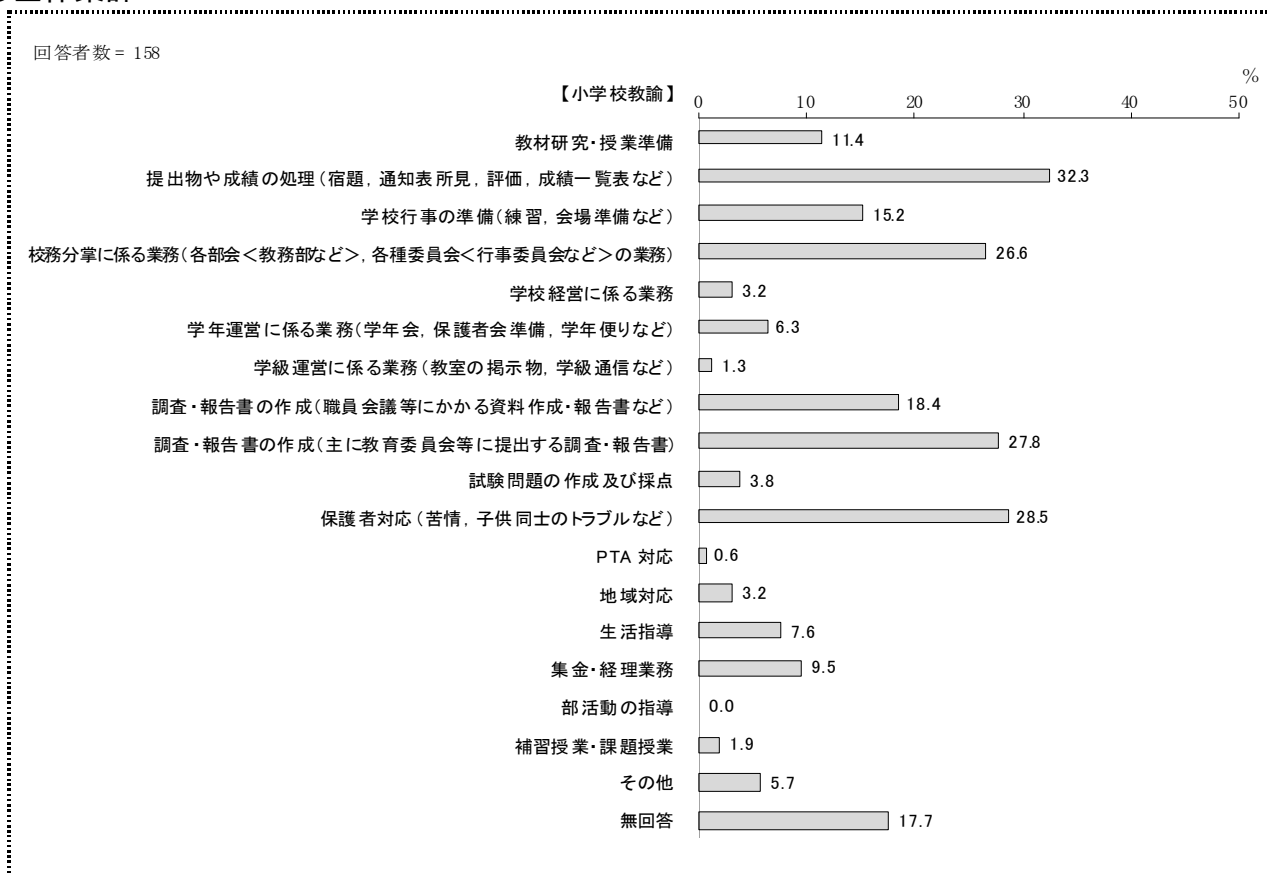


② 負担感を感じている業務

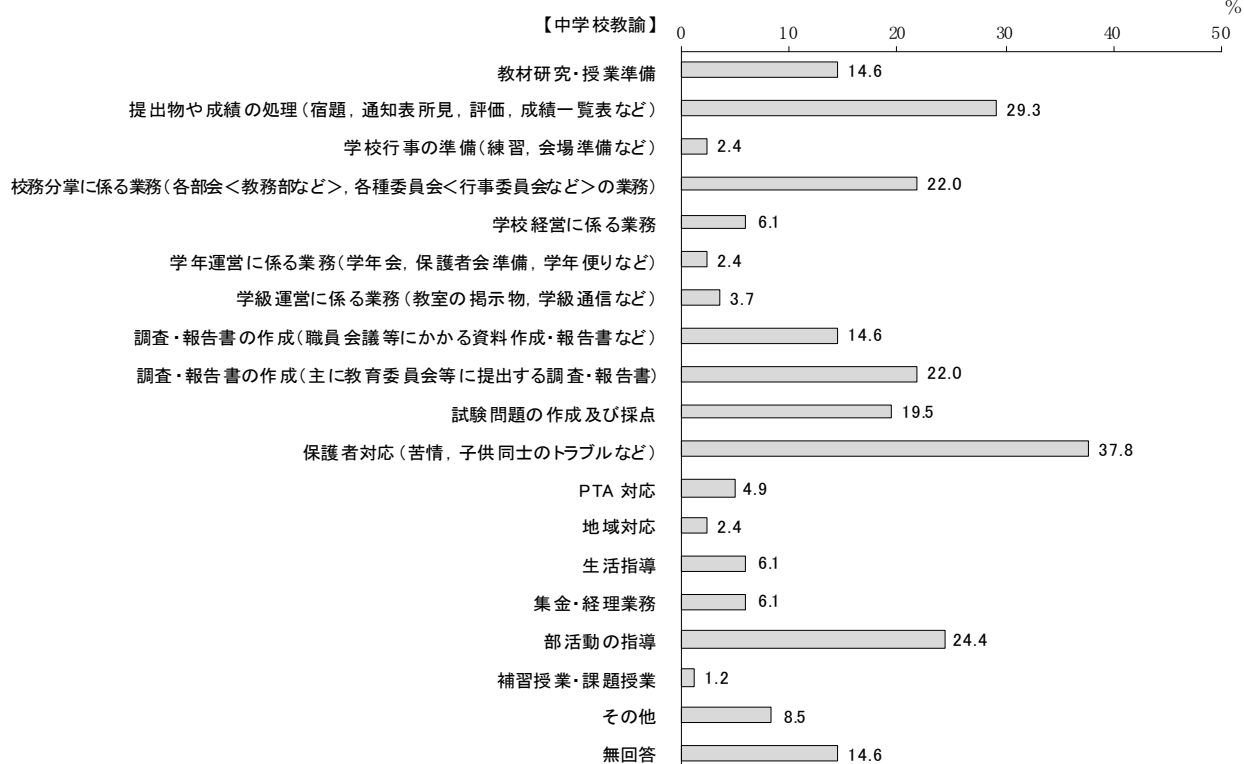
小学校教諭調査では、「提出物や成績の処理（宿題，通知表所見，評価，成績一覧表など）」の割合が32.3%と最も高く，次いで「保護者対応（苦情，子供同士のトラブルなど）」の割合が28.5%，「調査・報告書の作成（主に教育委員会等に提出する調査・報告書）」の割合が27.8%となっています。

中学校教諭調査では、「保護者対応（苦情，子供同士のトラブルなど）」の割合が37.8%と最も高く，次いで「提出物や成績の処理（宿題，通知表所見，評価，成績一覧表など）」の割合が29.3%，「部活動の指導」の割合が24.4%となっています。

○全体集計



回答者数 = 82



問8 あなたが子どもたちや教育について課題と感じていることは何ですか。 (主なものを3つに〇)

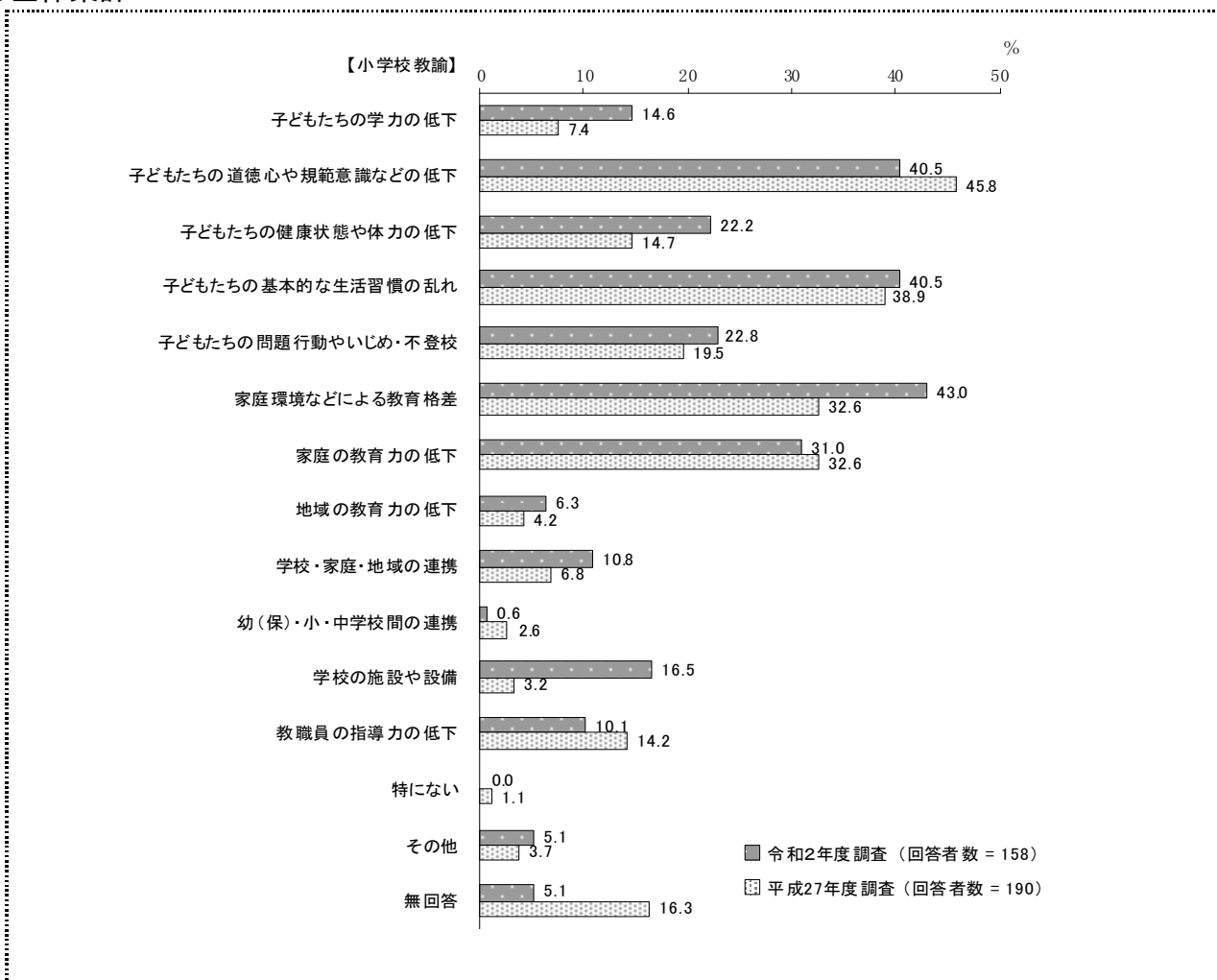
小学校教諭調査では、「家庭環境などによる教育格差」の割合が43.0%と最も高く、次いで「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」、 「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」の割合が40.5%となっています。

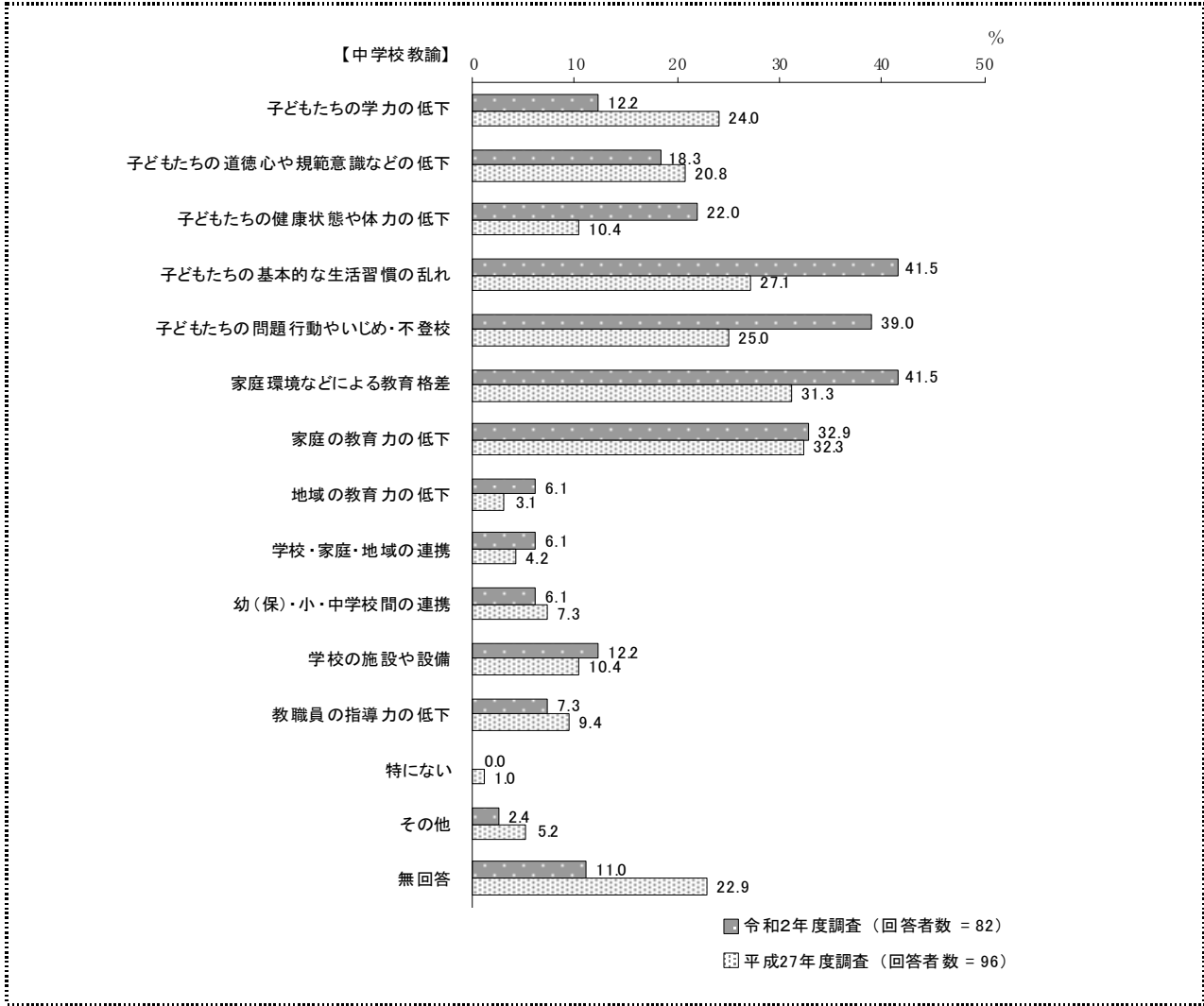
平成27年度調査と比較すると、「子どもたちの学力の低下」、 「子どもたちの健康状態や体力の低下」、 「家庭環境などによる教育格差」、 「学校の施設や設備」の割合が増加し、「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」の割合が減少しています。

中学校教諭調査では、「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」、 「家庭環境などによる教育格差」の割合が41.5%と最も高く、次いで、「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が39.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「子どもたちの健康状態や体力の低下」、 「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」、 「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」、 「家庭環境などによる教育格差」の割合が増加し、「子どもたちの学力の低下」の割合が減少しています。

○全体集計





(3) 教育や学習に関する取組についておうかがいします。

問9 次の教育施策や教育事業について、あなたは、今後芦屋市で力を入れて行う必要があると思いますか。

(①～⑳の各項目について、あてはまるものに、それぞれひとつだけに○)

① 子どもたちが、「わかる」と実感できる授業の実施

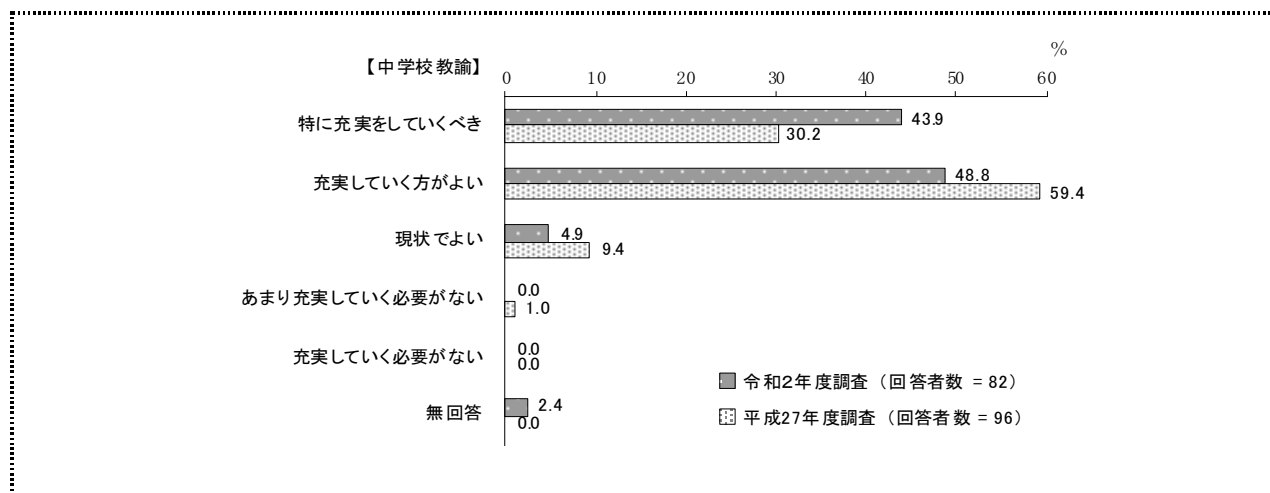
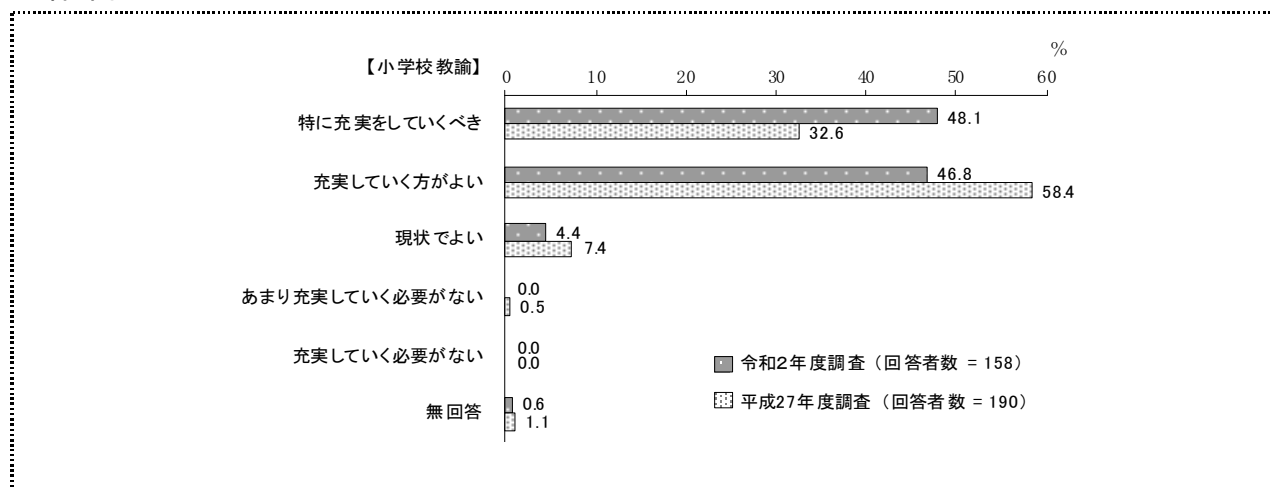
小学校教諭調査では、「特に充実をしていくべき」と「充実していく方がよい」をあわせた“充実をしていくべき”の割合が94.9%、「現状でよい」の割合が4.4%、「あまり充実していく必要がない」と「充実していく必要がない」をあわせた“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が92.7%、「現状でよい」の割合が4.9%、“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



② 少人数・習熟度別学習など、多様な形態での学習の実施

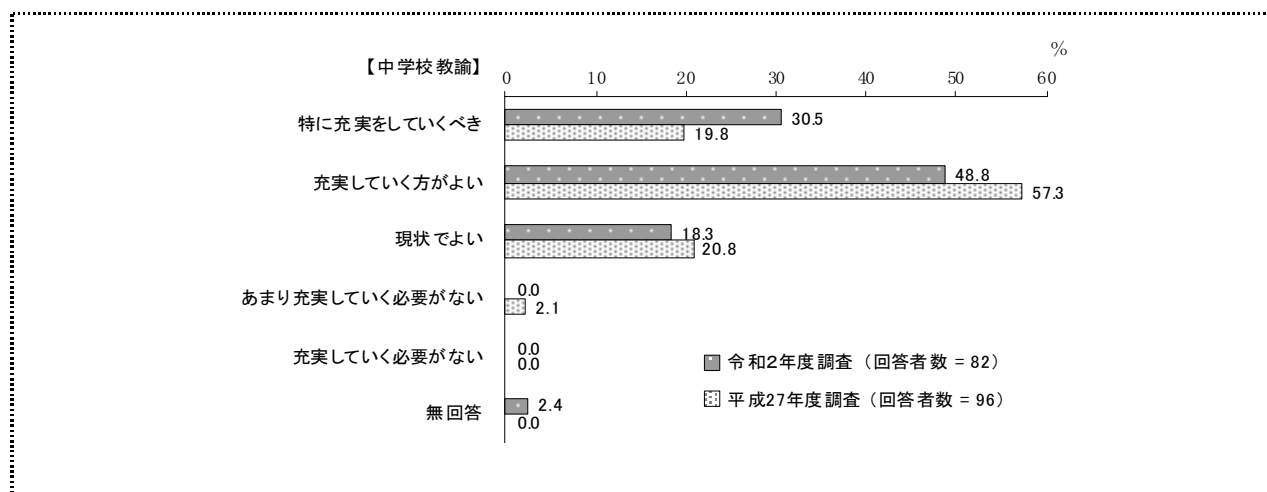
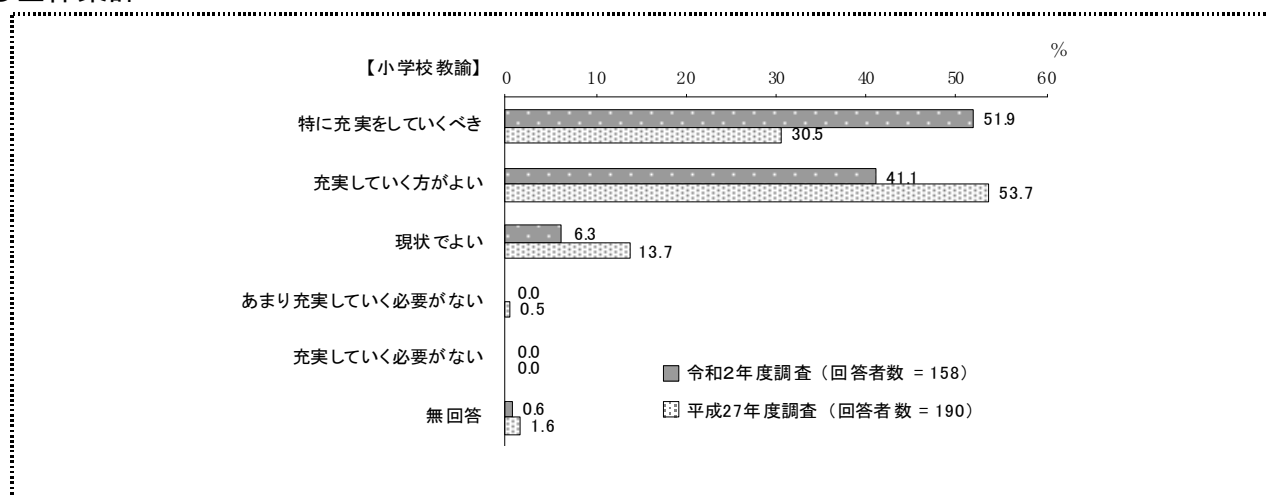
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が93.0%、「現状でよい」の割合が6.3%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が増加し、「現状でよい」の割合が減少しています。

中学校教諭調査では，“充実をしていくべき”の割合が79.3%、「現状でよい」の割合が18.3%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



③ コンピュータなどのICT機器を活用した授業の推進

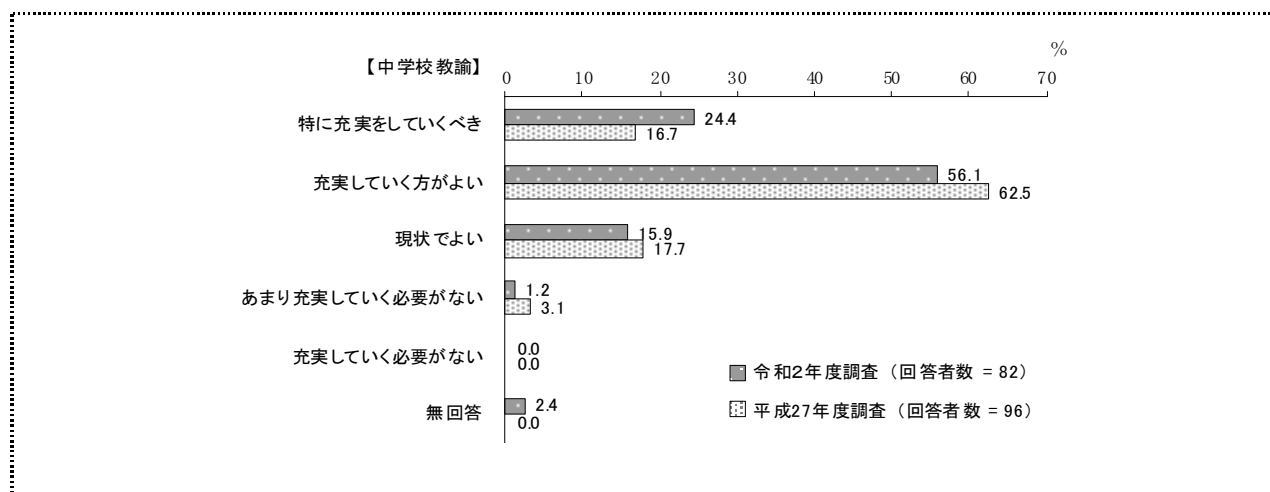
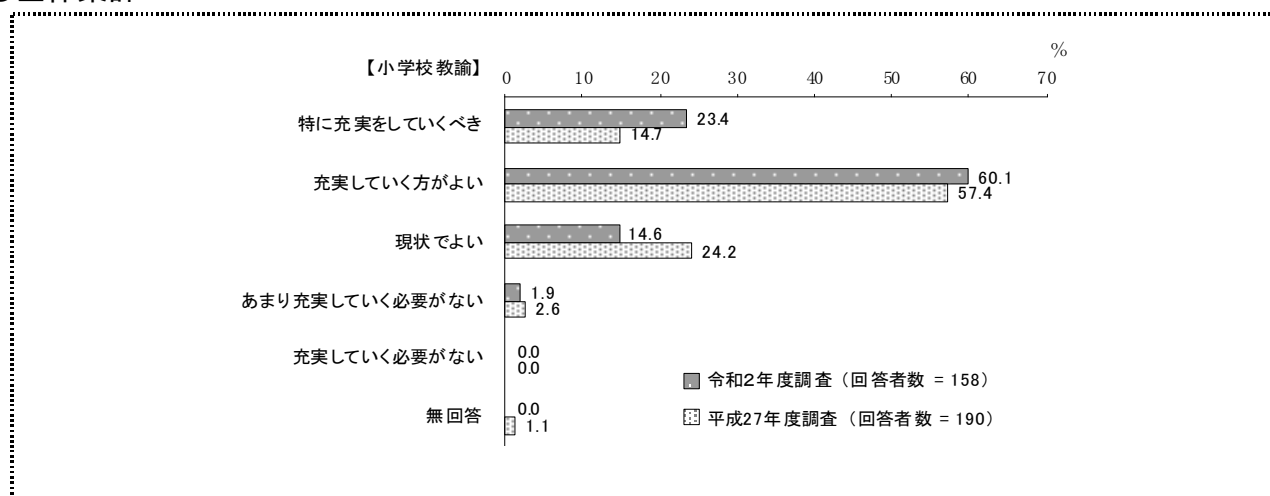
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が83.5%、「現状でよい」の割合が14.6%，“充実していく必要がない”の割合が1.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が増加し、「現状でよい」の割合が減少しています。

中学校教諭調査では，“充実をしていくべき”の割合が80.5%、「現状でよい」の割合が15.9%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



④ 情報モラル教育の推進（携帯電話・スマートフォンやSNSの正しい使い方）

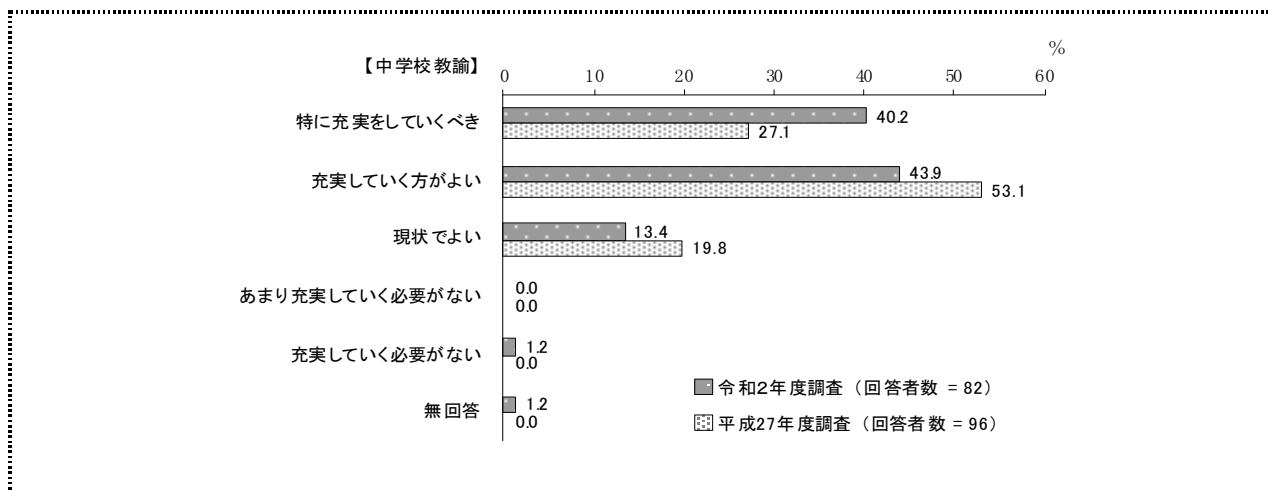
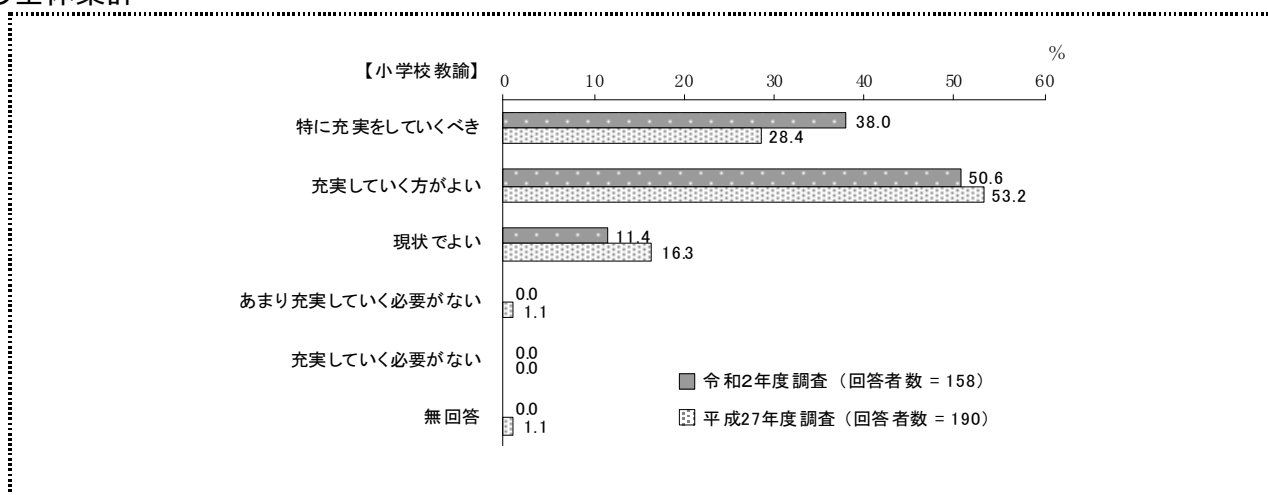
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が88.6%、「現状でよい」の割合が11.4%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が増加しています。

中学校教諭調査では，“充実をしていくべき”の割合が84.1%、「現状でよい」の割合が13.4%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が減少しています。

○全体集計



⑤ 外国語教育の充実

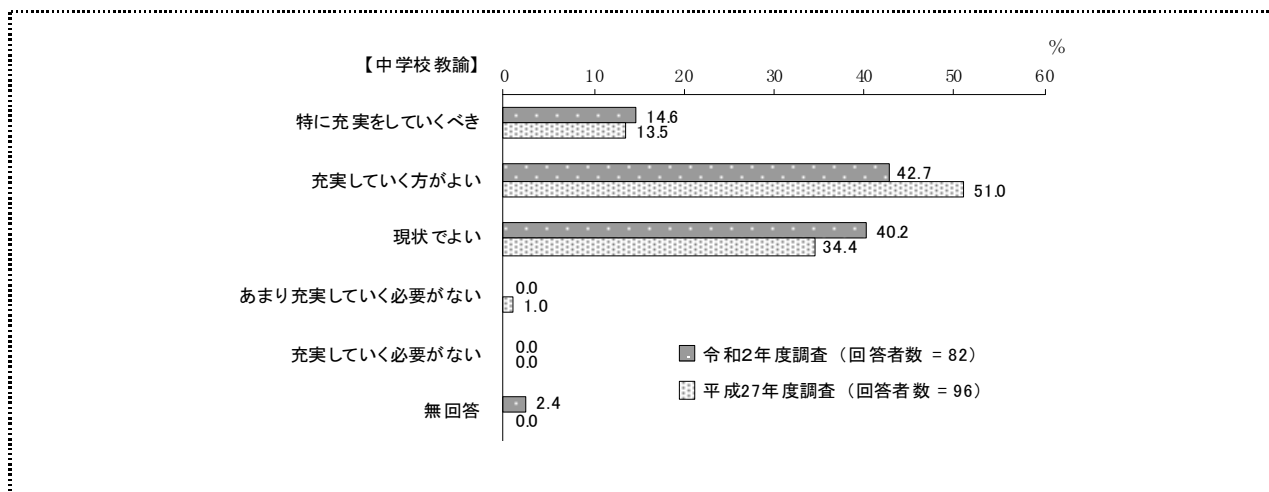
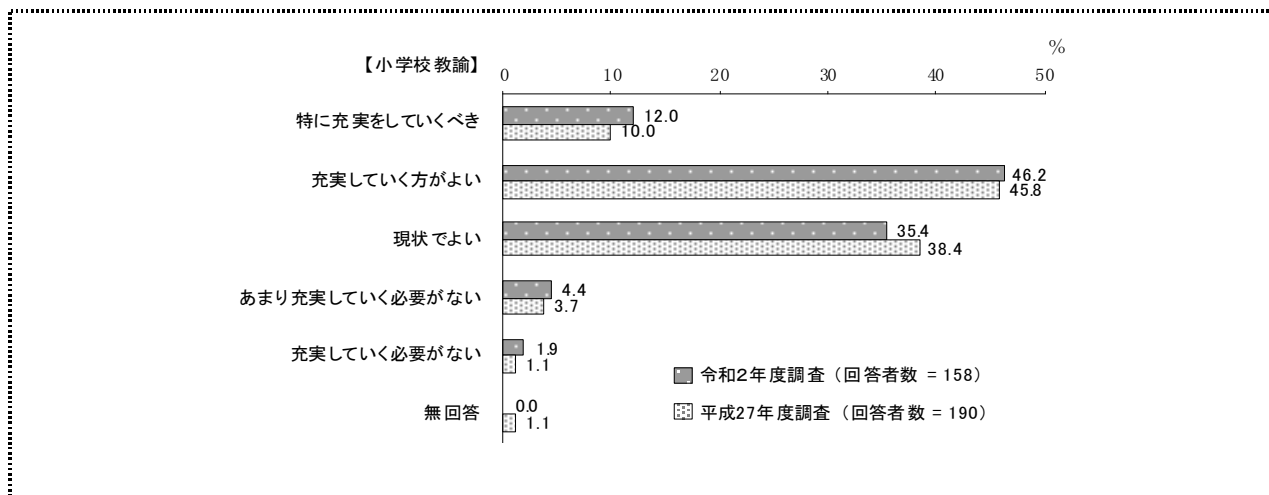
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が58.2%、「現状でよい」の割合が35.4%，“充実していく必要がない”の割合が6.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が57.3%、「現状でよい」の割合が40.2%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計



⑥ 学校園における読書の取組の推進

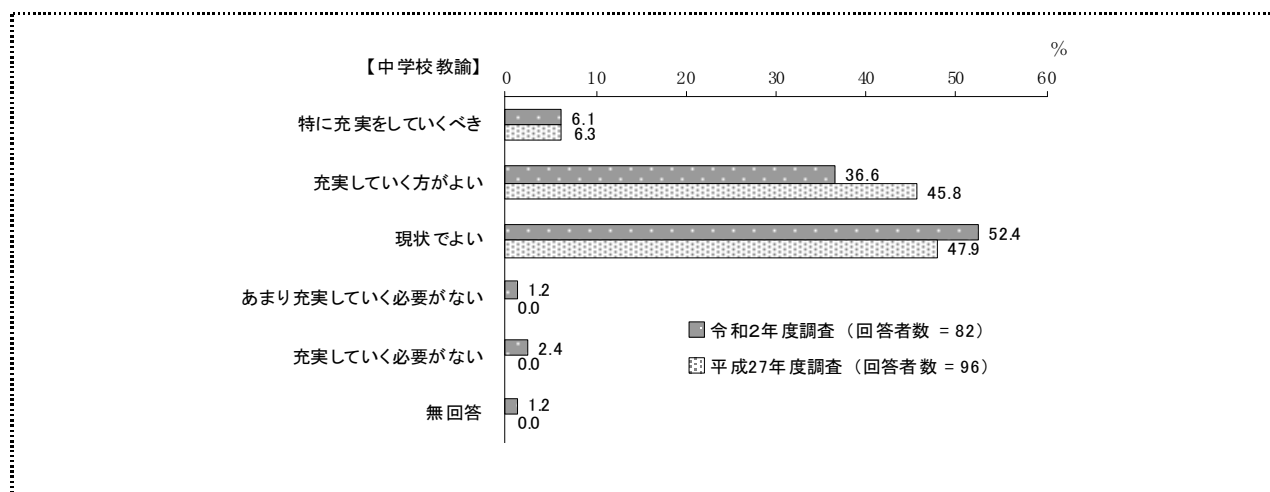
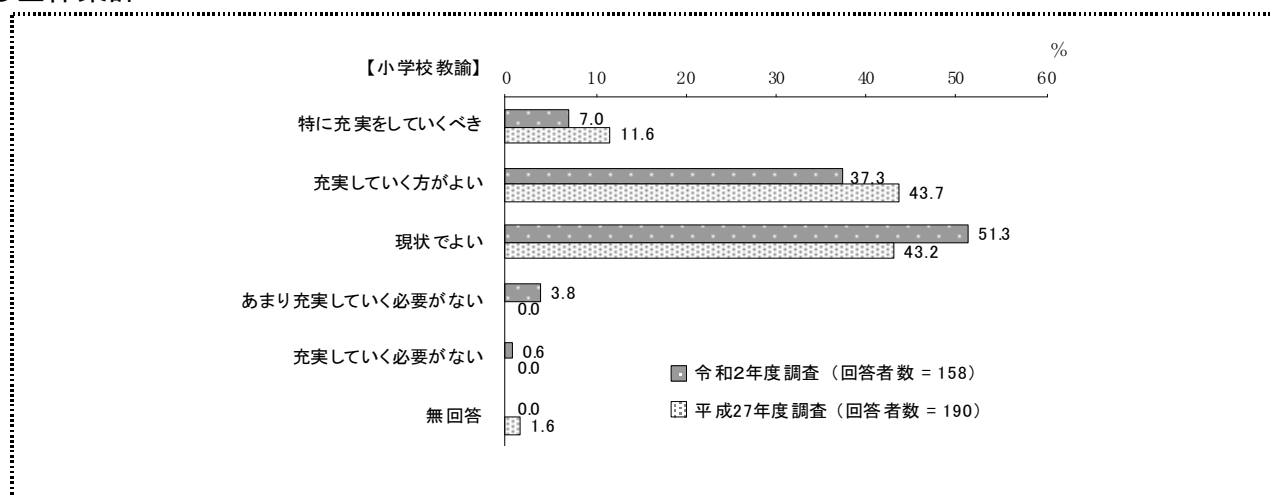
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が44.3%、「現状でよい」の割合が51.3%，“充実していく必要がない”の割合が4.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

中学校教諭調査では，“充実をしていくべき”の割合が42.7%、「現状でよい」の割合が52.4%，“充実していく必要がない”の割合が3.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が減少しています。

○全体集計



⑦ 家庭・地域と一体となった「読書のまちづくり」の推進

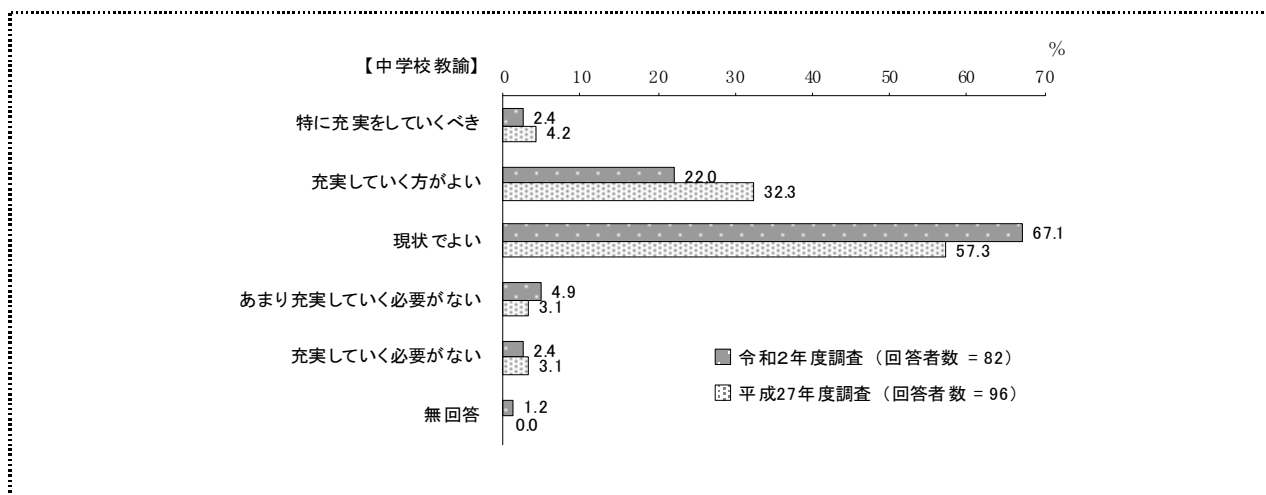
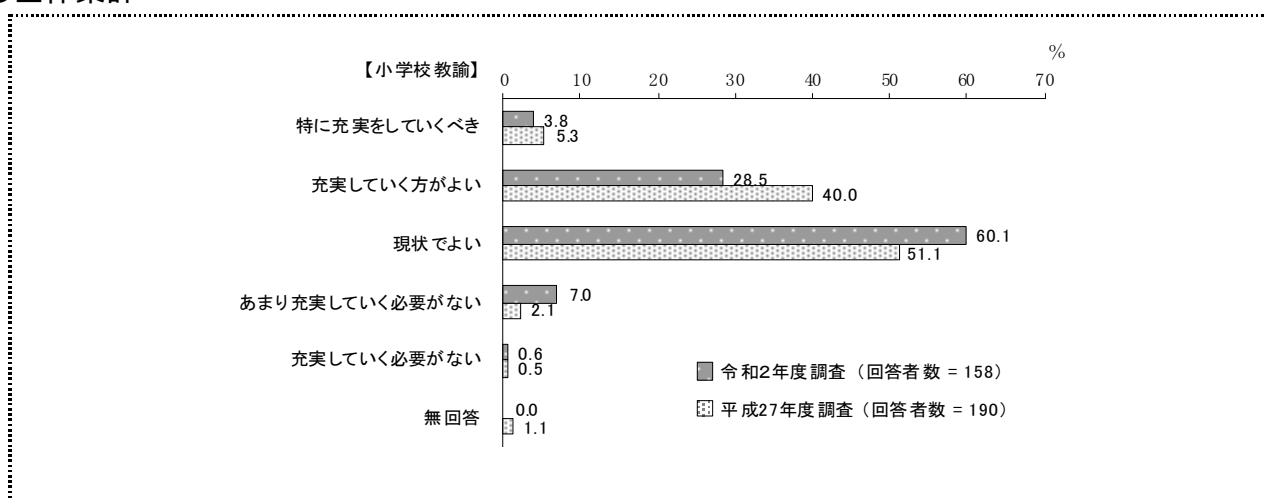
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が32.3%、「現状でよい」の割合が60.1%，“充実していく必要がない”の割合が7.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

中学校教諭調査では，“充実をしていくべき”の割合が24.4%、「現状でよい」の割合が67.1%，“充実していく必要がない”の割合が7.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計



⑧ 豊かな心をはぐくむ道德教育の推進

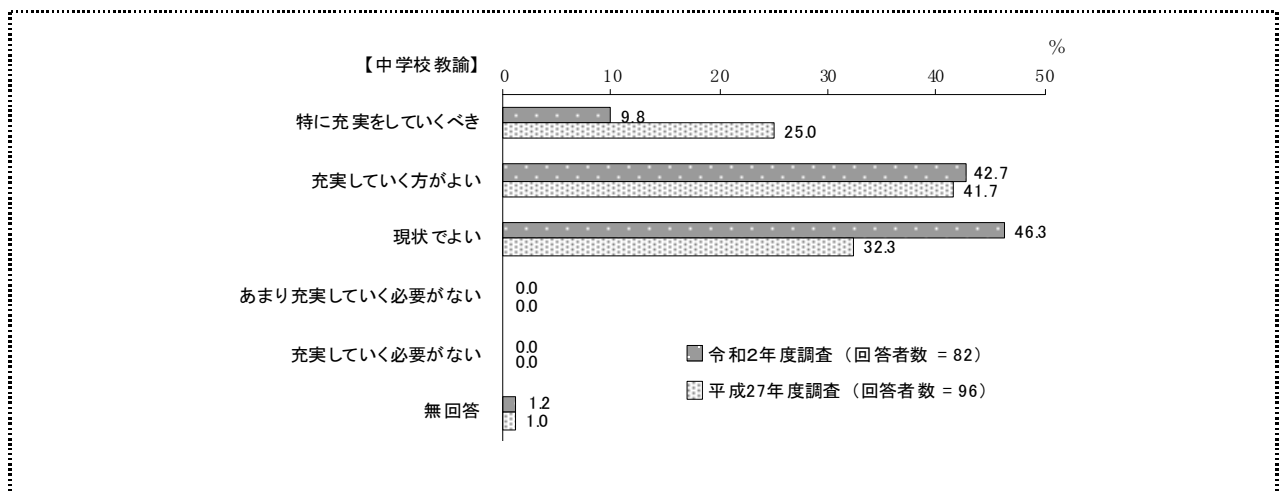
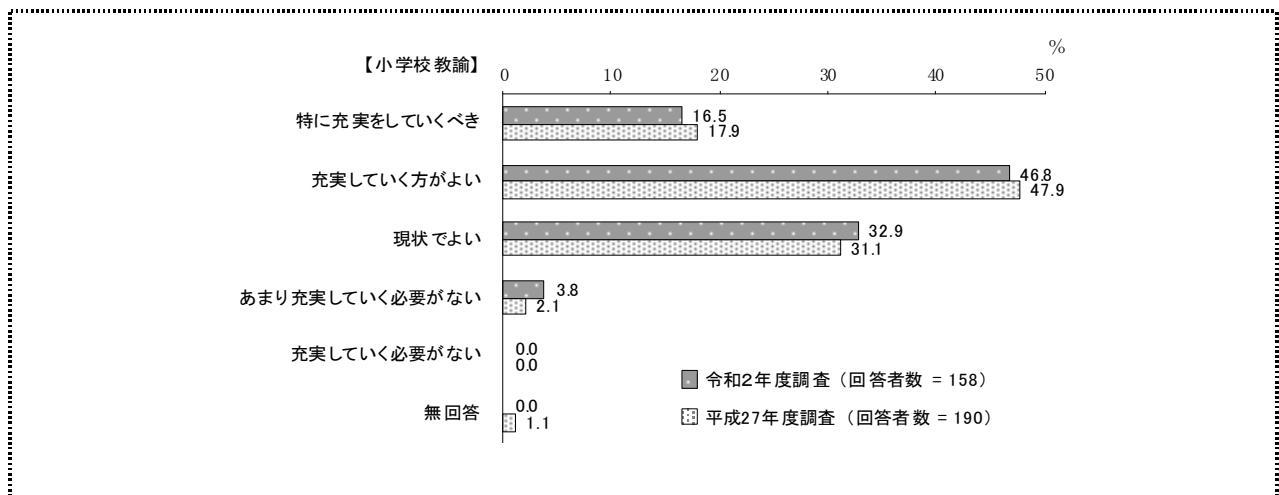
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が63.3%、「現状でよい」の割合が32.9%，“充実していく必要がない”の割合が3.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が52.5%、「現状でよい」の割合が46.3%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計

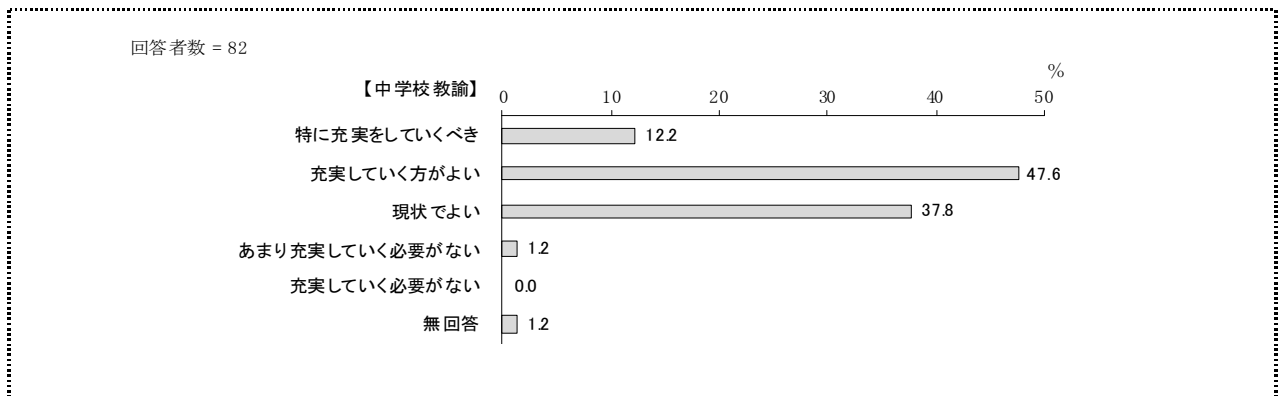
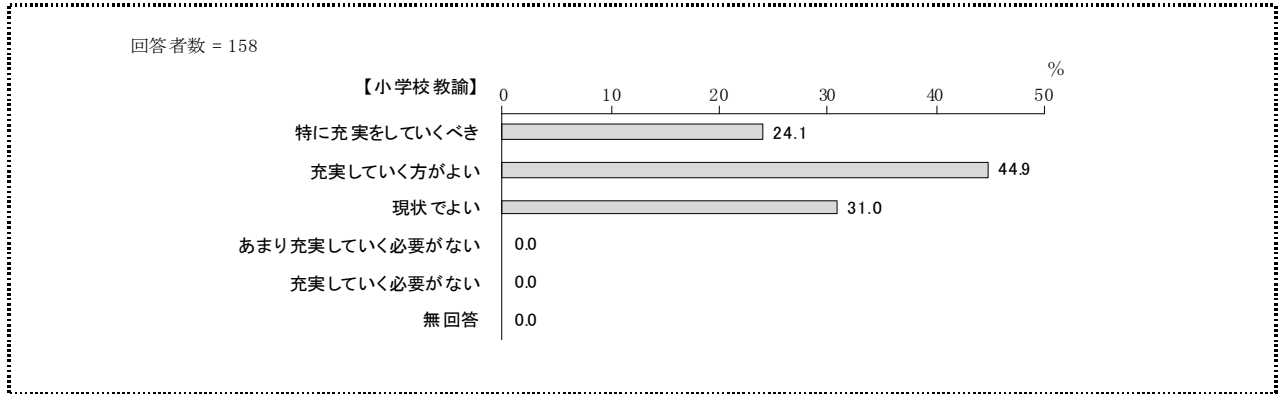


⑨ 阪神・淡路大震災を風化させないなど、防災教育の実施

小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が69.0%、「現状でよい」の割合が31.0%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

中学校教諭調査では，“充実をしていくべき”の割合が59.8%、「現状でよい」の割合が37.8%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

○全体集計



⑩ いじめや暴力行為などの解消を図る取組の推進

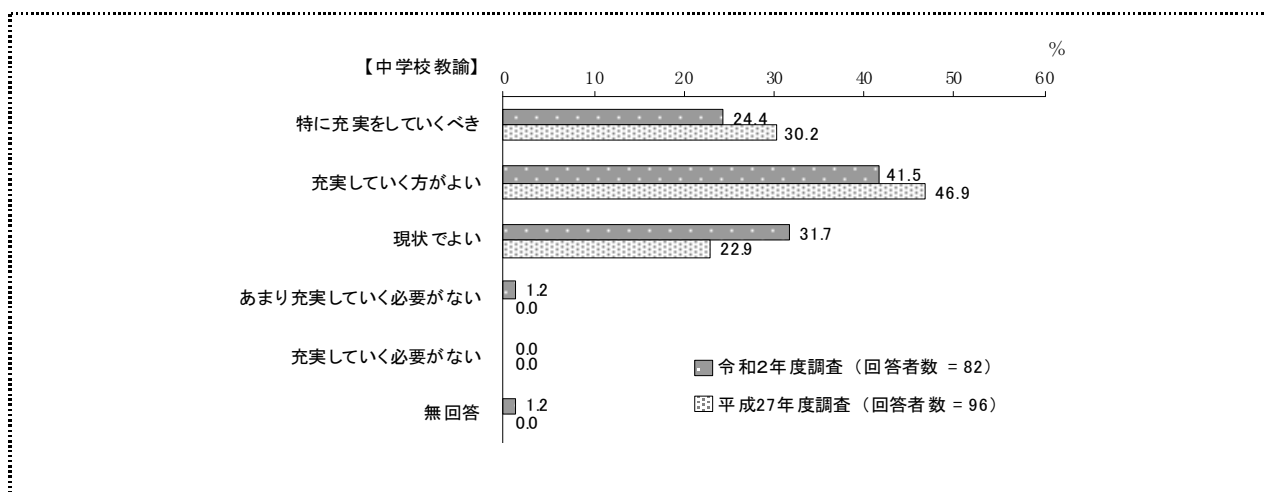
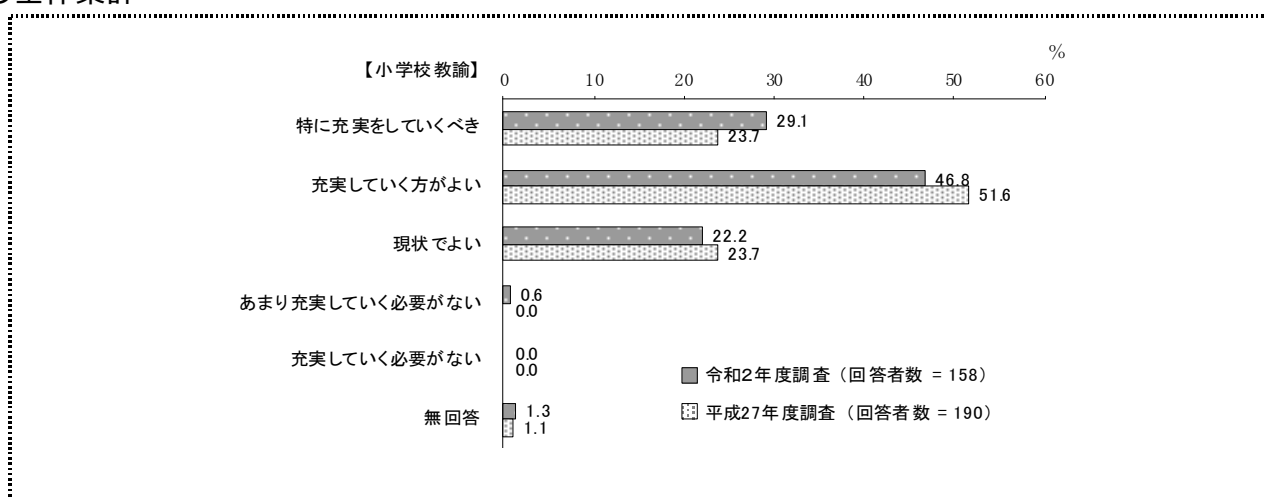
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が75.9%、「現状でよい」の割合が22.2%，“充実していく必要がない”の割合が0.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が65.9%、「現状でよい」の割合が31.7%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計



⑪ 不登校児童生徒へのケアや支援の充実

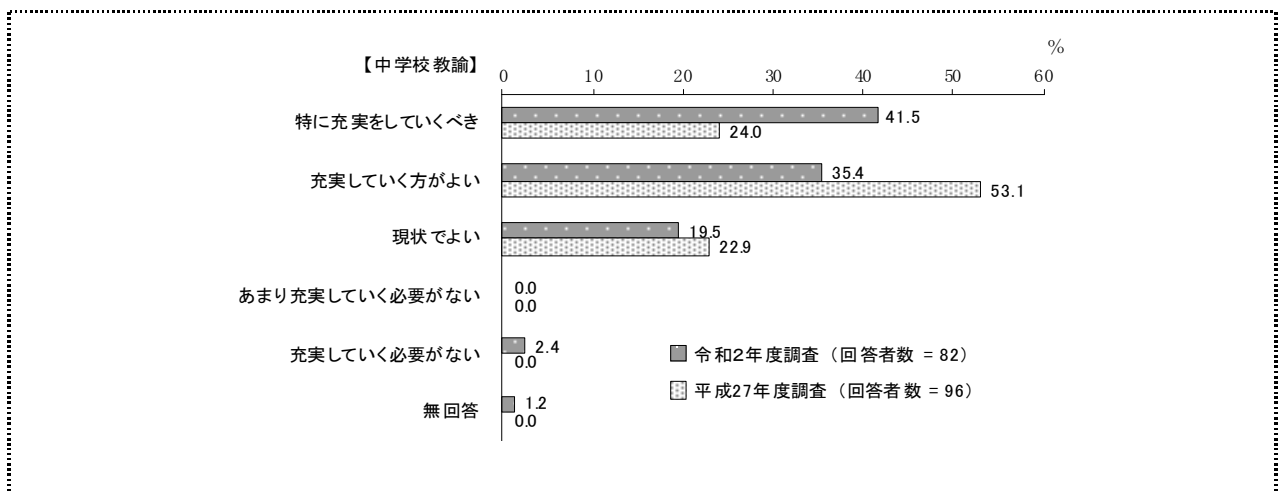
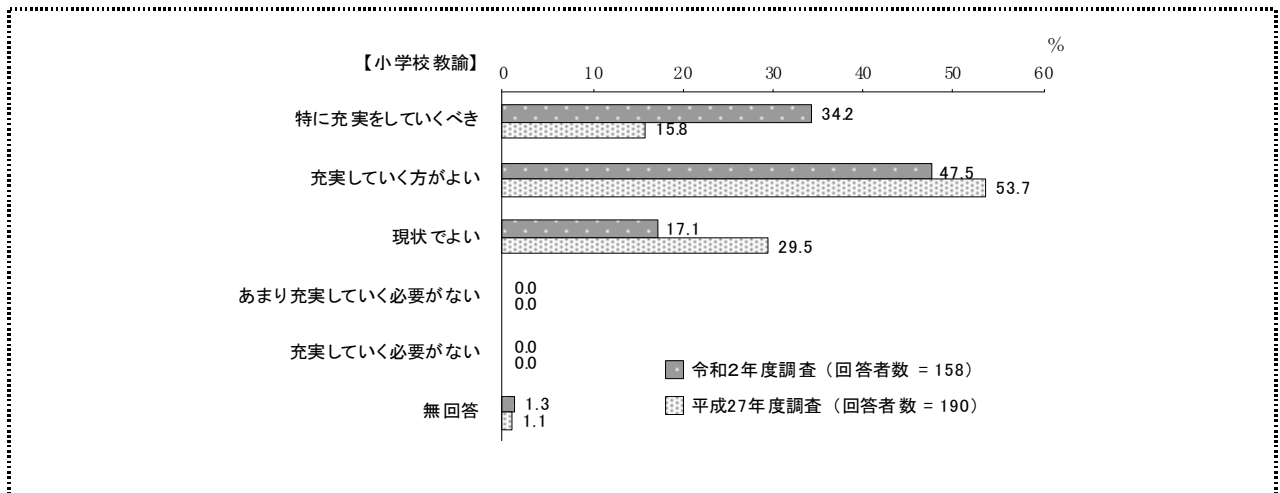
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が81.7%、「現状でよい」の割合が17.1%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が増加し、「現状でよい」の割合が減少しています。

中学校教諭調査では，“充実をしていくべき”の割合が76.9%、「現状でよい」の割合が19.5%，“充実していく必要がない”の割合が2.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



⑫ 障がいの有無に関わらず子どもたちが共に学ぶことができる仕組みづくり

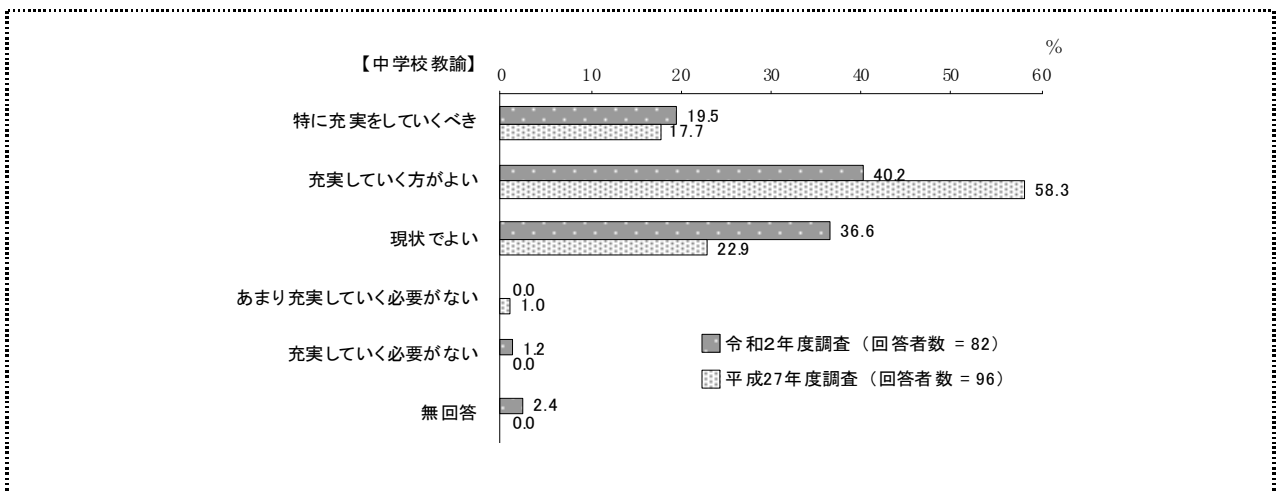
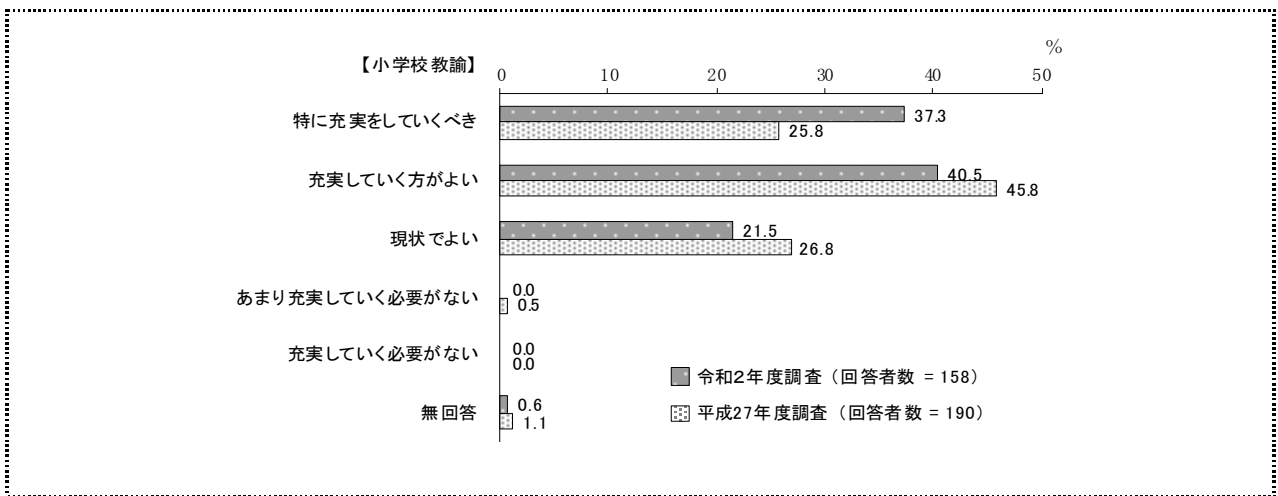
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が77.8%、「現状でよい」の割合が21.5%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が増加し、「現状でよい」の割合が減少しています。

中学校教諭調査では，“充実をしていくべき”の割合が59.7%、「現状でよい」の割合が36.6%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計

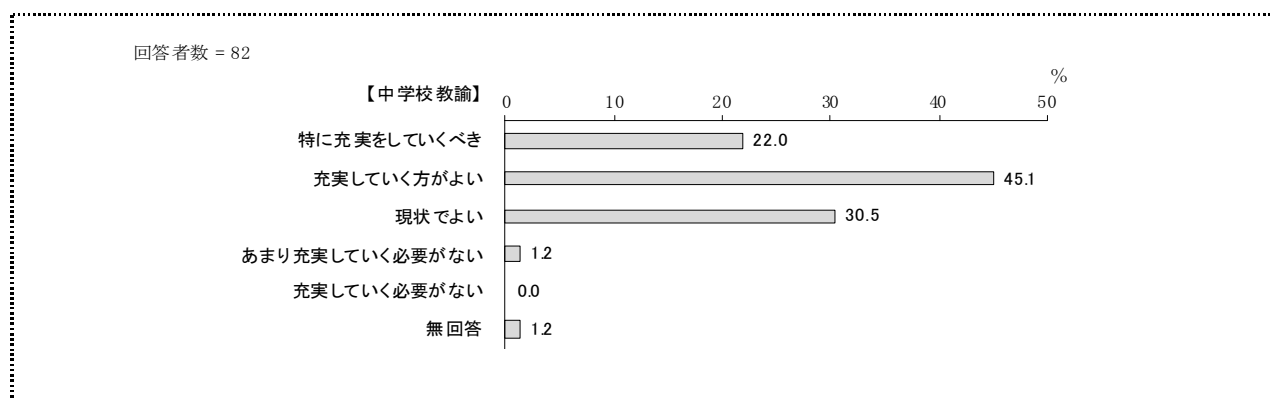
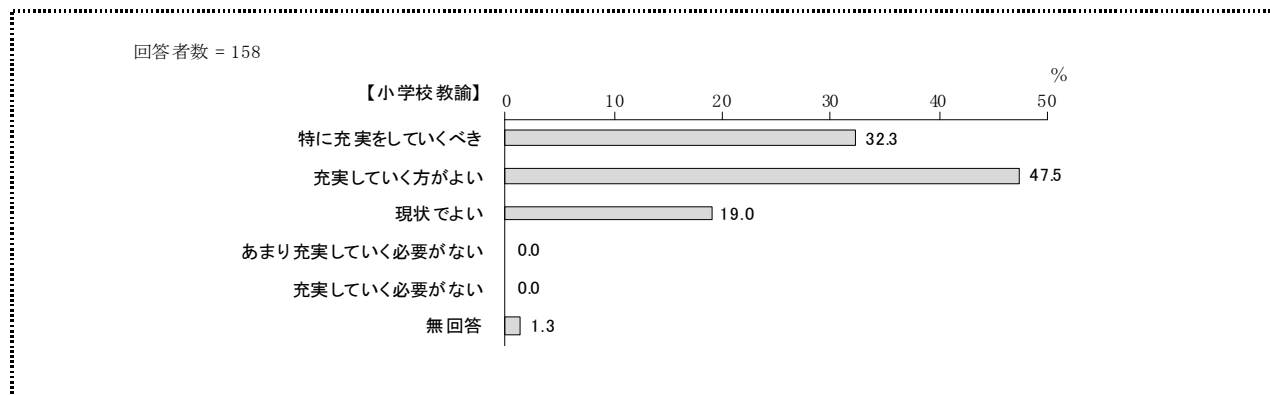


⑬ すべての子どもが公平で質の高い教育を受けられる支援の充実

小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が79.8%、「現状でよい」の割合が19.0%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

中学校教諭調査では，“充実をしていくべき”の割合が67.1%、「現状でよい」の割合が30.5%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

○全体集計



⑭ 子どもの体力向上の取組の充実

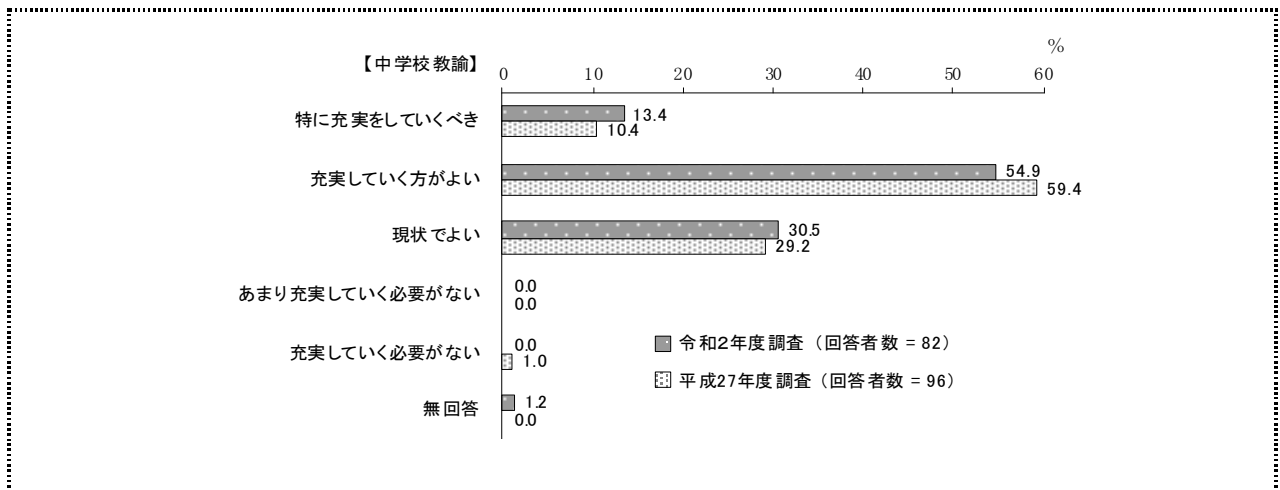
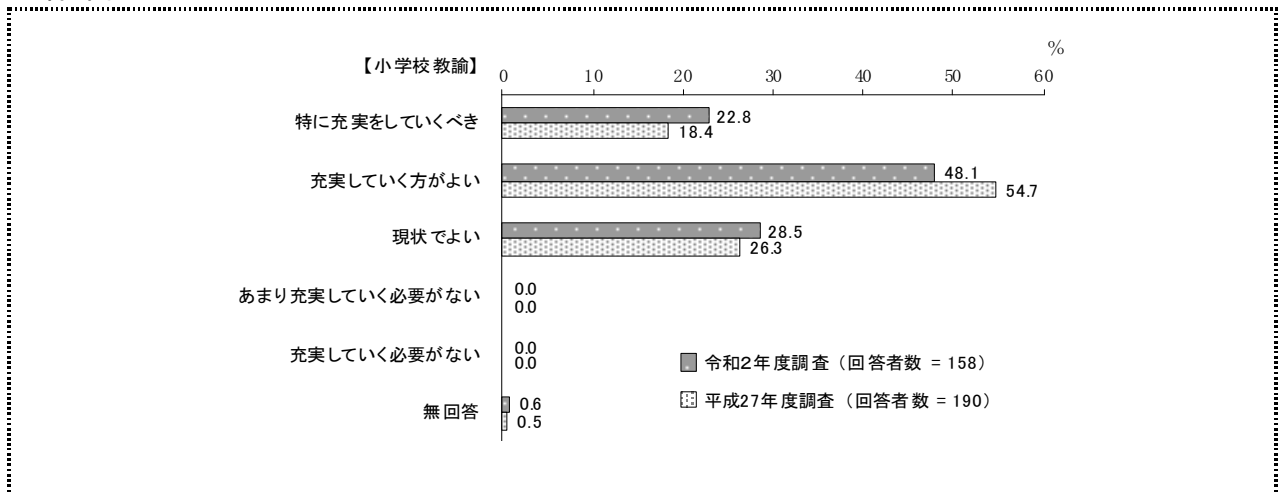
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が70.9%、「現状でよい」の割合が28.5%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が68.3%、「現状でよい」の割合が30.5%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○全体集計



⑮ 学校給食の充実（食育を含む）

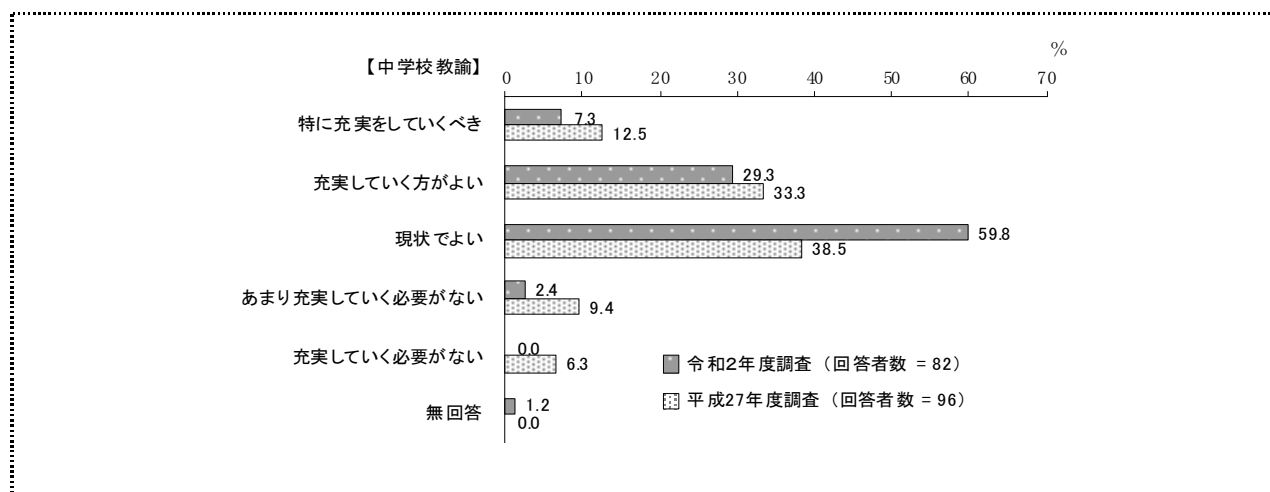
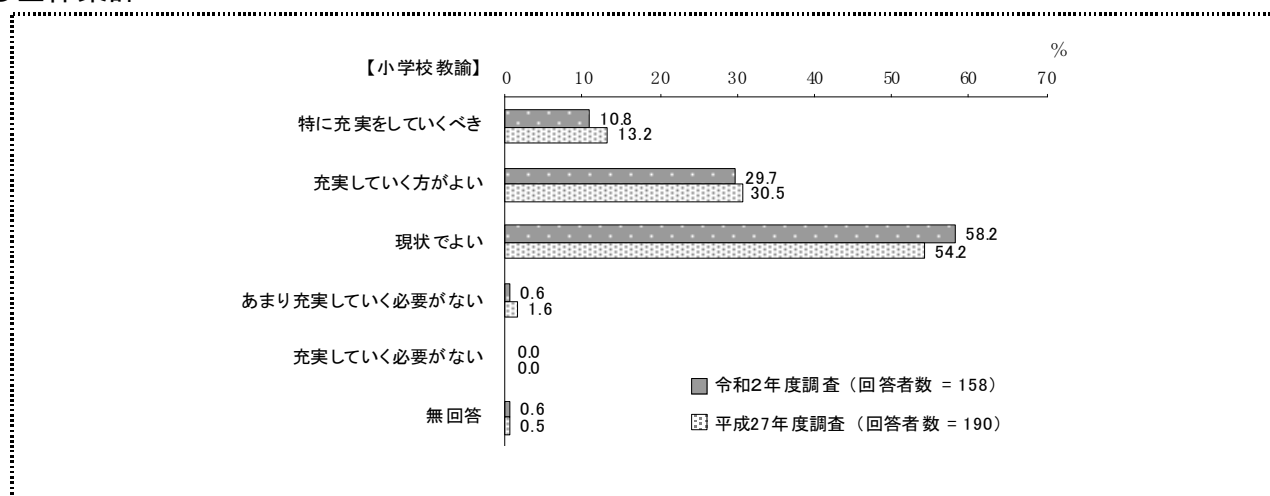
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が40.5%、「現状でよい」の割合が58.2%，“充実していく必要がない”の割合が0.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が36.6%、「現状でよい」の割合が59.8%，“充実していく必要がない”の割合が2.4%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計



⑯ 小学校と中学校との連携の推進

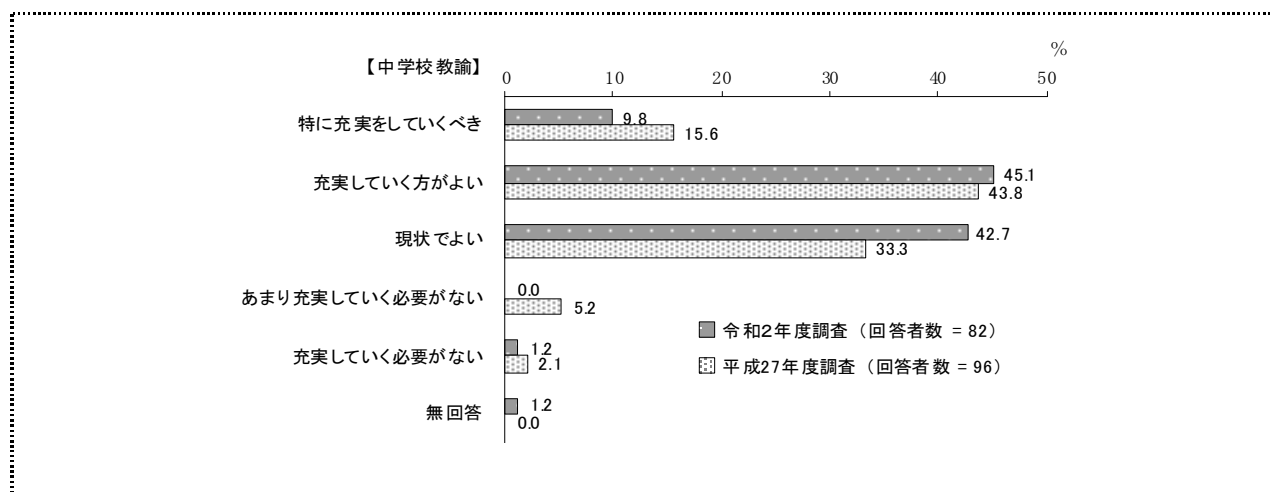
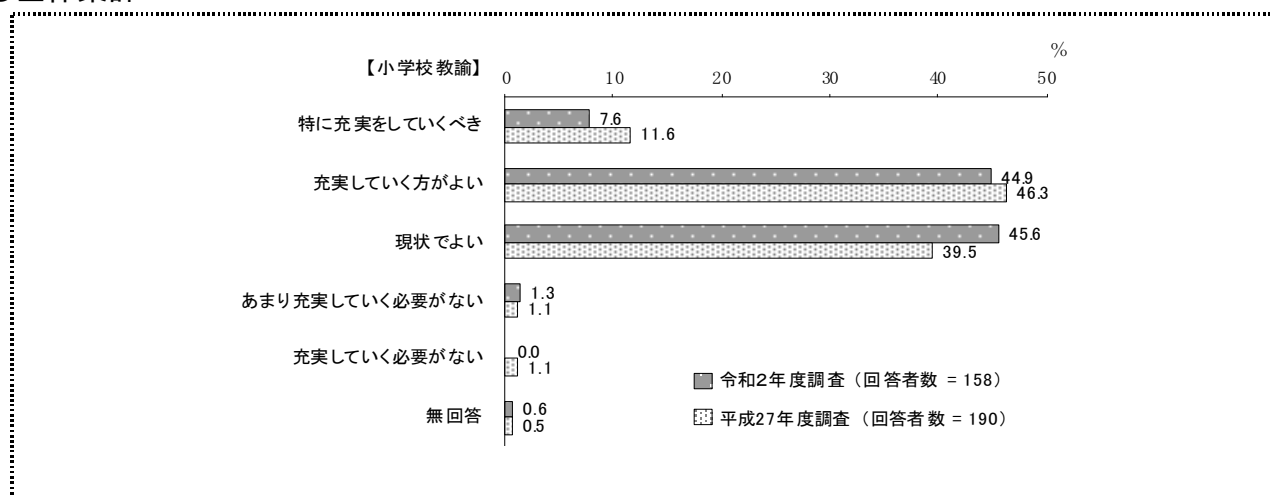
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が52.5%、「現状でよい」の割合が45.6%，“充実していく必要がない”の割合が1.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。

中学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が54.9%、「現状でよい」の割合が42.7%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加し，“充実していく必要がない”の割合が減少しています。

○全体集計



⑰ 幼稚園、保育所（園）、認定こども園と小学校との連携の推進

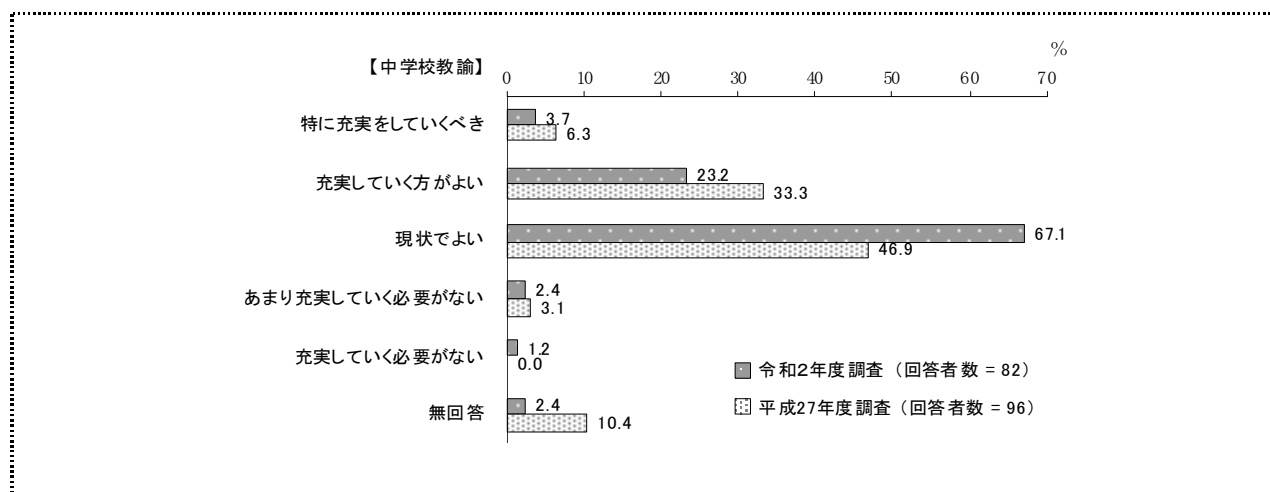
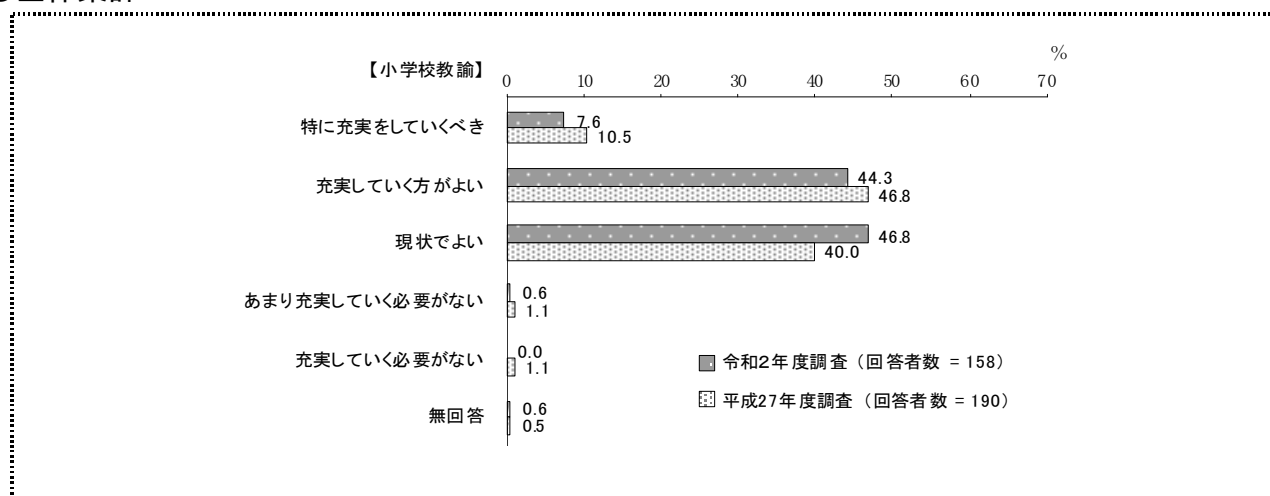
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が51.9%、「現状でよい」の割合が46.8%，“充実していく必要がない”の割合が0.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。

中学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が26.9%、「現状でよい」の割合が67.1%，“充実していく必要がない”の割合が3.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計



⑱ 認定こども園の推進

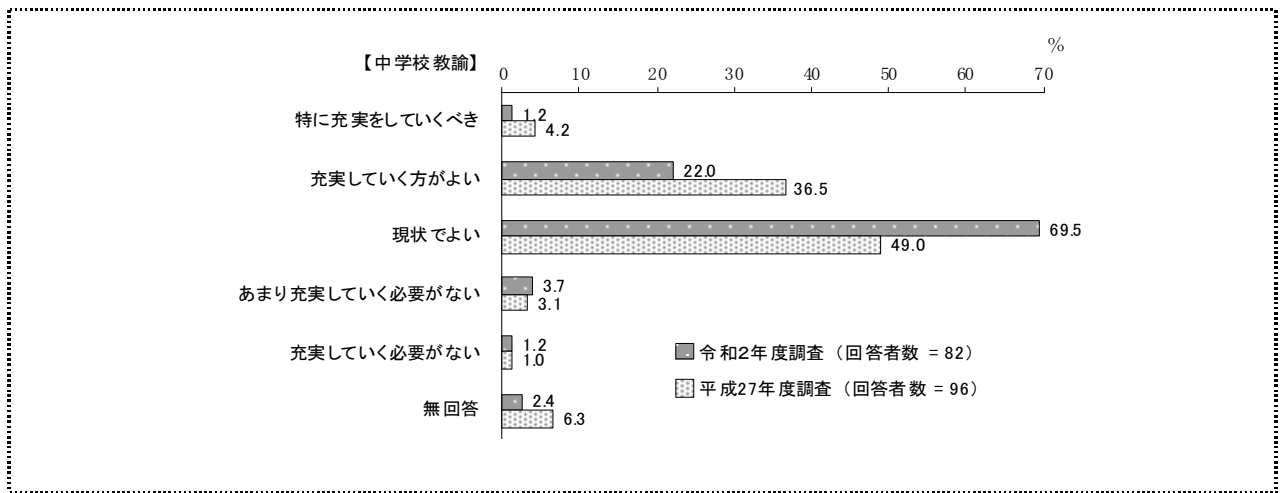
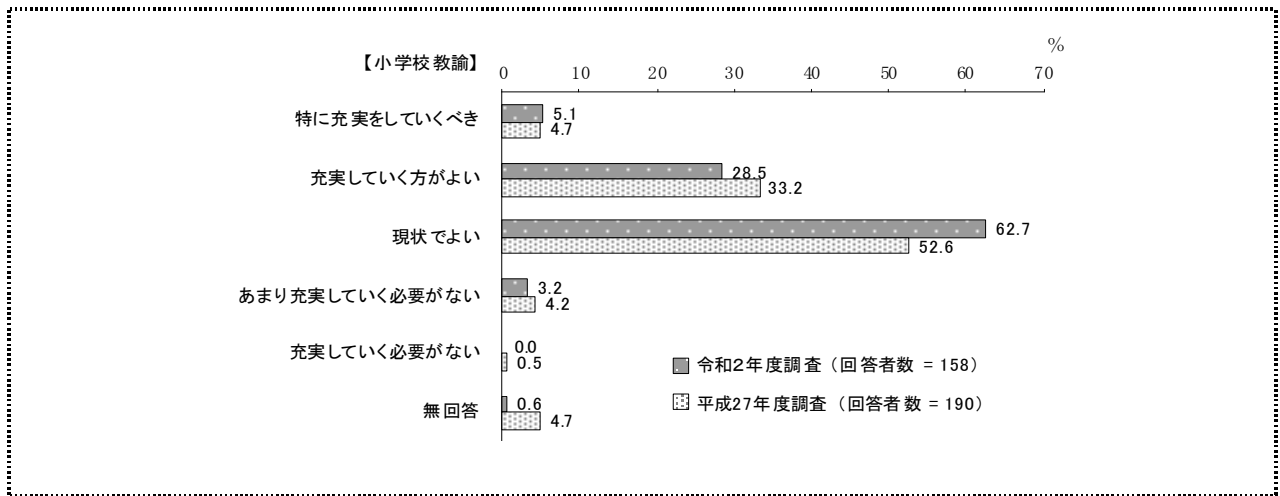
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が33.6%、「現状でよい」の割合が62.7%，“充実していく必要がない”の割合が3.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「現状でよい」の割合が増加しています。

中学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が23.2%、「現状でよい」の割合が69.5%，“充実していく必要がない”の割合が4.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計



⑱ 発達や学びの連続性をふまえた幼児教育の推進

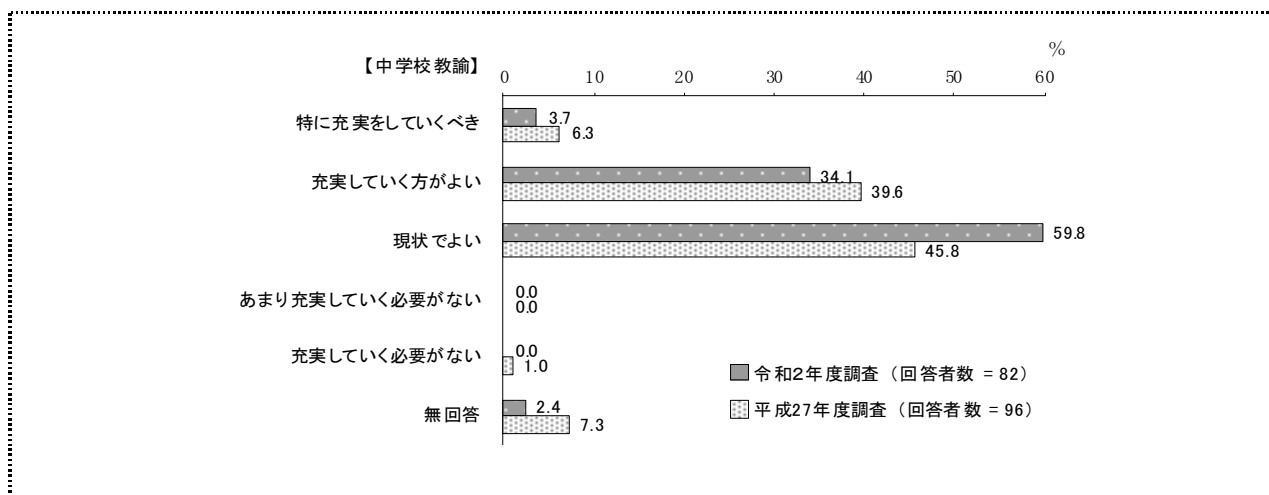
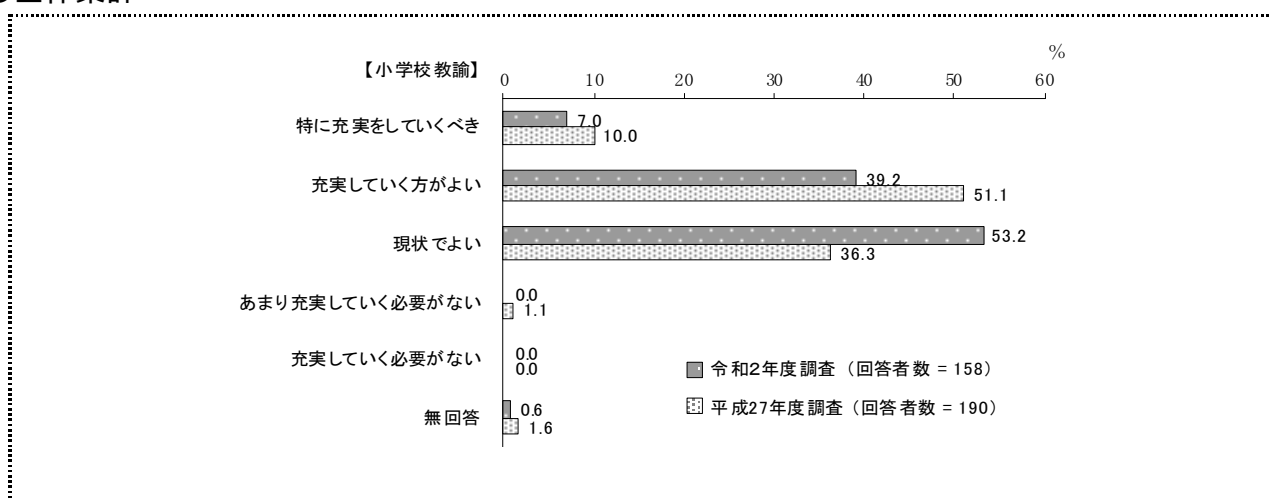
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が46.2%、「現状でよい」の割合が53.2%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

中学校教諭調査では，“充実をしていくべき”の割合が37.8%、「現状でよい」の割合が59.8%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計



⑳ 学校園・家庭・地域が連携して子育てをしていくための取組の充実

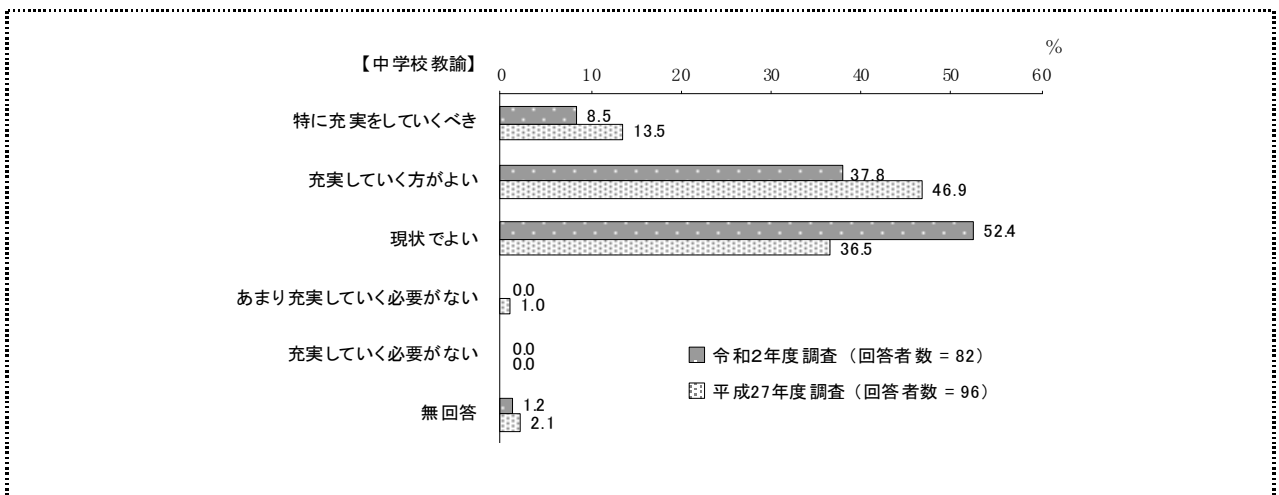
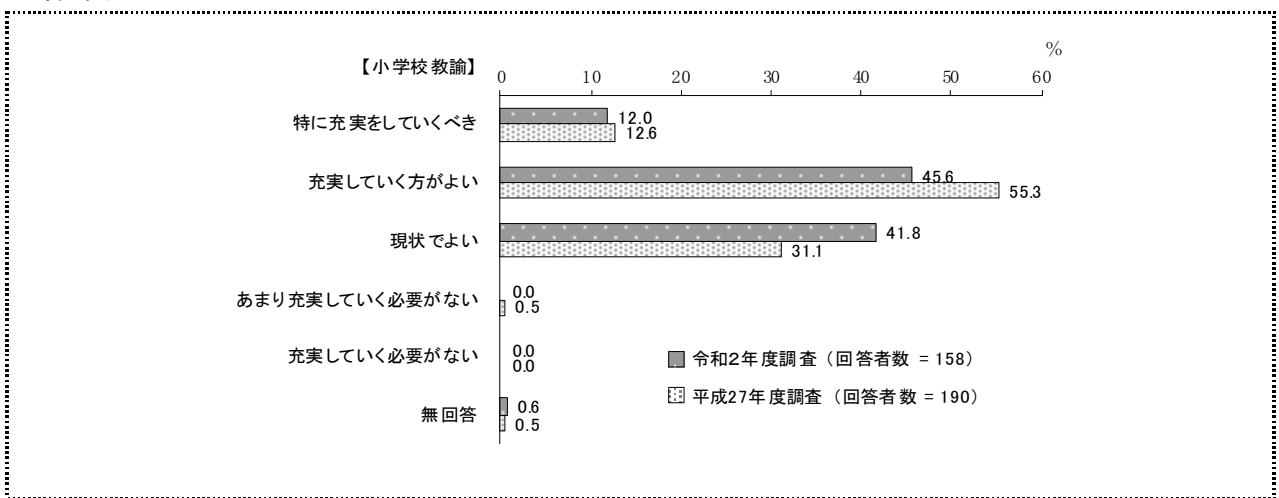
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が57.6%、「現状でよい」の割合が41.8%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

中学校教諭調査では，“充実をしていくべき”の割合が46.3%、「現状でよい」の割合が52.4%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計



㊦ 地域や児童生徒の実態や課題に応じた人権教育の推進

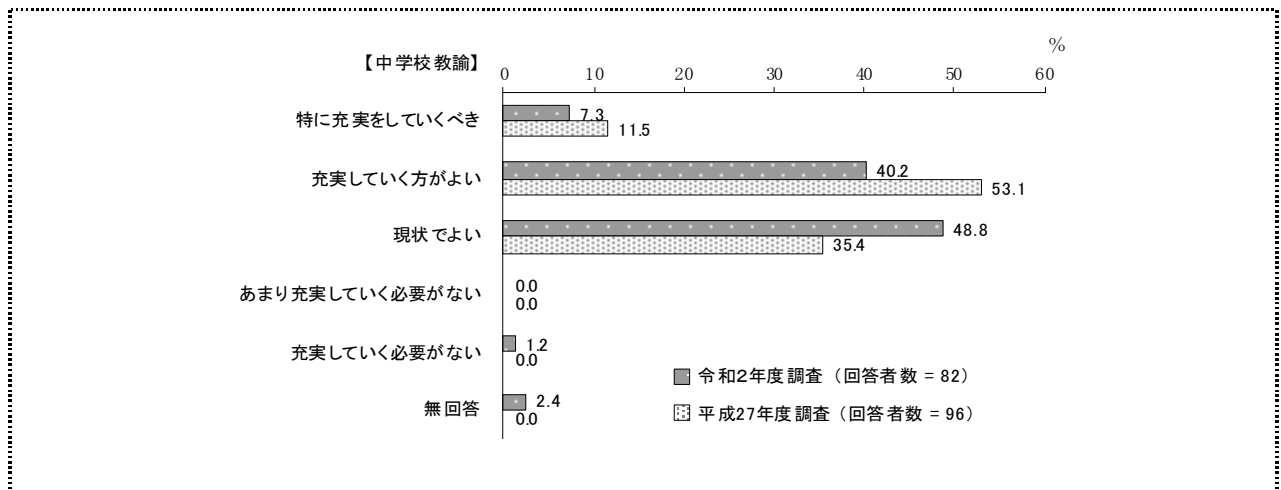
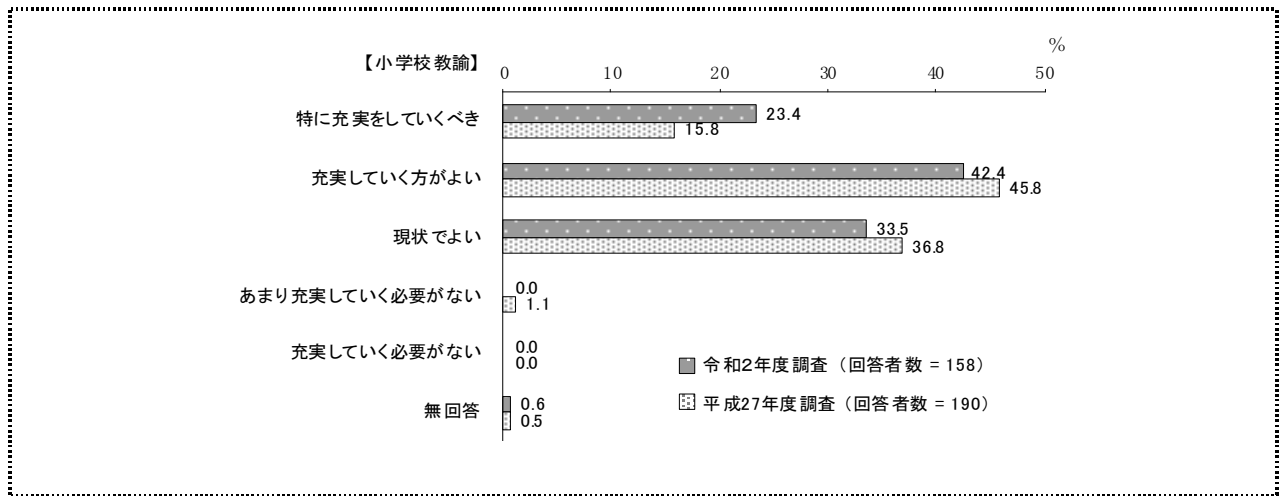
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が65.8%、「現状でよい」の割合が33.5%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が47.5%、「現状でよい」の割合が48.8%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計



㊦ 地域の指導者等を活用した授業の実施

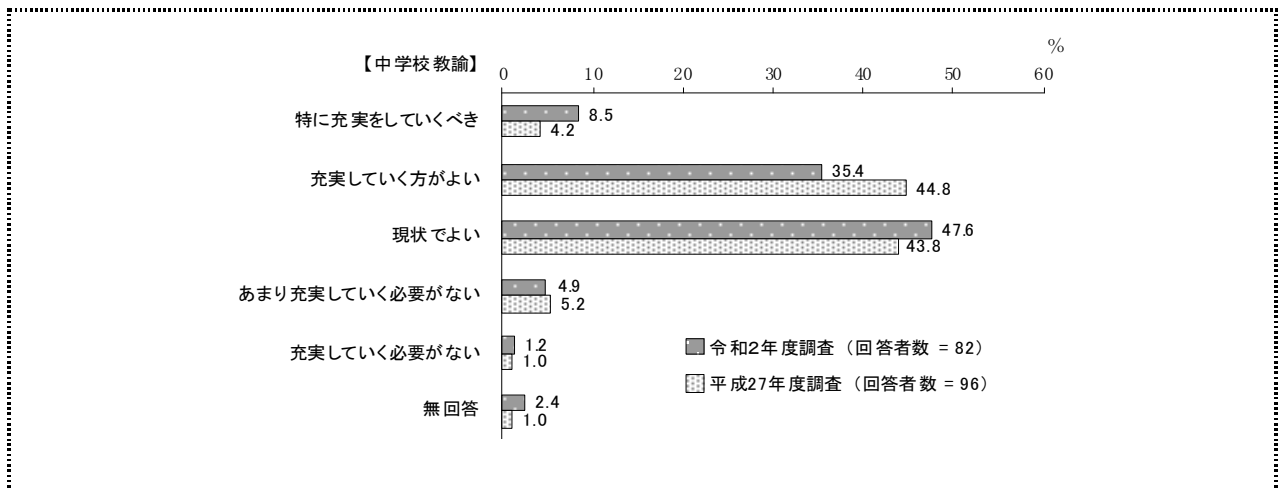
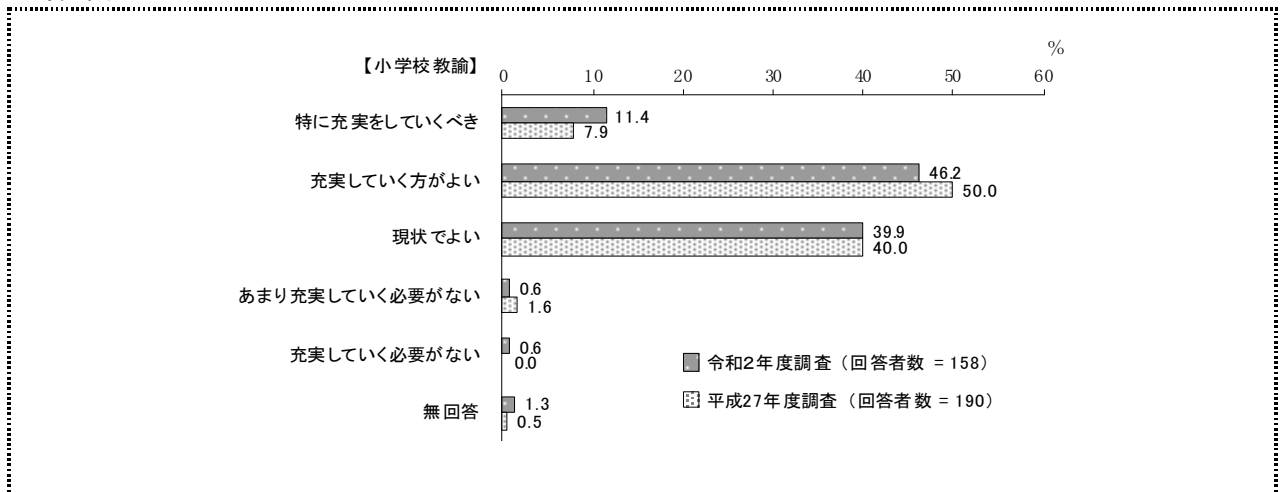
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が57.6%、「現状でよい」の割合が39.9%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が43.9%、「現状でよい」の割合が47.6%，“充実していく必要がない”の割合が6.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“充実をしていくべき”の割合が減少しています。

○全体集計



㊦ 家庭・地域の教育力向上を図るための講演会、講座、フォーラムの充実

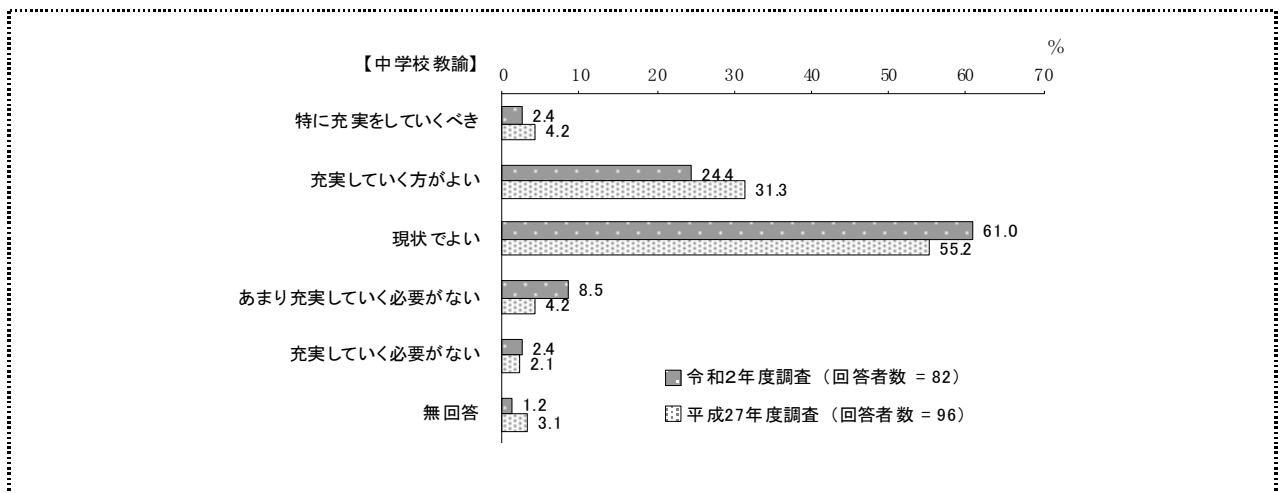
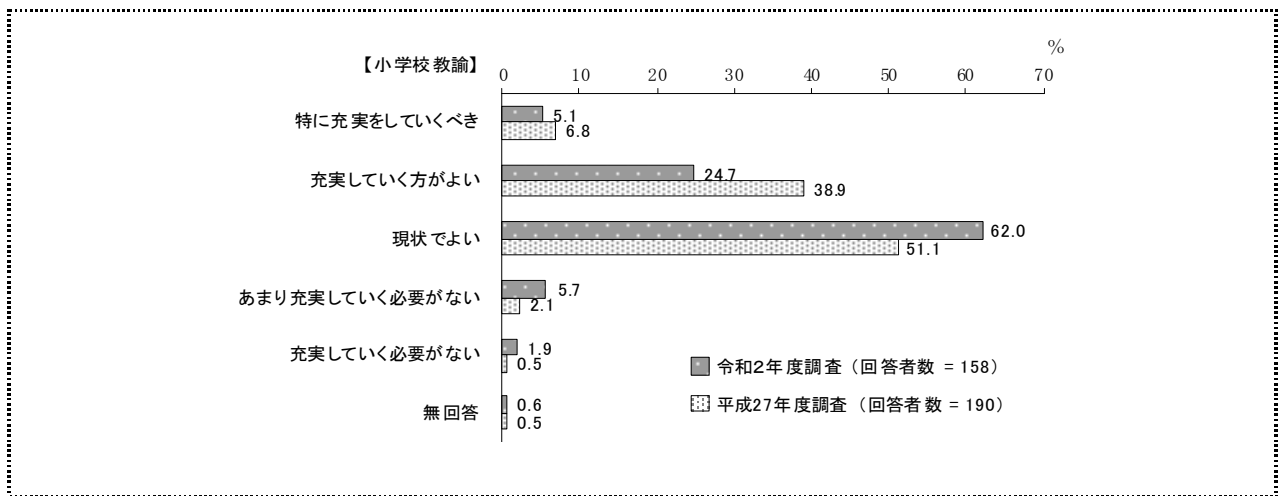
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が29.8%、「現状でよい」の割合が62.0%，“充実していく必要がない”の割合が7.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

中学校教諭調査では，“充実をしていくべき”の割合が26.8%、「現状でよい」の割合が61.0%，“充実していく必要がない”の割合が10.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計



㊦ 教職員の資質や指導力の向上

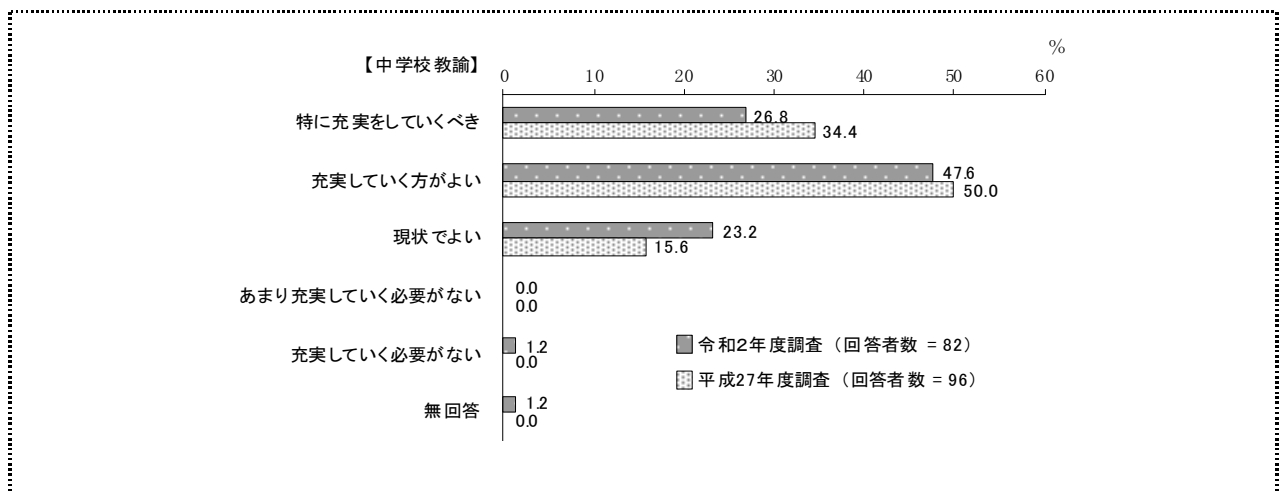
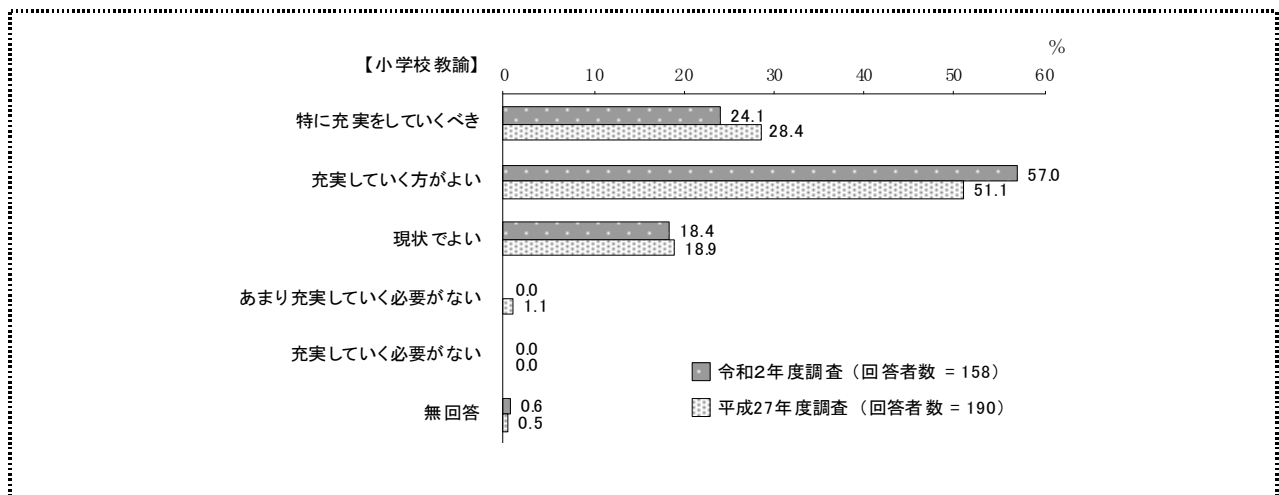
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が81.1%、「現状でよい」の割合が18.4%，“充実していく必要がない”の割合が0.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が74.4%、「現状でよい」の割合が23.2%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計



㊦ 放課後や土曜日などを活用した教育活動の実施

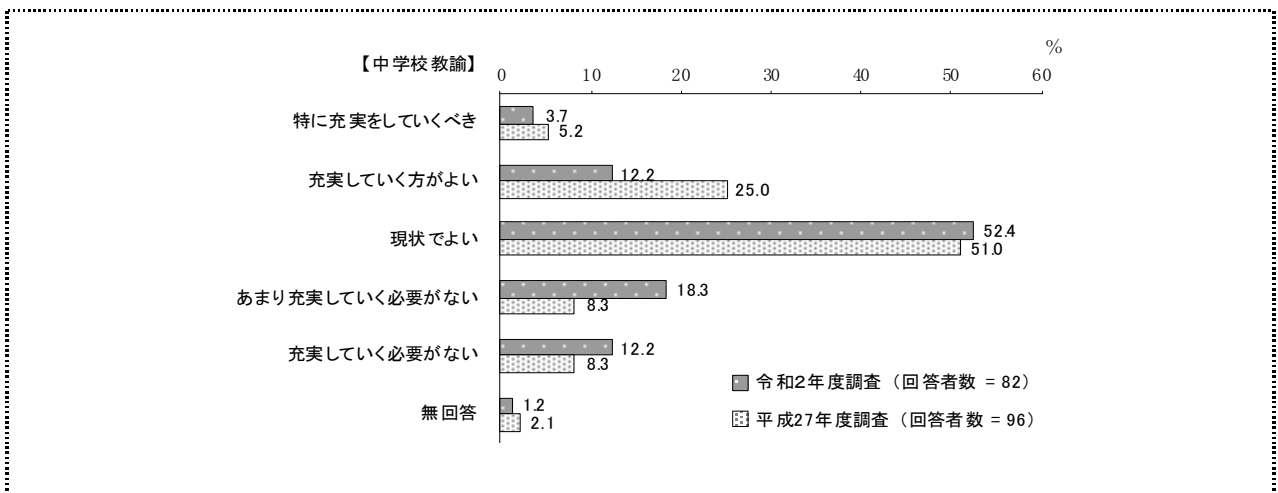
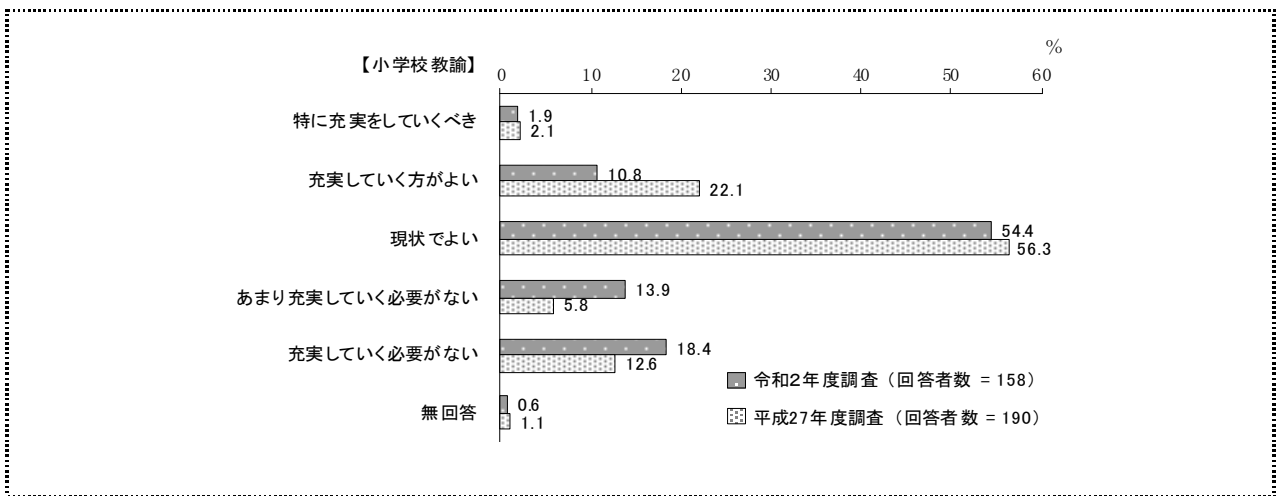
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が12.7%、「現状でよい」の割合が54.4%，“充実していく必要がない”の割合が32.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が減少し，“充実していく必要がない”の割合が増加しています。

中学校教諭調査では，“充実をしていくべき”の割合が15.9%、「現状でよい」の割合が52.4%，“充実していく必要がない”の割合が30.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると，“充実をしていくべき”の割合が減少し，“充実していく必要がない”の割合が増加しています。

○全体集計



㊦ 学校園の適正規模や適正配置についての検討

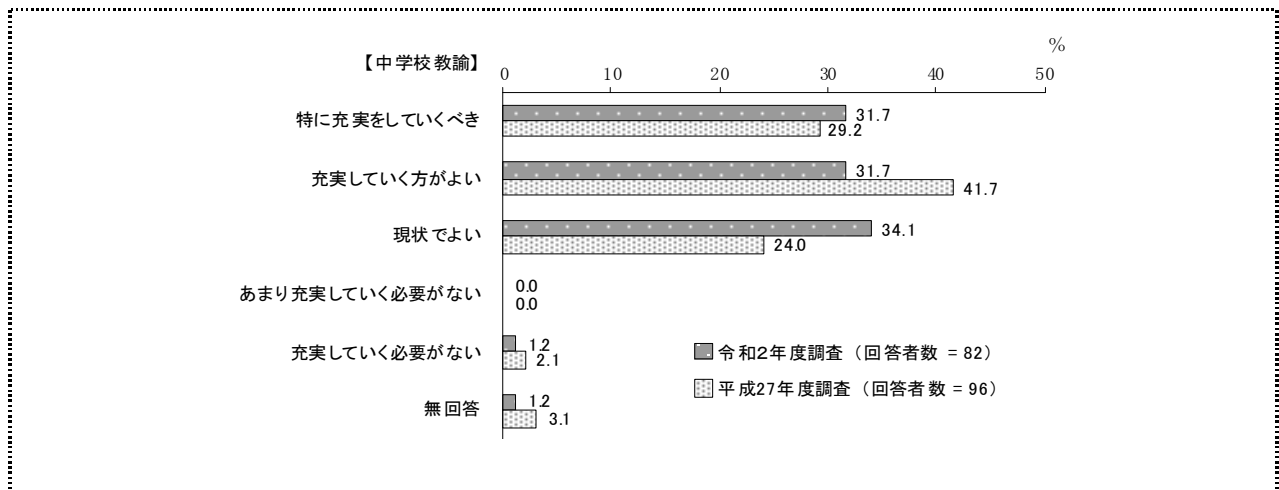
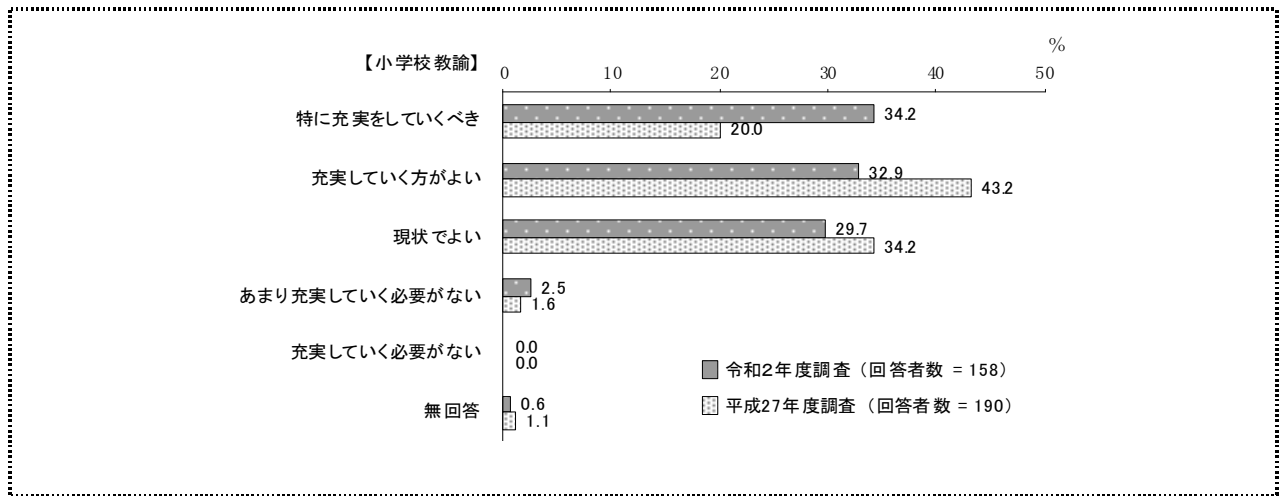
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が67.1%、「現状でよい」の割合が29.7%，“充実していく必要がない”の割合が2.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が63.4%、「現状でよい」の割合が34.1%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計



㉗ 学校校舎・施設の老朽化対策の実施

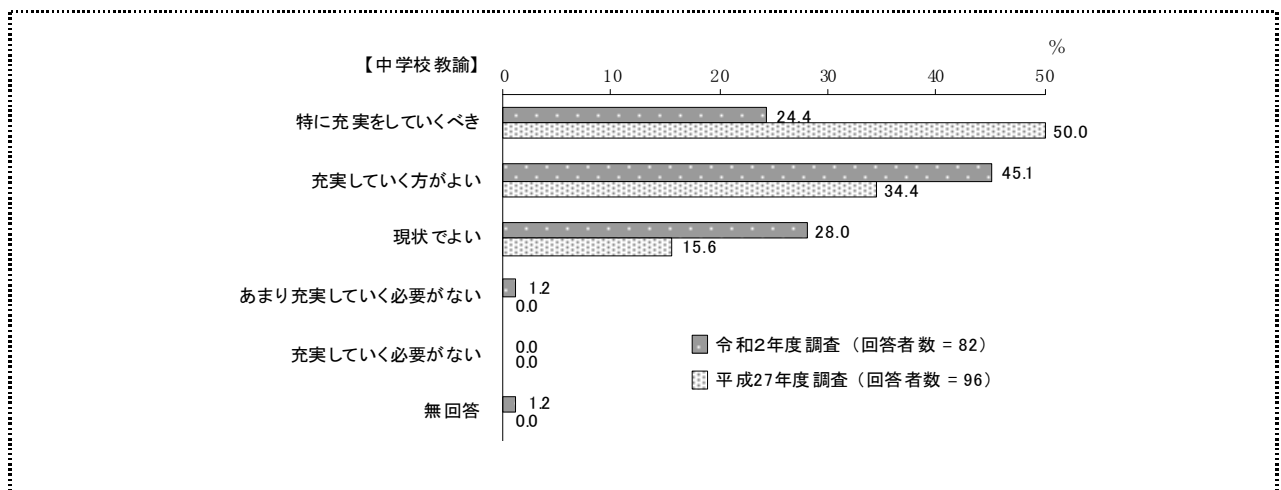
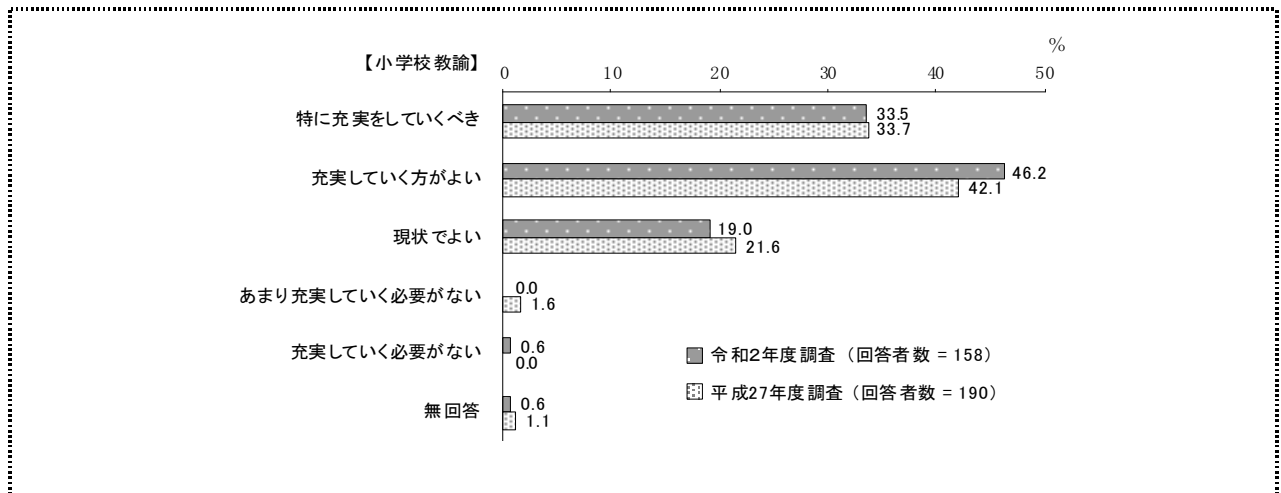
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が79.7%、「現状でよい」の割合が19.0%，“充実していく必要がない”の割合が0.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が69.5%、「現状でよい」の割合が28.0%，“充実していく必要がない”の割合が1.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計



㊦ 子どもの通学路の安全確保に係る取組の実施

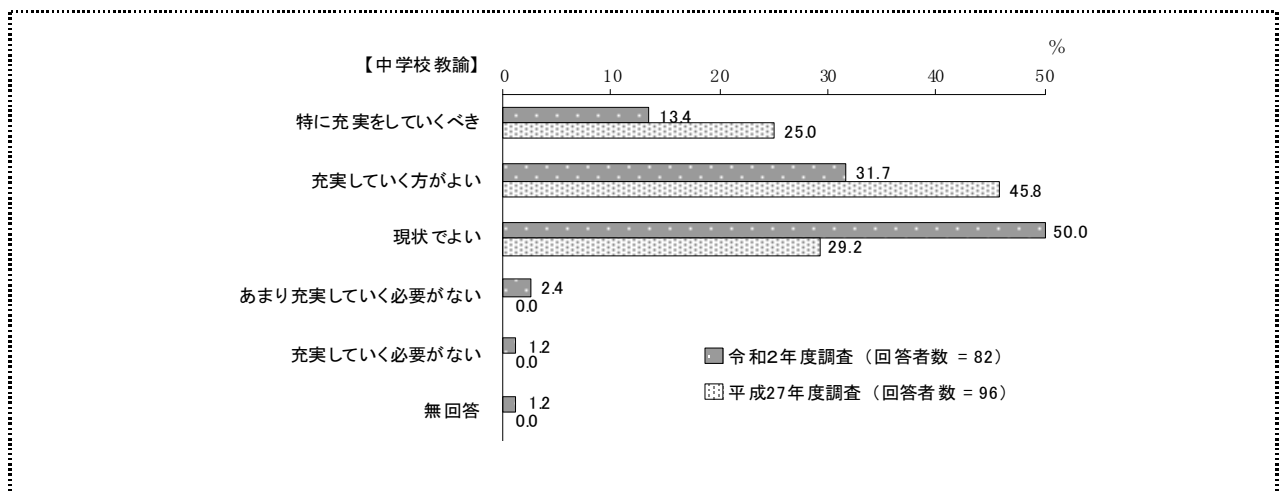
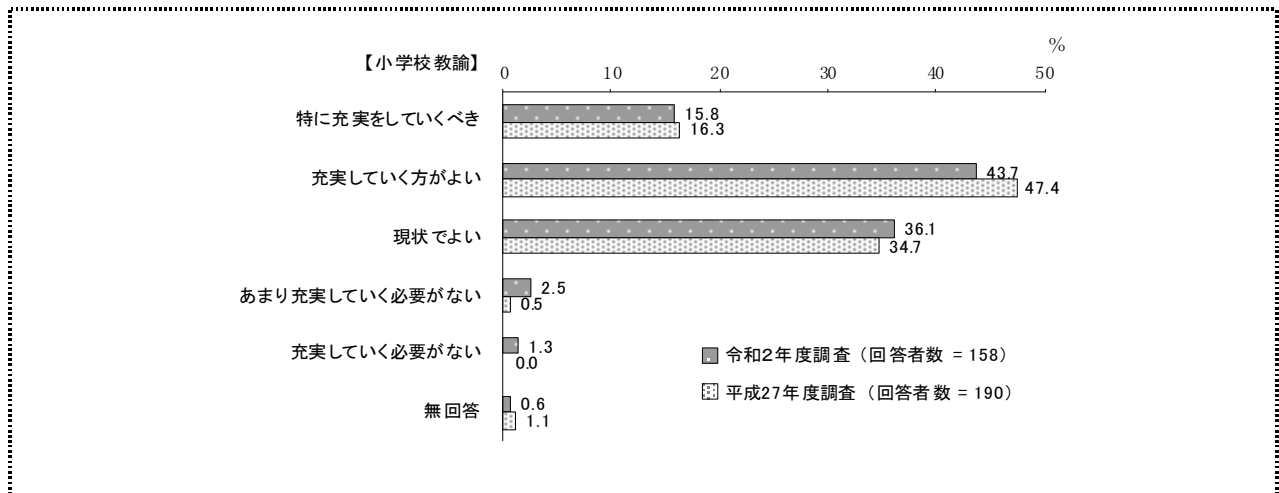
小学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が59.5%、「現状でよい」の割合が36.1%，“充実していく必要がない”の割合が3.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

中学校教諭調査では、“充実をしていくべき”の割合が45.1%、「現状でよい」の割合が50.0%，“充実していく必要がない”の割合が3.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“充実をしていくべき”の割合が減少し、「現状でよい」の割合が増加しています。

○全体集計



問 10 地域に開かれた学校にするために、あなたは何が大切だと思いますか。
(主なもの3つに○)

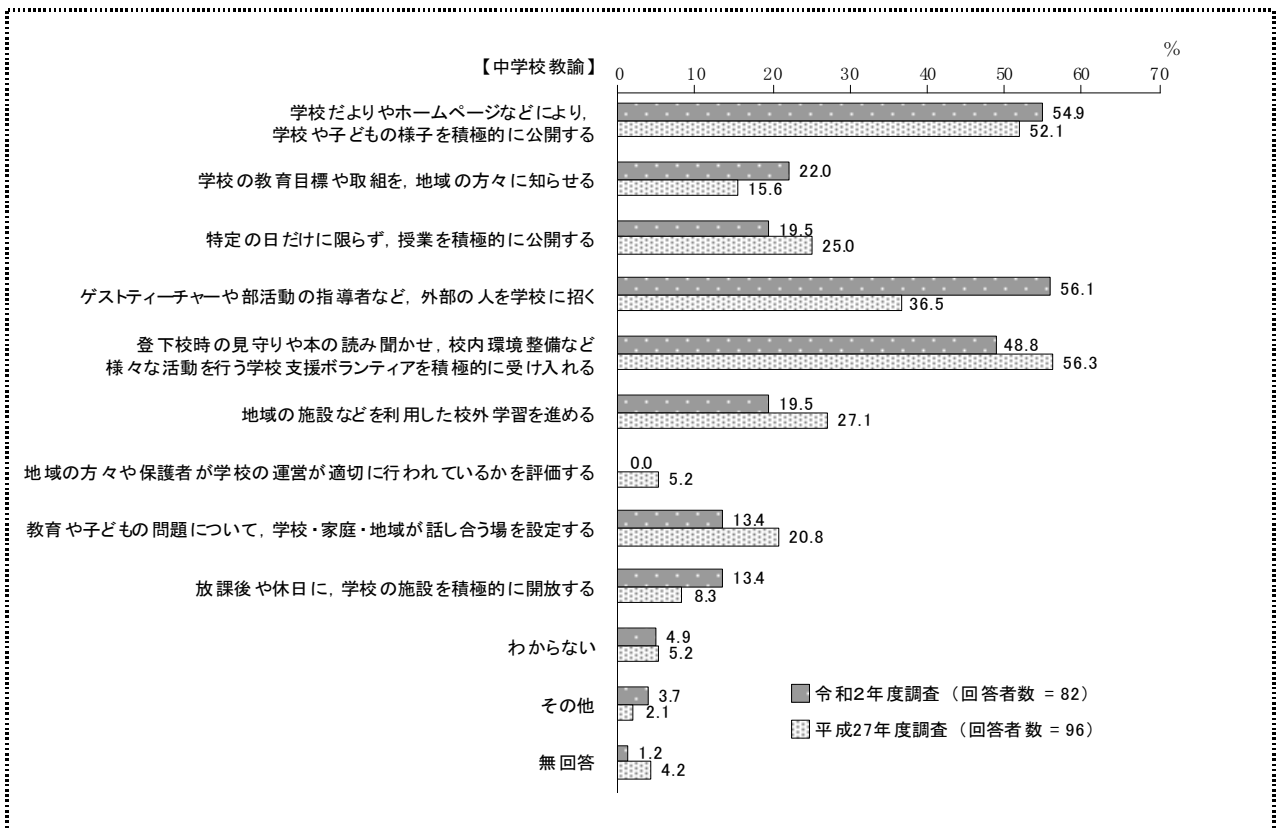
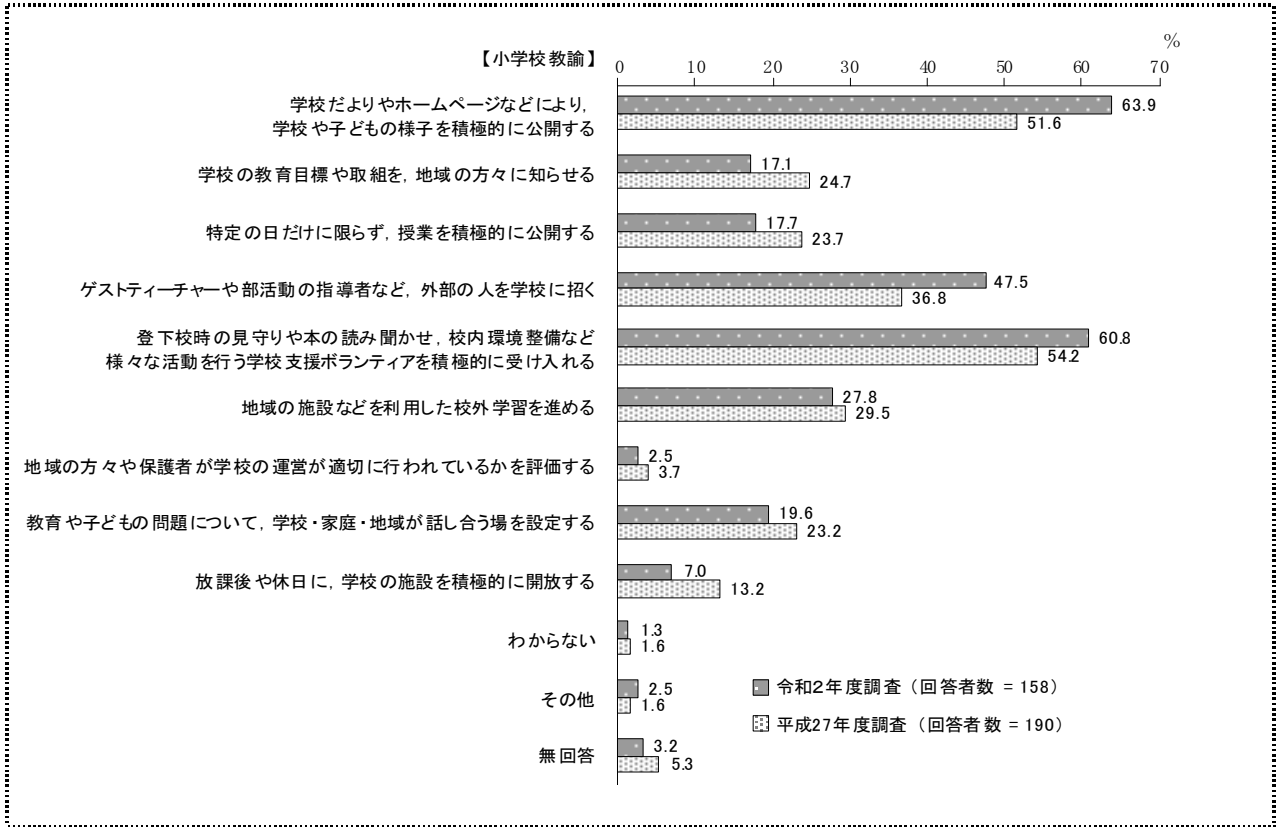
小学校教諭調査では、「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」の割合が63.9%と最も高く、次いで「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」の割合が60.8%、「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」の割合が47.5%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」、「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」、「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」の割合が増加し、「学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる」、「特定の日だけに限らず、授業を積極的に公開する」、「放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する」の割合が減少しています。

中学校教諭調査では、「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」の割合が56.1%と最も高く、次いで「学校だよりやホームページなどにより、学校や子どもの様子を積極的に公開する」の割合が54.9%、「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」の割合が48.8%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「学校の教育目標や取組を、地域の方々に知らせる」、「ゲストティーチャーや部活動の指導者など、外部の人を学校に招く」、「放課後や休日に、学校の施設を積極的に開放する」の割合が増加し、「特定の日だけに限らず、授業を積極的に公開する」、「登下校時の見守りや本の読み聞かせ、校内環境整備など様々な活動を行う学校支援ボランティアを積極的に受け入れる」、「地域の施設などを利用した校外学習を進める」、「地域の方々や保護者が学校の運営が適切に行われているかを評価する」、「教育や子どもの問題について、学校・家庭・地域が話し合う場を設定する」の割合が減少しています。

○全体集計



(4) 新型コロナウイルス感染症が与える子どもたちの教育への影響についておうかがいします。

問 11 社会問題となっている新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。あなたは、芦屋市の教育において、どのような取組が必要だと思いますか。(ひとつだけに○)

小学校教諭調査では、「オンライン授業の実施」の割合が 28.5%と最も高く、次いで「ICT（IT 機器や通信技術）を活用した授業の実施」の割合が 22.2%、「長期休暇の短縮による授業の実施」の割合が 11.4%となっています。

中学校教諭調査では、「ICT（IT 機器や通信技術）を活用した授業の実施」の割合が 23.2%と最も高く、次いで「長期休暇の短縮による授業の実施」の割合が 20.7%、「オンライン授業の実施」の割合が 14.6%となっています。

○全体集計

